



**HONDA**

# Elysion Elysion Prestige

オーナーズマニュアル

クイックガイド

安全なドライブ

計器の見かた

各部の操作

オーディオ

運転

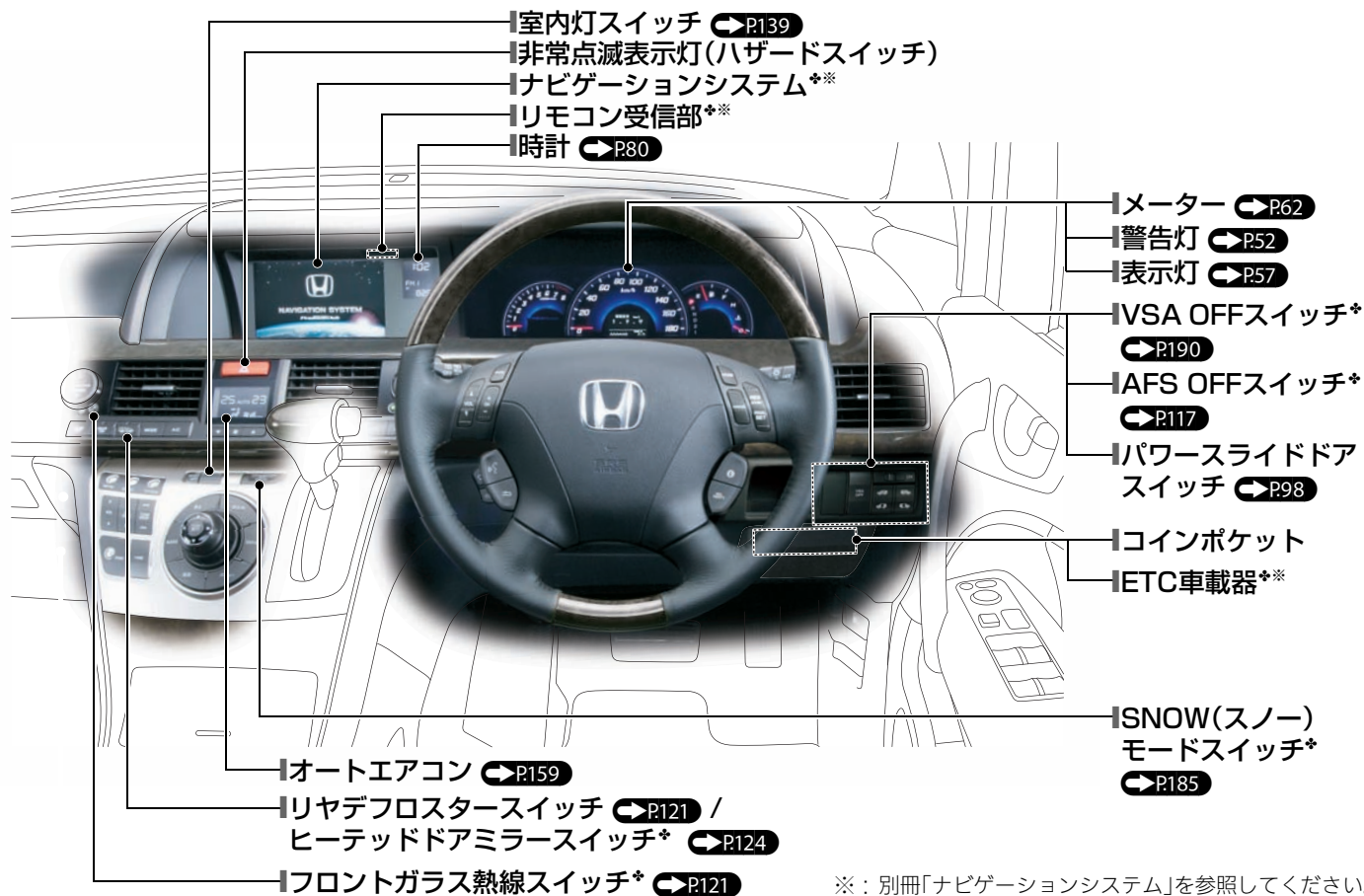
メンテナンス

万一の場合には

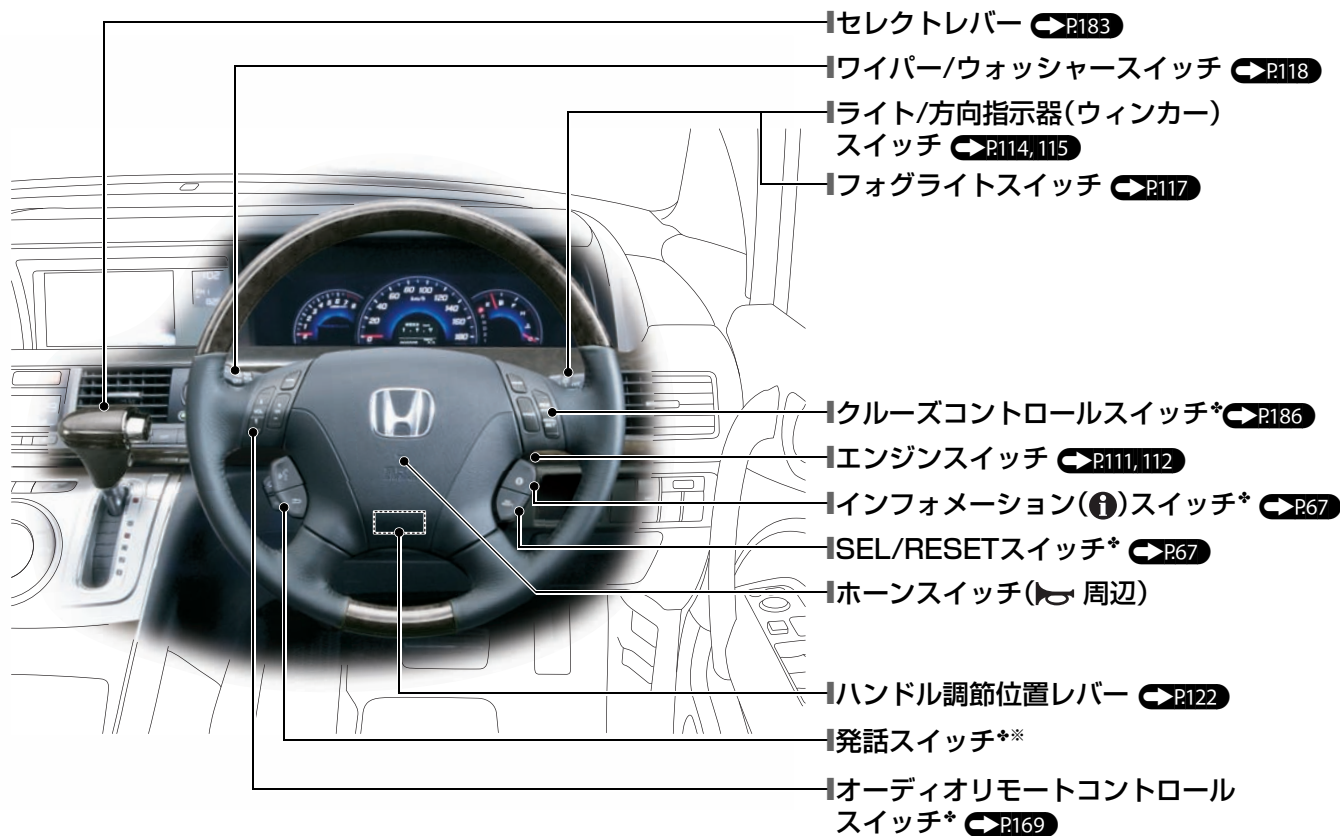
資料

索引

# ビジュアル目次



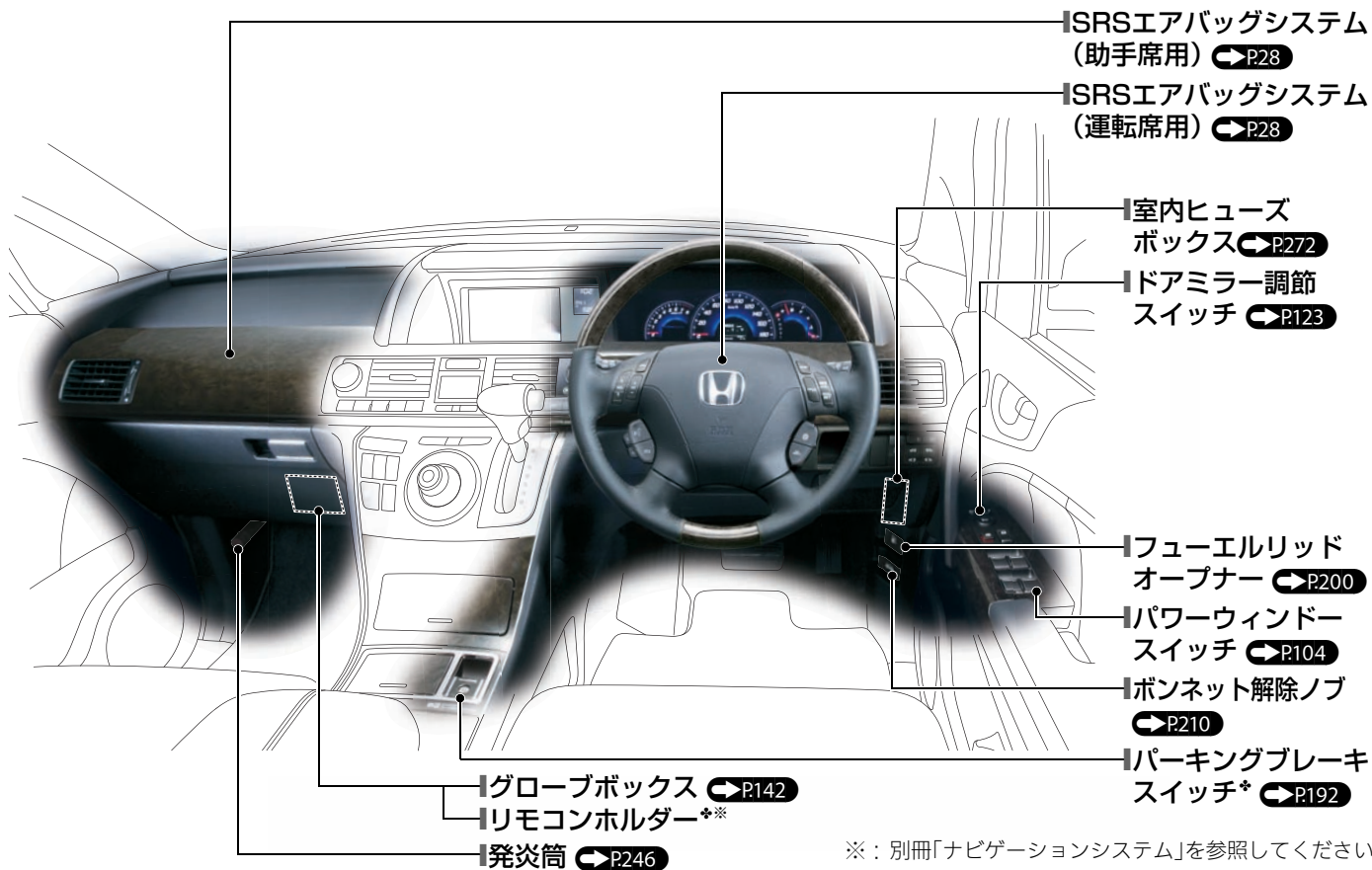
※：別冊「ナビゲーションシステム」を参照してください。



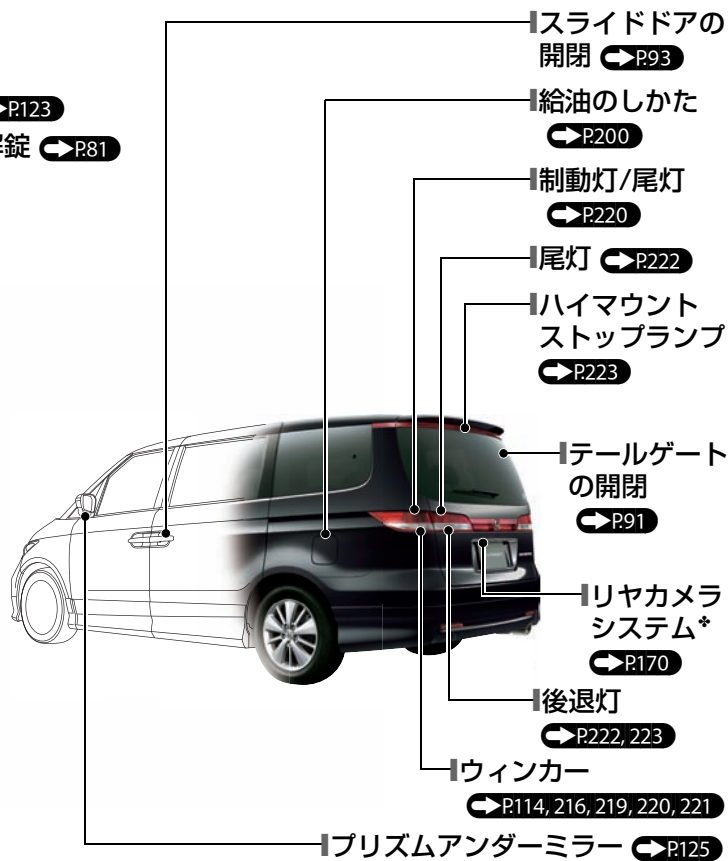
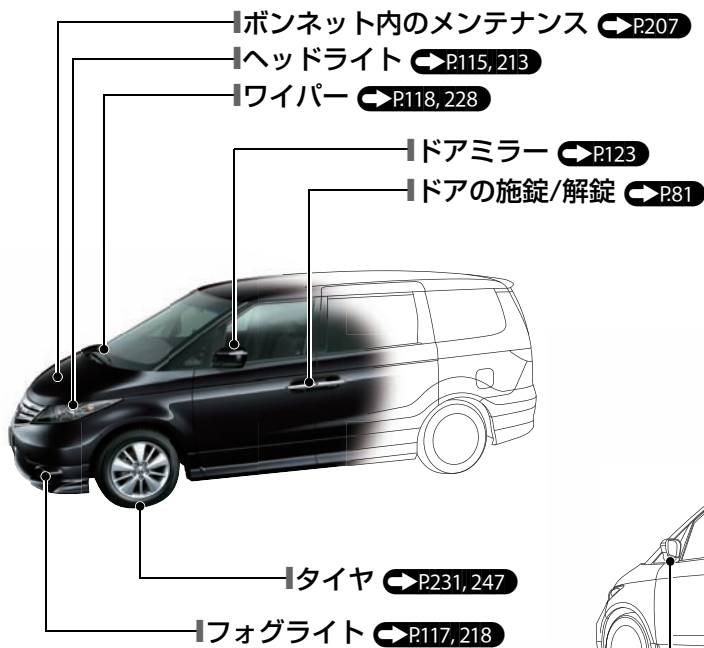
※：別冊「ナビゲーションシステム」を参照してください。

この「\*」はタイプやオプションなどにより、装備が異なる場合に付きます。

# ビジュアル目次

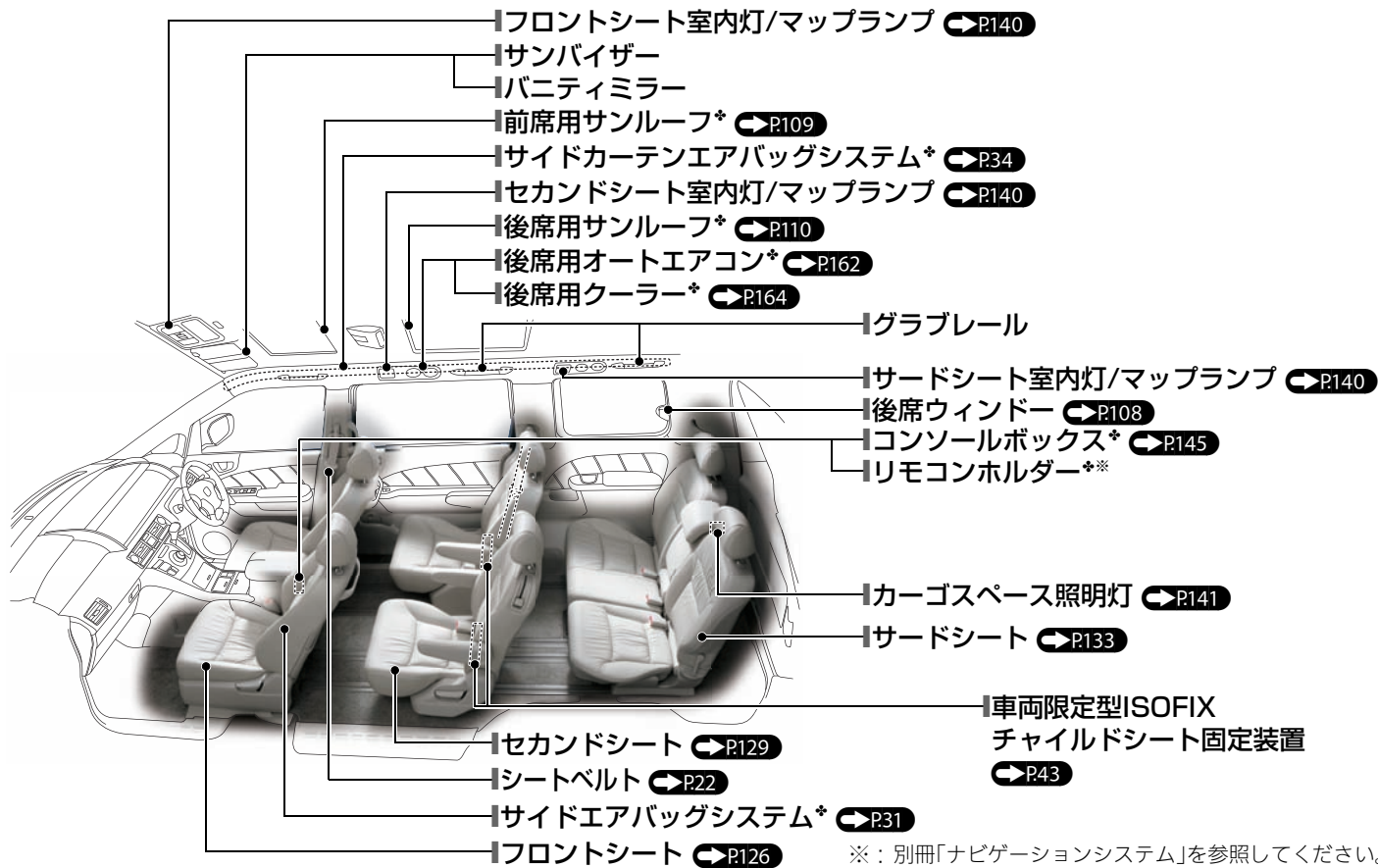


※：別冊「ナビゲーションシステム」を参照してください。



この「\*」はタイプやオプションなどにより、装備が異なる場合に付きます。

# ビジュアル目次



※：別冊「ナビゲーションシステム」を参照してください。

# 安全なドライブ ▶P20

## 運転を始める前の確認 ▶P21

- 運転前にフロントシートの位置、ヘッドレスト、ハンドルの位置、ミラー類の角度を調節します。



- 正しい運転姿勢でシートベルトを着用してください。
- 同乗者にも必ずシートベルトを着用させます。
- 妊娠中のかたは腹部を圧迫しないようにシートベルトを着用してください。

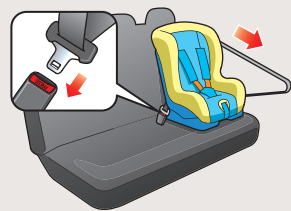
## シートベルト ▶P22

## 排気ガスについて ▶P50

- 車の排気ガスには有害な一酸化炭素が含まれているため、ガレージなどの密閉された場所ではエンジンを始動しないでください。

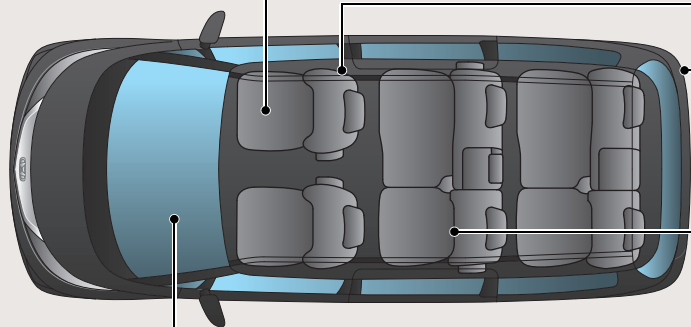
## お子さまの安全 ▶P39

- シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、チャイルドシートをお使いください。お子さまの安全のために、チャイルドシートはセカンドシートまたはサードシートに取り付けてください。



## エアバッグ ▶P28

- 万一の衝突の際に、乗員への衝撃を緩和するために、エアバッグが装備されています。

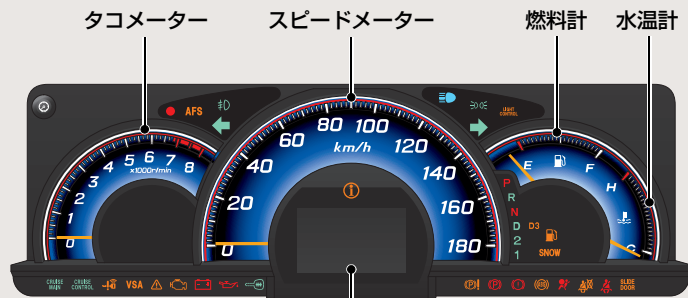


# 計器の見かた ➡P51

警告灯 ➡P52 / 表示灯 ➡P57 / メーター ➡P62




## 警告灯 / 表示灯

-  セキュリアラームシステム作動表示灯
- AFS** AFS 警告灯\*
-  インフォメーション表示灯\*
-  ドア/テールゲート開閉警告灯\*
- CRUISE MAIN** クルーズメイン表示灯\*
- CRUISE CONTROL** クルーズコントロール表示灯\*
-  Honda スマートキーシステム警告灯\*
- VSA** VSA 警告灯\*
-  VSA 作動表示灯\*
-  PGM-FI 警告灯
-  充電警告灯
-  油圧警告灯
-  イモビライザーシステム表示灯



インフォメーションディスプレイ\*/  
マルチインフォメーションディスプレイ\*

## 警告灯 / 表示灯

-  ハイビーム表示灯
-  ライト点灯表示灯
-  フォグライト点灯表示灯

## 警告灯 / 表示灯

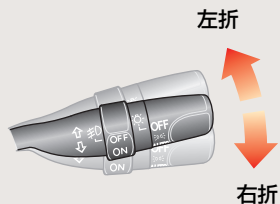
- LIGHT CONTROL** オートライトコントロール警告灯\*
-  方向指示器表示灯
- P**      セレクトポジション表示灯
- R**      (トランスミッション警告灯)
- N**
- D** D3
- 2**
- 1**
-  燃料残量警告灯
- SNOW** SNOW(スノー)モード表示灯\*
-  電子制御パーキングブレーキシステム警告灯\*
-  電子制御パーキングブレーキ作動警告灯\*
-  ブレーキ警告灯
-  ABS 警告灯
-  エアバッグシステム警告灯
-  サイドエアバッグ自動停止表示灯\*
-  シートベルト非着用警告灯
- SLIDE DOOR** パワースライドドア警告灯\*



# 各部の操作 ▶ P.79

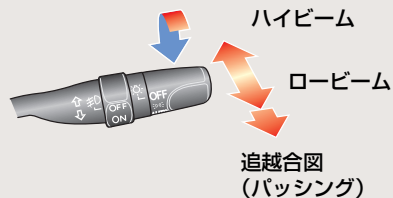
## ウィンカー ▶ P.114

方向指示器(ウィンカー)スイッチ



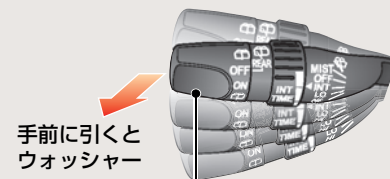
## ライト ▶ P.115

ライトスイッチ



## ワイパー ▶ P.118

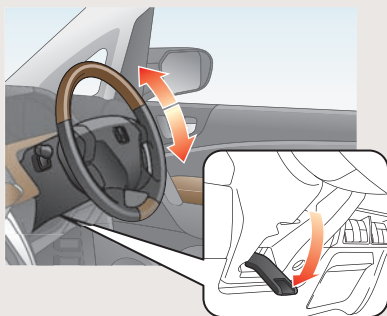
ワイパー/ウォッシャースイッチ



- ・ OFF 停止
- ・ INT 間欠(雨量が少ないとき)
- ・ LO 低速(普通の雨量のとき)
- ・ HI 高速(雨量の多いとき)

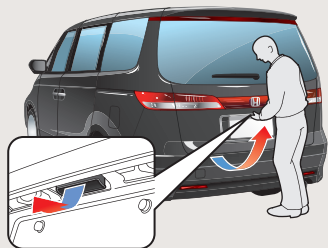
## ハンドル位置の調節 ▶P122

- ハンドル位置調節レバーを押し下げ、ハンドルの位置を調節します。



## テールゲート ▶P91

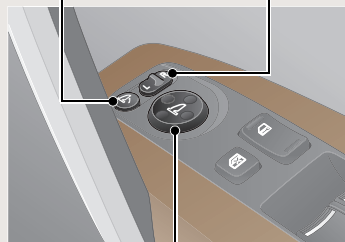
- テールゲートは、テールゲートハンドルを引いて開きます。



## ドアミラー ▶P123

- エンジンスイッチが **II** のとき、ドアミラーの格納または角度の調節ができます。

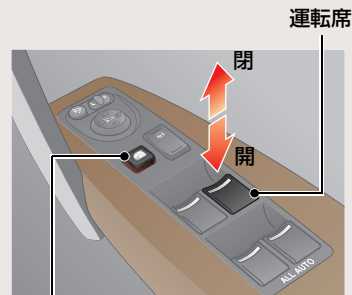
格納スイッチ 左右切り換えスイッチ



角度調節スイッチ

## パワーウィンドー ▶P104


- エンジンスイッチが **II** のとき、ウィンドーの開閉ができます。

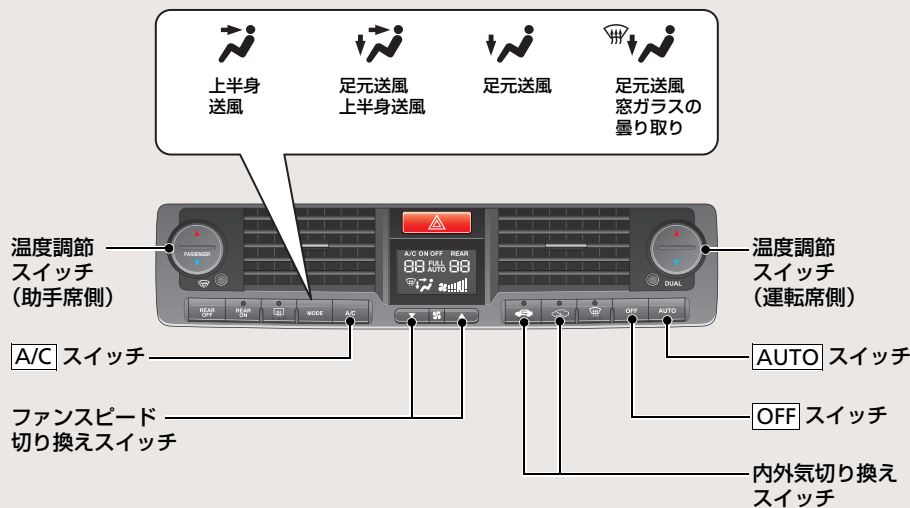


メインスイッチ

- ・ON 全てのウィンドーが作動
- ・OFF 運転席以外のウィンドーが非作動

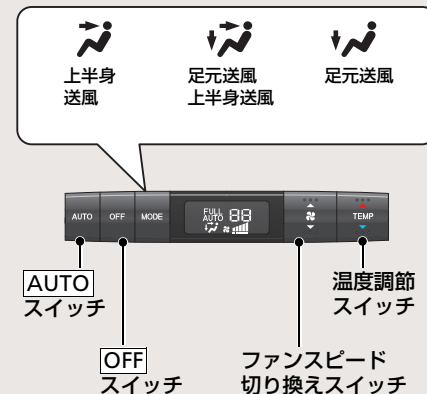
## エアコン

- **AUTO** を押すと、オートエアコンが作動します。
- **OFF** を押すと、止まります。
- 前面ガラスの曇りを取るには、 を押します。



## 後席用オートエアコン\*

- **AUTO** を押すと、オートエアコンが作動します。
- **OFF** を押すと、止まります。



## 後席用クーラー\*

- ファンスピード切り換えスイッチを押すと、後席用クーラーが作動します。
- **OFF** を押すと、止まります。



この「\*」はタイプやオプションなどにより、装備が異なる場合に付きます。

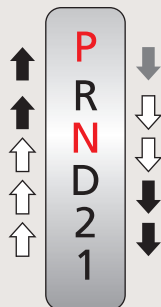
# 運転 ▶P174

## オートマチック車 ▶P182

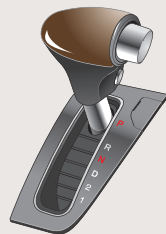
- セレクトレバーを[P]に入れ、ブレーキを踏みながらエンジンを始動します。

## セレクトレバー

セレクトレバーの操作

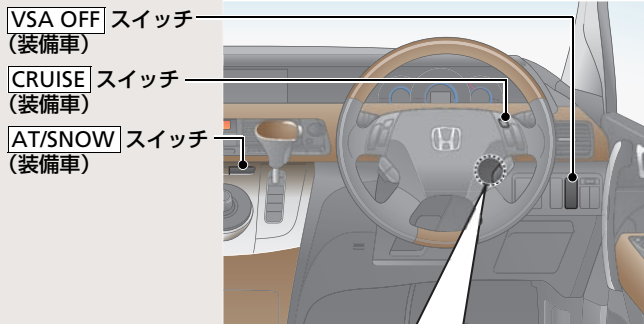


- ↓ ブレーキペダルを右足で踏み、ボタンを押して操作
- ↓↑ ボタンを押さずそのまま操作
- ↓↑ ボタンを押して操作



- P** パーキング  
駐車またはエンジンの始動
- R** リバース  
車を後退
- N** ニュートラル  
アイドリング状態
- D** ドライブ  
・通常走行  
・SNOW(スノー)モード\*

- 2** セカンド  
2速固定
- 1** ロー  
1速固定
- D3** D3  
[D]のときに[D3]を押す  
(1速から3速まで自動変速)



- VSA OFF スイッチ  
(装備車)
- CRUISE スイッチ  
(装備車)
- AT/SNOW スイッチ  
(装備車)

### エンジンスイッチ



Honda  
スマートキーシステム  
装備車

## VSA OFF スイッチ\* ➡P190

- VSA とは、急激な車両の挙動変化を抑制しようとする装置です。
- エンジンを始動すると自動的に VSA は ON になります。
- VSA を停止(OFF)状態にするには、**VSA OFF** を「ピッ」とブザーが鳴るまで押します。再度、使用(ON)するには **VSA OFF** を「ピッ」とブザーが鳴るまで押します。

## CRUISE スイッチ\* ➡P186

- クルーズコントロールは、高速道路などを定速で運転するとき、アクセルペダルを踏まなくても車速を一定に保つ装置です。
- クルーズコントロールを使用しないときは、安全のために **CRUISE** を押して OFF にしてください。

## SNOW(スノー)モード スイッチ\* ➡P185

- 雪道などの滑りやすい路面での発進がしやすくなります。(2～5速自動変速)
- セレクトレバーが **D** のとき、**A/T SNOW** を押します。このとき、表示灯が点灯します。

## ガソリンを入れる ➡P199

指定燃料:

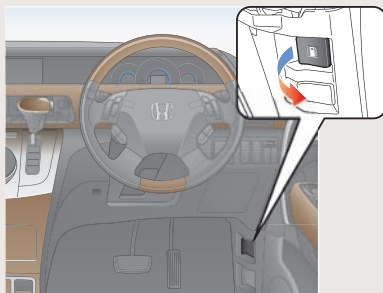
**G AERO, S** 無鉛レギュラーガソリン

**SG** 無鉛プレミアムガソリン

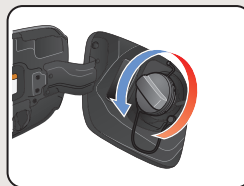
タンク容量:

70リットル

- 1 フューエルリッドオープナーを引いて、フューエルリッドを開ける。



- 2 ツマミをゆっくり回してキャップを開ける。

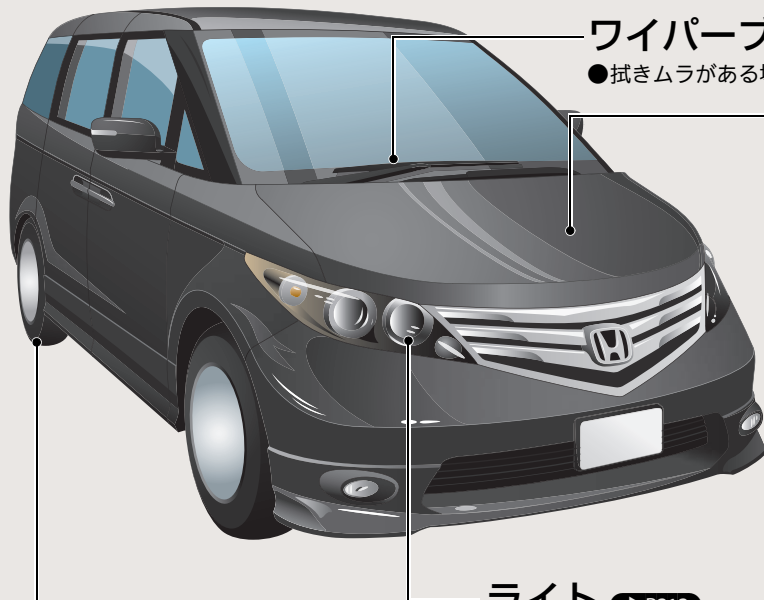


- 3 キャップをホルダーにかける。



この「\*」はタイプやオプションなどにより、装備が異なる場合に付きます。

# メンテナンス ➡P204



## ワイパーブレード ➡P228

- 拭きムラがある場合は、ワイパーブレードラバーを交換します。

## ボンネット ➡P207, 212, 265

- 冷却水、ウォッシャー液の補給を行います。
- バッテリーを点検します。

## タイヤ ➡P231

- タイヤ、ホイールを点検します。
- 降雪地域では、スノータイヤ、タイヤチェーンが必要です。

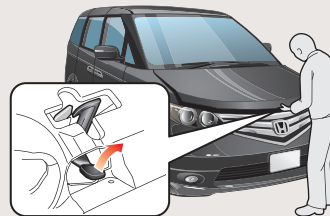
## ライト ➡P213

- ヘッドライト、フォグライト電球\*、テールライト電球などの点検または交換を行います。
- 電球の交換については、「メンテナンス」を参照してください。
- ヒューズの交換については、「万一の場合には」を参照してください。

- 1 運転席足元のボンネット解除ノブを引く。



- 2 レバーを押してボンネットを開ける。



# 万一の場合には P244

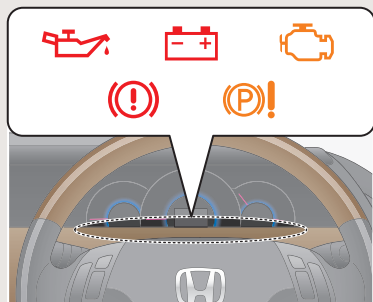
## パンクした P247

- 安全な場所に停車し、応急用スペアタイヤに交換します。



## 警告灯が点灯した P266

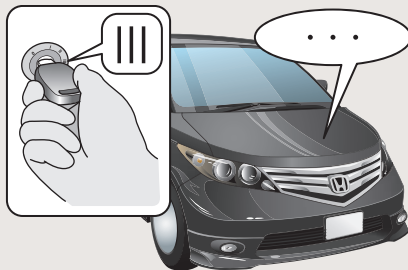
- 詳細を確認し、取扱説明書にしたがってください。



## エンジンが始動しない

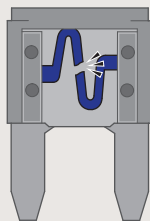
### P259

- バッテリーあがりか考えられます。救援車のバッテリーを利用してエンジンを始動します。



## ヒューズが切れた P269

- アクセルペダルの上とボンネット内にヒューズボックスがあります。切れているヒューズを取り換えます。



## オーバーヒートした P265

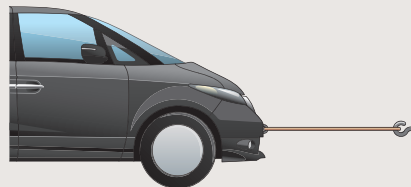
- 安全な場所に停車し、蒸気が出ていなければボンネットを開けてください。



## けん引してもらいたい

### P274

- 必ず専門業者に依頼してください。やむをえず4輪を接地したままけん引される場合は、取扱説明書にしたがってください。



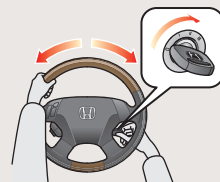
この「※」はタイプやオプションなどにより、装備が異なる場合に付きます。

# こんなときは

**Q** キーが **0** から **1** に回らない

**A**

- ハンドルがロックされていませんか？
- ハンドルを左右に回しながら、キーを回してください。Honda スマートキー \* を使用しているときは、エンジンスイッチノブを回してください。



**Q** キーが **1** から **0** に回らない  
(キーが抜けない)

**A**

- セレクトレバーが **P** 以外の位置になっていませんか？



**Q** ブレーキペダルを踏んだら  
ガタガタと振動した

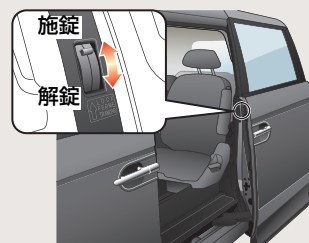
**A**

- ブレーキペダルを踏んだとき、ペダルが小刻みに動くことがあります。これは ABS が作動しているときの現象で異常ではありません。そのまま、ブレーキペダルを強く踏み続けてください。

**Q** 後席ドアが車内から開けられない

**A**

- チャイルドプルーフが施錠の位置になっていませんか？  
後席ドアを外から開け、チャイルドプルーフのツマミを解錠の位置にしてください。







キーレスエントリーでドアを解錠したはずなのに施錠されている



- キーレスエントリー、Honda スマートキー\*で解錠してから、約 30 秒以内にドア、テールゲートを開けなかった場合は、自動的に再度施錠されます。



運転席ドアを開けるとブザーが鳴る



- 「ピピピピ」と鳴るときはキーをエンジンスイッチに差し込んでいませんか？ Honda スマートキー\*を使用しているときは、エンジンスイッチノブを **0** (プッシュオフ)以外にしていますか？
- 「ピー」と鳴るときはライトを消し忘れていませんか？



走行するとブザーが鳴る



- 運転席シートベルトを着用していますか？
- パーキングブレーキを完全に戻していますか？



パーキングブレーキスイッチ\*を押してもパーキングブレーキが解除できない



- ブレーキペダルを踏んでスイッチを操作していますか？



アクセルペダルを踏んでもパーキングブレーキが自動で解除できない\*



- 運転席シートベルトを着用していますか？
- セレクトレバーが、**P**、**N**以外になっていますか？



走行中にブレーキを踏むと金属的な摩擦音がする



- ブレーキパッドが摩耗して使用限界になっているおそれがあります。Honda 販売店で点検を受けてください。

---

**Q** レギュラーガソリン仕様車にプレミアム(ハイオク)ガソリンを使用しても大丈夫ですか？

**A**

- プレミアムガソリンをお使いになることもできますが、この場合、本来のエンジン性能が大きく変わることはありません。

---

**Q** プレミアム(ハイオク)ガソリン仕様車にレギュラーガソリンを使用しても大丈夫ですか？

**A**

- プレミアムガソリンが入手できないときはレギュラーガソリンをお使いになることもできますが、この場合、本来のエンジン性能を発揮できません。  
無鉛レギュラーガソリンの長期使用はエンジン破損に結びつく場合があります。
-

## 安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。



**危険**

指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至るもの



**警告**

指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの



**注意**

指示にしたがわないと、傷害を受ける可能性があるもの

## その他の表示

下記の表示を使って記載しています。

### アドバイス

お車が故障や破損することを防ぐためのアドバイスや、環境への配慮のために守っていただきたいこと。

※：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

## サービス診断記録装置について

この車には、システムを制御するためのコンピューターが搭載されており、次の内容をデータとして記録します。

- エアバッグシステムの故障診断情報
- エアバッグの作動に関する情報
- 動力伝達機構の状態
- 運転状態

HondaおよびHondaが委託した第三者は、記録されたデータを技術的な診断やHondaの車両の研究開発のために、取得、利用することがあります。

なお、会話等の音声や映像は記録されません。

## データの開示について

---

HondaおよびHondaが委託した第三者は、取得したデータを以下の場合を除き、第三者へ開示、提供することはありません。

- お車の所有者または使用者の同意がある場合
- 裁判所命令等、法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行う等、使用者や車が特定できないように加工したデータを、研究機関等に提供する場合

## 安全なドライブ P.20

安全なドライブのために 21      シートベルト 22      エアバッグ 28      お子さまの安全 39  
排気ガスの危険性 50

## 計器の見かた P.51

警告灯と表示灯 52      メーターとインフォメーションディスプレイ 62

## 各部の操作 P.79

時刻の設定 80      ドアロック 81      テールゲート 91      スライドドア 93  
セキュリティシステム 102      ウィンドー 104      サンルーフ 109      ハンドルまわりのスイッチ 111  
ミラー類 123      シート 126      室内灯 / 室内装備品 139      エアコン 158

## オーディオ P.167

オーディオ装置 168      オーディオリモートコントロールスイッチ 169      リヤカメラシステム 170

## 運転 P.174

運転の前に 175      運転 177      ブレーキ 191      駐停車 197  
給油 199      アクセサリーと改造 203

## メンテナンス P.204

メンテナンスの前に 205      ボンネット内 207      電球 213      ワイパー 228  
タイヤ 231      キーレスエントリー / Honda スマートキー 235      エアコンのお手入れ 238  
清掃 240

## 万ーの場合には P.244

工具、発炎筒 245      パンク 247      エンジンが始動しない 259      ジャンプスタート 261  
セレクトレバーが動かない 264      オーバーヒート 265      警告灯が点灯 / 点滅した 266  
ヒューズ 269      けん引 274      テールゲートが開かない 277

## 資料 P.278

仕様： G AERO 279      仕様： S 281      仕様： SG 283

## 安全なドライブ P.20

## 計器の見かた P.51

## 各部の操作 P.79

## オーディオ P.167

## 運転 P.174

## メンテナンス P.204

## 万ーの場合には P.244

## 資料 P.278

## 索引 P.285

# 安全なドライブ

この章には、安全運転のために必要な重要情報が記載されています。  
運転を始める前によくお読みいただき、運転者と同乗者の安全を確保してください。

安全なドライブのために	21	お子さまの安全	39
シートベルト		乳幼児の安全	40
シートベルトについて	22	大きなお子さまの安全	48
シートベルトの着用	24	排気ガスの危険性	
シートベルトの点検	27	一酸化炭素について	50
エアバッグ			
エアバッグの種類	28		
SRSエアバッグ	28		
サイドエアバッグ*	31		
サイドカーテンエアバッグ*	34		
エアバッグシステム警告灯/表示灯	36		
エアバッグのお手入れ	38		

## 安全のための確認事項

安全なドライブのために、走行前に下記の項目を確認してください。

- ドア、テールゲートは完全に閉まっているか？
  - ▶すべてのドア、テールゲートが完全に閉まり、正しく施錠されていることを確認してください。
    - ❏ 車内での施錠 P.88
- 運転しやすい姿勢にシート位置を調節しているか？
  - ▶正しい運転姿勢がとれるよう、シート位置やヘッドレストの調節をしてください。
    - ❏ フロントシート P.126
- 同乗者のシートも、安全が保たれるよう調節しているか？
  - ▶ダッシュボードからできるだけ離れた位置までシートを下げてください。
    - ❏ フロントシート P.126
- 乗員全員が正しくシートベルトを着用しているか？
  - ▶運転者と乗員全員が正しくシートベルトを着用していることを確認してください。
    - ❏ シートベルトの着用 P.24
- エアバッグシステム警告灯などが点灯していないか？
  - ▶エアバッグに関する説明をあらかじめお読みいただき、シートの位置などを調節してください。
    - ❏ エアバッグ P.28
- お子さまの安全を守るために、チャイルドシートやシートベルトを着用しているか？
  - ▶お子さまが同乗する場合は、お子さまの年齢や身長・体重に応じてチャイルドシートやシートベルトなどで安全を確保するようにしてください。
    - ❏ お子さまの安全 P.39
- 坂道で駐車するときは、パーキングブレーキをかけ、セレクトレバーを **P** にしているか？
  - ▶さらにタイヤに輪止めをすると効果があります。
    - ❏ シフト操作 P.183

### ❏安全のための確認事項

ドア/テールゲート開閉警告灯が点灯している場合は、完全に閉まっていないドア、テールゲートがあります。

ドア、テールゲートをもう一度正しく閉め直してください。「ドア/テールゲート開閉警告灯」は消灯し、正常な状態に戻ります。

❏ ドア/テールゲート開閉警告灯\* P.56

# シートベルト

## シートベルトについて

シートベルトは、シートに体を固定することで安全を確保するための安全装置です。

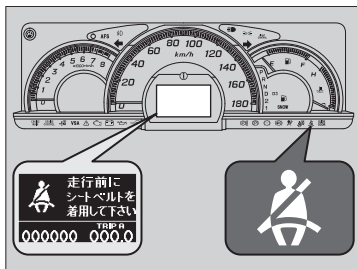
### ■三点式シートベルト

体の動きに合わせて伸縮し、強い衝撃を受けるとベルトが自動的にロックします。フロントシート、セカンド、サードシートの外側2座席には三点式シートベルトが装備されています。

### ■シートベルトの着用

- 運転者は正しい運転姿勢で、シートベルトを必ず着用
- 同乗者にも必ずシートベルトを着用
- シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、必ずチャイルドシートを使用
- 1本のシートベルトを2人以上で使用しない
- ベルトにはクリップや洗たくばさみなどでたるみをつけない

### ■シートベルトリマインダー



エンジンスイッチを **II** にしたときや走行したとき、運転席のシートベルトを着用するまでシートベルトリマインダーが作動し、ブザーと警告灯でお知らせします。

### ※シートベルトについて



**警告**

**シートベルトは乗員全員が必ず正しく着用する。**

シートベルトを正しく着用しないと、エアバッグが装備されていても、衝突したときに重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**乗車中は正しい姿勢を保つ。**

正しい姿勢ですわらないと、衝突したときに傷害を受ける危険性が高くなります。

### ※シートベルトリマインダー

- 運転席シートベルトを着用せずに走行した場合、停車するとブザーは止まります。また、走行している場合でも一定時間を超えるとブザーは止まります。
- セレクトレバーを **R** に入れたときは後退位置警報装置のブザーが鳴るため、シートベルト非着用の警告ブザーは鳴りません。



## ■ シートベルトプリテンショナー

安全性をより高めるために、フロントシートにはシートベルトプリテンショナーを装備しています。

シートベルトプリテンショナーは、一定以上の前方向からの衝撃を受けると自動的にシートベルトを引き込み、拘束効果を高めるための装置です。



## ※ シートベルトプリテンショナー



**シートベルト引き込み装置の取り外し、分解などはしない。**

誤作動や故障の原因となります。

シートベルトプリテンショナーは、一度作動すると使用できません。

衝突によりシートベルトプリテンショナーが作動するとエアバッグシステム警告灯が点灯します。

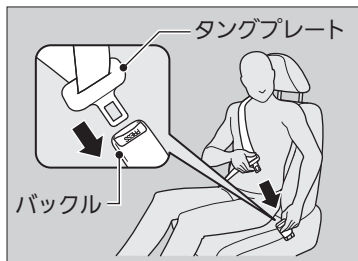
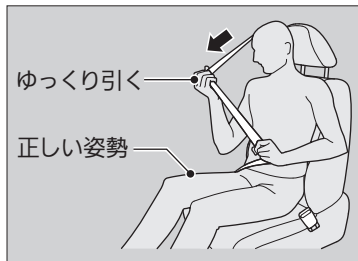
衝突したときは、Honda販売店で点検を受け、作動済みの場合は交換してください。

側面からの衝突により、シートベルトプリテンショナーが作動します。

SRSエアバッグとシートベルトプリテンショナーはかならずしも同時に作動しません。

## シートベルトの着用

### ■ 三点式シートベルト



1. 正しい姿勢でシートにすわる。
2. シートベルトをゆっくり引き出す。
3. タングプレートをバックルに差し込む。  
▶このとき、ベルトにねじれや引っかかりがないように注意します。
4. ベルトを、腰骨のできるだけ低い位置にかかると合わせる。
5. ベルトを引っ張り、バックルが固定されていることを確認する。

### ■ シートベルトの着用



#### 注意

肩ベルトは腕の下に通したり、首の後ろに回さない。

シートベルトを正しく着用しないと、本来の機能を果たさず衝突時などに、けがをするおそれがあります。

ベルトが肩に十分かかるよう、ショルダーアンカーの高さを調節してください。

ベルトがくび、あご、顔などに当たる場合は、ショルダーアンカーの高さを調節します。

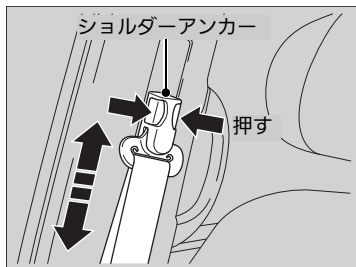
▶ ショルダーアンカーの高さ調節 P.25

シートベルトを外すには、バックルの赤色の **PRESS** を押してください。

そのとき、ベルトが完全に収納されるようベルトに手を添えてください。

シートベルトを十分に機能させるため、バックルおよび自動巻き取り装置の内部に異物を入れないようにしてください。

## ■ ショルダーアンカーの高さ調節



フロントシートのシートベルトは、座高に合わせて、ショルダーアンカーの高さを調節してください。

1. ショルダーアンカーの解除ボタンを押しながら、アンカーを上下に動かす。
2. ちょうどよい高さで解除ボタンを離し、ショルダーアンカーを固定する。

## ▶▶ ショルダーアンカーの高さ調節

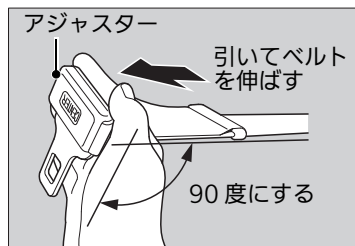


**調節後は、ショルダーアンカーが確実に固定されているか確認する。**

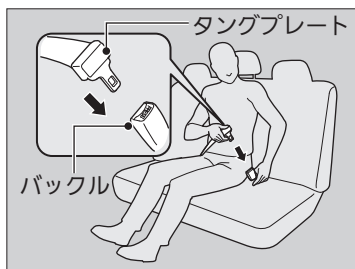
安全性を高めるため、肩ベルトが肩から胸にかかっていることを確認してください。

ベルトが首に当たるときは、下げて調節してください。

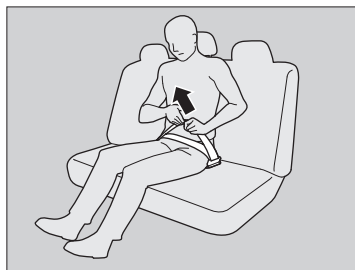
## ■二点式シートベルト



1. 正しい姿勢でシートにすわる。
2. アジャスターとベルトを 90 度にし、ベルトを引いて伸ばす。  
▶必要な長さより少し長めにします。



3. タングプレートをバックルに差し込む。  
▶このとき、ベルトにねじれがないように注意します。



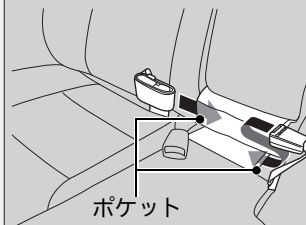
4. ベルトを、腰骨のできるだけ低い位置にかかると合わせる。
5. ベルトを引っ張り、腰部に密着させる。

## ☒二点式シートベルト

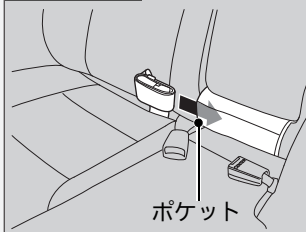
シートベルトを外すには、バックルの赤色の **「PRESS」** を押してください。  
タンクプレートとバックルには「CENTER」の表示があります。

シートベルトを使わないときは、ポケットに収納できます。

### セカンドベンチシート装備車

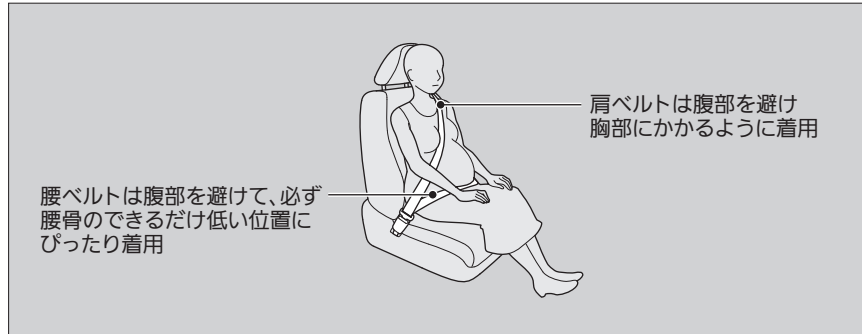


### サードシート



## 妊娠中のかたのシートベルト着用のしかた

妊娠中のかたが運転または同乗するときは、ご自身と赤ちゃんを守るために、常に三点式シートベルトを着用してください。



## シートベルトの点検

シートベルトを安全にお使いいただくために、定期的な点検を行ってください。点検の確認ポイントは下記のとおりです。

- すべてのベルトをいっぱいまで引き出し、ほつれ、破れ、焼けこげ、すり切れがないか？
- バックルが確実に固定されるか？
- ベルトがスムーズに巻き取られるか？

## ※妊娠中のかたのシートベルト着用のしかた

### ⚠ 注意

**妊娠中のシートベルト着用は、医師に確認する。**

万一のとき、腹部、胸部、肩部などに圧迫を受けることがあります。

妊娠中のかたは以下の点に注意してください。万一の衝突時にフロントエアバッグによって、ご自身と赤ちゃんが傷害を受ける危険性が軽減されます。

- 運転するときは上体を起こして、運転に支障のない範囲でシートをなるべく後ろに下げる
- 助手席にすわる場合も、シートはできるだけ後ろに下げる


## ※シートベルトの点検

ベルトがスムーズに巻き取られない場合、ベルトが汚れていないことを確認してください。

ベルトが汚れているとスムーズに巻き取られない場合があります。まず、ベルトに汚れがないか確認してください。汚れを落とすと動きが元に戻ることがあります。

ベルトが破損していたり、正しく作動しない場合は、ベルトを交換してください。

## エアバッグの種類

エアバッグは、エンジンスイッチが  のときに車体が衝突による衝撃を受けると膨らみ、運転者および同乗者の受ける衝撃を緩和させます。

エアバッグには下記の種類があり、衝突の方向や条件などにより作動が異なります。

- **SRS エアバッグ**：フロントシートの前方向エアバッグ
- **サイドエアバッグ\***：フロントシートの横方向エアバッグ
- **サイドカーテンエアバッグ\***：窓側の天井部両側についてエアバッグ

## SRS エアバッグ

運転席と助手席についています。前方向からの衝突により、SRS エアバッグが膨らんで運転者と助手席の同乗者の頭と胸部への衝撃を緩和します。

**SRS**：サプリメンタルレストRAINTシステム(Supplemental Restraint System)の略で、シートベルトの補助拘束の意味。

### 格納場所

運転席側はハンドルの中央、助手席側はダッシュボードに SRS エアバッグが格納されています。どちらも「SRS AIRBAG」と表示されています。

### 作動のしくみ

SRS エアバッグが作動するのは、一定以上の衝撃で前方向から衝突したときです。このとき、センサーが衝突による急激な減速を検知し、コントロールユニットのはたらきにより運転席と助手席の SRS エアバッグが膨らみます。

### ※エアバッグの種類

#### 警告

**エアバッグ装備車でもシートベルトは必ず使用する。**

エアバッグは、衝撃を緩和するためのシステムで、シートベルトの補助拘束具です。エアバッグ装備車であっても、必ず正しくシートベルトを着用してください。シートベルトを着用しないと、衝突時にエアバッグの効果が十分に発揮されず、重大な傷害や死亡などの危険性が高くなります。

#### 注意

**エアバッグが膨らんだ直後は、構成部品に触れない。**

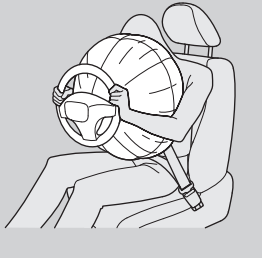
エアバッグの構成部品が熱くなっているため、やけどなどの思わぬけがをすることがあります。

エアバッグは非常に速い速度で膨らみます。

エアバッグとの接触により、すり傷、やけど、打撲などを受けることがあります。

## SRS エアバッグの作動

作動時



前方向から衝突すると、シートベルトが乗員の下半身と胴体を拘束し、SRS エアバッグが頭と胸部を保護します。

運転者の視界を妨げたり、ハンドル操作の邪魔にならないように、SRS エアバッグは膨らんだあとすぐにしぼみます。

SRS エアバッグは、次のような場合に作動します。

- 20～30km/h以上の速度で、きわめて厚い固定されたコンクリートの壁に真正面から衝突したときと同等か、それ以上の衝撃を受けたとき
  - 車両の前方左右約30度以内の方向から強い衝撃を受けたとき
- 衝撃を吸収できるもの(車やガードレールのように変形するもの)に衝突した場合、作動するときの車速は高くなります。

次のような場合、車両下部に強い衝撃を受けたとき作動することがあります。

- 縁石や地面の突起物に衝突したとき
- 深い溝や穴に落ちたとき
- 高いところから落ちたとき

## ⚠SRSエアバッグの作動

### ⚠警告

**インストルメントパネルに手をついたり頭や胸を近づけた状態で乗車しない。**

SRS エアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け重大な傷害を受けるおそれがあります。

### ⚠注意

**ハンドルやインストルメントパネル上面に、ステッカーを貼ったり、ものを置いたりしない。**

SRS エアバッグが正常に機能しなくなったり、エアバッグが膨らんだときに置いたものが飛んで運転者や同乗者がけがをする原因になります。

エアバッグが膨らむときに、空中に粉が舞うことがあります。

この粉は無害ですが、場合によっては一時的に不快感をおぼえることがあります。安全を確認後、ただちに車外に出てください。

エアバッグの作動は、衝突状況とシートベルト着用の有無により異なります。

そのため、運転席または助手席のエアバッグが片側のみ作動することがあります。

次のような場合、SRS エアバッグが作動しないことがあります。

- 電柱、立ち木などへの衝突
- トラックなどへの潜り込み
- 部分的な衝突や斜め方向からの衝突

車体の部位によって衝撃の吸収度合いが異なりますので、損傷状態の大小とSRS エアバッグの作動は必ずしも一致しません。

シートベルトだけで乗員を保護できるような低い速度での衝突や次のような場合、乗員保護の効果がないので作動しません。

- 横方向からの衝突
- 後部からの衝突
- 横転または転覆

事故の状況、形態によっては、SRS エアバッグが作動することがあります。

※SRSエアバッグの作動



**注意**

**SRS エアバッグの分解、取り外しはしない。**

不適切な取り扱いは故障や誤作動の原因となります。

車体が衝撃を十分に吸収できた場合、システムは作動しません。



## サイドエアバッグ\*

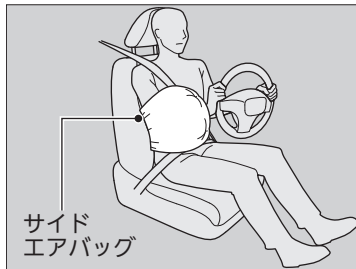
フロントシートの背もたれの外側にあるエアバッグです。側面からの衝突により、エアバッグが膨らみ、運転者と助手席の同乗者の胸部への衝撃を緩和します。

### 格納場所



運転席、助手席ともにシートの背もたれ外側に格納されています。  
どちらも「SIDE AIRBAG」と表示されています。

### 作動のしくみ



サイドエアバッグは、約 30km/h 以上の速度で自車と同等の車が真横から衝突したときと同等か、それ以上の衝撃を受けたときに運転席または助手席のサイドエアバッグが膨らみます。

車両側面に斜めから衝突された場合、サイドエアバッグが作動するときの車速は高くなります。

### ※サイドエアバッグ

#### ⚠ 注意

**ドアやその周辺にアクセサリなどを取り付けたり、ものを置いたりしない。**

正常に作動しなかったり、作動時にこれらのものが飛ぶことがあります。

**サイドエアバッグ収納部に衝撃や無理な力を加えない。**

サイドエアバッグは衝撃を受けた側のみ作動します。

サイドエアバッグは側面からの衝突に対して作動するため、衝撃を受けた側のみ作動します。また、助手席側に乗員がいないときでもサイドエアバッグが作動します。

サイドエアバッグは、シートベルトを着用し上体を起こしてシートに深く腰かけているときに保護効果を発揮します。

サイドエアバッグの保護効果を維持するために、シートベルトは正しく着用してください。

サイドエアバッグがシートカバーによっては、正常に機能できなくなります。

フロントシートへのシートカバー装着にあたってはHonda販売店にご相談ください。

## ■作動条件

次のような場合、車両下部に強い衝撃を受けたとき作動することがあります。

- 縁石や地面の突起物に衝突したとき
- 深い溝や穴に落ちたとき
- 高いところから落ちたとき

次のような場合、サイドエアバッグが作動しないことがあります。

- 乗員付近以外の側面への衝突

サイドエアバッグは乗員の受ける衝撃の大きさによって作動するようになっていますので、車両の損傷状態の大小とサイドエアバッグの作動は必ずしも一致しません。

低い速度での衝突や次のような場合、乗員保護の効果がないので作動しません。

- 正面衝突
- 後部からの衝突
- 横転または転覆

事故の状況、形態によっては、サイドエアバッグが作動することがあります。

## ※サイドエアバッグ



### 注意

**ドアに寄りかからない。  
サイドエアバッグの格納部に手や顔を必要  
以上に近づけない。**

**セカンドシート同乗者は、フロントシート  
の背もたれを抱えない。**

サイドエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を  
受け傷害を受けるおそれがあります。

**サイドエアバッグの分解、取り外しはしな  
い。**

不適切な取り扱いが故障や誤作動の原因と  
なります。

エアバッグが膨らむときに、空中に粉が舞う  
ことがあります。

この粉は無害ですが、場合によっては一時的  
に不快感をおぼえることがあります。  
安全を確認したら、ただちに車外に出てくだ  
さい。

## ■ サイドエアバッグ自動停止システム

助手席に乗ったお子さまなどを保護する目的で、以下のような状態ではサイドエアバッグ自動停止システムがはたらきます。

- 小さなお子さまや小柄な大人のかたがドアに寄りかかるなどで、サイドエアバッグが膨らむ付近に頭があるようなとき
- 助手席の同乗者がサイドエアバッグの作動範囲に入ったとき
- 大人のかたが前かがみになっていたり、寝そべてドアに寄りかかっているとき

こうした状態になるとセンサーが検知し、サイドエアバッグ自動停止表示灯が点灯します。

▶ サイドエアバッグ自動停止表示灯\* P.37

## ■ サイドエアバッグ自動停止表示灯の点灯

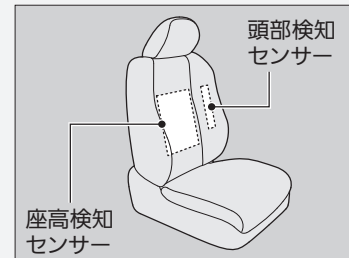
サイドエアバッグ自動停止表示灯が点灯したら、同乗者に体を起こすように指示してください。また、小さなお子さまの場合は、セカンドシートまたはサードシートに乗せてください。

表示灯が消灯すると、サイドエアバッグは自動停止状態を解除し、通常の状態に戻ります。

## ※ サイドエアバッグ

各センサーにより乗員の姿勢を検知して、サイドエアバッグの作動を制御します。

ドアにもたれるなどしないように注意してください。



以下のような場合、センサーが正常に作動しないことがあります。

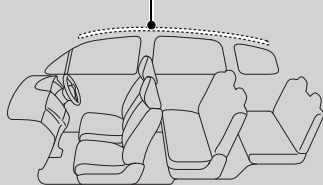
- シートの背もたれがぬれているとき
- 金属など電気を通すものが接しているとき
- シートにクッションなどを置いているとき
- ダウンジャケットなど厚い上着を着ているとき

## サイドカーテンエアバッグ\*

窓側の天井部にあるエアバッグです。側面からの衝突により、エアバッグが膨らみ、乗員の頭部への衝撃を緩和します。

### 格納場所

サイドカーテンエアバッグ収納部



運転席側、助手席側ともに窓側の天井部に格納されています。

どちらも「SIDE CURTAIN AIRBAG」と表示されています。

### ※サイドカーテンエアバッグ

#### ⚠ 注意

**サイドカーテンエアバッグが正常に作動しなかったり、作動時にものが飛んだりすることがあるので、以下のことに注意する。**

- フロントガラス、ドアガラス、フロント、センター、リヤの各ピラーまわりにアクセサリなどを取り付けない
- グラブレードにものをかけない

正常に作動しなかったり、作動時にこれらのものが飛ぶことがあります。

**サイドカーテンエアバッグは衝撃を受けた側のみ作動します。**

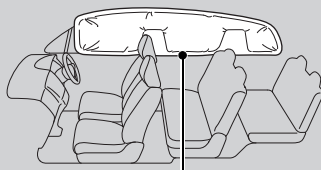
サイドカーテンエアバッグは側面からの衝突に対して作動するため、衝撃を受けた側のみ作動します。また、助手席側が衝撃を受けた場合は、助手席側に乗員がいないときでもサイドカーテンエアバッグが作動します。

**サイドカーテンエアバッグは、シートベルトを着用し上体を起こしてシートに深く腰かけているときに保護効果を発揮します。**

サイドカーテンエアバッグの保護効果を維持するために、シートベルトは正しく着用してください。

## ■ 作動のしくみ

作動時



サイドカーテンエアバッグ

サイドカーテンエアバッグが作動するのは、一定以上の衝撃で側面方向から衝突したときです。運転席側または助手席側のサイドカーテンエアバッグが膨らみます。

### ■ 作動条件

サイドカーテンエアバッグの作動条件は、サイドエアバッグと同じ条件です。

▶ 作動条件 P.32

### ■ 前方向から衝突したときの作動

前方向からの衝突時、横方向に一定以上の力がかかると、SRS エアバッグが膨らんだあと必要な側のサイドカーテンエアバッグが膨らみます。

## ※ サイドカーテンエアバッグ

### ⚠ 注意

**サイドカーテンエアバッグ収納部に衝撃を加えない。**

収納部に傷が付いていたり、ひび割れがあるときは、Honda 販売店で交換してください。

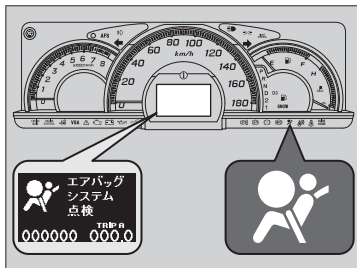
**サイドカーテンエアバッグの分解、取り外しはしない。**

不適切な取り扱いが故障や誤作動の原因となります。

## エアバッグシステム警告灯 / 表示灯

エアバッグやシートベルトプリテンショナーの異常などを、警告灯や表示灯で知らせます。電子制御パーキングブレーキ装備車は、マルチインフォメーションディスプレイにも表示されます。

### ■ エアバッグシステム警告灯



#### ■ エンジンスイッチを **II** にしたとき

エンジンスイッチを **II** にすると、エアバッグシステム警告灯が数秒間点灯し、消灯すれば正常です。

#### ■ 異常が発生したとき

エアバッグシステムまたはプリテンショナーシステムに異常があるときに点灯します。

### ⚠ エアバッグシステム警告灯



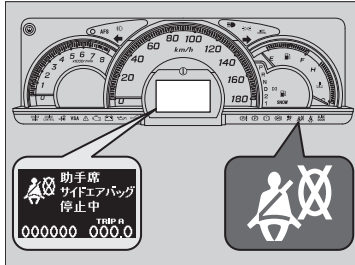
#### エアバッグシステム警告灯を無視しない。

エアバッグシステム警告灯を無視すると、エアバッグシステム、プリテンショナーシステムが正しく機能せず、重大な傷害を受けたり死亡したりするおそれがあります。エアバッグシステム警告灯が点灯する場合は、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

エアバッグシステム警告灯が点灯状態のときは、Honda販売店で点検を受けてください。

エンジンスイッチを **II** にしたときにエアバッグシステム警告灯が点灯しない場合も、エアバッグシステムまたはプリテンショナーシステムに異常がある可能性があります。ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

## ■ サイドエアバッグ自動停止表示灯\*



■ エンジンスイッチを **II** にしたとき  
 エンジンスイッチを **III** にすると、サイドエアバッグ自動停止表示灯が数秒間点灯し、消灯すれば正常です。

## ■ サイドエアバッグ自動停止システムの作動

サイドエアバッグの自動停止システムが作動して、助手席のサイドエアバッグシステムが停止状態になると、サイドエアバッグ自動停止表示灯が点灯します。

この表示灯が点灯していても、異常ではありません。

➡ サイドエアバッグ自動停止システム P.33

## ※ サイドエアバッグ自動停止表示灯

以下の状態で点灯する場合、Honda販売店で点検を受けてください。

- 走行中、助手席に誰も乗っていないとき
  - 正しい乗車姿勢をとっているとき
- エンジンスイッチを **II** にしても点灯しないとき、あるいは数秒経過しても消灯しないときも、Honda販売店で点検を受けてください。

助手席の同乗者が正しい乗車姿勢をとっている状態で、サイドエアバッグ自動停止表示灯が点灯する場合は、下記の項目を確認してください。

- シートの背もたれがぬれていないか？
- 金属など電気を通すものが接していないか？
- シートにクッションなどを置いていないか？
- ダウンジャケットなど厚い上着を着ていないか？

原因となるものを取り除いても、サイドエアバッグ自動停止表示灯が点灯している場合はHonda販売店で点検を受けてください。

## エアバッグのお手入れ

---

エアバッグシステムは、メンテナンスを必要とせず、部品交換の必要もありません。ただし、以下の場合は Honda 販売店で点検を受けてください。

### ■エアバッグが作動し、膨らんだとき

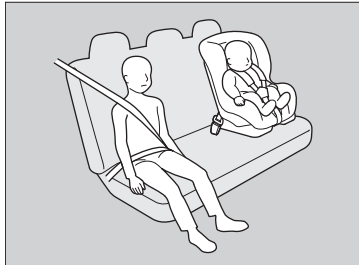
一度作動したエアバッグは、コントロールユニットやその他の関連部品とともに必ず交換する必要があります。

また、シートベルトプリテンショナーも同様に、一度作動した場合は新品と交換する必要があります。



## お子さまの安全を守るために

お子さまが乗車するときは、下記の注意点を確認し、お子さまの安全を確保してください。



- お子さまはセカンドシートまたはサードシートに乗せる
  - ▶ お子さまを助手席に乗せると、不意の動作が気になったり、スイッチ類をいたずらしたりするなど運転の妨げになるおそれがあります。また、SRS エアバッグが膨らむ際、強い衝撃があるため危険です。
- お子さまにも必ずシートベルトを着用させる
  - ▶ お子さまを抱えていても、衝突したときに支えることができず危険です。正しい着用方法でお子さまにもシートベルトをしてください。
- 乳幼児にはチャイルドシートを使用する
  - ▶ 乳幼児を乗せるときは、必ずチャイルドシートを使用します。
- 窓やサンルーフから手や顔、物を出さない
  - ▶ 走行中や一時停止時などに、お子さまが窓やサンルーフから手や顔、物などを出さないように注意してください。思わぬ障害物により事故のおそれがあり危険です。
- ドア、ウィンドー、シートなどの操作は必ず大人が行う
  - ▶ 思わぬけがの原因となりますので、お子さまにはドア、ウィンドー、シートなどの操作をさせないでください。
- 車を離れるときは、お子さまを連れて出る
  - ▶ お子さまだけを車内に残さないでください。特に、炎天下の車内は高温になり危険です。また、お子さまのいたずらにより、車の発進、火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。

### ❖ お子さまの安全を守るために



## 警告

### チャイルドシートは後席に設置する。

助手席に設置すると SRS エアバッグが作動したときの衝撃で、重大な傷害を受けたり、死亡するおそれがあります。

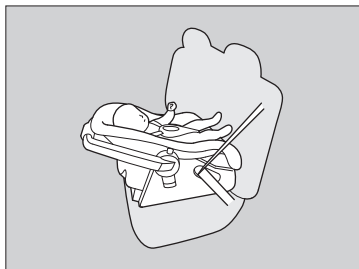
**お子さまを助手席に乗せないほうが良い理由は下記の通りです。**

- お子さまが助手席のシートに正しく乗車できないと、SRSエアバッグが膨らんだときに重大な傷害を負うおそれがある
- サイドエアバッグシステム装備車は、お子さまの体の一部がサイドエアバッグの作動範囲に入ると、サイドエアバッグが膨らんだときに重大な傷害を負うおそれがある

## 乳幼児の安全

### 乳児のチャイルドシート

首のすわっていない乳児は、乳児用のチャイルドシートを正しく固定し、乗せてください。



#### ■後ろ向きのチャイルドシートの設置場所

セカンドシートやサードシートに設置することができます。

推奨するのは、助手席の真後ろの席への設置です。その場合、助手席には人を乗せず助手席のシートをできるだけ前に出してください。

### ※乳児のチャイルドシート



**警告**

**後ろ向きのチャイルドシートを前向きにして使わない。**

前向きにして使うと前方から衝突したときに、乳児が重大な傷害を負うおそれがあります。

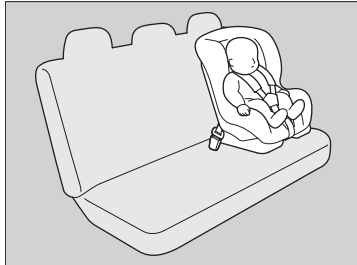
**後ろ向きのチャイルドシートは助手席に設置しない。**

助手席の SRS エアバッグが膨らんだときに、チャイルドシートの背面にエアバッグが当たり、乳児が重大な傷害を負ったり死亡したりするおそれがあります。

運転席を推奨する位置まで下げられなかったり背もたれの角度を調節できなかったりした場合は、助手席真後ろの席に設置してください。

## 幼児のチャイルドシート

チャイルドシートメーカーが指定する範囲内の幼児は、前向きのチャイルドシートを正しく固定し、乗せてください。



### ■前向きのチャイルドシートの設置場所

セカンドシートまたはサードシートへの設置を推奨します。

## ※幼児のチャイルドシート

### 警告

#### 助手席に前向きのチャイルドシートを設置しない。

助手席に前向きのチャイルドシートを設置すると、助手席のシートが前に出すぎたり、衝突したときに幼児の頭が前に投げ出されると SRS エアバッグで強い衝撃を受けるため、重大な傷害を負ったり死亡したりするおそれがあります。

やむをえず助手席に前向きのチャイルドシートを設置する場合は、助手席のシートをできるだけ後ろに下げて設置してください。

## ■チャイルドシートの選びかた

チャイルドシートを購入するときは、シートベルト固定タイプチャイルドシートまたは車両限定型 ISOFIX チャイルドシートをお選びください。

シートベルト固定タイプチャイルドシートは、シートベルトを用いて座席に固定します。

車両限定型 ISOFIX チャイルドシートは、セカンドシート外側 2 座席に付属しているロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジで固定するため取り付けが簡単です。

## ■チャイルドシート選択の条件

チャイルドシートが適切な保護効果を発揮するためには、以下の3つの条件を満たしている必要があります。

- チャイルドシートは国土交通省が型式指定、認可したマークがついた製品、またはアメリカやヨーロッパなどの安全基準に合格した製品であること
- チャイルドシートがお子さまに合ったタイプとサイズであること
- チャイルドシートが取り付ける車の座席にあったものであること

## ☒チャイルドシートの選びかた

**車両限定型ISOFIXチャイルドシートは取り付けが簡単です。**

車両限定型ISOFIXチャイルドシートは取り付けを簡単にすることで、不適切な取り付けが原因で起きる傷害を減らすために開発されたものです。

Honda純正のチャイルドシートをご用意しています。ご購入、ご使用に際してはHonda販売店にご相談ください。

## ■シートベルトで固定するチャイルドシートについて

この車には様々なタイプのチャイルドシートが利用可能ですが、すべてのタイプが適当であるというわけではありません。

### ■選択の目安

詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

	体重(kg)	参考身長(cm)	参考年齢
乳児用シート	～10	～75	～12か月
幼児用シート	9～18	70～100	9か月～4才
ジュニアシート	15～36	100～150	4才～12才

## ■車両限定型 ISOFIX チャイルドシートについて

この車のセカンドシート外側2座席には、車両限定型 ISOFIX チャイルドシートを取り付けるためのロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジを装備しています。

### ■選択の目安

詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

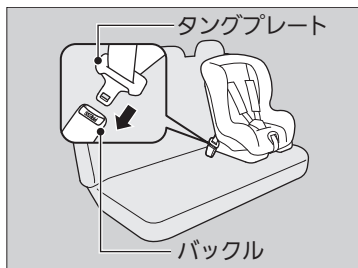
	体重(kg)	参考身長(cm)	参考年齢
乳児用シート	～9	～70	～9か月
幼児用シート	9～18	70～100	9か月～4才

## ※シートベルトで固定するチャイルドシートについて

車両限定型ISOFIXチャイルドシート以外のチャイルドシートを使用するときは、シートの種類や取り付けの向きにより固定金具(ロッキングクリップ)が必要になる場合があります。

詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

## ■シートベルトでの取り付け



1. チャイルドシートを座席に置く。
2. シートベルトをチャイルドシートに通し、タンクプレートをバックルに差し込む。  
▶このとき、バックルが「カチリ」という音がするまできちんと差し込んでください。



3. チャイルドシートに付属の取扱説明書にしたがって取り付ける。
4. チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認する。

## ■チャイルドシートの取り外し

バックルを外し、シートベルトをチャイルドシートから引き抜きます。

## ※シートベルトでの取り付け



**注意**

**チャイルドシートが確実に固定されているか確認する。**

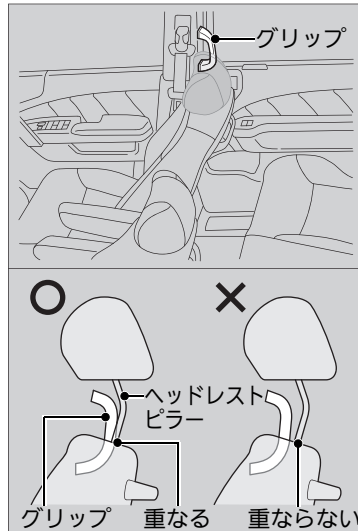
確実に固定されていないと、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。

チャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読んでください。

チャイルドシートの種類によりシートベルトの固定に固定金具(ロックングクリップ)が必要になります。

## 車両限定型 ISOFIX チャイルドシートの取り付け

車両限定型 ISOFIX チャイルドシートは、セカンドシート外側 2 座席に設置できます。チャイルドシートを前向きに取り付けるときは、ロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジで固定します。後ろ向きに取り付けるときは、ロアアンカレッジで固定します。



### ■前向きに取り付けるとき

1. チャイルドシートを取り付ける側のセカンドシートを一番後ろに下げる。

▶ セカンドシート P.129

2. チャイルドシートを取り付ける側のフロントシートのヘッドレストピラー根元が、グリップと重なる位置よりも前になるように、背もたれの角度、シートの前後位置を調節する。

▶ フロントシート P.126

## ▶▶ 車両限定型 ISOFIX チャイルドシートの取り付け

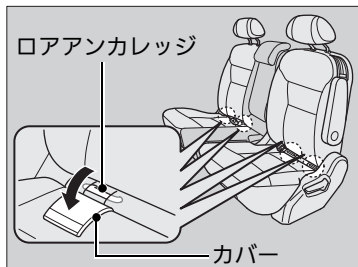
### ⚠ 注意

**ロアアンカレッジ周辺に、異物やシートベルトのかみ込みがないか確認する。**

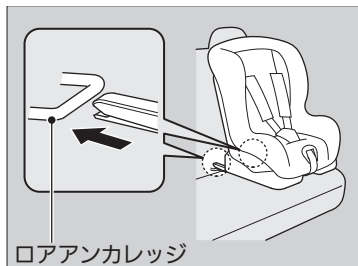
異物やシートベルトをかみ込むとチャイルドシートが確実に固定されず、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。

車両限定型 ISOFIX チャイルドシートは、シートベルトで固定する必要はありません。

チャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読んでください。

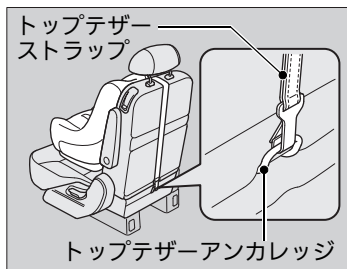


3. シートクッションと背もたれのすき間のカバーをめくり、□アンカレッジを確認する。



4. チャイルドシートを座席に置き、チャイルドシートの取扱説明書にしたがって□アンカレッジに取り付ける。

▶取り付けの際に、異物やシートベルトなどが□アンカレッジにかみ込まないようにしてください。



5. ヘッドレストを持ち上げ、トップテザーストラップをヘッドレストの下に通す。

▶このときトップテザーストラップがねじれないように注意してください。

6. トップテザーストラップをトップテザーアンカレッジに引っ掛け、ストラップを締める。

7. チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認する。

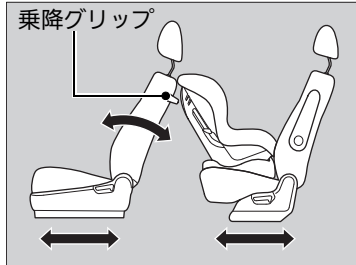
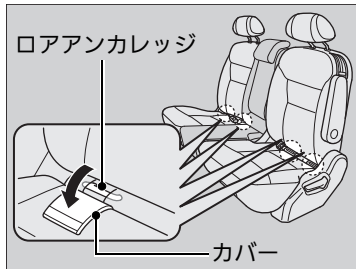
▶▶車両限定型ISOFIXチャイルドシートの取り付け

**⚠ 注意**

**チャイルドシートが確実に固定されているか確認する。**

確実に固定されていないと、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。





### ■後ろ向きに取り付けるとき

1. シートクッションと背もたれのすき間のカバーをめくり、ロアアンカレッジを確認する。
2. チャイルドシートをチャイルドシートに付属の取扱説明書にしたがって取り付ける。
3. チャイルドシートの上部がフロントシートの背もたれ、または乗降グリップに接するように、シートの前後位置や、フロントシートの背もたれの角度を調節する。

▼ フロントシート P.126

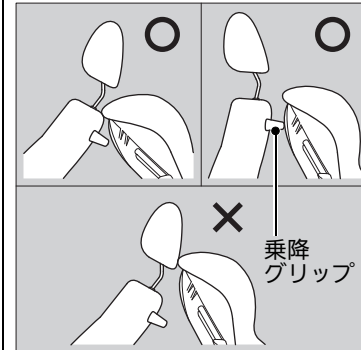
▼ セカンドシート P.129

### ※車両限定型ISOFIXチャイルドシートの取り付け

#### ⚠ 注意

運転者が正しい運転姿勢を取れない場合には、助手席側のセカンドシートにチャイルドシートを取り付ける。

チャイルドシートは必ずフロントシートの背もたれまたは乗降グリップに接するようにして、ヘッドレストでは支えない。



## 大きなお子さまの安全

### ■ シートの使用について

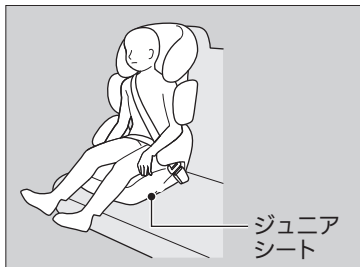
幼児用のチャイルドシートの使用条件を超えるお子さまは、セカンドシートまたはサードシートに乗せて三点式シートベルトを着用させてください。お子さまをシートに深くすわらせ、以下の確認項目でひとつでも適合しない場合、ジュニアシートの使用が必要です。



#### ■ 確認項目

- お子さまのひざがシートの前端で無理なく曲がっているか？
- 肩ベルトがお子さまの首と腕の間にかかっているか？
- 腰ベルトが低い位置にあり、お子さまの太ももに触れているか？
- 乗車中、無理なくすわっていられるか？

### ■ ジュニアシートについて



三点式シートベルトを使用できず、ジュニアシートを用いる必要があるお子さまは、ジュニアシートをセカンドシートまたはサードシートに設置して使用してください。

安全のため、お子さまがジュニアシートの使用に適した範囲に入っているか確認してください。

### ※ 大きなお子さまの安全



**警告**

**お子さまは助手席に乗せない。**

お子さまを助手席に乗せると、SRS エアバッグが膨らんだときに、重大な傷害を負うおそれがあります。

やむをえず、助手席にお子さまを乗せる場合は、できるだけシートを後方に下げ、必要ならばジュニアシートを使用し、適切にシートベルトを着用してすわらせてください。

やむをえずお子さまを助手席に乗せる場合は、次ページの注意事項を厳守してください。

### ※ ジュニアシートについて

ジュニアシートの取り付けについては、ジュニアシートに付属の取扱説明書をよく読み、正しく取り付けてください。

ジュニアシートには、座高の高いものと低いものがあります。お子さまが適切にシートベルトを着用できるものを選択してください。

## ■ やむをえず、お子さまを助手席に乗せる場合

正しい姿勢ですわる、走行中にシートベルトを着用するなどの規則をお子さまが守ることができ、お子さまを助手席に乗せても安全と判断した場合、下記の項目を守ってお子さまを乗車させてください。

- この取扱説明書をよく読み、シートベルトに関する指示と安全に関して十分に理解する
- 助手席を一番後ろまで下げる
- 上体を起こし、シートに深く腰かけ、足をフロアーにつけるよう指示する
- お子さまのシートベルトが正しい位置で、しっかり固定されているか確認する
- お子さまの行動を見守る

## 一酸化炭素について

車の排気ガスには一酸化炭素が含まれています。車をきちんと保守していれば、一酸化炭素が車内に入ることはありません。

以下の場合、排気ガスのもれがないかHonda販売店で点検を受けてください。

### ■点検が必要な場合

- 排気音に異常を感じたとき
- 車が衝突し、排気システムが損傷した可能性があるとき

### ☒一酸化炭素について



**警告**

**一酸化炭素を吸い込む危険性のある作業を避ける。**

一酸化炭素は有毒です。一酸化炭素を吸い込むと意識不明になったり、死亡したりするおそれがあります。

密閉された場所での作業や、一酸化炭素を吸い込む危険性のある作業はしないでください。

**降雪時や積雪のある場所では、エンジンをかけたままにしない。**

周囲に積もった雪により排気ガスが滞留し車内に入ってくると、重大な傷害や死亡にいたるおそれがあります。

ガレージなどの密閉された場所は、一酸化炭素が急に充満するおそれがあります。

ガレージのドアを閉めたままエンジンを始動しないでください。ドアが開いている場合でも、ガレージから車を出す直前にエンジンを始動してください。

# 計器の見かた

この章では、運転中に使用するスイッチや警告灯・表示灯、メーター類に関する情報を記載しています。

## 警告灯と表示灯

警告灯 ..... 52

表示灯 ..... 57

マルチインフォメーションディスプレイ\*  
の警告メッセージ ..... 60

## メーターとインフォメーションディスプレイ

メーター ..... 62

インフォメーションディスプレイ\* ..... 64

マルチインフォメーションディスプレイ\* .. 67






キーによるカスタマイズのしかた ..... 78

## 警告灯


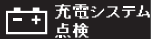
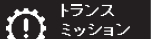

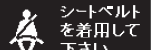

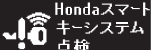
計器の見た

警告灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識	メッセージ※ マルチインフォメーション ディスプレイ装備車
	ブレーキ警告灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンジンスイッチを <b>II</b> にすると数秒点灯したあと、消灯(電子制御パーキングブレーキ非装備車は、パーキングブレーキをかけているときは点灯)</li> <li>ブレーキフルード量が低下したときに点灯</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>走行中に点灯したりパーキングブレーキを解除しても点灯するときは、ブレーキフルードを点検し、下限より減っている場合はただちに Honda 販売店で点検を受けてください。</li> <li>ABS 警告灯と同時に点灯した場合も、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。</li> </ul> <p>▶ ブレーキ警告灯が点灯した P.267</p>	 
	油圧警告灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンジンスイッチを <b>II</b> にすると点灯し、エンジン始動で消灯</li> <li>エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>走行中に点灯</b> = ただちに安全な場所に車を停車し、対処してください。</li> </ul> <p>▶ 油圧警告灯が点灯した P.266</p>	
	PGM-FI 警告灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンジンスイッチを <b>II</b> にすると点灯し、エンジン始動で消灯 エンジンを始動していないときは数十秒後消灯</li> <li>エンジンの排気ガス制御システムに異常があると点灯</li> <li>エンジン各気筒の失火状態を検知したときに点滅</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>走行中に点灯</b> = 高速走行を避けてただちに Honda 販売店で点検を受けてください。</li> <li><b>走行中に点滅</b> = 枯草などの可燃物のない安全な場所に停車し、10 分以上エンジンを停止して冷えるのをお待ちください。</li> </ul> <p>▶ PGM-FI 警告灯が点灯 / 点滅した P.267</p>	

※：メッセージはマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。









警告灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識	メッセージ※ マルチインフォメーション ディスプレイ装備車
	電子制御パーキングブレーキ作動警告灯*	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンジンスイッチを <b>II</b> にすると数秒点灯したあと、消灯(パーキングブレーキをかけているときは点灯)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パーキングブレーキがかかっているときに、エンジンスイッチを <b>II</b> から <b>I</b> または <b>0</b> にすると、約15秒後に消灯</li> <li>電子制御パーキングブレーキが異常のとき、電子制御パーキングブレーキシステム警告灯の点灯と同時に点滅することがあります。この場合、パーキングブレーキが作動しないことがあります。</li> </ul>	 
	電子制御パーキングブレーキシステム警告灯*	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンジンスイッチを <b>II</b> にすると数秒点灯したあと、消灯</li> <li>電子制御パーキングブレーキが異常のときに点灯</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>点灯したときは、パーキングブレーキを使用せずに、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。  <b>▶ 電子制御パーキングブレーキシステム警告灯* が点灯した P.268</b></li> </ul>	

※：メッセージはマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。




警告灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識	メッセージ※ マルチインフォメーション ディスプレイ装備車
	充電警告灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンジンスイッチを <b>II</b> にすると点灯し、エンジン始動で消灯</li> <li>バッテリーが充電されていないと点灯</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>走行中に点灯</b> = 電気の消費量を減らすため、エアコンやリヤデフロスターなどを OFF にし、対処してください。 ▶ 充電警告灯が点灯した P.266</li> </ul>	 TRIP A 000000 000.0
<b>D</b>	トランスミッション警告灯 (セレクトポジション表示灯)	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンジンスイッチを <b>II</b> にすると数秒点灯したあと、消灯</li> <li>トランスミッションが異常のときに点滅</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運転中に点滅した場合は、急発進、急加速を避けて、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。</li> </ul>	 TRIP A 000000 000.0
	シートベルト非着用警告灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>運転者がシートベルトをしないと点灯</li> <li>エンジンスイッチを <b>II</b> にしたときや走行中、運転者がシートベルトを着用していないとブザーが鳴り、ブザーが鳴っている間は警告灯が点滅</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>シートベルトを正しく着用するとブザーがやみ、警告灯が消灯します。</li> <li>シートベルトを正しく着用していても警告灯が点灯する場合は、センサーの誤検知などの要因が考えられます。 ▶ シートベルトリマインダー P.22</li> </ul>	 TRIP A 000000 000.0
	Honda スマートキーシステム警告灯*	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンジンスイッチを <b>II</b> にすると数秒点灯したあと、消灯</li> <li>Honda スマートキーシステムが異常のときに点灯</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>下記のような場合、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>運転中に点灯した</li> <li>エンジン始動後も消灯しない</li> <li>エンジンスイッチが <b>0</b> のときに数秒間点灯した</li> </ul> </li> </ul>	 TRIP A 000000 000.0

※：メッセージはマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。



警告灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識	メッセージ※ マルチインフォメーション ディスプレイ装備車
	燃料残量警告灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>燃料の残量が少なくなると点灯</li> <li>点灯するのは、タンクに残っている残量がおよそ 11 リットル(2WD 車)、10 リットル(4WD 車)になったときです。</li> <li>燃料計に異常があるときは点滅</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>点灯したら早めに給油してください。</li> <li>点滅したときは、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。</li> </ul>	
	ABS(アンチロックブレーキシステム)警告灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンジンスイッチを <b>II</b> にすると数秒点灯したあと、消灯</li> <li>ABS が異常のときに点灯</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>点灯したときは、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。</li> <li>▶ ABS(アンチロックブレーキシステム) P.195</li> </ul>	
	エアバッグシステム警告灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンジンスイッチを <b>II</b> にすると数秒点灯したあと、消灯</li> <li>下記のとき点灯 <ul style="list-style-type: none"> <li>エアバッグシステムの異常</li> <li>プリテンショナーシステムの異常</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>常時点灯、あるいは全く点灯しない場合は、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。</li> </ul>	
<b>VSA</b>	VSA(ビークルスタビリティアシスト)警告灯*	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンジンスイッチを <b>II</b> にすると数秒点灯したあと、消灯</li> <li>VSA システムが異常のときに点灯</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運転中に点灯したときは、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。</li> <li>▶ VSA(ビークルスタビリティアシスト)* P.189</li> </ul>	
<b>LIGHT CONTROL</b>	オートライトコントロール警告灯*	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンジンスイッチを <b>II</b> にすると数秒点灯したあと、消灯</li> <li>オートライトコントロールシステムが異常のとき点灯</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運転中に点灯した場合は、ライトの点灯、消灯は手動で行い、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。</li> </ul>	

※：メッセージはマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。



警告灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識	メッセージ※ マルチインフォメーション ディスプレイ装備車
	ドア / テールゲート開閉警告灯*	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ドア、テールゲートが閉まっているときは、エンジンスイッチを <b>II</b> にすると数秒点灯したあと、消灯</li> <li>• ドア、テールゲートが完全に閉まっていないとき点灯</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ドア、テールゲートを完全に閉めると、警告灯が消灯します。</li> </ul>	
<b>AFS</b>	AFS(アダプティブフロントライティングシステム)警告灯*	<ul style="list-style-type: none"> <li>• エンジンスイッチを <b>II</b> にすると数秒点灯したあと、消灯</li> <li>• ヘッドライト点灯時に AFS を OFF にすると点灯</li> <li>• AFS が異常のときに点滅</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 運転中に点滅した場合は、安全な場所に停車しエンジンスイッチを <b>I</b> または <b>0</b> にしてから、エンジンを再始動してください。エンジン再始動後、警告灯が消灯すれば正常です。</li> <li>消灯しないときや再び点滅した場合は、通常走行に支障はありませんが、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。</li> <li>▶ <b>AFS(アダプティブフロントライティングシステム)*</b> P.116</li> </ul>	
<b>SLIDE DOOR</b>	パワースライドドア警告灯*	<ul style="list-style-type: none"> <li>• エンジンスイッチを <b>II</b> にすると数秒点灯したあと、消灯</li> <li>• パワースライドドアシステムに異常があるとき点灯</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 常時点灯、あるいは全く点灯しない場合は、スライドドアの開閉は手動で行い、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。</li> <li>▶ <b>パワースライドドア警告灯*・警告メッセージ*</b> P.101</li> </ul>	—

※：メッセージはマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。



## 表示灯

表示灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識	メッセージ※ マルチインフォメーション ディスプレイ装備車
	方向指示器 表示灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>方向指示器と対応し、左右どちらかが点滅</li> <li>非常点滅表示灯スイッチを押すと、左右同時に点滅</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>点滅しない／点滅の周期が速いときは、方向指示器の電球が切れています。ただちに電球を交換してください。 ▶ 電球の交換 P.216, 219, 220, 221</li> </ul>	—
	ハイビーム表示灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘッドライトを上向きにしたときに点灯</li> </ul>	—	—
	ライト点灯 表示灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>ライトスイッチが OFF 以外のときに点灯(AUTO のときは車幅灯点灯時に点灯)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ライトを点灯したままキーを抜く / プッシュオフにすると、運転席のドアを開けたときにライト消し忘れ警告ブザーが鳴ります。</li> </ul>	—
	フォグライト点 灯表示灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>フォグライトを点灯させると点灯</li> </ul>	—	—
	サイドエアバッ グ自動停止 表示灯*	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンジンスイッチを <b>II</b> にすると数秒点灯したあと、消灯</li> <li>助手席のサイドエアバッグシステムのセンサーが作動し、サイドエアバッグシステムが自動的に停止したときに点灯</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一瞬の点灯は異常ではありません。</li> <li>点灯したときは、上体を起こしてすわってください。小さいお子さまが助手席に乗っているときは、セカンド、サードシートに乗せてください。</li> <li>助手席に誰も乗っていないのに走行中点灯するときは、Honda 販売店で点検を受けてください。</li> </ul>	

※：メッセージはマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。

表示灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識	メッセージ※ マルチインフォメーション ディスプレイ装備車
	イモビライザーシステム表示灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>• エンジンスイッチを <b>II</b> にすると数秒点灯したあと、消灯</li> <li>• イモビライザーシステムがキーの情報を認識できないと点滅</li> <li>• エンジンスイッチを <b>II</b> から <b>I</b> または <b>0</b> にしたときも数回点滅</li> <li>• Honda スマートキーシステム装備車は、エンジンスイッチノブを <b>II</b> から <b>0</b> (プッシュオフ) にすると数回点滅</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 点滅しているときは、エンジンを始動することはできません。エンジンスイッチをいったん <b>0</b> へ回しキーを抜いてから、もう一度エンジンスイッチに差し込み <b>II</b> にしてください。Honda スマートキーシステム装備車は、エンジンスイッチを <b>0</b> (プッシュオフ) にしてから、もう一度 <b>II</b> にしてください。</li> <li>• エンジンスイッチを <b>II</b> にしても点灯しない場合や、頻繁に表示灯の点滅を繰り返す場合は、システムの異常が考えられますので Honda 販売店で点検を受けてください。</li> <li>• エンジンスイッチのそばに、別のキーや金属があるとイモビライザーシステムがキーの情報を読み取れないことがあります。</li> </ul>	—
	VSA(ビークルスタビリティアシスト) 作動表示灯*	<ul style="list-style-type: none"> <li>• エンジンスイッチを <b>II</b> にすると数秒点灯したあと、消灯</li> <li>• VSA を OFF にすると点灯</li> </ul>	■ VSA(ビークルスタビリティアシスト)* P.189	—


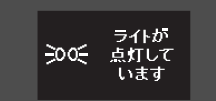
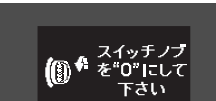
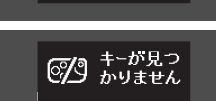
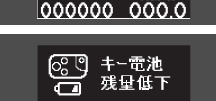
※：メッセージはマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。

表示灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識	メッセージ※
				マルチインフォメーションディスプレイ装備車
	インフォメーション表示灯*	<ul style="list-style-type: none"> <li>異常を検知すると、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。このとき同時に警告音も鳴り、点灯</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メッセージがマルチインフォメーションディスプレイに表示されたときは、表示灯、警告灯の該当ページを参照して、必要な処置を行ってください。</li> <li>メッセージは、警告が解除されるか、インフォメーション(❗)スイッチを押すまで通常表示に戻りません。</li> <li>点灯しているときにインフォメーション(❗)スイッチを押すと、メッセージを再表示させる事ができます。</li> </ul>	—
CRUISE MAIN	クルーズメイン表示灯*	<ul style="list-style-type: none"> <li>クルーズスイッチを押して、クルーズコントロールを ON にすると点灯</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ クルーズコントロール* P.186</li> </ul>	—
CRUISE CONTROL	クルーズコントロール表示灯*	<ul style="list-style-type: none"> <li>クルーズコントロールで自動定速走行しているときに点灯</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ クルーズコントロール* P.186</li> </ul>	—
SNOW	SNOW(スノー)モード表示灯*	<ul style="list-style-type: none"> <li>SNOW モードスイッチを押して、SNOW モードを ON にすると点灯</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ SNOW(スノー)モード* の操作 P.185</li> </ul>	—
表示灯 	セキュリティアラームシステム作動表示灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>セキュリティアラームシステムがセットされているときに点滅</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ セキュリティアラームシステム P.102</li> </ul>	—

※：メッセージはマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。

## マルチインフォメーションディスプレイ\*の警告メッセージ

下記の警告メッセージはマルチインフォメーションディスプレイにのみ表示されます。再表示させるときはインフォメーション(❶)スイッチを押してください。

警告メッセージ	表示される状況	アドバイス
	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンジンスイッチが <b>II</b> のときに、外気温が3℃以下になると1回のみ表示</li> </ul>	—
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ライトを点灯したままキーを抜く・プッシュオフにして、運転席のドアを開けると表示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ライトスイッチを OFF にしてください。  <b>☑ ライトスイッチ P.115</b></li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンジンスイッチが <b>I</b> のときに運転席のドアを開けると表示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンジンスイッチを <b>0</b> (プッシュオフ) にしてください。  <b>☑ Honda スマートキーシステム装備車のエンジンスイッチ P.112</b></li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンジンスイッチが <b>II</b> で、Honda スマートキーを車外に持ち出し、ドアを閉めたときに、警告音と同時に表示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>☑ Honda スマートキー持ち去り警告 P.113</b></li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>Honda スマートキーの電池残量が少なくなったときに、警告音と同時に表示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>☑ Honda スマートキー電池消耗警告 P.114</b></li> </ul>

警告メッセージ	表示される状況	アドバイス
	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンジンスイッチが <b>I</b> のときに運転席のドアを開けると表示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンジンスイッチを <b>0</b> にして内蔵キーをエンジンスイッチから抜いてください。                      ➡ Honda スマートキーシステム装備車のエンジンスイッチ P.112                      ➡ 内蔵キー*の差し込みかた P.260</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンジンスイッチが <b>0</b> のときに運転席のドアを開けると表示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>内蔵キーをエンジンスイッチから抜いてください。                      ➡ 内蔵キー*の差し込みかた P.260</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>以下のとき、マルチインフォメーションディスプレイのカスタマイズ設定をすと表示                             <ul style="list-style-type: none"> <li>セレクトレバーが <b>P</b> 以外のとき</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➡ カスタマイズのしかた P.72</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>パワースライドドアシステムに異常があるときに表示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スライドドアの開閉は手動で行い、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。                      ➡ パワースライドドア警告灯*・警告メッセージ* P.101</li> </ul>

# メーターとインフォメーションディスプレイ

## メーター

メーターには、スピードメーター、燃料計、水温計などの種類があります。

### ■スピードメーター

走行速度を km/h で表示します。

### ■燃料計

燃料タンクに残っている、燃料の量を表示します。  
エンジンスイッチが **II** のとき表示されます。

### ■水温計

エンジン冷却水の温度を表示します。通常は **H** のマークにまで上がらない状態で走行します。  
エンジンスイッチが **II** のとき表示されます。

### 燃料計

#### アドバイス

燃料計が **E** に近づいたら、早めに給油してください。

燃料がなくなるとエンジンが点火しなくなり、触媒装置を損傷することがあります。

実際の燃料残量と、メーターに表示される量は異なる場合がありますので、ご注意ください。

### 水温計

#### アドバイス

水温計が **H** のマークを示した場合、オーバーヒートのおそれがあります。

ただちに安全な場所に停めて、エンジンを冷やしてください。

➡ オーバーヒート P.265



## ■ タコメーター

1 分間あたりのエンジン回転数を表示します。

## ■ ウェルカムメーター照明

運転席ドアを開けると、メーターが点灯します。

次の場合、メーターの照明は消灯します。

- 運転席ドアを開けてから、何もせずに 3 分経過したとき
- 運転席ドアを閉めてから、何もせずに 30 秒経過したとき
- エンジンスイッチにキーを差し込んだまま、約 10 秒経過したとき
- エンジンスイッチを **II** から **I** または **0** にしてから、約 10 秒経過したとき

## ▶ タコメーター

### ▶ アドバイス

エンジン故障の原因となりますので限界回転数以上(レッドゾーン)に入らないよう運転してください。

特に、高速走行時にシフトダウンするときには、注意してください。

エンジンの限界回転数は、下表の通りです。

タイプ	限界回転数
G AERO, S	6,500rpm
SG	6,800rpm

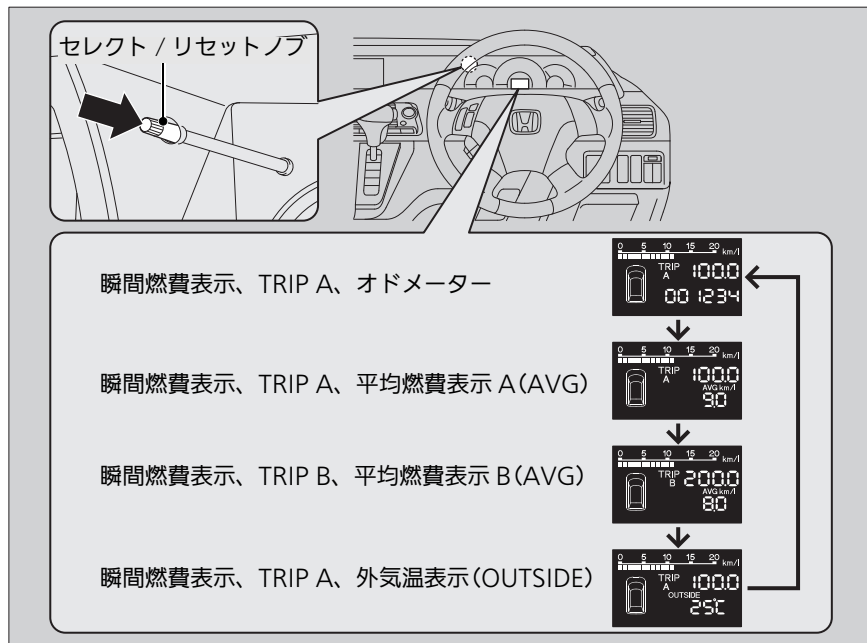
セレクトレバーが **R** のときや、空ぶかしをしたときは、エンジンの限界回転数より低い回転数でも、トランスミッション保護のため燃料供給が停止されます。

## インフォメーションディスプレイ\*

インフォメーションディスプレイには、オドメーター、トリップメーター、外気温表示などが表示されます。

### 表示の切り換えかた

セレクト/リセットノブを押すごとに、表示が下記のように切り換わります。



## ■ オドメーター

走行距離の累計を km で表示します。

## ■ トリップメーター

リセットしてからの走行距離を km で表示します。

トリップ A と、トリップ B があり、それぞれ独立して計測するため 2 つの走行距離を知ることができます。

### ■ トリップメーターをリセットするには

トリップメーターが表示されている状態で、セレクト/リセットノブを押し続けてください。トリップメーターが 0.0 にリセットされます。

## ■ 外気温表示(OUTSIDE)

外気温を測定し表示します。

### ■ 外気温表示を補正するには

外気温とメーターの表示温度に差がある場合、 $\pm 3^{\circ}\text{C}$  の範囲で補正することができます。

補正するには、セレクト/リセットノブを押し続け、設定したい補正值が表示されたらセレクト/リセットノブを離します。

### ※ トリップメーター

トリップ A とトリップ B は、セレクト/リセットノブを押して切り換えます。

トリップメーターは走行距離が 999.9km を超えると、0.0km に戻ります。

### ※ 外気温表示(OUTSIDE)

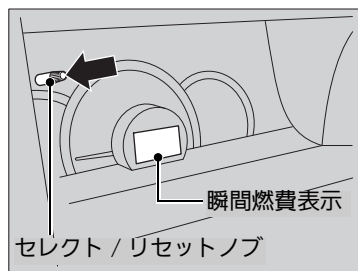
**温度センサーはフロントバンパー付近に付いています。**

速度がおおよそ 30km/h 以下のときは、表示される温度が、路面の熱、エンジンの熱、周囲の車の排気ガスの影響を受けることがあります。また、温度の読み取り値が安定するまで更新されないため、温度表示の更新に数分かかることがあります。

**外気温表示の補正は、温度が安定してから行ってください。**

## ■ 瞬間燃費表示

瞬間燃費をバーグラフに km/l で表示します。



### ■ 瞬間燃費表示を消したいとき

平均燃費を表示中にセレクト/リセットノブを押したままにし(約5秒間保持)、瞬間燃費表示が消えたらセレクト/リセットノブを離します。

再度表示させるときは同じ操作を繰り返します。

## ■ 平均燃費表示(AVG)

トリップメーターA、B と連動し、それぞれの平均燃費を一定時間ごとに更新して km/l で表示します。

トリップメーターをリセットすると、平均燃費表示も同時にリセットされます。

### ☒ 平均燃費表示(AVG)

表示される平均燃費は、実際に走行した燃費とは異なる場合があります。

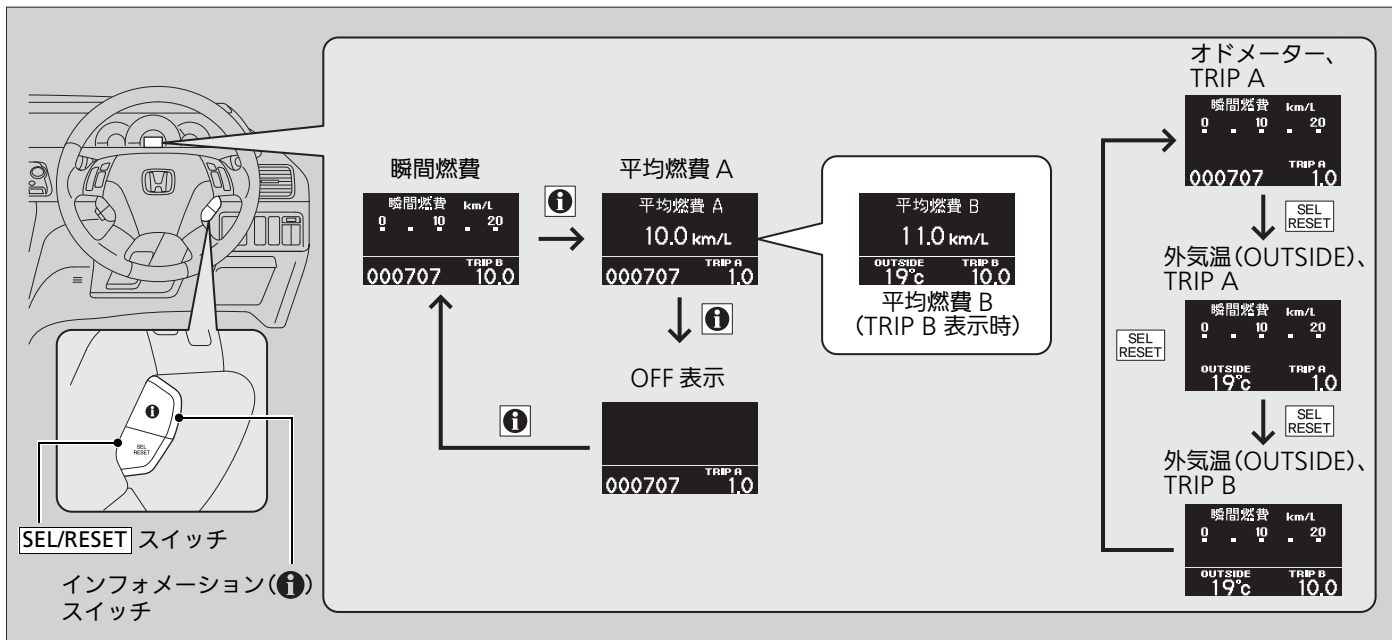
停車時または低速走行中にリセットした場合は、走行を始めてから燃費の計算を開始します。

## マルチインフォメーションディスプレイ\*

オドメーター、トリップメーター、外気温表示、燃費情報などが表示されます。  
また、異常を検知すると警告メッセージが表示されます。

### 表示の切り換えかた

インフォメーション(ⓘ)スイッチまたは **SEL/RESET** を押すごとに、表示が下記のように切り換わります。



計器の見かた

## ■ オドメーター

走行距離の累計を km で表示します。

## ■ トリップメーター

リセットしてからの走行距離を km で表示します。  
トリップ A と、トリップ B があり、それぞれ独立して計測するため 2 つの走行距離を知ることができます。

### ■ トリップメーターをリセットするには

トリップメーターが表示されている状態で、**SEL/RESET** を押し続けてください。トリップメーターが 0.0 にリセットされます。

## ■ 外気温表示(OUTSIDE)

外気温を測定し表示します。

### ■ 外気温表示を補正するには

外気温とメーターの表示温度に差がある場合、 $\pm 3$ ℃の範囲で補正することができます。

補正するには、マルチインフォメーションディスプレイのカスタマイズ機能を使用します。

▶ カスタマイズ機能 P.70

### ▶ トリップメーター

トリップAとトリップBは、**SEL/RESET** を押すか、セレクト/リセットノブを押して切り換えます。

トリップメーターは走行距離が999.9kmを超えると、0.0kmに戻ります。

### ▶ 外気温表示(OUTSIDE)

**温度センサーはフロントバンパー付近に付いています。**

速度がおよそ30km/h以下のときは、表示される温度が、路面の熱、エンジンの熱、周囲の車の排気ガスの影響を受けることがあります。また、温度の読み取り値が安定するまで更新されないため、温度表示の更新に数分かかることがあります。

**外気温表示の補正は、温度が安定してから行ってください。**

## 瞬間燃費表示

瞬間燃費をバーグラフに km/l で表示します。

## 平均燃費表示

トリップメーターA、B と連動し、それぞれの平均燃費を一定時間ごとに更新して km/l で表示します。

トリップメーターをリセットすると、平均燃費表示も同時にリセットされます。

### 平均燃費表示

表示される平均燃費は実際に走行した燃費と異なる場合があります。

停車時または低速走行中にリセットした場合は、走行を始めてから燃費の計算を開始します。

トリップメーターAと平均燃費Aを給油と連動させて自動的にリセットさせることができます。

▶ カスタマイズ機能 P.70

## ■ カスタマイズ機能

マルチインフォメーションディスプレイを使って、下表の機能をお好みに合わせてカスタマイズ(設定変更)することができます。

カスタマイズ機能	選択できる設定内容	
メーター設定	外気温表示補正	-3℃～±0℃*～+3℃
	トリップ A の給油連動リセット	連動、非連動*
	Welcome スクロール時間	0.1 秒*、0.2 秒
Honda スマートキー設定	アンサーバックブザー音量	大*、小
	ドアハンドル操作アンサーバックブザー	作動*、非作動
ライティング設定	インテリアライト点灯時間	15 秒、30 秒*、60 秒
ドア/ウィンドウ設定	自動ドアロック連動機能	非連動、車速連動*、シフト連動
	自動ドアアンロック連動機能	非連動、シフト連動*、IGN OFF 連動
	キーレスアンサーバック	作動*、非作動
	キーレスリロック時間	30 秒*、60 秒、90 秒
	サンルーフキーオフタイマー時間	0 秒、45 秒*
	セキュリティ機能	作動*、非作動
	パワーウィンドウキーシリンダ連動	連動*、非連動
	パワーウィンドウキーレス連動	連動*、非連動
パワーウィンドウキーオフタイマー時間	0 秒、45 秒、10 分*	

※：工場出荷時の設定

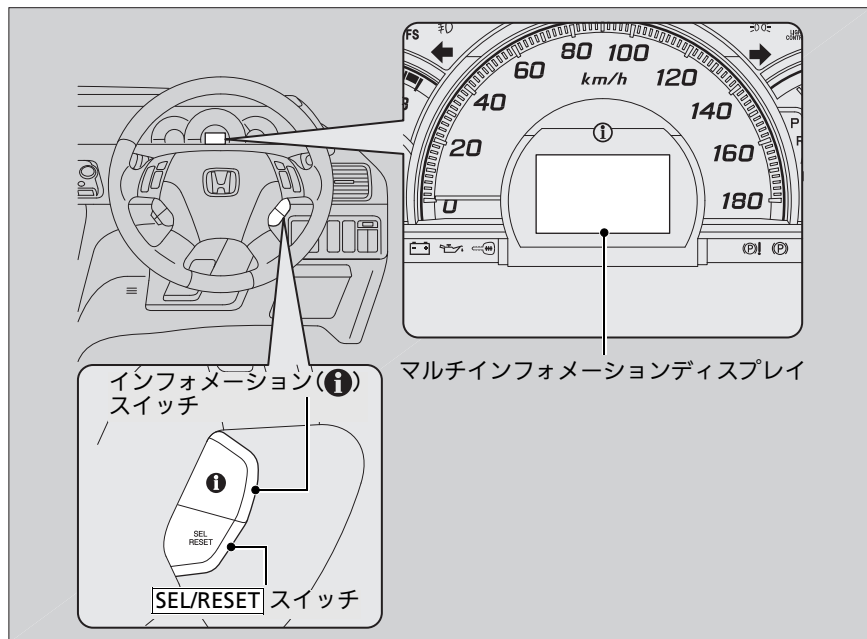


カスタマイズ機能		選択できる設定内容
ワイパー設定	フロントワイパー動作	車速連動 <sup>※</sup> 、間欠
	フロントワイパーウォッシャー連動	連動 <sup>※</sup> 、非連動
	フロントワイパー発進時動作	作動 <sup>※</sup> 、非作動
	リヤワイパー動作	間欠 <sup>※</sup> 、連続
	リヤワイパーウォッシャー連動	連動 <sup>※</sup> 、非連動
	リヤワイパーリバース連動	連動 <sup>※</sup> 、非連動

※：工場出荷時の設定

## ■カスタマイズのしかた

エンジンスイッチが **II** でセレクターが **P** のときに、インフォメーション **(i)** スイッチを数秒間押し続けると、カスタマイズを行なうことのできる「カスタマイズエントリー」画面に切り換えます。



## ※カスタマイズのしかた

▶ **カスタマイズ操作一覧** P.73

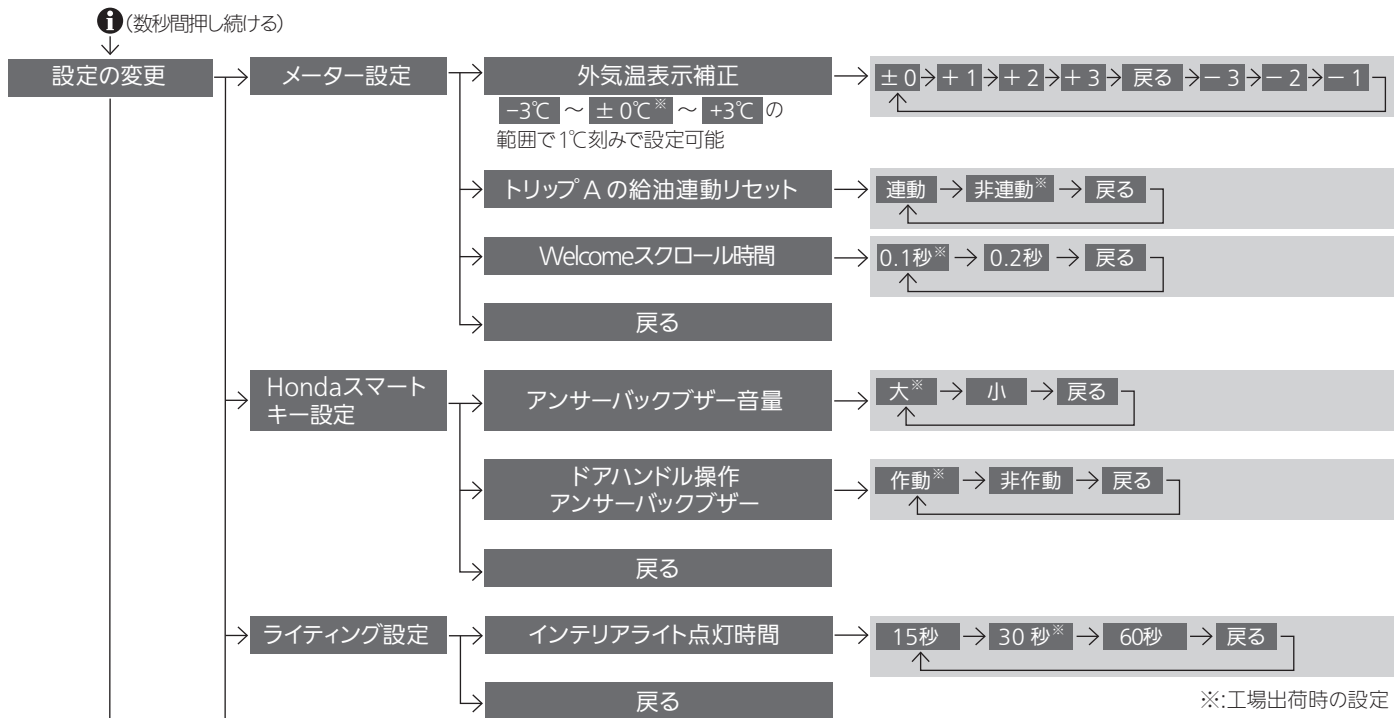
▶ **カスタマイズ設定の例** P.76

キーレスエントリーを使って、カスタマイズグループのライティング設定、ドア/ウィンドウ設定、ワイパー設定を一時的に工場出荷時の設定にすることができます。

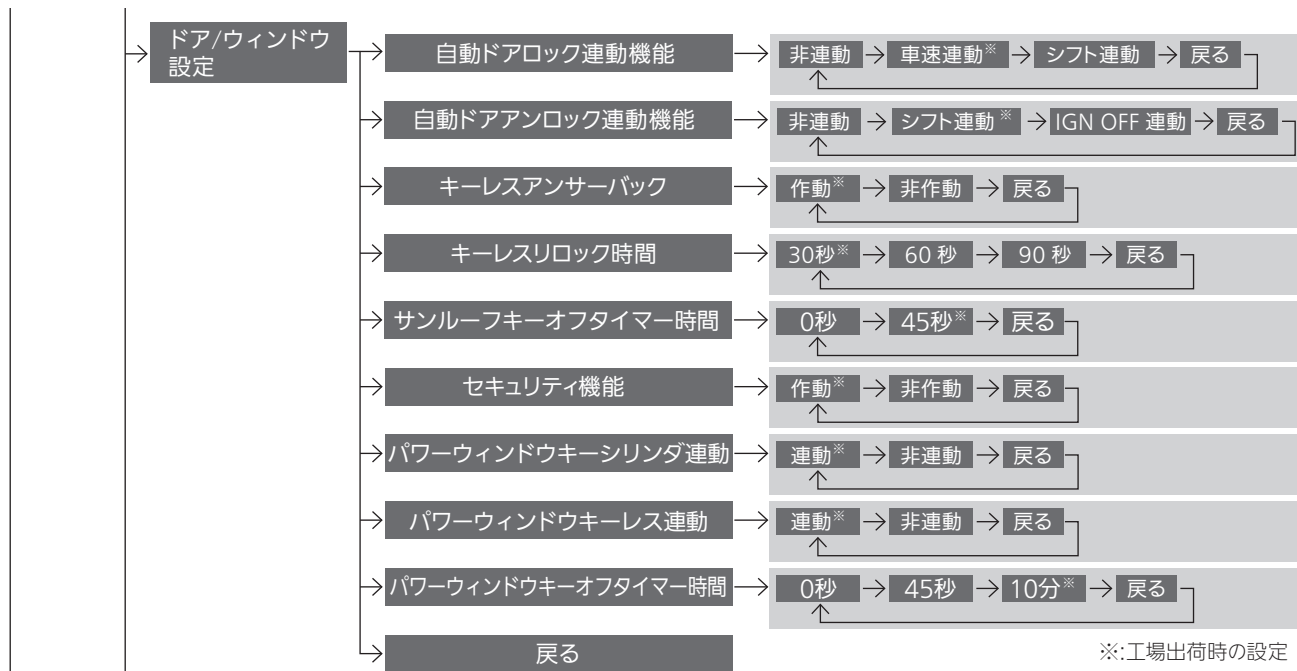
▶ **キーによるカスタマイズのしかた** P.78

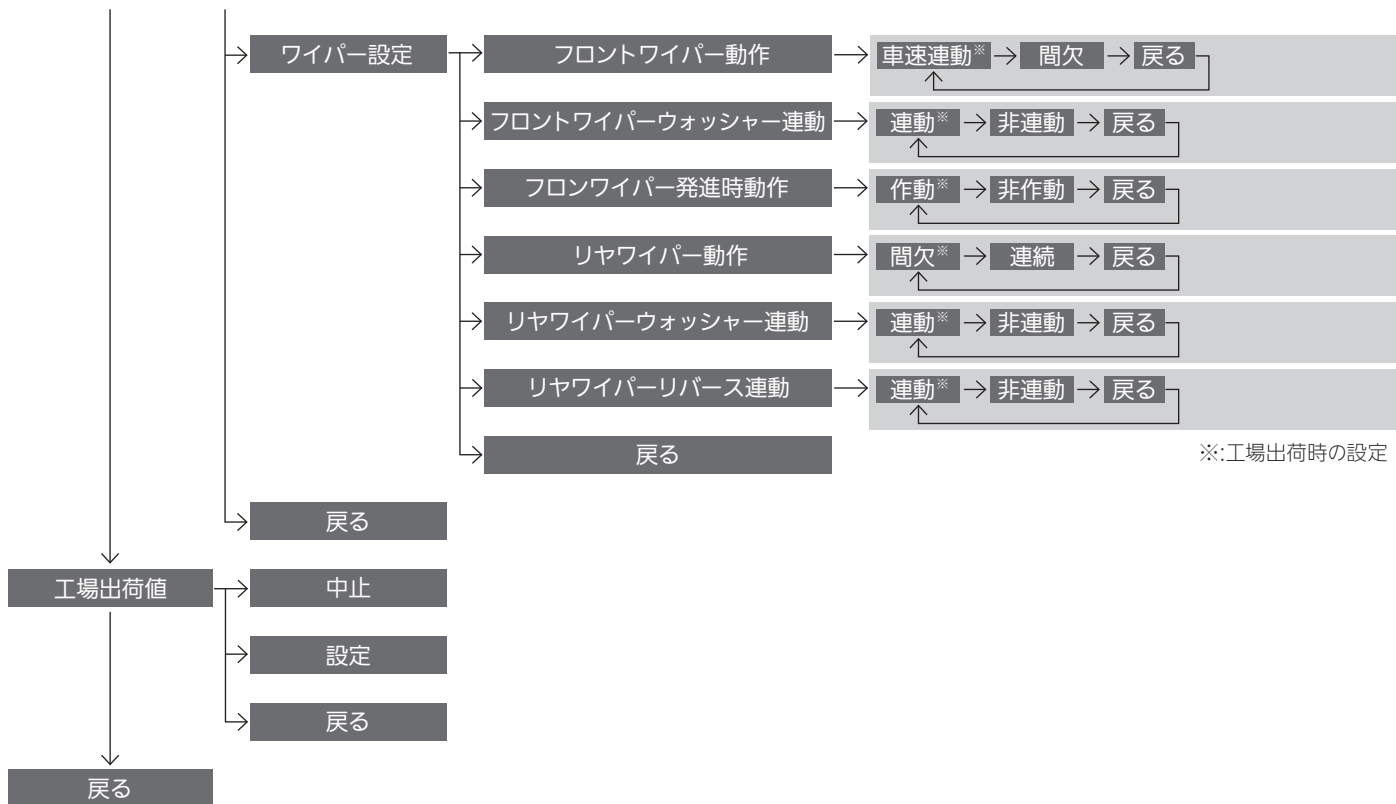
## ■カスタマイズ操作一覧

インフォメーション(①)スイッチでメニューを切り替え、**SEL/RESET**で決定します。



計器の見かた





計器の見かた

## ■カスタマイズ設定の例

例えば「トリップ A の給油連動リセット」を「連動」にする場合、下記の手順で設定します。

「トリップ A の給油連動リセット」は工場出荷時の設定では「非連動」になっていません。

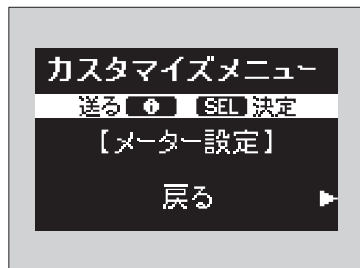


1. インフォメーション(ℹ)スイッチを数秒間押し続ける。

▶「カスタマイズエントリー」画面に切り換わります。

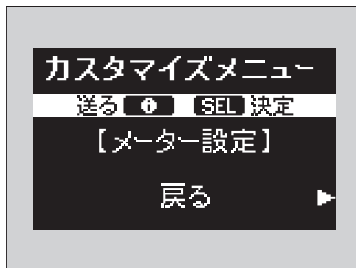
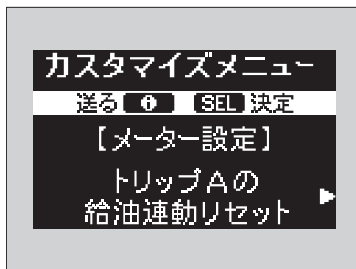
2. インフォメーション(ℹ)スイッチを押し、「設定の変更」を選択したら、**SEL/RESET**を押す。

▶「カスタマイズグループ」画面に切り換わり、最初に「メーター設定」が表示されます。



3. インフォメーション(ℹ)スイッチを押し、「メーター設定」が表示されたら、**SEL/RESET**を押す。

▶「カスタマイズメニュー」画面に切り換わり、最初に「外気温表示補正」が表示されます。



4. インフォメーション(ℹ)スイッチを押し、「トリップ A の給油連動リセット」が表示されたら、**SEL/RESET** を押す。  
▶「カスタマイズ」画面に切り換わり、「連動」、「非連動」、「戻る」が選択できます。
5. 「連動」が選択されていることを確認し、**SEL/RESET** を押す。  
▶「連動に設定しました」という画面が表示された後、「カスタマイズメニュー」画面に戻ります。
6. インフォメーション(ℹ)スイッチを押し、「戻る」が表示されたら、**SEL/RESET** を押す。
7. 手順6の操作を通常画面に戻るまで繰り返す。

#### ※カスタマイズのしかた

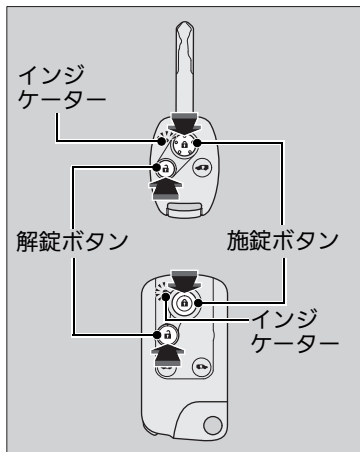
「連動」、「非連動」、「戻る」の切り換えにはインフォメーション(ℹ)スイッチを使用します。

カスタマイズ操作の途中で以下の操作を行うと、設定は変更されず元の設定のままとなります。

- エンジンスイッチを **1** または **0** にする
- セレクトレバーを **P** 以外にする

## キーによるカスタマイズのしかた

キーレスエントリーを使用して、一時的にカスタマイズグループのライティング設定、ドア/ウィンドウ設定、ワイパー設定を工場出荷時の設定に戻すことができます。その間は、マルチインフォメーションディスプレイでのカスタマイズは行えません。



### ■設定するには

1. キーレスエントリーの施錠ボタンと解錠ボタンを、同時に数秒間押す。  
▶キーレスエントリーのインジケータが以下のように点滅します。  
**2回点滅**：工場出荷時状態にする。  
**1回点滅**：カスタマイズされている状態にする。
2. 設定したい点滅回数であることを確認して、解錠ボタンを押す。

### ※キーによるカスタマイズのしかた

エンジンスイッチを **0** にして、キーを抜いていないと設定できません。



# 各部の操作

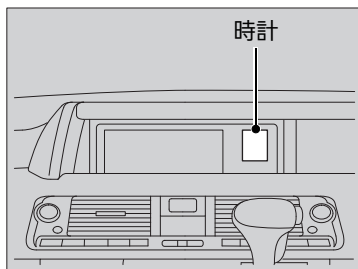
この章では、運転に必要な各部の操作方法について記載しています。

時刻の設定	80	ウィンドーの開閉	104	フロントガラス熱線スイッチ*	121
ドアの施錠と解錠		サンルーフ*の開閉	109	ハンドルの調節	122
キーの種類と機能	81	ハンドルまわりのスイッチ操作		ミラー類の調節	123
車外でのドアの施錠/解錠	84	エンジンスイッチ	111	シートの調節	126
車内での施錠/解錠	88	Hondaスマートキーシステム装備車のエンジンスイッチ	112	ヘッドレスト	136
チャイルドプルーフ	89	方向指示器(ウィンカースイッチ)	114	アームレスト	137
オートドアロック/ オートドアアンロック	90	ライトスイッチ	115	室内灯/室内装備品	139
テールゲートの開閉	91	AFS(アダプティブフロントライティングシステム)*	116	エアコン	
スライドドアの開閉	93	フォグライトスイッチ	117	エアコンの吹き出し口	158
イージードアクローザー	101	ワイパー/ウォッシャー	118	オートエアコンの使いかた	159
セキュリティシステム		イルミネーションコントロール	120	後席用オートエアコン*	162
イモビライザーシステム	102	リヤデフロスタースイッチ	121	後席用クーラー*	164
セキュリティアラームシステム	102				

# 時刻の設定

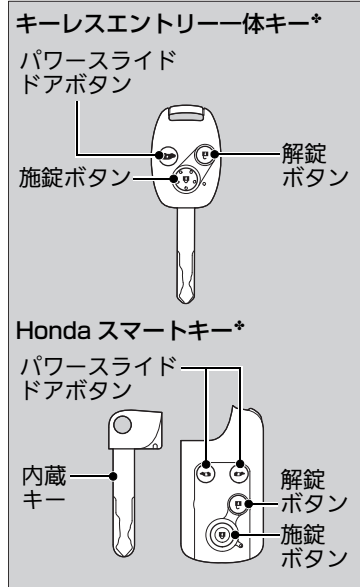
## ナビゲーションシステム装備車

時計は人工衛星からの情報を利用していますので、時刻合わせは不要です。



## キーの種類と機能

この車には、以下のキーが付いています。キーの組み合わせは、車両のタイプにより異なります。



エンジンの始動、停止のほかに、すべてのドア、テールゲートの施錠 / 解錠に使用できます。

キーについているボタンで、すべてのドア、テールゲートの施錠 / 解錠の操作ができます。

### ▼キーの種類と機能

すべてのキーには、イモビライザーシステムがついています。イモビライザーシステムは、車両を盗難から守るためのシステムです。

### ▼イモビライザーシステム P.102

キーには、精密な電子部品が組み込まれています。

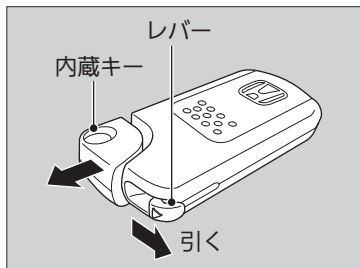
故障を防ぐため、下記の点をお守りください。

- 直射日光が当たる場所、高温、多湿の場所に置かない
- キーを落としたり、重いものをのせない
- キーに液体をかけない
- 分解をしない
- 火であぶらない

キーの電子部品が故障すると、エンジンの始動やリモート発信が作動しなくなることがあります。

キーが正常に作動しなくなった場合は、Honda販売店で点検を受けてください。

## ■ Honda スマートキー\*



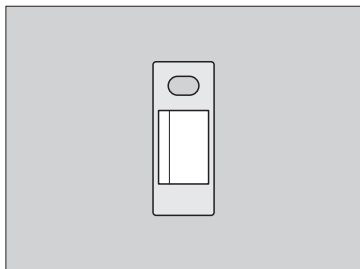
Honda スマートキーの電池が切れたときや車のバッテリーがあがったときは、内蔵キーを使用してください。

内蔵キーは、レバーを引きながら取り出します。

収納するときは、「カチッ」と音がするまで差し込みます。

Honda スマートキーの電池の消耗や故障したときのことを考慮して、内蔵キーはHonda スマートキーに収納しておいてください。

## ■ キーナンバータグ



キーナンバータグには、キーを購入する際に必要となる番号が記載されています。

## ※キーの種類と機能

■ 内蔵キー\*の差し込みかた P.260

## ※キーナンバータグ

**キーナンバータグは、キーとは別に車両以外の場所に大切に保管してください。**

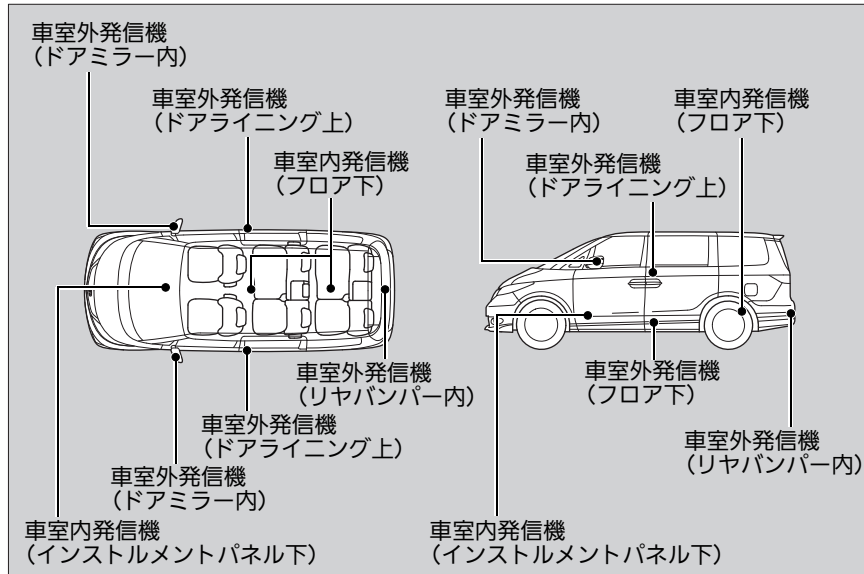
キーナンバータグには、キーを購入する際に必要となる番号が記載されています。キーと一緒に保管せず、車両以外の場所に大切に保管してください。キーを紛失したときや、追加購入したいときは、Honda販売店に依頼してください。

## Honda スマートキーの微弱電波

Honda スマートキーを使用してドア、テールゲートの施錠 / 解錠操作をするときやエンジンを始動するとき、Honda スマートキーとの電子照合を行うために車両から電波が発信されます。

そのため、次のような場合正常に作動しなかったり、不安定な動作となったりすることがあります。

- 近くに強い電波を発する設備があるとき
- 携帯電話や無線機などの通信機器やノートパソコンと一緒に Honda スマートキーを携帯しているとき
- Honda スマートキーが金属物に触れていたり覆われていたりするとき



### ※Hondaスマートキーの微弱電波



**植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を使用しているかたは、車両に搭載されている発信機から 22cm 以内に近づかない。**

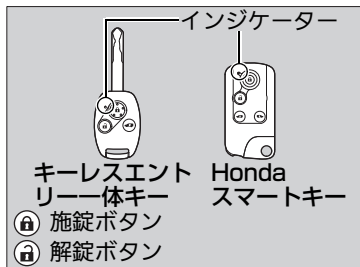
Honda スマートキーシステムで発進されている電波が、機器の作動に影響を与える可能性があります。医療用電子機器を使用しているかたは、医師や医療用機器製造者に影響を確認してからご使用ください。

Hondaスマートキーは車両との通信のために常時受信動作をしているため、常に電池を消耗しています。電池寿命は、使用状況により異なりますが約2年間です。

また、強い電波を受信し続けると電池を著しく消耗することがあります。テレビやパソコンなどの電化製品の近くには置かないください。

## 車外でのドアの施錠 / 解錠

### ■キーレスエントリーでの施錠 / 解錠



#### ■施錠

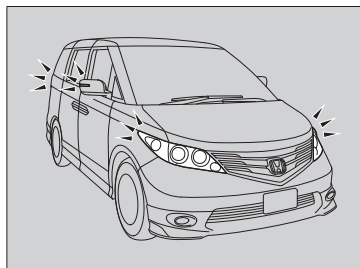
施錠ボタンを押します。

- ▶非常点滅表示灯が1回点滅し、すべてのドア、テールゲートが施錠されます。

#### ■解錠

解錠ボタンを押します。

- ▶非常点滅表示灯が2回点滅し、すべてのドア、テールゲートが解錠されます。



### ☒キーレスエントリーでの施錠/解錠

30秒以内にドア、テールゲートを開けてください。

キーレスエントリーで解錠操作をした場合、30秒以内にドア、テールゲートを開けないと、再び自動的に施錠されます。

解錠ボタンを押すと、室内灯が点灯します。

室内灯のスイッチがドアと連動する位置にあるとき、解錠ボタンを押すと室内灯が点灯します。約30秒点灯し、徐々に暗くなります。30秒以内にキーレスエントリーで施錠すると、室内灯はただちに消灯します。

☒室内灯 P.139

キーレスエントリーは微弱電波を使用しているため、周囲の状況により作動範囲が変化することがあります。

次の場合、キーレスエントリーは作動しません。

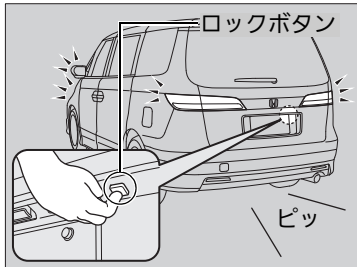
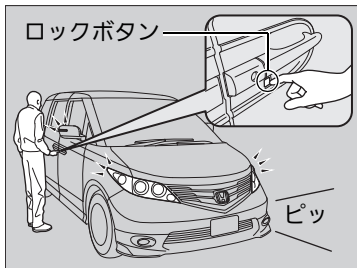
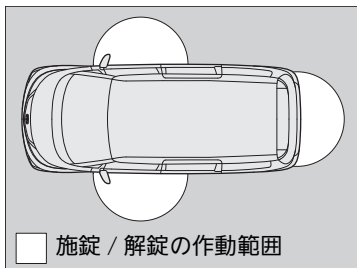
- エンジンスイッチが [0] 以外のとき
- エンジンスイッチにキーが差し込まれているとき
- ドア、テールゲートが開いているとき(施錠時のみ)

作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられます。

ボタンを押したときにインジケータが点灯しない場合は、電池切れです。

☒電池交換のしかた P.236

## Honda スマートキーでの施錠 / 解錠



Honda スマートキーを携帯し、ロックボタン、ドアハンドル、テールゲートハンドルを操作することでドア、テールゲートの施錠や解錠を操作します。

ドア、テールゲートの施錠 / 解錠が作動するのは、運転席、助手席ドアハンドル、テールゲートハンドルから周囲約 80cm 以内です。

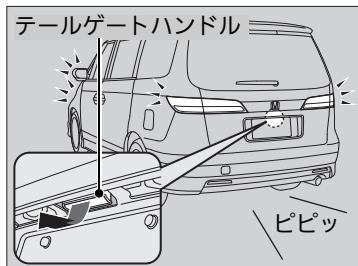
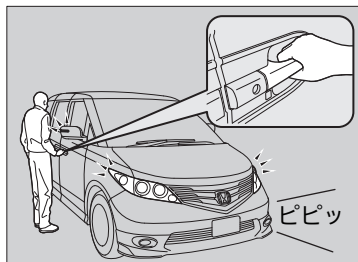
### ■施錠するには

運転席ドア、助手席ドアまたはテールゲートのロックボタンを押します。

- ▶「ピッ」というアンサーバック音が鳴り非常点滅表示灯が 1 回点滅し、すべてのドア、テールゲートが施錠されます。

## ※Hondaスマートキーでの施錠/解錠

- Honda スマートキーは運転者が携帯し、車内に残したまま降車しないでください。
- 同じ作動範囲に Honda スマートキーを携帯している人がいるときは、携帯していない人でもロックボタンやドアハンドル、テールゲートハンドルで施錠/解錠操作ができます。
- 革製やスキー用の手袋などを着用しているときは、ドアハンドル、テールゲートハンドルでの解錠操作が遅れたりできなくなったりすることがあります。
- 作動範囲内に Honda スマートキーがあるときは、大雨や洗車などで大量の水がドアハンドル、テールゲートハンドルにかかると、解錠されることがあります。
- 施錠後約 2 秒間は、ドアハンドルを握るか、テールゲートハンドルの内側に触れても解錠操作はできません。
- ドアハンドルを握った直後に引くか、テールゲートハンドルの内側に触れた直後に引くと、ドア、テールゲートが開かないことがあります。ドアハンドルを握りなおすか、テールゲートハンドルの内側に触れなおして解錠されていることを確認してから引いてください。
- ドアハンドル、テールゲートハンドルより約 80cm 以内の距離でも、Honda スマートキーが地面の近くや高い位置にあるときは作動しないことがあります。



### ■解錠するには

運転席、助手席ドアハンドルを握るか、テールゲートハンドルの内側に触れます。

- ▶「ピピッ」というアンサーバック音が鳴り非常点滅表示灯が 2 回点滅し、すべてのドア、テールゲートが解錠されます。

### ▶▶Hondaスマートキーでの施錠/解錠

ドアやドアガラス、テールゲートに近づきすぎていると作動しないことがあります。

#### 30秒以内にドア、テールゲートを開けてください。

Hondaスマートキーで解錠操作をした場合、30秒以内にドア、テールゲートを開けないと、再び自動的に施錠されます。

#### カスタマイズ機能について

施錠/解錠時に鳴るアンサーバックブザーは、音量を変えたりブザーが鳴らないようにすることができます。カスタマイズ機能の詳細はHonda販売店にご相談ください。

カスタマイズ機能	選択できる設定内容
アンサーバックブザー音量	大※、小
アンサーバックブザー作動	作動※、非作動

※工場出荷時の設定

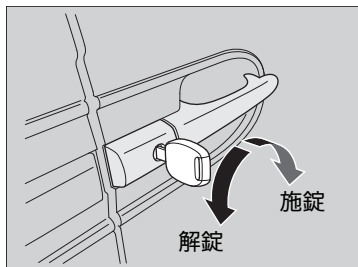
#### ▶▶マルチインフォメーションディスプレイ装備車

マルチインフォメーションディスプレイを使ってカスタマイズすることができます。

#### ▶▶カスタマイズ機能 P.70

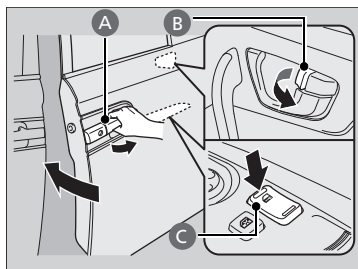


## ■キーを差し込んでの施錠 / 解錠



キーを確実に差し込んで回します。  
Honda スマートキーの場合は、内蔵キーを  
取り出して操作してください。

## ■キーを使わないでの施錠



### ■運転席のドアの施錠

外側のドアハンドル **A** を引いたまま、ノブ  
**B** を引き出すかマスタードアロックスイッ  
チ **C** を施錠のほうに押し、ドアハンドルを  
離してドアを閉めます。

### ■運転席以外のドアの施錠

ノブを引き出し、ドアを閉めます。

## ■キー閉じ込み防止装置

キーがエンジンスイッチに差し込まれていると施錠できません。

Honda スマートキー装備車は、Honda スマートキーが車内の作動範囲内に置  
いてあると、施錠できません。

## ※キーを差し込んでの施錠/解錠

### 運転席ドアでのキー操作

運転席ドアにキーを差し込んで施錠/解錠する  
と、ほかのすべてのドア、テールゲートも同  
時に施錠/解錠されます。

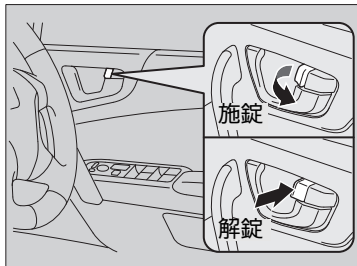
## ※キーを使わないでの施錠

運転席ドアで施錠すると、ほかのすべてのド  
ア、テールゲートも同時に施錠されます。

キー閉じ込み防止のため、キーを持っている  
ことを確認してから施錠しましょう。

## 車内での施錠 / 解錠

### ■ ノブでの施錠 / 解錠



■施錠するには  
ノブを引き出します。

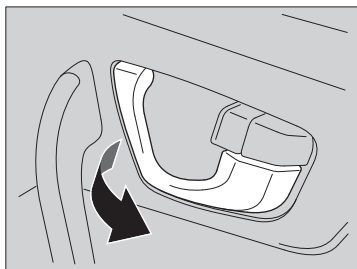
■解錠するには  
ノブを押し込みます。

### ☒ ノブでの施錠/解錠

運転席ドアのノブで施錠すると、ほかのすべてのドア、テールゲートも同時に施錠されます。

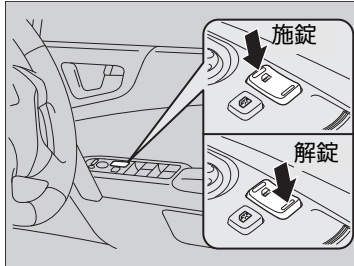
運転席ドアのノブで解錠したときは、運転席ドアのみ解錠されます。

### ■ 運転席ドアハンドルでの解錠



運転席ドアは、内側のハンドルを引くと施錠していてもドアが開きます。

## ■ マスタードアロックスイッチでの施錠 / 解錠



マスタードアロックスイッチを施錠 / 解錠のほうに押しします。

## ※ マスタードアロックスイッチでの施錠 / 解錠

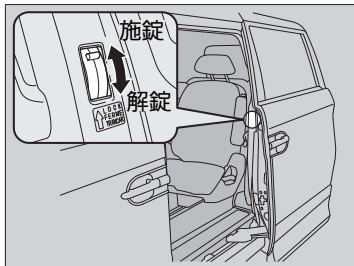
運転席ドアのマスタードアロックスイッチで施錠 / 解錠すると、ほかのすべてのドア、テールゲートも同時に施錠 / 解錠されます。

## チャイルドブルーフ

チャイルドブルーフとは、走行中などにお子さまが車外に放り出されることを防止するため、ノブの位置に関係なく、後席ドアを車内から開けることができないようにする機能です。

お子さまをセカンドシートまたはサードシートに乗せるときなどにお使いください。

## ■ チャイルドブルーフのセット



後席ドアについているツマミを、施錠の位置にしてドアを閉めます。

## ■ ドアを開ける場合

外側のハンドルで開けます。

## ※ チャイルドブルーフ

チャイルドブルーフセット時に車内から開けたい場合は、ノブを解錠状態にして後席ウィンドーを下げ、窓から手を出して外側のドアハンドルを引いてください。  
運転席スイッチ、キーレスエントリーでも開閉できます。

## 衝撃感知ドアロック解除システム

車両に衝撃が加わったときに、自動的にすべてのドア、テールゲートを解錠するシステムです。

作動するのは以下の場合です。

- 正面からの衝撃：SRS エアバッグが作動したとき
- 側面からの衝撃：サイドエアバッグ/サイドカーテンエアバッグ装備車の場合で、サイドエアバッグ/サイドカーテンエアバッグが作動したとき

- 後面からの衝撃：衝撃が大きいとき

いずれの場合も、安全性を考慮して衝撃を受けてから約 10 秒後に解錠します。

## オートドアロック / オートドアアンロック

### ■オートドアロック(車速連動)

オートドアロックとは、車速が約 15km/h 以上になるとすべてのドア、テールゲートが自動的に施錠される機能です。

### ■オートドアアンロック(セレクトレバー連動)

ブレーキペダルを踏んでセレクトレバーを **P** に入れると、すべてのドア、テールゲートが自動的に解錠される機能です。

### ※衝撃感知ドアロック解除システム

衝撃の加わりかたや大きさによっては解錠しない場合があります。

# テールゲートの開閉

## テールゲート開閉時の注意

テールゲート開閉をするときは、下記の点に注意してください。

### ■テールゲートを開けているとき

- テールゲートは上までしっかりと開ける。
  - ▶途中までしか開けていないと、自重で閉まることがあります。
- 風の強い日は、風にあおられて閉まらないように注意する。
- テールゲートを開けたまま走行しない。
  - ▶車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。

### ■テールゲートを閉めるとき

- キーレスエントリーキーまたは Honda スマートキーを、カーゴスペース内に置き忘れないように注意する。

### ※テールゲート開閉時の注意



**注意**

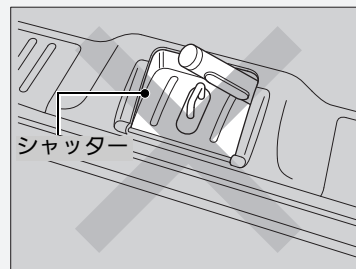
**テールゲートを閉めるときは、頭をぶついたり手をはさまないように注意する。**

**エンジンをかけた状態で手荷物を出し入れするときは、排気管の後方に立たないようにする。**

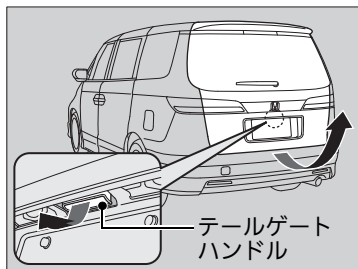
やけどなどの思わぬけがをすることがあります。

テールゲートストライカー部のシャッター内に物が入らないように注意してください。

入った物がとれなくなったり、テールゲートが確実に閉まらなくなるおそれがあります。



## テールゲートを開ける



解錠されているときに、ハンドルを引き上げます。

### ■テールゲートを開ける

施錠されているときにHondaスマートキーを携帯してテールゲートハンドルの内側に触れると、解錠されますのでそのまま引き上げることができます。

### ▶ Hondaスマートキーでの施錠/解錠 P.85

運転席ドアを施錠したあとに、テールゲートを閉めると施錠されます。

## スライドドア開閉時の注意

スライドドアを開閉するときは、下記の点に注意してください。

### ■開けるとき

- スライドドアはストッパーで固定されるまでしっかりと開ける  
▶途中までしか開けていないと、自重で閉まることがあります。

### ■閉めるとき

- キーレスエントリーまたは Honda スマートキーを、車内に置き忘れないようにする。  
▶運転席ドアを施錠したあとにスライドドアを閉めると、施錠されてスライドドアが開かなくなります。

### ▶スライドドアの開閉

#### 注意

**スライドドアを開閉するときはドアの内側と外側の安全を十分に確認し、手、足、顔などをはさまないように注意する。**

特にお子さまには気をつけてください。

**傾斜地ではスライドドアを開けたままにしない。**

ドアが不意に閉まるおそれがあります。

**ドアハンドルをしっかり持って開閉する。**

ドア本体を持って閉めたり、車体側に手をかけているとけがをするおそれがあります。

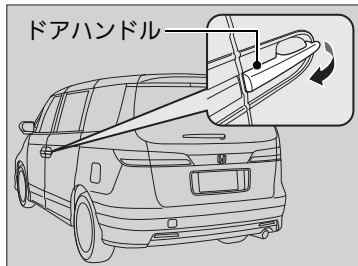
**ドアのアームやレールなどには、手、足をかけない。**

小さなお子さまが同乗しているときは、お子さまがスライドドアを誤って操作しないように、チャイルドブルーフをセットしてください。

▶チャイルドブルーフ P.89

スライドドアのカップホルダーやポケットにはみ出すものを入れていないと、開閉の妨げになったり、車体に傷をつけるおそれがあります。

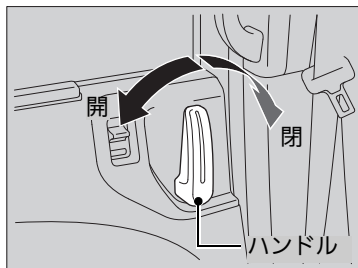
## スライドドアの開閉操作



### ■車外から開閉するとき

開けるとき： ドアハンドルを引き後方へスライドさせる。

閉めるとき： ドアハンドルを引き前方へスライドさせる。



### ■車内から開閉するとき

開けるとき： ハンドルを持ち後方へ引いてスライドさせる。

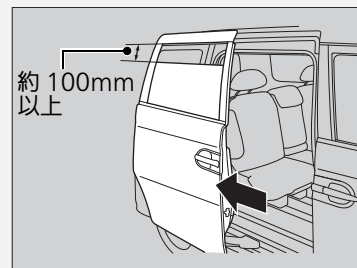
閉めるとき： ハンドルを持ち前方へ押してスライドさせる。

### ■スライドドアの開閉操作

スライドドアは全開にするとストッパーで固定されます。

助手席側のスライドドアはフューエルリッドが開いているとストッパーが作動して途中で止まります。フューエルリッドを閉めてスライドドアを少し戻してから開けると全開できます。

スライドドアのウィンドーが約100mm以上開いているときは、中間ストッパーが作動して、スライドドアは途中までしか開きません。手を放すとスライドドアが閉まる方向に動くことがあります。





## パワースライドドアの開閉操作

キーレスエントリーや運転席にあるパワースライドドアスイッチを使って、パワースライドドアを自動で開閉することができます。また、ドアハンドルを引いて自動で開閉することもできます。

### ▶▶ パワースライドドアの開閉操作

#### 警告

**パワースライドドアを開閉するときは、ドアの内側と外側の安全を十分確認する。**

ドアが動いているときは触ったり、近づいたりしないでください。ドアにはさまれて重大な傷害を受けるおそれがあります。特にお子さまには気をつけてください。

#### 注意

**後輪タイヤを交換するときは、メインスイッチを OFF にする。**

ON のままだと、誤ってメインスイッチに触れたりしてドアが開き、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

**車両が完全に停止した状態でパワースライドドアを開閉する。また乗り降りのときも車両が動き出さないように、確実にブレーキをかける。**

パワースライドドアの開閉中や乗り降りのときに車両が動き出すと、思わぬ事故を起こすことがあります。

## ■自動で開閉するときの条件

次の条件が揃っているときに、自動で開閉することができます。

- メインスイッチがON のとき
- パワースライドドアが解錠されているとき
- フューエルリッドが閉じているとき(助手席側のみ)

キーレスエントリーやパワースライドドアスイッチで開閉操作する場合、以下の条件が追加されます。

## ■キーレスエントリーでの開閉条件

**Honda スマートキーシステム非装備車**

- エンジンスイッチにキーが差し込まれていないとき

**Honda スマートキーシステム装備車**

- エンジンスイッチが **0** のとき

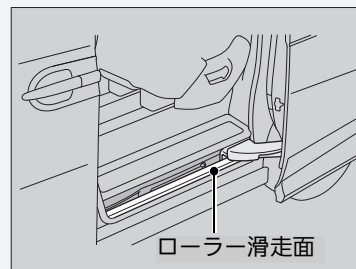
## ■パワースライドドアスイッチでの開閉条件

- エンジンスイッチを **II** にしているときは、セレクトレバーが **P** のとき  
▶ **P** 以外でもブレーキペダルを踏むか、パーキングブレーキがかかっているときは操作できます。

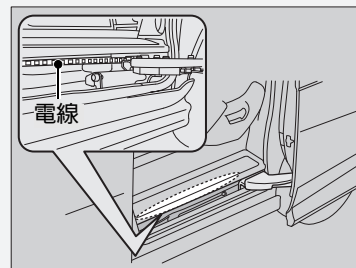
## ※パワースライドドアの開閉操作

パワースライドドアのローラーの滑走面に石などの異物があると、作動不良になる場合があります。

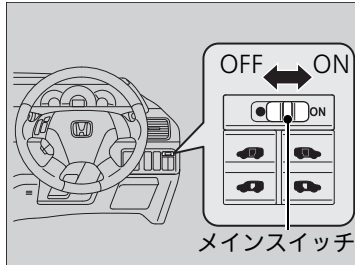
異物を取り除く場合は、水平な場所で必ずメインスイッチをOFFにして行ってください。



ローラー滑走面の奥にある電線が傷つくと、作動不良の原因になりますので注意してください。



## 自動開閉と手動開閉の切り換え



- 自動開閉：メインスイッチを ON にする  
 手動開閉：メインスイッチを OFF にする
- ▶ スライドドアの開閉操作 P.94

## ▶▶ パワースライドドアの開閉操作

メインスイッチをOFFにしているときも、イージードアクローザーは作動します。

### ▶▶ イージードアクローザー P.101

坂道などでドアを開閉中にメインスイッチをOFFにして止めないでください。

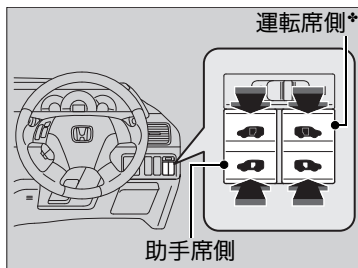
落下防止機構が作動し、ブザーが鳴り続けます。

落下防止機構が作動中は、再度メインスイッチをONにして、ドアを自動で閉めてください。

下記の操作を行うと、落下防止機構が解除され、ドアが自重で動くことがあるので注意してください。

- ドアハンドルを操作する
- メインスイッチをONからOFFにする

## ■ パワースライドドアスイッチで開閉する



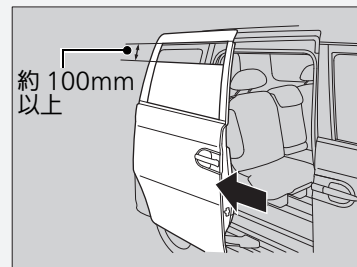
を押すと開き、を押すと閉まります。

開閉中に動かしているドア側のパワースライドドアスイッチを押すと、「ピーピー」とブザー音が鳴り、パワースライドドアは途中で止まります。

再度ドアの開閉をするには、同様の操作をします。

## ▣ パワースライドドアの開閉操作

スライドドアのウィンドーが約100mm以上開いているときは、中間ストッパーが作動して、スライドドアは途中でしか開きません。



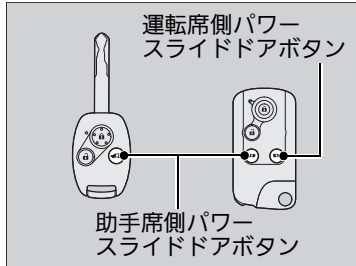
パワースライドドアが開いている状態で、バッテリーやヒューズを交換した場合は、自動で閉まらなくなります。

その場合は、手でパワースライドドアを閉めると機能が復帰します。

エンジンスイッチが $\text{II}$ でパワースライドドアを作動中のときに、セレクトレバーを $\text{P}$ 以外の位置でブレーキペダルから足を離したり、パーキングブレーキを解除すると、ブザーが鳴ります。

開いているときは途中で止まり、閉めているときはそのまま閉まります。

## ■ キーレスエントリーで開閉する



パワースライドドアボタンを約1秒以上押し続けると、自動で開閉することができます。

開閉中に動かしているドア側のパワースライドドアボタンを押すと、「ピーピーピー」とブザーが鳴り、パワースライドドアは途中で止まります。再度ボタンを押すと反対側に動きます。

## ▶▶ パワースライドドアの開閉操作

### ⚠ 警告

**ドアを開閉する前に、ドア付近に障害物がないことを必ず確認する。**

はさみ込み防止機能は、万一のときに、障害物を検知して、ドアにはさまれてしまうことを防ぐためのものです。ドアにはさまれると重大な傷害を受けるおそれがあります。特にお子さまには気をつけてください。

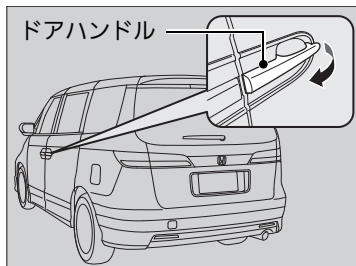
### ⚠ 注意

**パワースライドドアに指などははさみ込まないように注意する。**

パワースライドドアを確実に閉め切るため、閉め切る直前の部分にはさみ込みを検知しないエリアがあります。

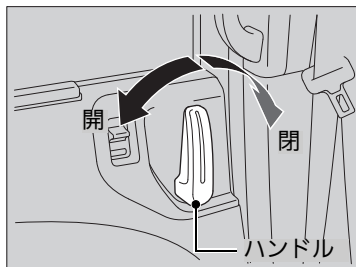
パワースライドドアを自動開閉中に障害物を検知すると、はさみ込み防止機構によりパワースライドドアが反対側に動きます。このとき、ブザーが「ピーピーピー」と鳴りません。

## ■ ドアハンドルで開閉する



### ■ 外側のハンドル

ハンドルを引くと自動で開閉することができます。



### ■ 内側のハンドル

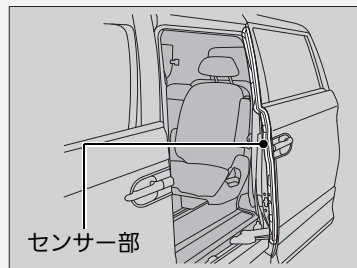
ハンドルを後ろ側に引くと自動で開き、前側に押すと自動で閉じます。

開閉中にハンドルを操作すると「ピーピーピー」とブザーが鳴り、途中で止まります。再度ドアの開閉をするには、同様の操作をします。

## ※ パワースライドドアの開閉操作

### アドバイス

パワースライドドア前端にあるセンサーに触れない。センサーに触れるとパワースライドドアが閉まりません。また、センサーを鋭利なものなどで傷つけないでください。センサーが切断されると自動で閉めることができなくなります。



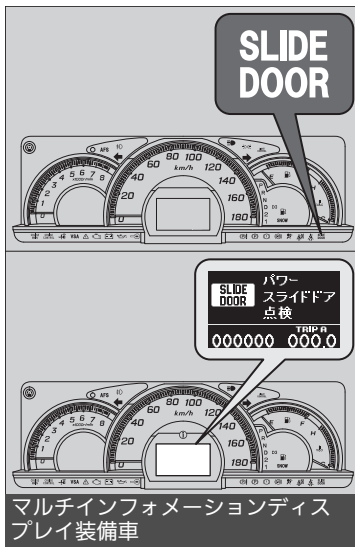
エンジンスイッチが **II** のときに、セレクトレバーが **P** 以外の位置で下記の操作を行うと、内側または外側のハンドルでパワースライドドアを開けようとしても、ブザーが鳴り自動で開きません。

- ブレーキペダルから足を離す
- パーキングブレーキを解除する

フューエルリッドが開いた状態で、助手席側パワースライドドアの操作を行うとブザーが鳴り作動しません。

坂道でエンジンを停止した状態で、パワースライドドアを途中停止させたままにすると、約30分後自動で傾斜方向に作動します。

## パワースライドドア警告灯\*・警告メッセージ\*



パワースライドドアが異常のときに、警告灯が点灯または警告メッセージが表示されます。

点灯または表示されたときはシステムの異常が考えられますので、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

警告灯は、エンジンスイッチを **II** にすると数秒間点灯し、消灯するのが正常な状態です。

## ▶▶ パワースライドドア警告灯・警告メッセージ

警告灯が点灯または警告メッセージが表示されているときは、メインスイッチをOFFにして、手動でパワースライドドアを開閉してください。

▶ 自動開閉と手動開閉の切り換え P.97

## ▶▶ イージードアクローザー

### ⚠ 注意

**半ドア状態の位置からドアが自動的に閉まるため、手などをはさまないように注意する。**

イージードアクローザー作動中にスライドドアのハンドルを引くと、作動が止まり半ドア状態のままになります。また、スライドドアのハンドルを引いたままドアを閉めると、イージードアクローザーは作動しません。

パワースライドドアのメインスイッチの位置に関係なくイージードアクローザーが作動します。ただし、メインスイッチがONのときにフューエルリッドを開けると、助手席側のイージードアクローザーは作動しません。

故障の原因になるので、イージードアクローザーが作動しているときは、無理な力をかけないでください。

## イージードアクローザー

スライドドアを半ドア状態の位置まで閉めると、自動的に閉まります。

# セキュリティシステム

## イモビライザーシステム

イモビライザーシステムとは、キーに信号を発信する電子部品が組み込まれてあり、あらかじめ登録されたキーでないとうエンジンの始動ができないようにしたシステムです。

イモビライザーシステムでは、車両とキーの電子照合を行うときに微弱な電波を使用します。エンジンスイッチにキーを差し込むときは、下記の点に注意してください。

- エンジンスイッチの近くに強い電波を発するものを近づけない
- キーを金属に触れさせたり、覆ったりしない
- ほかの車両のイモビライザーシステムのキーを近づけない
- 磁気を帯びたキーホルダーなどを付けたり、テレビ、オーディオなど磁気を帯びた機器の近くに置いたりしない

## セキュリティアラームシステム

セキュリティアラームシステムは、キー、キーレスエントリーまたは Honda スマートキーを使わずにドア、テールゲート、ボンネットを開けると、警報装置が作動するシステムです。

また、エンジンスイッチを **II** にしたときにも作動します。

### ■作動すると

ホーンが断続的に鳴り、非常点滅表示灯がすべて点滅します。

### ■停止させるには

キーレスエントリーまたは Honda スマートキーで解錠してください。システムが停止し、ホーンと点滅も停止します。

### ❗イモビライザーシステム

**システムを改造したりしないでください。**  
エンジンシステムが故障するおそれがあります。

### ❗セキュリティアラームシステム

**警報装置はセキュリティアラームシステムを停止させるまで、最大5分間作動します。**  
ホーンおよび非常点滅表示灯は、1回の作動につき約30秒間作動し、その警報作動が最大10回行われます。



## ■セットするには

セキュリティアラームシステムは、以下の条件が整うと自動的にセットされます。

- エンジンスイッチを $\boxed{0}$ にして、キーを抜く(Honda スマートキーの場合はプッシュオフにする)
- ボンネットが閉まっている
- キーレスエントリーまたは Honda スマートキーですべてのドアとテールゲートが施錠されている

## ■セットされると

メーター内にある作動表示灯が点滅し、約 15 秒後に点滅間隔が長くなります。

## ■セットを解除するには

キーレスエントリーまたは Honda スマートキーで解錠します。同時に作動表示灯が消灯します。

## ※セキュリティアラームシステム

**車内に人が乗っているときやウィンドーが開いているときでも、セキュリティアラームシステムは作動します。**

警報装置の思わぬ作動を防ぐために、人が乗っていたりウィンドーが開いているときには、セキュリティアラームシステムをセットしないでください。

**セキュリティアラームシステムをセットした後にバッテリーがあがり、バッテリーの充電、交換をすると、警報装置が作動することがあります。**

そのときは、キーレスエントリーまたは Honda スマートキーでドアを解錠し、セキュリティアラームシステムを解除してください。

## パワーウィンドーの開閉

エンジンスイッチが **II** のときに、パワーウィンドーの開閉操作を行うことができます。開閉はそれぞれのドアにあるスイッチで行います。運転席のスイッチでは、すべてのパワーウィンドーの開閉操作を行うことができます。

運転席以外のパワーウィンドーの開閉は、運転席のメインスイッチを ON にしてから行います。

メインスイッチを OFF にしておくと、運転席以外のパワーウィンドーは作動しません。お子さまを乗せているときなどは、メインスイッチを OFF にしておいてください。

### ☒ パワーウィンドーの開閉

#### 警告

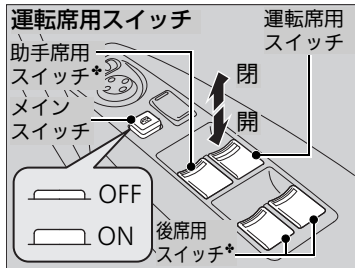
**パワーウィンドーを閉めるときは、同乗者が窓から手や顔などを出していないことを確認する。**

手や顔などをパワーウィンドーにはさむと、重大な傷害を負うおそれがあります。特にお子さまには気をつけてください。

#### 注意

**指などをはさみ込まないように注意する。** 確実に閉めるため、閉め切る直前の部分に、はさみ込みを検知しないエリアがあります。

## 自動開閉機能付きのウィンドーの開閉



### ■手動開閉

開けるとき：スイッチを軽く押す

閉めるとき：スイッチを軽く引き上げる

希望の位置で手を離すことで、窓の開閉を調節します。

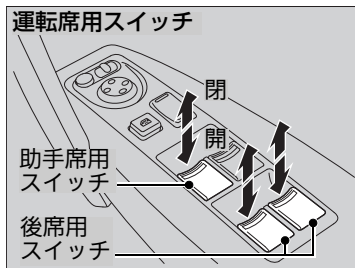
### ■自動開閉

開けるとき：スイッチを強く押す

閉めるとき：スイッチを強く引き上げる

自動的に全開/全閉します。途中で止めるには、スイッチを反対側に軽く上げ/下げします。

## 自動開閉機能なしのウィンドー\*の開閉



開けるとき：スイッチを押す

閉めるとき：スイッチを引き上げる

希望の位置で手を離すことで、窓の開閉を調節します。

## ▶▶ パワーウィンドーの開閉

エンジンスイッチをOFFにしても、キーオフオペレーションにより自動開閉機能付きのパワーウィンドーを以下の時間内、開閉できます。

- **両側パワースライドドア装備車**

約10分間

- **助手席側パワースライドドア装備車**

約45秒間

この場合、運転席のドアを開閉すると、ウィンドーの開閉はできなくなります。

自動開閉機能付きのパワーウィンドーを自動で閉めているときに障害物を検知すると、はさみ込み防止機構によりウィンドーの動きが逆転し止まります。

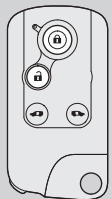
故障などではさみ込み防止機構が作動し、自動でウィンドーを閉めることができなくなったときは、スイッチを軽く引き上げ続けると閉めることができます。

路面や走行条件による衝撃などで、はさみ込み防止機構が作動することがあります。


お子さまが同乗している場合、ウィンドーを開閉できないよう、メインスイッチをOFFにしてください。


メインスイッチをOFFにすると、それぞれのウィンドーの開閉スイッチでの操作ができなくなります。

## ■キーレスエントリーでのウィンドーの開閉\*



Honda  
スマートキー

 施錠ボタン

 解錠ボタン

全席自動開閉機能付きのパワーウィンドー装備車は、キーレスエントリーを使用してパワーウィンドーの開閉が行えます。

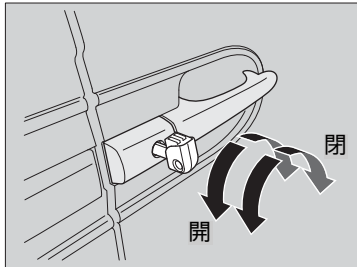
**開けるとき：**キーレスエントリーで解錠後、10 秒以内に再度、解錠ボタンを押し続ける

**閉めるとき：**キーレスエントリーで施錠後、10 秒以内に再度、施錠ボタンを押し続ける

希望の位置で手を離すことで、窓の開閉を調節します。

ウィンドーの開閉中に停止したときは、再度同じ操作を繰り返してください。

## ■ キーシリンダーでのウィンドーの開閉\*



全席自動開閉機能付きのパワーウィンドー装備車は、運転席ドアのキーシリンダーを使用してパワーウィンドーの開閉が行えます。

**開けるとき：**運転席ドアのキーシリンダーにキーを差し込んで解錠後、キーを戻してから 10 秒以内に再度、解錠側いっぱいまでキーを回したままにする

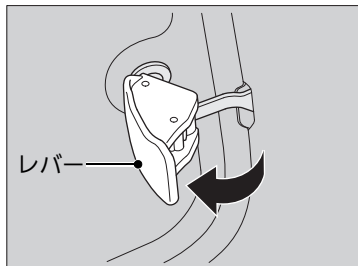
**閉めるとき：**運転席ドアのキーシリンダーにキーを差し込んで施錠後、キーを戻してから 10 秒以内に再度、施錠側いっぱいまでキーを回したままにする

希望の位置で手を離すことで、窓の開閉を調節します。

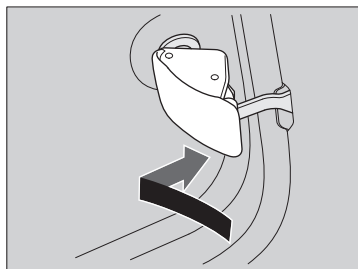
ウィンドーの開閉中に停止したときは、再度同じ操作を繰り返してください。

## 後席ウィンドーの開閉

サードシートのウィンドーを開けることができます。



1. レバーを手前に引く。



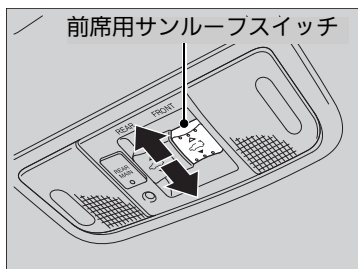
2. レバーを外に押し出して固定する。

閉めるときは逆の手順で行い、レバーを確実に戻します。

## 前席用サンルーフの開閉

エンジンスイッチがIIのときに、前席用サンルーフの開閉操作を行うことができます。

開閉は前席の天井にあるスイッチで行います。



**開けるとき：**スイッチを後ろ側へ引く

**閉めるとき：**スイッチを前側へ押す

希望の位置で手を離すことで、サンルーフの開閉を調節します。

## ☒サンルーフの開閉

### ⚠警告

**サンルーフを開閉するときは、手や顔などをはさまないよう注意する。**

サンルーフにはさまれて、重大な傷害を負うおそれがあります。特にお子さまには気を付けてください。

### ⚠注意

**指などをはさみ込まないように注意する。**

確実に閉めるため、閉め切る直前の部分に、はさみ込みを検知しないエリアがあります。

**走行中や停車中にルーフ開口部から頭や手、ものなどを出さない。**

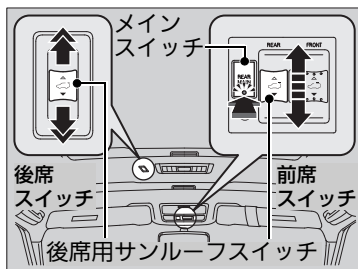
障害物や急ブレーキなどで思わぬ事故につながるおそれがあります。

## ■ 後席用サンルーフの開閉

エンジンスイッチが $\square$ IIのときに、後席用サンルーフの開閉操作を行うことができます。開閉はメインスイッチを ON にしてから、前席、後席の天井にあるスイッチで行います。

メインスイッチを ON にすると、スイッチにある表示灯が点灯します。

メインスイッチを OFF (表示灯消灯) にしておくと、後席用サンルーフは作動しません。お子さまを乗せているときなどは、メインスイッチを OFF にしておいてください。



### ■ 手動開閉

開けるとき：スイッチを後ろ側へ軽く引く

閉めるとき：スイッチを前側へ軽く押す

希望の位置で手を離すことで、サンルーフの開閉を調節します。

### ■ 自動開閉

開けるとき：スイッチを後ろ側へ強く引く

閉めるとき：スイッチを前側へ強く押す

自動的に全開 / 全閉します。途中で止めるには、スイッチを軽く操作します。

## ☒ 後席用サンルーフの開閉

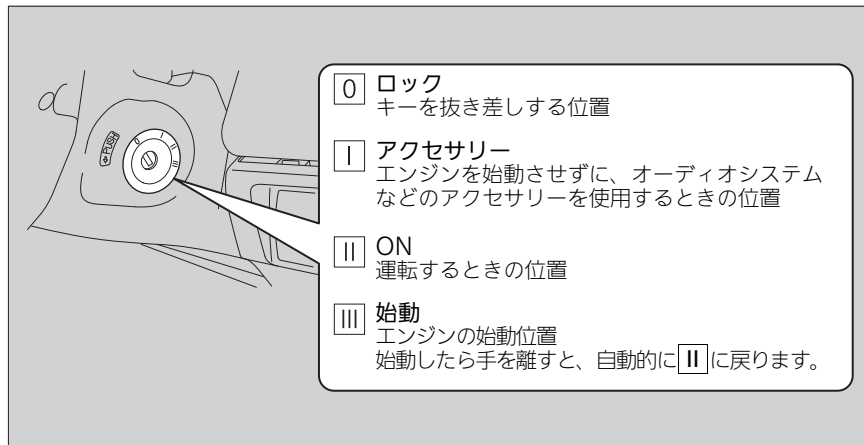
エンジンスイッチをOFFにしても、約45秒間はキーオフオペレーションにより後席用サンルーフを開閉できます。

この場合、運転席のドアを開閉すると、後席用サンルーフの開閉はできなくなります。

後席用サンルーフを自動開閉中に障害物を検知すると、はさみ込み防止機構により後席用サンルーフの動きが逆転し止まります。



## エンジンスイッチ



### ▶エンジンスイッチ

エンジンスイッチが **0** または **I** のときにキーを差し込んだまま運転席ドアを開けると、キー抜き忘れ警告ブザーが鳴ります。

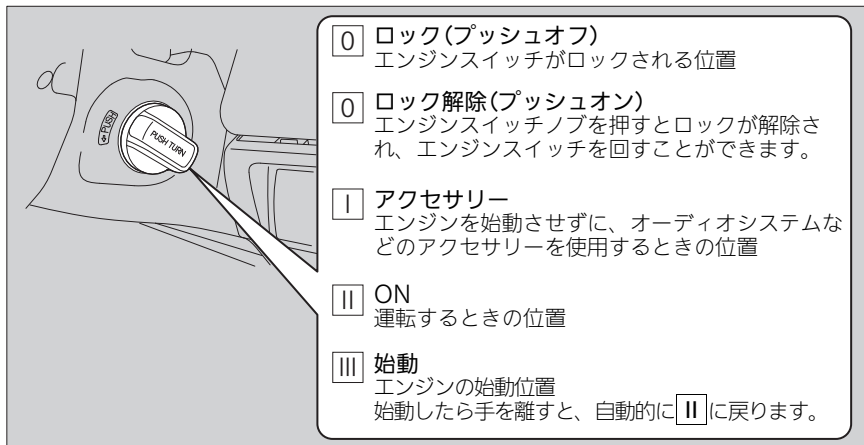
キーを抜いてください。ブザー音が止まりません。

エンジンスイッチが **0** から **I** に回らないときは、ハンドルロックを解除します。

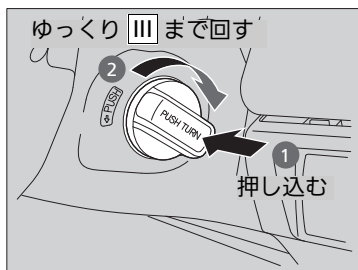
ハンドルを左右に回しながらキーを回してください。ハンドルロックが解除され、キーが回ります。

セレクトレバーを **P** に入れないとキーを抜くことができません。

## Honda スマートキーシステム装備車のエンジンスイッチ



### 始動方法

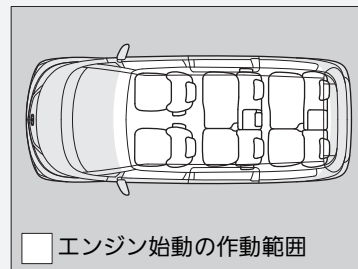


Honda スマートキーの携帯を確認します。

1. エンジンスイッチノブを押す。  
▶エンジンスイッチのロックが解除されると、「ピッ」とブザーが鳴ります。
2. エンジンスイッチを、ゆっくりと III の位置まで回す。

### ※Honda スマートキーシステム装備車のエンジンスイッチ

エンジン始動の機能が作動する範囲は、インストルメントパネル上、カーゴスペースやグローブボックス、ドアポケットなどの各種小物入れを除く車内です。



Hondaスマートキーが車外にあっても、ドアやドアガラスに近づきすぎていると、エンジンの始動ができることがあります。

エンジンスイッチが0からIに回らないときは、ハンドルを左右に動かしながらエンジンスイッチを回してください。

それでも回らない場合は、もう一度エンジンスイッチノブを押し直して、ゆっくりと回してください。

Hondaスマートキーが作動不良の場合は、内蔵キーを使って始動します。

※内蔵キー\*の差し込みかた P.260

## エンジン停止操作の方法

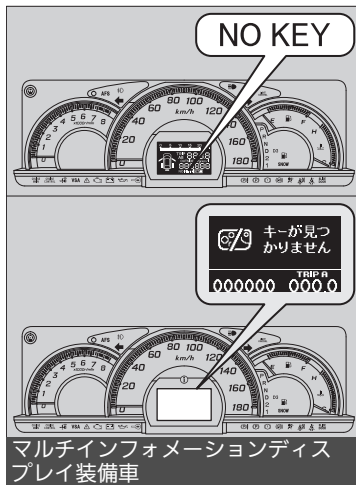
1. セレクトレバーを **[P]** に入れる。
2. エンジンスイッチノブを、ゆっくりと **[0]** まで回す。
  - ▶ エンジンスイッチを **[0]** (プッシュオフ) にすると、ハンドルがロックされます。

## エンジンスイッチ警告ブザー

次の状態で車を離れようとして運転席ドアを開けた場合、警告ブザーが鳴ります。

- エンジンスイッチが **[1]** のとき
- エンジンスイッチが **[0]** で、エンジンスイッチノブを押し込んでいるとき

## Honda スマートキー持ち去り警告



警告ブザーには、車内警告ブザー(ピーッピーッピーッピーッ)と車外警告ブザー(ピピピピピピ)の2種類があります。警告状態が続くときは、Honda スマートキーの携帯位置を変更してください。

### ■エンジンスイッチが **[II]** のとき

Honda スマートキーを車外に持ち出しドアを閉めると、メーター内に警告を表示するとともに、車内警告ブザーと車外警告ブザーが鳴ります。

### ■エンジンスイッチが **[I]** または **[0]** (プッシュオン) のとき

Honda スマートキーを車外に持ち出しドアを閉めると、車外警告ブザーが鳴ります。

## ■エンジン停止操作の方法

車から離れるときは、エンジンスイッチを **[0]** にしてください。

エンジンスイッチが **[0]** 以外では、Honda スマートキーで施錠できません。

## ■Honda スマートキー持ち去り警告

エンジン始動の作動範囲内にHonda スマートキーを戻してドアを閉めると、警告が解除されます。

Honda スマートキーを、インストルメントパネル、グローブボックスなどに置いた場合、電波状態により警告ブザーが鳴ることがあります。

Honda スマートキーを持ち出した状態で、エンジンスイッチを **[0]** にすると、エンジンスイッチの操作ができなくなります。

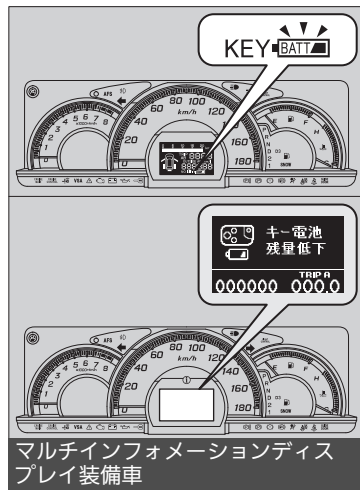
エンジンスイッチを操作するときは、Honda スマートキーを持っていることを確認してください。

窓からの受け渡しでは、Honda スマートキー持ち去り警告は作動しません。

Honda スマートキーがエンジン始動の作動範囲内にあっても、周囲の環境や電波状態によりHonda スマートキー持ち去り警告が行われることがあります。

故障ではありませんので、Honda スマートキーを持っていることを確認してください。

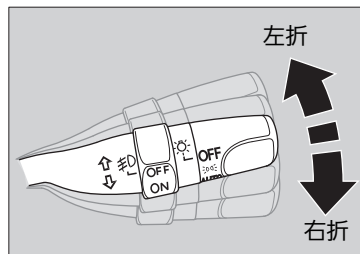
## ■ Honda スマートキー電池消耗警告



電池残量が少なくなったときに、警告音を鳴らし、メーター内に警告を表示します。早めに電池交換を行ってください。

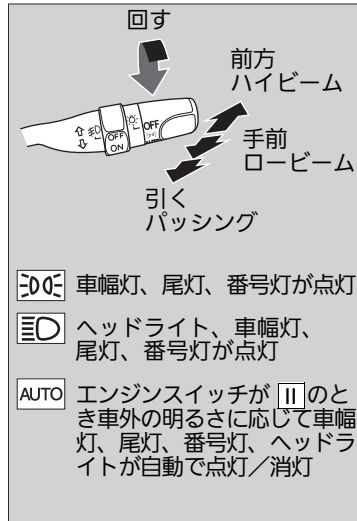
▶ 電池交換のしかた P.236

## 方向指示器(ウィンカースイッチ)



エンジンスイッチが **II** のときに使用できません。

## ライトスイッチ



スイッチを回すとエンジンスイッチの位置に関係なく、点灯/消灯します。

### ■ハイビーム

「カチッ」と音がするまでレバーを前方に押しします。

### ■ロービーム

ハイビームのときは、レバーを手前に引きます。

### ■追越合図(パッシング)

レバーを手前に引き、離します。

### ☒☒ライトスイッチ

ライトを点灯したままキーを抜く/プッシュオフにすると、運転席のドアを開けたときにライト消し忘れ警告ブザーが鳴ります。

ライト類が点灯すると、メーター内の表示灯が点灯します。

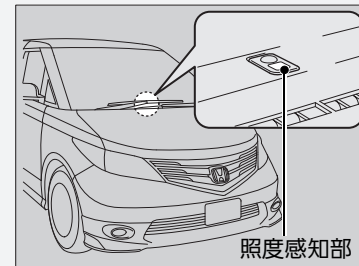
☒☒表示灯 P.57

重い荷物の積載時など、車両の姿勢の変化に応じてヘッドライト光軸の上下方向を自動的に調整するオートレベル機能が付いています。ヘッドライト光軸の異常を感じたときはHonda販売店で点検を受けてください。

ディスチャージヘッドライトの電球は、点灯、消灯を繰り返すと電球の寿命が短くなる特性があります。

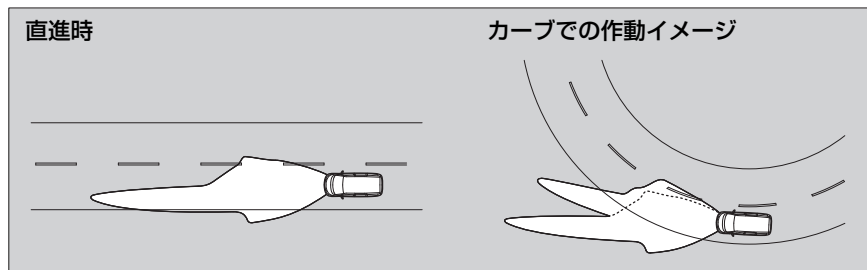
エンジンが停止しているときにライト類を点灯したままにしていると、バッテリーあがりの原因となります。

照度感知部は、図の位置にあります。感知部の上にものを置かないでください。



## AFS(アダプティブフロントライティングシステム)\*

AFS とは、カーブ走行時や交差点での右左折時に旋回方向側のヘッドライト(ロービーム)の配光をハンドルの操作角に応じて進行方向に振り分ける機能で、夜間走行時の視認性を向上させることができます。



### ■ 作動について

AFS 機能はエンジンを始動すると自動的に ON になります。  
ヘッドライトを点灯すると AFS が作動します。

### ※ AFS(アダプティブフロントライティングシステム)

エンジンスイッチを **0** から **I** または **II** にした直後は、ヘッドライトを点灯しても AFS は作動しません。

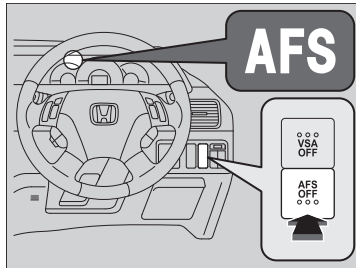
そのまま 20km/h 以上でしばらく走行すると AFS の作動が始まります。

また、しばらく走行後ヘッドライトを点灯した場合は車速が約 10km/h 以上になると作動が始まり、約 5km/h 以下になると作動が停止します。

セレクトレバーが **R** のときは AFS は作動しません。

滑りやすい路面などでタイヤが空転したときは AFS 警告灯が点滅し、AFS の制御を停止することがあります。

エンジンスイッチを **0** または **I** から **II** にすると、作動確認のために一度ヘッドライト(ロービーム側)が動きます。



### ■ AFS 機能を作動させたくないとき

ライト類が点灯しているときに **AFS OFF** を押すと OFF になり、メーター内の AFS 警告灯が点灯します。

再度使用(ON)するには、**AFS OFF** を押し

### ※ AFS(アダプティブフロントライティングシステム)

AFS警告灯が運転中に点滅したときは、安全な場所に停車しエンジンスイッチを **1** または **0** にしてからエンジンを再始動してください。そのとき警告灯が消灯すれば正常です。

消灯しないときや再び点滅したときは、通常の運転には支障はありませんが、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

応急用スペアタイヤを装着したときは、AFS 機能が正常に作動しなくなる場合がありますので **AFS OFF** を押して OFF にしてください。また、できるだけ早く標準タイヤに交換してください。

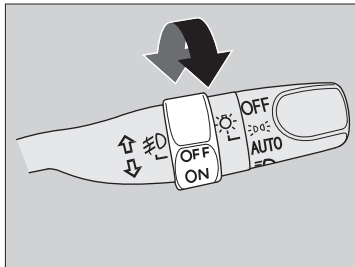
雪の斜面などにヘッドライトが反射して運転の妨げになるときは、**AFS OFF** を押して OFF にしてください。

### ※ フォグライトスイッチ

フォグライトが点灯すると、メーター内の表示灯が点灯します。

▶ 表示灯 P.57

## フォグライトスイッチ

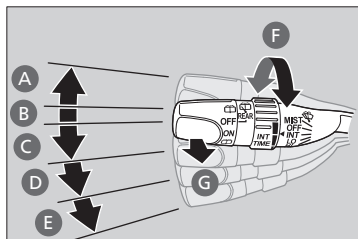


ライトスイッチが OFF 以外のとき(ライトスイッチを **AUTO** にしているときは、車幅灯やヘッドライトが点灯しているとき)に、フォグライトスイッチを回して点灯することができます。

## ワイパー/ウォッシャー

エンジンスイッチが **II** のときに使用できます。

### ■フロントワイパー/ウォッシャー



- A MIST : (レバーを操作している間作動)
- B OFF : 停止
- C INT : 間欠(雨量が少ないとき)
- D LO : 低速(普通の雨量のとき)
- E HI : 高速(雨量が多いとき)
- F 間欠時間の調節
- G ウォッシャー

#### ■MIST

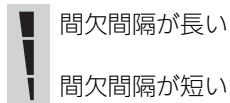
レバーを押し上げている間、作動します。  
霧や小雨のときに使用します。

#### ■ワイパーズスイッチ(OFF、INT、LO、HI)

エンジンスイッチが **II** のときに使用できます。

#### ■間欠時間の調節

リングを回して、ワイパーの間欠時間を調節します。



#### ■ウォッシャーズスイッチ

レバーを手前に引くと、ウォッシャー液が噴射します。

レバーを引いている間はワイパーが作動し、レバーを離すと数回ワイパーが作動して止まります。

### ☒ワイパー/ウォッシャー



**寒冷時はフロントガラスが暖まるまでウォッシャー液を噴射させない。**

ウォッシャー液が凍りついて視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

間欠作動中は、車速が速くなると間隔が停止時より数秒短くなります。また、発進時にワイパーが1回作動します。

間欠時間を短いほうにいっぱい回っている状態で車速が速くなると、ワイパーが間欠から低速作動に切り換わります。

#### アドバイス

**ワイパーを乾拭きさせないでください。**

ガラスが傷付いたりブレードラバーを傷めたりします。

#### アドバイス

**ウォッシャー液が出ないときは、スイッチを切ってください。**

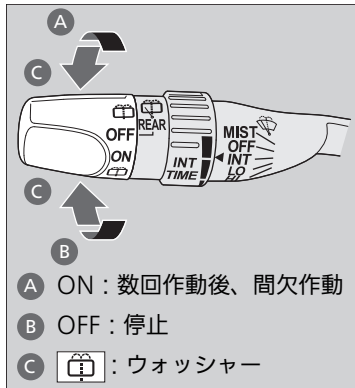
ポンプ故障の原因となります。

**寒冷時、凍結によりワイパーブレードがガラスに張りつくことがあります。**

ワイパー故障の原因となりますので、デフロスターやフロントガラス熱線でフロントガラスを暖めてから、ワイパーを作動させてください。



## リヤワイパー/ウォッシャー



### ■リヤワイパースイッチ

エンジンスイッチが **II** のときに使用できます。

### ■ウォッシャースイッチ

スイッチを **III** まで回すと、ウォッシャー液が噴射します。

スイッチを回している間はワイパーが作動し、スイッチを離すと数回ワイパーが作動して止まります。

### ■リバース連動モード

フロントワイパー作動中にセレクトレバーを **R** に入れるとリヤワイパーが作動します。

フロントワイパーのレバー位置と作動モード	リヤワイパーの作動モード
INT(間欠)	間欠作動
LO(低速)	
HI(高速)	連続作動

## ※ワイパー/ウォッシャー

ワイパー作動中に雪などがたまりワイパーが停止したときは、安全な場所に停車してください。

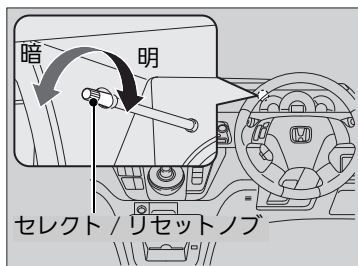
ワイパースイッチをOFF、エンジンスイッチを **I** または **0** にしてから、ワイパーが作動できるように障害物を取り除いてください。

ワイパーモーターには、保護機能としてブレーカーを内蔵しています。

ワイパーモーターの負荷が大きい状態が続いたときなどは、ブレーカーが作動し一時的にワイパーが停止することがあります。

数分経過すると、ブレーカーが復帰し、通常通り使用できるようになります。

## イルミネーションコントロール



インストルメントパネル照明の明るさを、車幅灯点灯時と消灯時で別々に調節することができます。

**明るくする：**ノブを右に回す



**暗くする：**ノブを左に回す

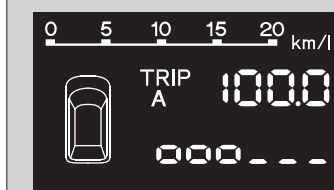
明るさが最大 / 最小になると電子音が鳴ります。

また、明るさの調節後、数秒経過するとディスプレイが元の表示に戻ります。

### ■明るさ調節表示

SELECT/リセットノブを押すとディスプレイが明るさ調節表示に切り換わります。



 または  が右に増えていくほど、メーター照明が明るくなります。








マルチインフォメーションディスプレイ装備車

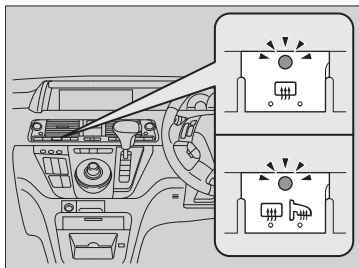
### ☒イルミネーションコントロール

車幅灯が点灯しているときと消灯しているときでは、メーター照明の明るさは異なります。

ライトスイッチを  または  にすると、まぶしさを軽減するためにメーター照明が暗くなります。

- 明るさ調節中にSELECT/リセットノブを押すか、 を押すと、ディスプレイは元の表示になります。
- 車幅灯点灯時に  または  がすべて表示されるまでSELECT/リセットノブを右に回すと、「ピッ」という音がして車幅灯消灯時の設定になります。
- 車幅灯点灯時に  または  がすべて表示されなくなるまでSELECT/リセットノブを左に回すと、明るさが最小になります。このとき走行したり、車幅灯を点灯させたりすると、明るさ最小の状態が解除され、元の明るさに戻ります。

## リヤデフロスタースイッチ



エンジンスイッチが **II** のときに、リヤガラスを暖め、曇りをとりたいときに使用します。

スイッチを押すとリヤデフロスターがONになります。

### ❖リヤデフロスタースイッチ

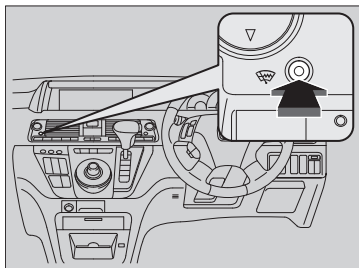
**リヤガラスの内側を清掃するときは、電熱線を傷付けないよう注意してください。**

必ず、デフロスターの電熱線に沿って左右方向に拭いてください。

**この装置は消費電力が大きいため、曇りが取れたらOFFにしてください。**

また、エンジンの回転数が低いときに長時間使わないでください。バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。

## フロントガラス熱線スイッチ\*



エンジンスイッチが **II** のときに、フロントガラスの下端を暖め、雪の固着や凍結によるワイパーブレードラバーの損傷を防ぐことができます。

スイッチを押すと、フロントガラス熱線がONになります。

約 15 分経過後、自動的に停止します。

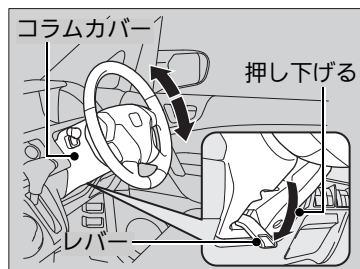
### ❖フロントガラス熱線スイッチ

**この装置は消費電力が大きいため、長時間使わないでください。**

また、エンジンの回転数が低いときに長時間使用するとバッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。

## ハンドルの調節

適切な運転姿勢で無理なくハンドルを握れるように、ハンドルの位置を調節することができます。



1. ハンドル位置調節レバーを押し下げる。  
▶ ハンドル位置調節レバーは、コラムカバーの下にあります。
2. ハンドルの高さを調節する。  
▶ 調節した位置で、メーターや表示灯が見えることを確認してください。
3. ハンドル位置調節レバーを引き上げ、ハンドルを固定する。

### ☒ ハンドルの調節

#### ⚠ 注意

**走行中にハンドル位置を調節しない。**

走行中に調節すると、ハンドル位置が動き、正確なハンドル操作ができないことがあります。衝突して重大な傷害を負うおそれがあります。ハンドルの調節は、必ず停車中に行ってください。

位置調節後、ハンドルに上下方向の力を加え、ハンドルがしっかり固定されていることを確認してください。

# ミラー類の調節

## ルームミラー



ルームミラーの角度は、正しい運転姿勢ですわった位置でミラーを調節してください。

### ■防眩式ルームミラー

ルームミラーは夜間走行時、後続車のヘッドライトの反射を弱くするための切り換えができます。

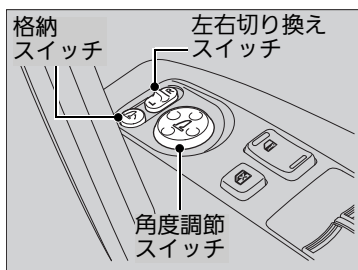
### ※ミラー類の調節

ミラー類の調節は、走行前に行ってください。

### ※ドアミラー

エンジンスイッチが **0** または **1** のときは、手動で格納、開放をすることもできます。

## ドアミラー



エンジンスイッチが **II** のときに、ドアミラーの操作を行います。

### ■角度調節

**左右切り換えスイッチ**：右か左を選択するスイッチです。角度調節後、中央の位置に戻します。

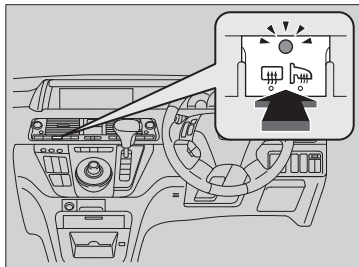
**角度調節スイッチ**：上下左右に鏡面を動かすスイッチです。

### ■格納

格納スイッチを押すごとに ON と OFF が切り換わります。

	格納スイッチの状態	ミラーの状態
ON		
OFF		

## ■ヒートッドアミラー\*



エンジンスイッチが **II** のときに使用できません。スイッチを押すと表示灯が点灯し、ドアミラーが暖められ曇りが取れます。

## ■アクアクリンミラー\*

雨天時の視認性向上のため、ミラー表面に付着した雨滴を膜のように広げる親水効果を持つコーティングを施しています。

### ■親水効果の回復

ミラー表面に汚れなどが付着して親水効果が低くなったときは、以下の手順を行うことにより効果が回復します。

1. ミラー表面を水洗いし、汚れを落とす。
2. 水を含ませたきれいな布で拭き取る。  
▶ 汚れが落ちない場合は純正ガラスクリーナーや家庭用中性洗剤を使用して洗浄後、十分な水で洗い流してください。
3. 5～9時間ほどミラー表面に太陽光を当てる。

## ※ヒートッドアミラー

ヒートッドアミラーはリヤガラスの曇り取りと同時に作動します。

▶ **リヤデフロスター** P.121

## ※アクアクリンミラー

### アドバイス

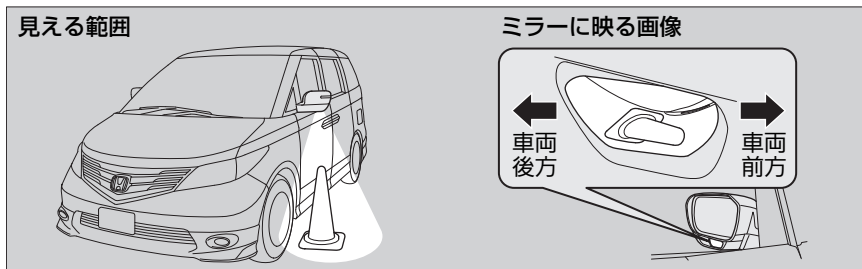
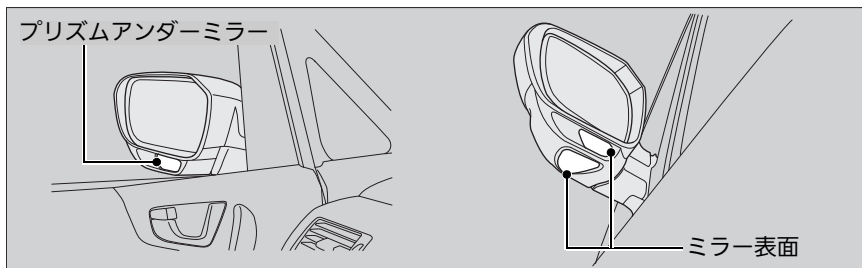
ミラーの親水効果が失われますので、以下の点にご注意ください。

- ミラー表面に撥水剤やワックスを付着させない
- 砂の付いた布や油膜取り剤(コンパウンドなど)でミラー表面をこすらない

## プリズムアンダーミラー

助手席側ドアミラーの下部に付いています。

停車時や発進時に車両左側助手席付近を確認するときに役立ちます。



### ❑プリズムアンダーミラー

ミラー表面の傷付きや曇りによる視界の妨げを防止するために次のことをご守りください。

- ミラー表面に撥水剤やワックスを付着させない
- ミラー表面が凍結しているときは解氷剤やプラスチックの板を使用せずに、温水や水道水を使って溶かす
- 砂の付いた布や油膜取り剤(コンパウンドなど)でミラー表面をこすらない

車両後方の確認は直接目視で確認するか、ルームミラー、ドアミラーなどで十分に行ってください。

プリズムアンダーミラーの角度調節はできません。

汚れや水滴を拭き取るときはきれいな布で拭き取ってください。

水洗いでミラーの汚れが落ちない場合や、誤ってワックスなどを塗布してしまった場合は、家庭用中性洗剤を使って柔らかい布でミラー表面を拭き取ってください。

# シートの調節

## フロントシート

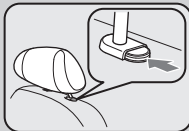
運転者は、正しい運転姿勢がとれるようにシートを調節します。

正しい運転姿勢とは、シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込め、ハンドル操作が楽にできる姿勢をいいます。

### ■フロントマニュアルシート\*/ヘッドレストの動かし方

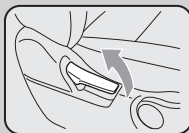
#### ■ヘッドレストの調節

- 高くするときは、引き上げる
- 低くするときは、ノブを押しながら下げる



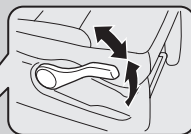
#### ■背もたれの角度調節

レバーを引き上げながら調節



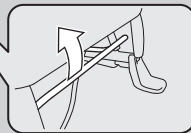
#### ■高さの調節

レバーを繰り返し引き上げ / 下げし、高さを調節



#### ■前後位置の調節

レバーを引き上げながら、前後位置を調節



### ■フロントシート

#### ⚠ 注意

#### 走行中にシートの調節はしない。

走行中に調節するとシートが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行前に行い、確実に固定されていることを確認してください。

シートを操作するときは、手や足などをはさまないように十分注意する。

#### フロントシートの下に物を置かない。

物がはさまってシートが固定されず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

フロントシートは、エアバッグからなるべく離れた位置に調節してください。

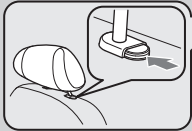
同乗者もシートに深く腰かけ、背もたれから背を離さないようにしてください。



## ■ フロントパワーシート\*/ヘッドレストの動かし方

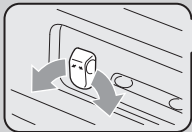
### ■ ヘッドレストの調節

- 高くするときは、引き上げる
- 低くするときは、ノブを押しながら下げる



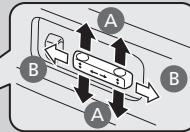
### ■ 背もたれの角度調節

スイッチを前後に動かして調節



A ■ 高さの調節  
スイッチを上下に動かして高さを調節

B ■ 前後位置の調節  
スイッチを前後に動かして前後位置を調節



## ■フロントシートの調節

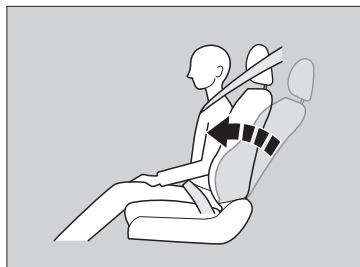


### ■シート位置の調節

運転者とハンドルとの間に十分な距離をとれるように、シートをできるだけ後ろに下げます。

助手席の同乗者のシートも同様に、ダッシュボードの SRS エアバッグからできるだけ離れた位置までシートを下げます。

シートの位置を調節したら、シートを前後に揺すり、固定されていることを確認します。



### ■背もたれ角度の調節

シートに深く腰かけ、楽な姿勢ですわれるように背もたれを起こし調節します。

助手席の同乗者のシートも同様に、楽な姿勢ですわれるように背もたれ角度を調節します。

## ☒フロントシートの調節

### ⚠警告

**SRS エアバッグからできるだけ離れた位置までシートを下げる。**

ハンドルやダッシュボードに近づきすぎると、フロントエアバッグが膨らむ際に重大な傷害を受けたり、死亡したりするおそれがあります。

**背もたれを必要以上に倒さない。**

背もたれを必要以上に倒すと、衝突したときに重大な傷害を受けたり、死亡したりするおそれがあります。

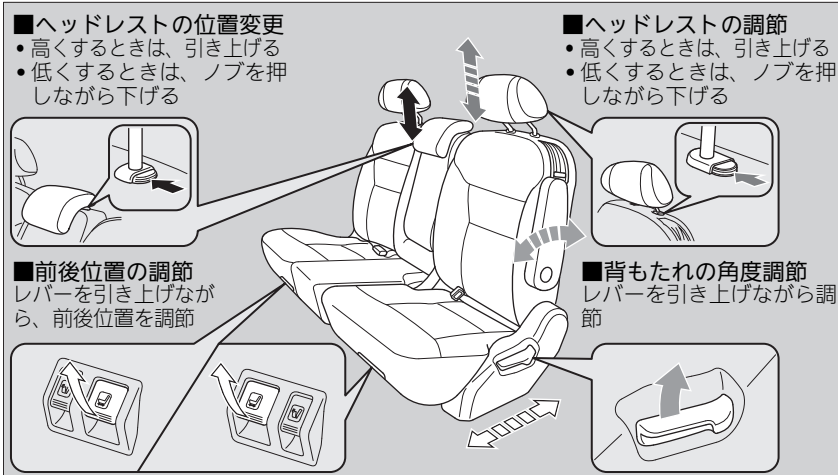
### ⚠注意

**背もたれと背中間にクッションなどを入れない。**

正しい運転姿勢がとれません。また、シートベルトなどの効果が十分に発揮されません。

## セカンドシート

### セカンドベンチシート\*/ヘッドレストの動かしかた



### セカンドシート

#### 警告

**背もたれを必要以上に倒さない。**

背もたれを必要以上に倒すと、衝突したときに重大な傷害を受けたり、死亡したりするおそれがあります。

#### 注意

**走行中にシートの調節はしない。**

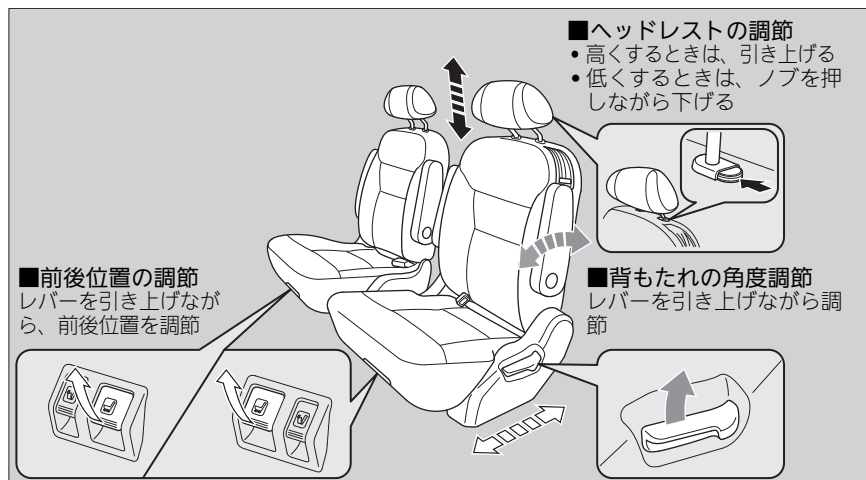
走行中に調節するとシートが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行前に行い、確実に固定されていることを確認してください。

**シートを操作するときは、手や足などをはさまないように十分注意する。**

**セカンドシートの下に物を置かない。**

物がはさまってシートが固定されず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## ■セカンドキャプテンシート\*/ヘッドレストの動かし方



## ■ サードシートへの乗り降り



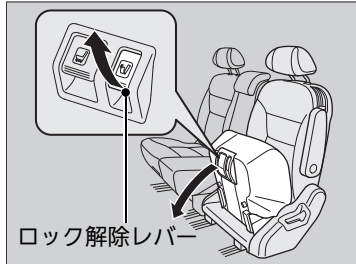
### ■ ウォークイン機構

1. 背もたれ調節レバーを引き上げると、背もたれが前に倒れ、座面がはね上がる。  
▶ウォークインレバーを押し上げても、操作できます。
2. そのままシートを前方に押す。  
走行する前にシートを元に返し、前後位置を調節してください。



### ■ シートを元に戻すとき

1. シートを後方へ押して、前後位置を調節する。
2. 背もたれを起こしてシートを固定する。
3. ロック解除レバーを引き上げながら、座面を倒して固定する。



## ※ サードシートへの乗り降り

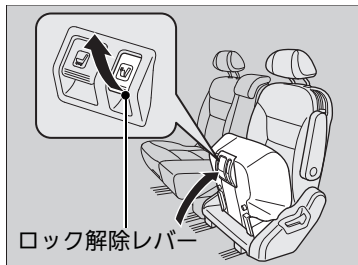
### ■ セカンドベンチシート 装備車

シートを操作するときは、あらかじめ中央の二点式シートベルトを収納してください。

▶二点式シートベルト P.26

シートを操作したら、シートを前後にゆすって固定されていることを確認してください。

### ■ 座面をはね上げて固定するとき



ロック解除レバーを引き上げながら、座面を起こして固定します。

### ■ 元に戻すとき

ロック解除レバーを引きながら、座面を倒します。



座面をはね上げた状態でも前後位置調節レバーを引き上げれば、前後に動かすことができます。

### ※ 座面をはね上げて固定するとき

#### セカンドベンチシート装備車

シートを操作するときは、あらかじめ中央の二点式シートベルトを収納してください。

▶ 二点式シートベルト P.26

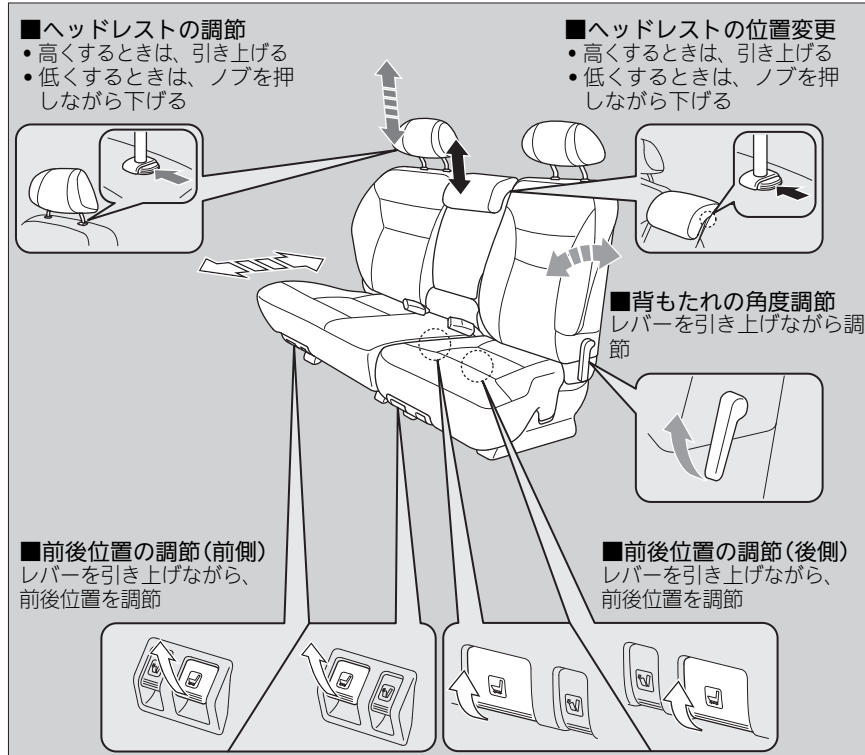
前寄りの位置では、ロック解除レバーを引いても座面が降りないようにロックをかけている箇所があります。

座面が降りないときは無理に降ろさず、もう一度シートを後方へ動かしてから降ろしてください。

シートを操作したら、シートを前後にゆすって固定されていることを確認してください。

## サードシート

### サードシート / ヘッドレストの動かし方



### サードシート/ヘッドレストの動かし方

#### 警告

**背もたれを必要以上に倒さない。**

背もたれを必要以上に倒すと、衝突したときに重大な傷害を受けたり、死亡したりするおそれがあります。

#### 注意

**走行中にシートの調節はしない。**

走行中に調節するとシートが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行前に行い、確実に固定されていることを確認してください。

**エンジンをかけた状態でシートを操作するときは、排気管の後方に立たない。**

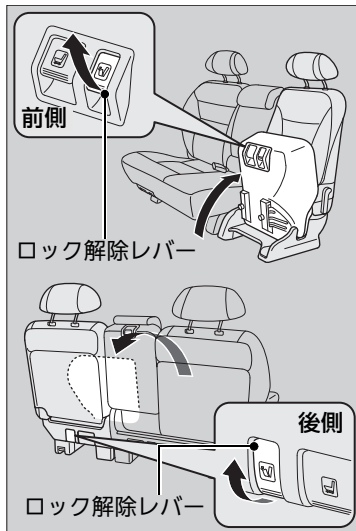
やけどなどの思わぬけがをすることがあります。

**シートを操作するときは、手や足などをはさまないように十分注意する。**

**サードシートの下に物を置かない。**

物がはさまってシートが固定されず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## ■ 座面をはね上げて固定するとき



前側または後側のロック解除レバーを引き上げながら、座面を起こして固定します。

## ■ 元に戻すとき

ロック解除レバーを引きながら、座面を倒します。

## ※ 座面をはね上げて固定するとき

シートを操作するときは、あらかじめ中央の二点式シートベルトを収納してください。

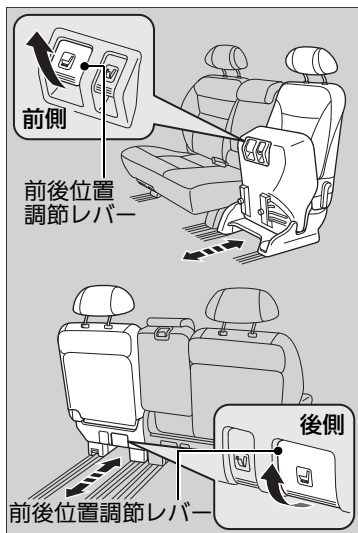
▶ 二点式シートベルト P.26

前寄りの位置では、ロック解除レバーを引いても座面が降りないようにロックをかけている箇所があります。

座面が降りないときは無理に降ろさず、もう一度シートを後方へ動かしてから降ろしてください。

シートを操作したら、シートを前後にゆすって固定されていることを確認してください。





座面をはね上げた状態でも、前側または後側の前後位置調節レバーを引き上げれば、前後に動かすことができます。

## ヘッドレスト

### ■フロントシート、セカンド/サードシート(左右)のヘッドレストの調節

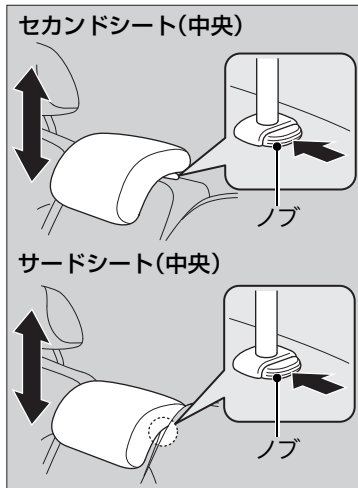


後頭部の中心が、ヘッドレストの中心に来るようにヘッドレストの高さを調節します。

高くするとき：ヘッドレストを引き上げます。

低くするとき：ノブを押しながら下げます。

### ■セカンドシート(中央)\*、サードシート(中央)ヘッドレストの位置変更



乗車するときは、走行する前にヘッドレストを引き上げて、確実に固定します。

高くするとき：ヘッドレストを引き上げます。

低くするとき：ノブを押しながら下げます。

### ⊠ヘッドレスト



**警告**

**ヘッドレストは必ず正しい位置に調節する。**

ヘッドレストの高さが適切でないと、ヘッドレストの効果が低くなり、衝突したときに重大な傷害を受けるおそれがあります。

**ヘッドレストを外した状態で走行しない。**

衝突したときに重大な傷害を受けるおそれがあります。

**セカンドシート(中央)、サードシート(中央)のヘッドレストを下げた状態で走行しない。**

衝突したときに重大な傷害を受けるおそれがあります。

## アームレスト

### ■ フロントシートアームレスト\* の操作



前に倒して使います。

背もたれの角度に合わせてアームレストの角度を調節できます。

**高くするとき**：アームレストを引き上げます。  
**低くするとき**：アームレストをいったん上まで引き上げてから下げます。

### ■ セカンドシートアームレストの操作



前に倒して使います。

### ※アームレスト

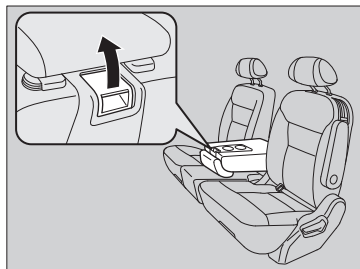


**注意**

**シートベルト着用時にアームレストに引っかけない。**

万一のときにシートベルトの機能が発揮できず、重大な傷害を負うおそれがあります。

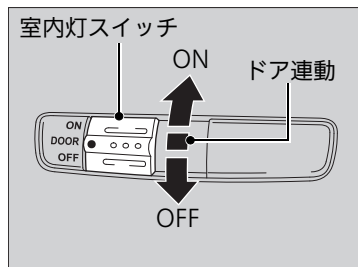
## ■ セカンドベンチシート\*・サードシートアームレストの操作



ノブを引いて前に倒して使います。

## 室内灯

### 室内灯スイッチ



#### ■ON

ドアの開閉に関係なく室内灯が点灯。

#### ■ドア連動

以下のときに室内灯が点灯。

- いずれかのドアを開けたとき
- 運転席ドアを解錠したとき
- エンジンスイッチからキーを抜いたとき
- Honda スマートキー装備車は、エンジンスイッチを **0** にしたとき

#### ■OFF

ドアの開閉に関係なく室内灯が消灯。

### ※室内灯

ドア連動で室内灯が点灯している場合は、ドアを閉めると約30秒後に消灯します。

以下の場合も30秒後に消灯します。

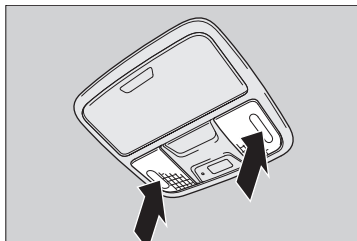
- 運転席ドアを解錠してドアを開けなかったとき
- キーを抜いてドアを開けなかったとき
- Hondaスマートキー装備車はエンジンスイッチを **0** (プッシュオフ)にしてドアを開けなかったとき

また、以下の操作を行うと室内灯はすぐに消灯します。

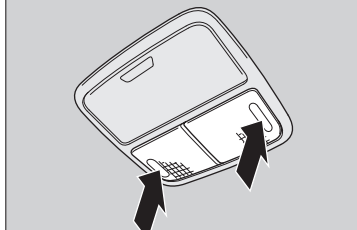
- 運転席ドアを施錠したとき
- エンジンスイッチにキーが差し込まれた状態でドアを閉めたとき
- Honda スマートキーを使っているときは、エンジンスイッチが **0** (プッシュオフ)以外の状態でドアを閉めたとき
- エンジンスイッチを **II** にしたとき

キーが差し込まれていない状態、Hondaスマートキーシステム装備車の場合はエンジンスイッチが **0** (プッシュオフ)のときにいずれかのドアを開けたままにすると、約3分後に消灯します。

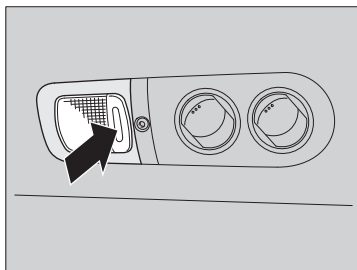
## ■ マップランプ



ナビゲーションシステム装備車



ナビゲーションシステム非装備車



### ■ フロントシート用マップランプ

夜間、車を停めて地図を見るときなどに使用するライトです。

室内灯スイッチがON以外のときは、レンズを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。

### ■ セカンド/サードシート用マップランプ

室内灯スイッチがドア連動のときに操作できます。

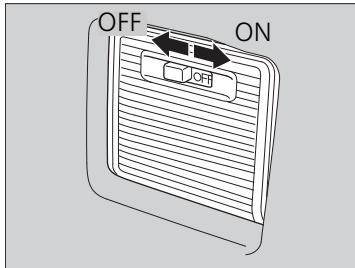
レンズを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。

## ※ マップランプ

以下のときレンズを押しても消灯できません。

- 室内灯スイッチがONのとき
- 室内灯スイッチがドア連動でドアが開いているとき

## ■ カーゴスペース照明灯



### ■ ON

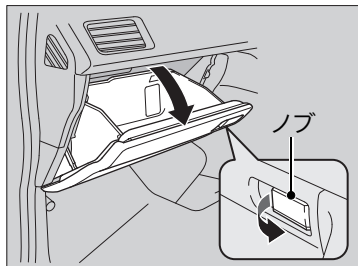
テールゲートを開けると点灯し、閉めると消灯。

### ■ OFF

テールゲートの開閉に関係なく消灯。

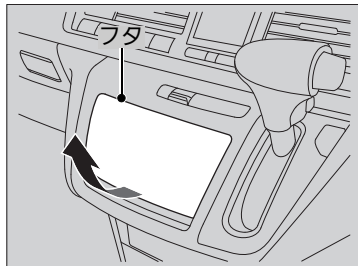
## 室内装備品

### ■グローブボックス



ノブを引くと開きます。

### ■フロントアッパーポケット\*



フタを上げると開きます。

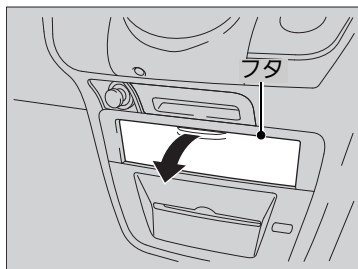
### ※グローブボックス



**走行中は必ずグローブボックスを閉める。**  
グローブボックスが開いていると、衝突したときに同乗者が重大な傷害を負うおそれがあります。

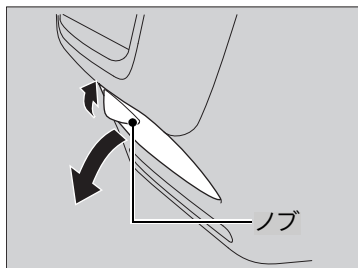


## ■ センターポケット\*



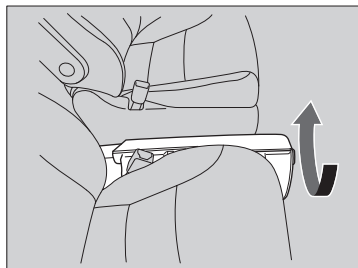
フタを下げると開きます。

## ■ センターロアポケット\*

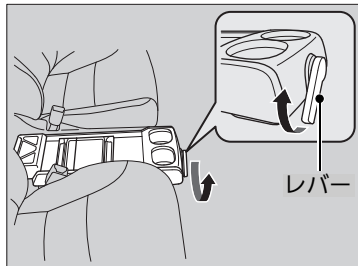


ノブを引くと開きます。

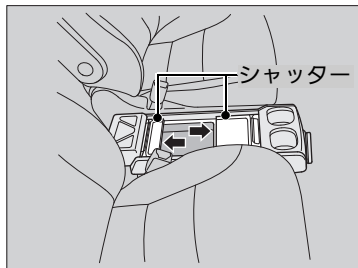
## ■センターテーブル\*



センターテーブルが格納されているときは、起こして使います。



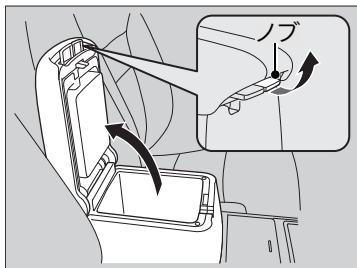
格納するときは、レバーを引いてテーブルをおろします。



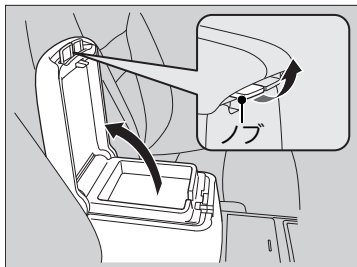
## ■センターテーブルボックス

シャッターを開けて使います。

## ■ コンソールボックス\*

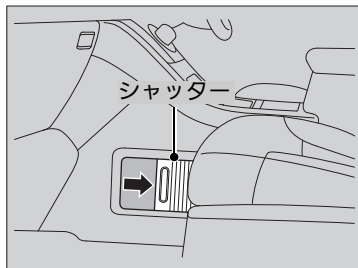


助手席側ノブを引くと開きます。



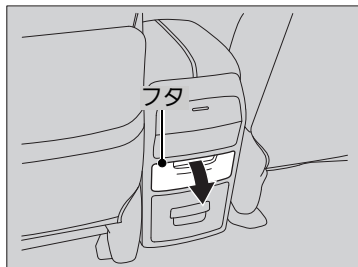
フタの中も小物入れとして使えます。  
運転席側ノブを引くと開きます。

## ■アンダーボックス\*



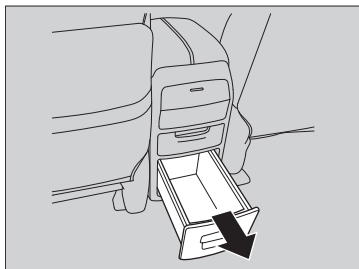
シャッターを開けて使います。

## ■コンソールアッパーポケット\*



フタを下げると開きます。

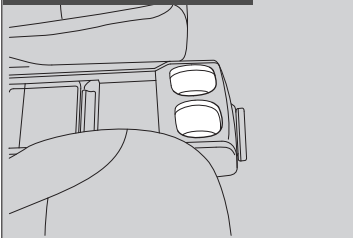
## ■ コンソールロアボックス\*



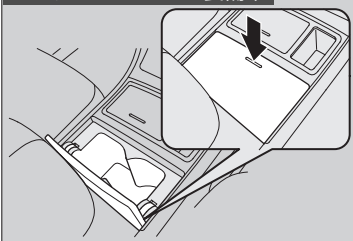
前端部を引き出します。

## ■ カップホルダー

センターテーブル装備車



センターコンソール装備車



## ■ フロントシート用カップホルダー

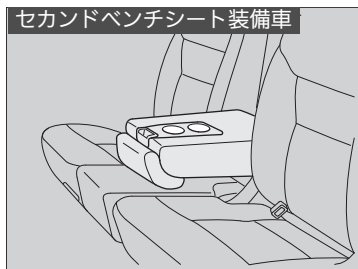
矢印部を押すとフタが開きます。

## ☒ カップホルダー

### ⚠ 注意

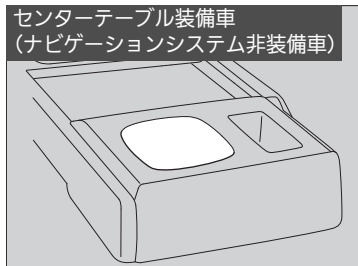
飲み物などを電装品にこぼさないように注意する。

スイッチなどの電装品に飲み物がかかると故障の原因となったり車両火災につながったりするおそれがあります。

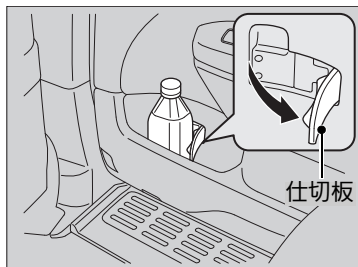


### ■セカンドシート用カップホルダー

アームレストを前に倒して使います。

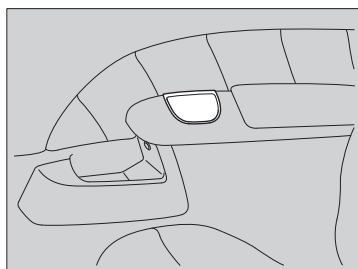


矢印部を押すとフタが開きます。



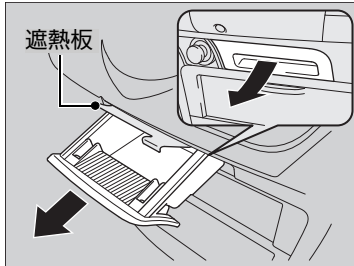
仕切板を手前に出して使います。

■サードシート用カップホルダー





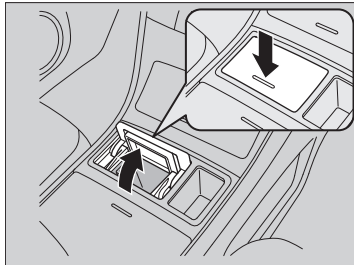
## 灰皿



### センターテーブル装備車

引き出して使います。

- ▶ 清掃するときは遮熱板を下に押さえずに外します。



### センターコンソール装備車

矢印部を押すとリッドが開きます。

- ▶ 清掃するときは灰皿本体を引き抜きます。

## ※灰皿

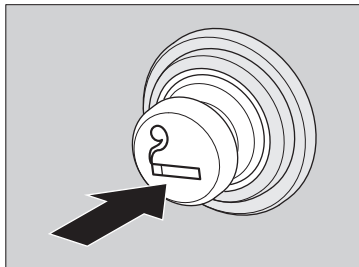
### ⚠ 注意

**タバコ、マッチなどは確実に火を消して、灰皿は必ず閉める。**

吸がらをためすぎたり、紙くずなどの燃えやすいものを入れないでください。

タバコの火が燃え広がるおそれがあります。

## ■シガレットライター\*



エンジンスイッチが **I** または **II** のときに使えます。

ライターを押し込んで手を離し、元の位置に戻るまで待ちます。

- ▶ヒーター部が赤熱すると自動的に戻ります。

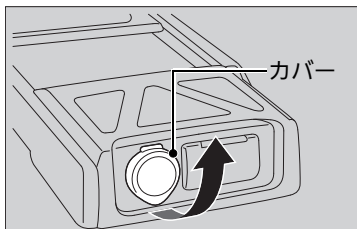
## ※シガレットライター



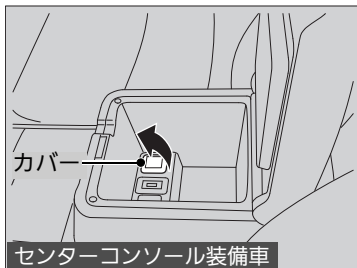
**注意**

**シガレットライターの金属部分に触れない。**  
やけどのおそれがあります。

## アクセサリースOCKET\*



センターテーブル装備車



センターコンソール装備車

エンジンスイッチが **I** または **II** のときに  
使用できます。

カバーを開けて使います。

## ※アクセサリースOCKET

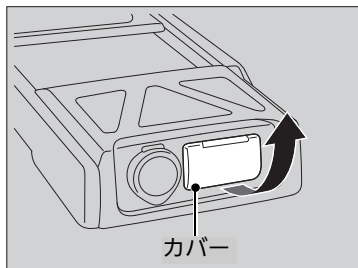
消費電力120W(10A)以下のアクセサリ  
に、直流12Vの電源を供給します。

**シガレットライターは差し込まないでござい。**

発熱するおそれがあります。

**バッテリーあがりを防ぐため、エンジンがかかっている状態でご使用ください。**

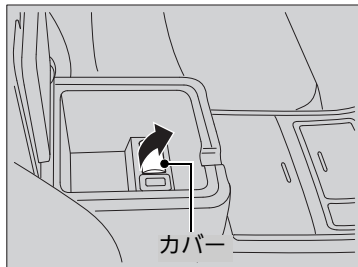
## ■ AV 入力端子\*



### センターテーブル装備車

センターテーブルの後面にあります。

カバーを開けて使います。



### センターコンソール装備車

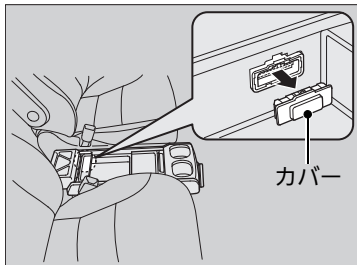
センターコンソールボックスの中にあります。

カバーを開けて使います。

## ※AV入力端子

詳しい操作については、別冊の「ナビゲーションシステム」取扱説明書をご覧ください。

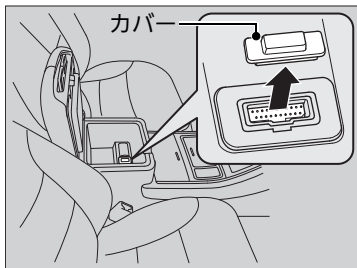
## 携帯電話接続端子\*



### センターテーブル装備車

センターテーブルのボックス内にあります。

カバーを外して使います。



### センターコンソール装備車

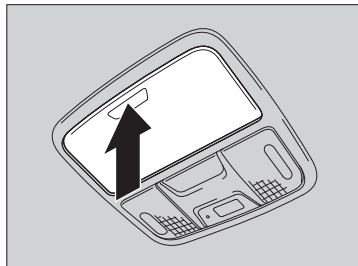
センターコンソールボックスの中にあります。

カバーを外して使います。

## ※携帯電話接続端子

詳しい操作については、別冊の「ナビゲーションシステム」取扱説明書をご覧ください。

## ■ サングラスボックス



矢印部を押すと開きます。  
もう一度押すと格納されます。

サングラスなどを入れることができます。

## ☒ サングラスボックス

炎天下での駐車は高温になりますので、メガネなどを入れたままにしないでください。  
レンズやフレームが、変形やひび割れを起こすことがあります。

開閉は停車中に行い、走行中は必ず閉めておいてください。

## シートヒーター\*



エンジンスイッチが **II** のとき使用できません。運転席、助手席のシートを暖めることができます。

スイッチを **HI** 側か **LO** 側に押します。シートを早く暖めたいときは **HI** 側を押します。暖まったら **LO** 側にしてください。作動中、押している側の表示灯が点灯します。スイッチを切るときは、反対側を軽く押し、表示灯を消します。

## ※シートヒーター

### ⚠ 注意

#### 低温やけどに注意する。

次のようなかたは、低温やけどに十分注意してください。

- 乳幼児、お年寄り、体の不自由なかた
- 皮膚の弱いかた
- 疲労の激しいかた

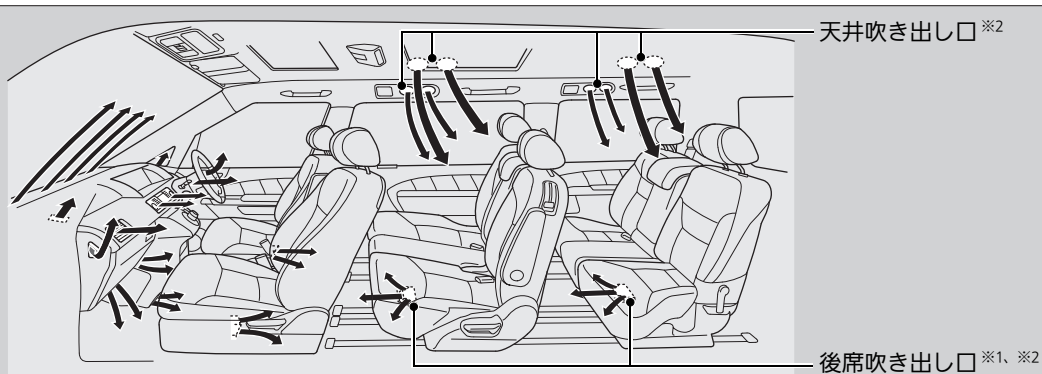
また、毛布など保温性の高いものをかけて使用すると低温やけどをすることがあります。

この装置は消費電力が大きいため、エンジンが停止しているときは長時間使わないでください。

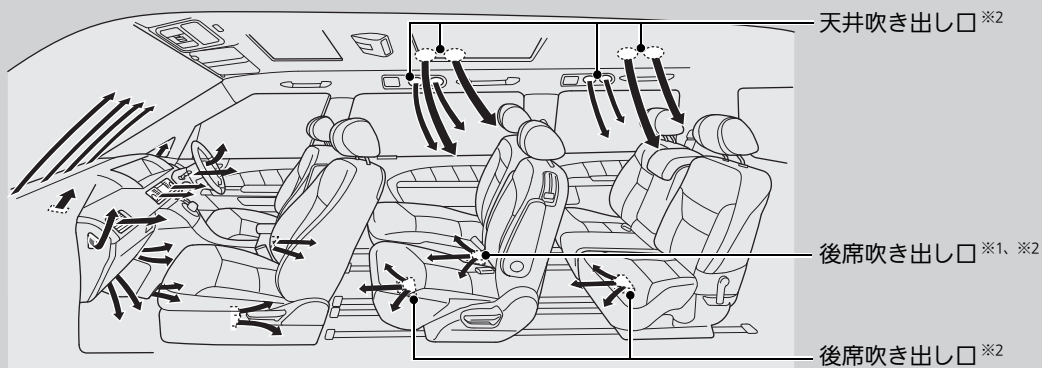
バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。

# エアコン

## エアコンの吹き出し口



セカンドベンチシート装備車



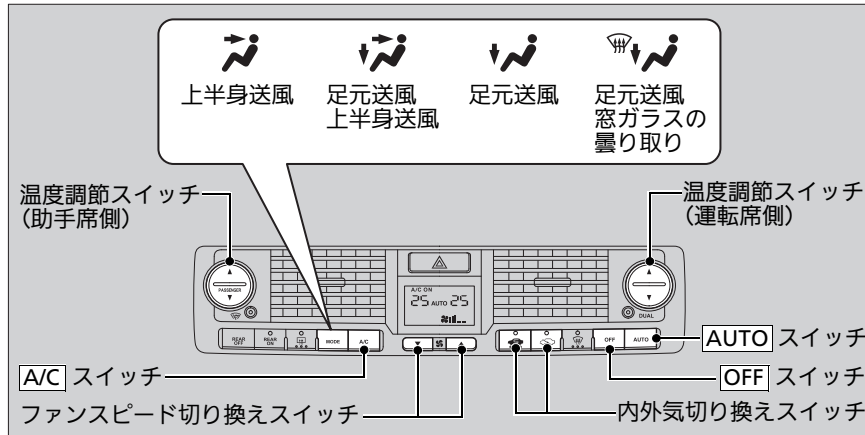
セカンドキャプテンシート装備車

※1 : 後席用オートエアコン装備車

※2 : 後席エアコン、クーラー作動時のみ風が吹き出します。



## オートエアコンの使いかた



エンジンを始動してから使用します。

1. **AUTO** を押す。
2. 運転席側の温度調節スイッチで温度を調節する。
3. 停止するときは、**OFF** を押す。

### ■内気 / 外気の切り換え

状況に合わせて 、 を押して、内気 / 外気を切り換えます。

- 内気 (表示灯点灯)：トンネルや渋滞などで、汚れた空気を車内に入れたくない場合
- 外気 (表示灯点灯)：換気を行う場合

### ■除湿暖房

暖房中に **A/C** を押すと、除湿暖房となります。

### ▶▶ エアコン

音声操作の詳細は、別冊の「ナビゲーションシステム」取扱説明書をご覧ください。

### ▶▶ オートエアコンの使いかた

オート(AUTO)で使用しているいずれかのスイッチを押すと、押したスイッチの機能が優先されます。

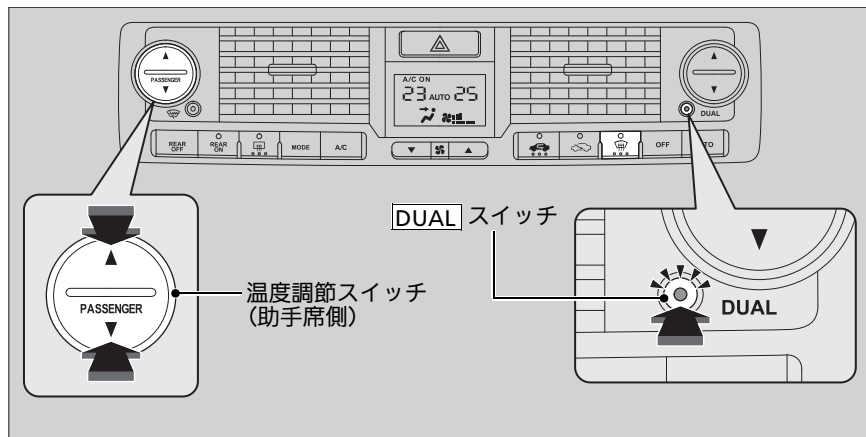
このとき「FULL」の表示は消えますが、押したスイッチ以外の機能は自動制御されます。

外気温が低いときは、冷風の吹き出しを防ぐため、**AUTO** を押してもすぐにファンが回転しないことがあります。

炎天下に駐車していたときは、窓を開けて熱気を追い出しながら、冷房を開始してください。

設定温度表示で「Lo」は最大冷房を、「Hi」は最大暖房を示します。


## ■ 独立作動(デュアル)モード



エアコンの設定温度を運転席側と助手席側で個別に設定することができます。

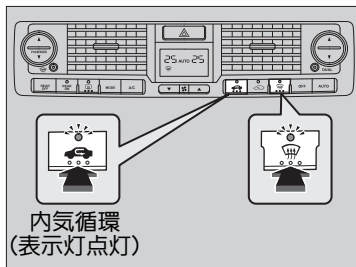
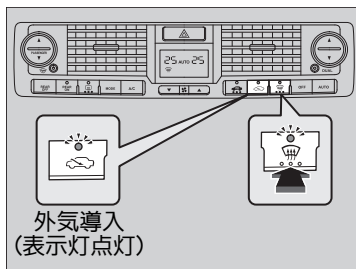
1. **DUAL** または助手席側温度調節スイッチを押す。  
▶独立作動モードに切り換わります。
2. 運転席側または助手席側の温度調節スイッチで温度を調節する。  
▶連動モードに戻すときは、**DUAL** を押します。


## ■ 独立作動(デュアル)モード


を押すと、連動モードに切り換わります。

連動モードに戻すと、運転席側の設定温度に切り換わります。

## 前面・側面ガラスの曇り止め(デフロスター)の使いかた



を押すとエアコンが作動し、自動的に外気導入に切り換わります。

をもう一度押すと曇り止めが停止し、前の状態に戻ります。

### ■急速に霜を取りたいとき：

1. を押す。
2. を押す。

### ▶▶ 前面・側面ガラスの曇り止め(デフロスター)の使いかた

**設定温度を最大冷房付近にしないでください。**  
冷風が前面ガラスに当たると、ガラスの外側が曇ることがあります。

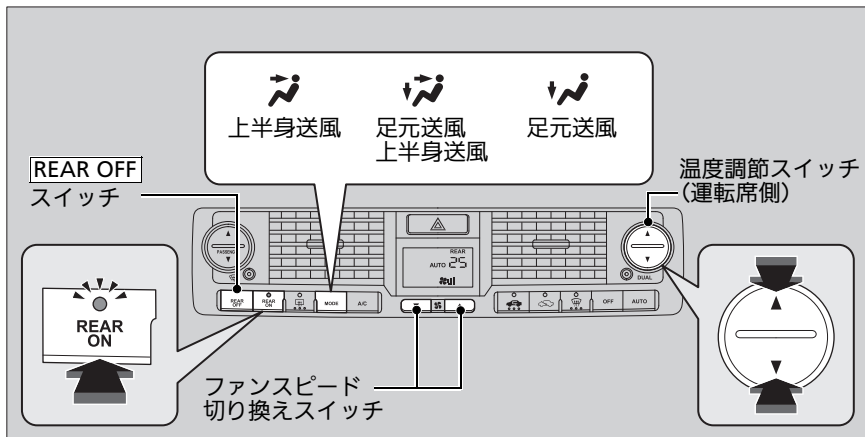
側面ガラスが曇ったときは、吹き出し風が側面ガラスに当たるよう、側面吹き出し口を調節してください。

霜が取れたら、ただちに外気導入に切り換えてください。

内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界の妨げになります。

## 後席用オートエアコン\*

### 前席で操作するとき



エンジンを始動してから使用します。

1. **REAR ON** を押す。
2. 運転席側の温度調節スイッチで温度を調節する。
3. 停止するときは、**REAR OFF** を押す。

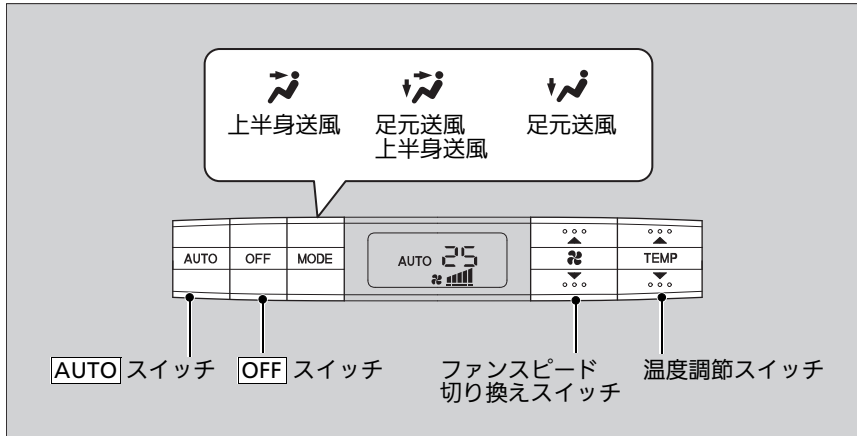
### 後席用オートエアコン

炎天下に駐車したときは、窓を開けて熱気を追い出しながら冷房を開始してください。

前席エアコンがOFF または独立作動モードのときは、後席用オートエアコンはヒーター機能のみ自動となります。

後席用オートエアコン設定画面は、**REAR ON** を押すか、数秒間操作しないと自動的に元の画面に戻ります。

## 後席で操作するとき



エンジンを始動してから使用します。

1. **AUTO** を押す。
2. 温度調節スイッチで温度を調節する。
3. 停止するときは、**OFF** を押す。

## 後席用オートエアコン

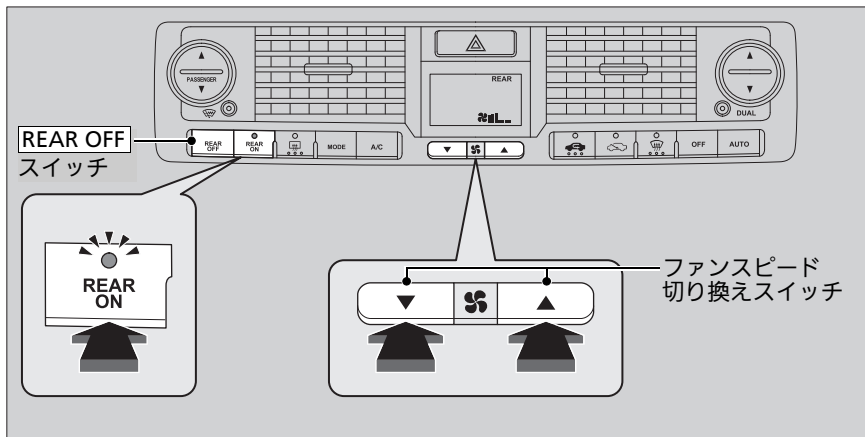
オート(AUTO)で使用中いずれかのスイッチを押すと、押したスイッチの機能が優先されます。

このとき「FULL」の表示は消えますが、押したスイッチ以外の機能は自動制御されます。

外気温が低いときは、冷風の吹き出しを防ぐため、**AUTO** を押してもすぐにファンが回転しないことがあります。

## 後席用クーラー\*

### ■ 前席で操作するとき



エンジンを始動してから使用します。

1. **REAR ON** を押す。
2. ファンスピード切り換えスイッチで風量を調節する。
3. 停止するとき、**REAR OFF** を押す。

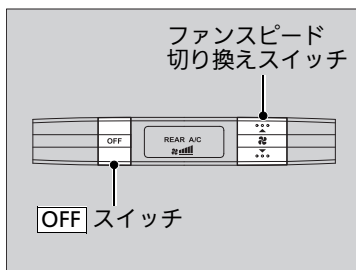
### ■ 後席用クーラー

炎天下に駐車したときは、窓を開けて熱気を追い出しながら冷房を開始してください。

前席エアコンがOFF のときは、後席用クーラーは送風のみとなります。

後席用クーラー設定画面は、**REAR ON** を押すか、数秒間操作しないと自動的に元の画面に戻ります。

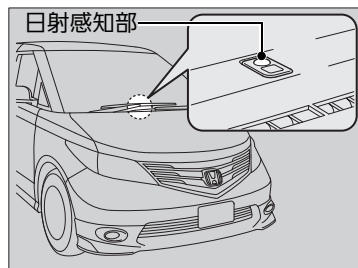
## 後席で操作するとき



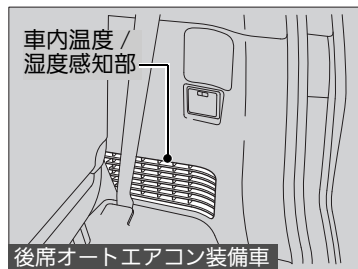
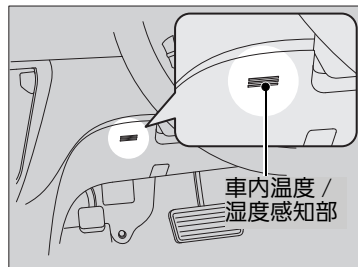
エンジンを始動してから使用します。

1. ファンスピード切り換えスイッチを押す。
2. ファンスピード切り換えスイッチで風量を調節する。
3. 停止するときは、**OFF** を押す。

## オートエアコンのセンサー



オートエアコンには、センサー(日射感知部、車内温度 / 湿度感知部)が付いています。センサーの上にものを置いたり、水をかけたりしないでください。





# オーディオ

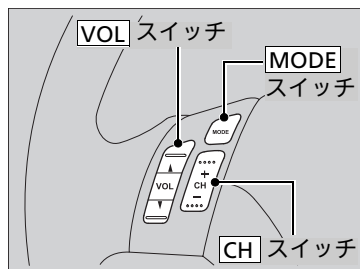


オーディオ装置 .....	168
オーディオリモートコントロール	
スイッチ* .....	169
リヤカメラシステム* .....	170
リヤカメラシステムのカスタマイズ ..	171
カメラ画像について .....	173

オーディオ・テレビ・DVD の取り扱いについては、別冊の「ナビゲーションシステム」取扱説明書をご覧ください。

# オーディオリモートコントロールスイッチ\*

運転中にオーディオの操作をするためのスイッチです。



## CH スイッチ

- ラジオを聞いているとき。
  - +** を押す：プリセットされている次の放送局を選局します。
  - を押す：プリセットされている前の放送局を選局します。
- CD、HDD(サウンドコンテナ)を聞いているとき
  - +** を押す：スキップ(次の曲の頭出し)します。
  - を押す：リプレイ(再生中や前の曲の頭出し)します。

## MODE スイッチ

スイッチを押すたびに、FM1 → FM2 → AM → CD → HDD → FM1 の順に切り換わります。

## VOL スイッチ

- ▲** を押す：音量が大きくなります。
- ▼** を押す：音量が小さくなります。

## オーディオリモートコントロールスイッチ

ディスクが挿入されている場合、CDに切り換わります。

HDD(サウンドコンテナ)、DVDの詳細については、「ナビゲーションシステム」取扱説明書をご覧ください。

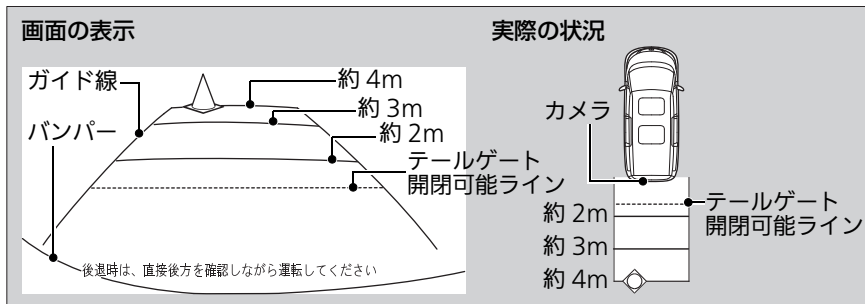
# リヤカメラシステム\*

## リヤカメラシステムについて

リヤカメラシステムは、ナビゲーションシステムの画面に、車両後方の映像を表示させるシステムです。

セレクトレバーを **[R]** に入れると自動的に画面が切り換わります。

### 画面に表示される映像の範囲



リヤカメラシステムのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に表示される映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。画面に表示される映像の範囲には限度があり、バンパーの両コーナー付近やバンパー下にあるものは表示されません。

### リヤカメラシステムについて



**注意**

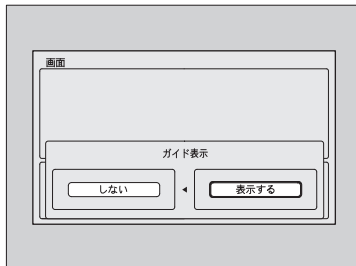
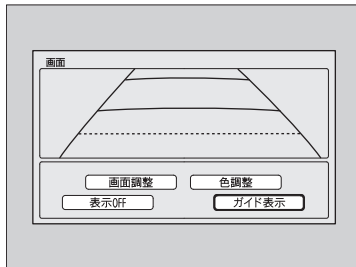
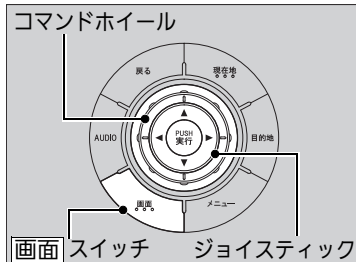
**後退時は、必ず目視やミラーなどで後方および周囲の安全を直接確認して運転する。**

**画面を見るときは、必要最小限にする**  
画面に表示される映像の範囲には限度があるため、画面だけを見て後退すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- リヤカメラシステムの映像は、ナビゲーション画面よりも優先して表示されます。
- エンジン始動直後は、セレクトレバーを **[R]** の位置に入れても、ナビゲーションシステムが起動するまでリヤカメラシステムのガイド線は表示されません。

## リヤカメラシステムのカスタマイズ

### ■ ガイド線の表示 / 非表示



1. エンジンスイッチを **II** にして、セレクトレバーを **R** にする。
2. **画面** を押す。

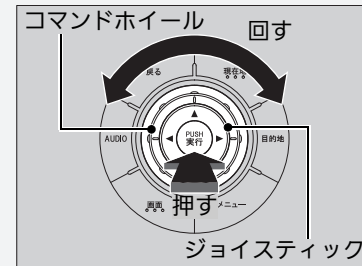
3. コマンドホイールを回して「ガイド表示」を選択し、ジョイスティックを押す。

4. ガイド線を表示しないときは「しない」、表示するときは「表示する」を選択し、ジョイスティックを押す。

### ■ ガイド線の表示 / 非表示

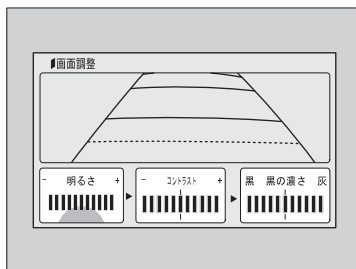
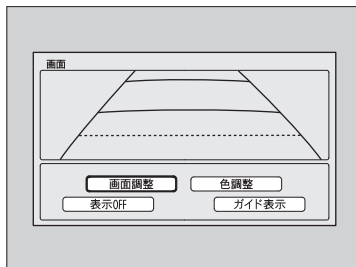
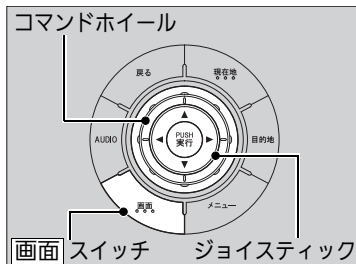
安全のため、エンジンを停止した状態で操作してください。

パーキングブレーキがかかっていることを確認してください。



項目を選択するには、コマンドホイールを回して項目を選び、ジョイスティックを押して確定させます。

## 画面調整のしかた



1. エンジンスイッチを **II** にして、セレクトレバーを **R** にする。
2. **画面** を押す。

3. コマンドホイールを回して「画面調整」または「色調整」を選択し、ジョイスティックを押す。

4. ジョイスティックで調整したい項目を選択する。
5. コマンドホイールを回して調整し、ジョイスティックを押す。

「明るさ」：－(暗い) ← → + (明るい)

「コントラスト」：－(弱い) ← → + (強い)

「黒の濃さ」：黒 ← → 灰

「色の濃さ」：－(薄い) ← → + (濃い)

「色あい」：赤 ← → 緑

## 画面調整のしかた

安全のため、エンジンを停止した状態で操作してください。

パーキングブレーキがかかっていることを確認してください。

「表示OFF」を選択することで、画面の表示を消すことができます。

「画面調整」は明るさ、コントラスト、黒の濃さを調整することができます。

「色調整」は色の濃さ、色あいを調整することができます。

## カメラ画像について

状態	考えられる原因	対処のしかた
カメラの画像が見えにくい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 夜間や雨の日、および暗い場所</li> <li>• カメラが高温になっている場合</li> <li>• 太陽の光など強い光がカメラに直接差し込んでいる場合※1</li> </ul>	気象条件などでカメラの画像が見にくいときは、目視やミラーで直接確認してください。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• カメラのレンズに水滴や虫などが付いている場合</li> <li>• カメラのレンズが汚れている場合</li> </ul>	ぬれた柔らかい布などで汚れを拭き取ってください。

※1：強い光がカメラに差し込んでいるときに、光源の周囲が白くぼやけるハレーション現象や、光の筋ができるスミア現象が起きることがあります。

# 運転

この章では、運転操作、給油、アクセサリーなどについて記載しています。



運転の前に.....	175
<b>運転操作</b>	
エンジンの始動.....	177
走行時の注意点.....	180
オートマチックについて.....	182
シフト操作.....	183
クルーズコントロール*.....	186
VSA(ビークルスタビリティアシスト)*.....	189
4WD(四輪駆動機構)*.....	190

<b>ブレーキ操作</b>	
ブレーキシステム.....	191
ABS(アンチロックブレーキシステム).....	195
電子制御ブレーキアシスト*.....	196
<b>駐停車操作</b> .....	197
<b>給油</b>	
指定燃料について.....	199
給油のしかた.....	200
<b>アクセサリーと改造</b> .....	203



## 運転の準備

運転を始める前に下記の項目を確認してください。

### 車外での確認項目

- 窓やミラーの視界、灯火器類の光をさえぎるものがないか？
  - ▶ 霜、雪、氷が付着している場合は取り除きます。
  - ▶ 屋根に雪が積もっている場合は、走行時に滑り落ちて視界をさえぎる可能性があるため取り除きます。  
氷結しているときは、氷が溶けてから取り除いてください。
  - ▶ 足回りに氷塊が付着している場合は、部品を損傷しないよう注意しながら取り除きます。
- ボンネットは完全に閉まっているか？
  - ▶ 走行中にボンネットが開くと、視界がさえぎられて危険です。
- タイヤは正常か？
  - ▶ 空気圧、亀裂、損傷や異常な摩耗がないか確認します。  
    ▶ **タイヤの点検と整備** P.231
- 車の周囲に子供はいないか？  
車の周りに障害物はないか？
  - ▶ 運転席から見えない死角や、バックミラーでは確認できない死角がありますので、乗車する前に確認します。

### 車内での確認項目

- フロアマットがペダルに引っかかっていないか？
- フロアマットが固定されているか？
- フロアマットを重ねていないか？
  - ▶ ブレーキやアクセルの操作が確実にできないおそれがあり危険です。

### 車外での確認項目

#### アドバイス

ドアが凍結しているときは、無理にはがさずお湯をかけて溶かしてください。

無理にはがすと、ドアまわりのゴムがはがれます。お湯をかけた後は、凍結防止のため、水分をよく拭き取ってください。

ドアのキー穴部には、お湯をかけないでください。

凍結すると、キーが差し込めなくなります。

### 車内での確認項目

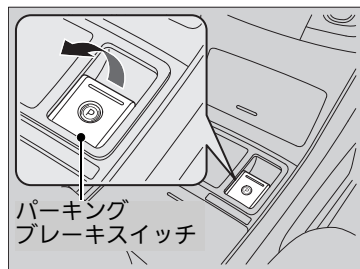
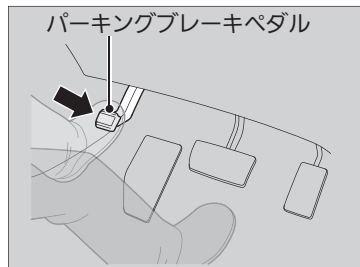
運転者は、携帯電話を走行中に使用しないでください。

運転者が運転中にハンズフリー以外の携帯電話を使用することは、法律で禁止されています。運転中の使用により周囲の状況に対する注意が不十分になると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

車に合ったフロアマットをお使いください。

- フロントシートの足元にものを置いていないか？
- 積み込んだ荷物が適切に固定されているか？
  - ▶ 不適切な荷物の積み込みは、タイヤに負担をかけたり走行中のバランスを維持できず危険です。
- 荷物はシートの高さを越えていないか？
  - ▶ 後方視界を妨げたり急ブレーキのときに荷物が飛び出したりするおそれがあり危険です。
- 動物を乗せるときは、動きまわらないようにしているか？
  - ▶ 運転の妨げになったり、急ブレーキのときなどに思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- シート位置などが適切に調節されているか？
  - ▶ 不適切なシート位置での走行は危険です。
    - ➡ **シートの調節** P.126
- ルームミラー、ドアミラー、ハンドルは適切に調節したか？
  - ▶ 正しい運転姿勢ですわり、それぞれ適切な位置に調節します。
    - ➡ **ミラー類の調節** P.123
    - ➡ **ハンドルの調節** P.122
- すべての乗員がシートベルトを締めているか？
  - ▶ すべての乗員は必ずシートベルトを着用します。
    - ➡ **シートベルトの着用** P.24
- ドア、テールゲートが確実に閉まっているか？
  - ▶ 走行前にすべてのドア、テールゲートが完全に閉まり、正しく施錠されていることを確認します。
    - ➡ **車内での施錠 / 解錠** P.88
- エンジンが始動したとき、メーターに異常を示す警告灯などが点灯していないか？
  - ▶ 異常を示す警告灯の異常を解決してから走行します。
    - ➡ **警告灯** P.52

## エンジンの始動



### 電子制御パーキングブレーキ非装備車

1. パーキングブレーキをかける。

### 電子制御パーキングブレーキ装備車

1. パーキングブレーキスイッチをゆっくりと確実に引き上げる。

- ▶ パーキングブレーキがかかっていると、電子制御パーキングブレーキ作動警告灯が約 15 秒間点灯します。

### ▶ エンジンの始動

#### ⚠ 警告

バッテリー液が不足しているときは、エンジンを始動しない。

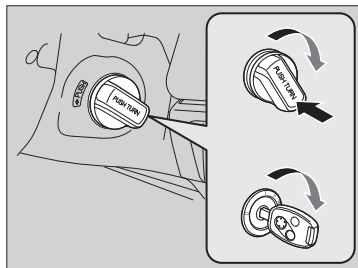
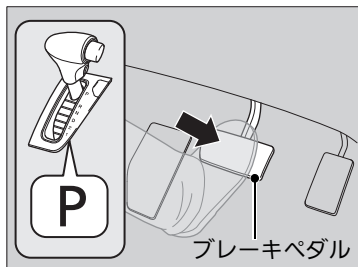
バッテリーが破裂するおそれがあります。

#### ⚠ 注意

エンジンを始動するときは、ブレーキペダルをしっかりと踏む。

寒いときのエンジンの始動は、すべての電気アクセサリをOFFにしてから行います。

寒いときのエンジンの始動は、バッテリーの消耗を防ぐためライト類、エアコン、リヤデフロスターなどの電気アクセサリをすべてOFFにしてから行ってください。



### 共通操作

2. セレクトレバーが **P** であることを確認し、右足でブレーキペダルを踏む。  
▶ **N** でも始動できますが、安全のため駆動輪が固定される **P** で行ってください。
3. アクセルペダルを踏まずに、エンジンスイッチを **III** に回す。  
▶ エンジンが始動したら、エンジンスイッチを離します。

### ❖ エンジンの始動

エンジンスイッチを15秒以上 **III** にしないでください。

エンジンが始動したらすぐに、手を離してください。自動的に **II** に戻ります。

車を盗難から守るため、イモビライザーシステムのキーを採用しています。

そのため、あらかじめ登録されたキーでないとエンジンの始動ができません。

❖ イモビライザーシステム P.102

エンジンが始動しない場合は、10秒以上待つてから操作してください。

エンジンが始動しない、始動してもすぐに停止する場合は、10秒以上待つてからアクセルペダルを軽く踏みながら手順3を繰り返してください。エンジンが始動したらアクセルペダルを離します。

排気音が変わったり、車内でガソリンや排気ガスのにおいが消えないときは、排気系や燃料系の異常が考えられます。

Honda販売店で点検を受けてください。

**発進時の操作**

1. 右足でブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーを **D** にする。  
▶ 後退する場合は **R** にします。

**電子制御パーキングブレーキ非装備車**

2. パーキングブレーキを解除する。  
▶ ブレーキ警告灯が消灯したことを確認してください。  
➡ **パーキングブレーキ**\* P.191

3. ブレーキペダルを徐々に離し、アクセルペダルをゆっくりと踏んで発進する。

**電子制御パーキングブレーキ装備車**

2. パーキングブレーキをかけたまま、ブレーキペダルを離して、アクセルペダルをゆっくりと踏む。  
▶ 電子制御パーキングブレーキ作動警告灯が消灯したことを確認してください。  
➡ **電子制御パーキングブレーキ作動警告灯**\* P.53

**発進時の操作****注意**

**アクセルペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作しない。**  
急発進して思わぬ事故の原因となります。

**電子制御パーキングブレーキ非装備車**

坂道での発進時は、必ずパーキングブレーキを併用してください。

車が後退しないよう、パーキングブレーキをかけたまま、先にブレーキペダルを離してアクセルペダルに踏みかえてから、パーキングブレーキを解除してください。

**電子制御パーキングブレーキ装備車**

パーキングブレーキスイッチの操作で解除することもできます。

下り坂の場合、アクセルペダルを踏まずにパーキングブレーキを手動で解除すると、よりスムーズに発進することができます。

## 走行時の注意点

### 霧が出たときは

霧が出たときは視界が悪くなります。昼間でもヘッドライトを下向きで点灯し、中央線、ガードレール、前走車のテールランプなどを目安にして、速度を落として走行してください。

### 風が強いときは

風が強く車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握り、速度を徐々に落として進路を立て直します。

トンネルの出口、橋、土手の上、山を削った切り通しの走行時や大型トラックの追い越し時などには、特に横風の影響を受けやすいため、十分に注意してください。

### 走行時の注意点

**走行中はエンジンを停止しないでください。**

下記のような状態になり危険です。

- ブレーキの倍力装置が作動しないため、ブレーキの効きが悪くなる
- パワーステアリングのパワー装置が作動しないためハンドル操作が重くなる

**走行中はセレクトレバーを **N** にしないでください。**

エンジンブレーキが全く効かず、思わぬ事故の原因となります。

**車を移動するときは、必ずエンジンを始動してください。**

下り坂を利用しての移動などは、思わぬ事故の原因となります。

**1,000km走行するまでは、エンジンや駆動系の保護のため急発進、急加速を避け、控えめな運転をしてください。**

## 雨が降っているときは

雨天時は路面が滑りやすくなっているため、急ブレーキ、急加速、急ハンドルを避け通常より注意深く運転してください。

わだちなどの水のみたまりやすい場所ではハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

冠水路などの深い水たまりは走行しないでください。エンジンの破損や電装品の故障につながるおそれがあります。

## その他の注意点

走行中、床下に強い衝撃を受けたときは、思わぬ事故につながるおそれがあるため、ただちに安全な場所に停車してブレーキフルードや燃料の漏れ、各部に損傷がないかを確認してください。

## ☒雨が降っているときは

**ハイドロプレーニング現象に注意してください。**

ハイドロプレーニング現象とは、路面が水でおおわれているところを高速で走行したときに、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いてハンドルやブレーキが効かなくなる状態のことをいいます。

## ☒その他の注意点

### 注意

**シフトダウンする際の車速には、十分注意する。**

滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキがタイヤのスリップを招くことがあります。

下記のような場合には、アンダースポイラーを損傷するおそれがあります。

- 車止めのある場所への駐車
- 路肩に沿っての駐車
- 平坦路から上り坂・下り坂および上り坂・下り坂からの平坦路への乗り入れ
- 路肩等段差のある場所への乗り降り
- 凹凸やわだちのある道路の走行
- くぼみ(穴)のある個所の通過

## オートマチックについて

### ■ クリープ現象

エンジンがかかっているとき、セレクトレバーが **P** **N** 以外に入っていると動力がつながった状態になり、クリープ現象によりアクセルペダルを踏まなくても、車がゆっくり動き出します。

### ※ クリープ現象

**エンジン始動直後は、クリープ現象が強くなります。**

エンジン始動直後やエアコン作動時は、自動的にエンジン回転が上がりクリープ現象が強くなりますので、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

**上り坂での停車時、クリープ現象による前進の力よりも、後退しようとする力のほうが大きくなり、車が後退する場合があります。**

ブレーキペダルを踏み、パーキングブレーキをかけてください。

### ※ キックダウン

**上り坂などでアクセルペダルを踏み込んだとき、キックダウンにより急にエンジン回転が上がり、速度が出すぎてしまうことがあります。**

アクセルペダルは慎重に操作してください。滑りやすい路面やカーブでは、特に注意が必要です。

### ■ キックダウン

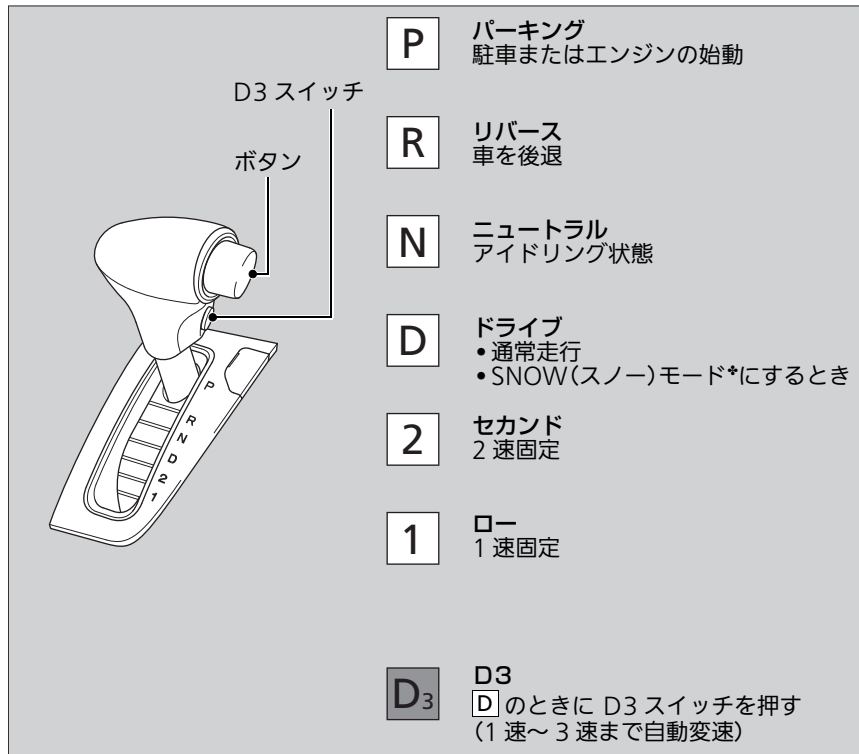
セレクトレバーが **D** **D3** で走行中にアクセルペダルをいっぱい踏み込むと、自動的に変速比が変わりエンジンの回転数が上がって、力強い加速を得ることができます。



## シフト操作

走行状態に応じてセレクトレバーで切り換えます。

### ■セレクトポジションの名称とはたらき



### ※シフト操作

セレクトレバーが **P** 以外のときは、エンジンスイッチが **0** まで回らないため、キーを抜くことはできません。

**R** のポジションのときは、チャイム音が鳴り運転者にセレクトレバーが **R** に入っていることを知らせます。

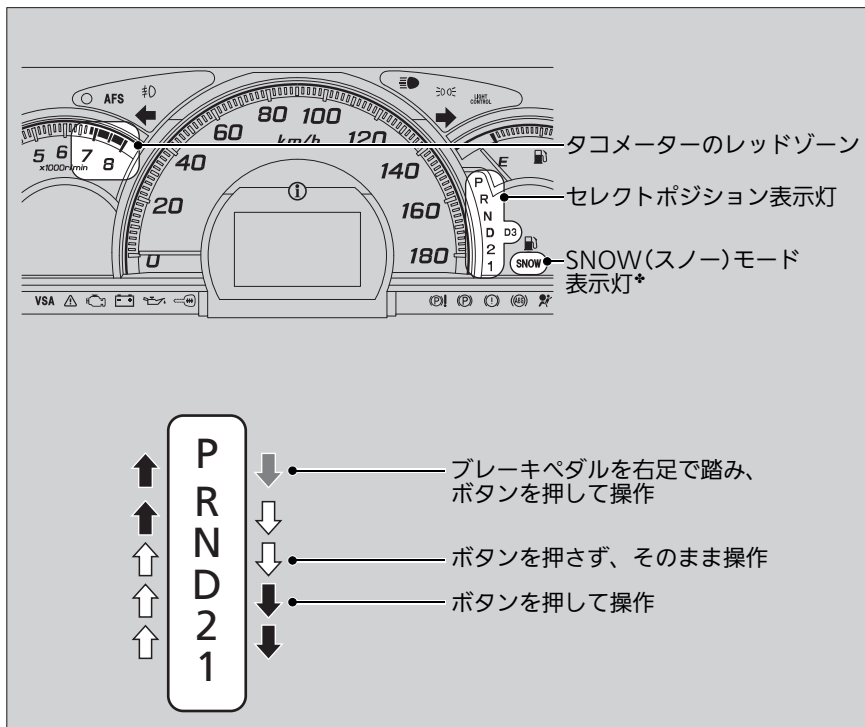
**N** のポジションのときでも、エンジンが冷えているときはトランスミッションフルードの粘性により、車がわずかに動き出すことがあります。

ブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。

## ■セレクトレバーの操作

セレクトポジションは、メーター部にあるセレクトポジション表示灯と連動し、現在のポジションを表示灯の点灯で表示します。

エンジンスイッチを **II** にすると、**D** が数秒点灯します。



## ☒セレクトレバーの操作

### アドバイス

前進から後退、後退から前進するときは車を完全に止め、ブレーキペダルを踏んだままセレクトレバーを操作してください。

車が完全に止まっていない状態でレバーを操作すると、トランスミッションを破損するおそれがあります。

車を発進させるときは、思い違いによる事故を防ぐためにセレクトポジション表示灯でもセレクトレバーの位置を確認してください。

走行中にセレクトレバーをどのポジションにしても **D** の表示灯が点滅しているときは、トランスミッションに異常があります。

急加速を避け、Honda販売店で点検を受けてください。

エンジンの回転をあやまってタコメーターのレッドゾーン(限界回転数)以上で運転した場合、エンジン保護装置により燃料供給が停止されます。

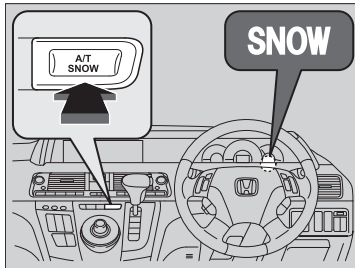
そのとき、軽い衝撃を感じるがありますが、異常ではありません。

セレクトレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏んだ場合、セレクトレバーの操作ができないことがあります。

先にブレーキペダルを踏んでください。

## ■ SNOW(スノー)モード\* の操作

2 速発進となり雪道などの滑りやすい路面での発進がしやすくなります。  
セレクトレバーが **D** のときに切り換えることができ、2～5 速まで自動変速します。



**A/T SNOW** を押すと SNOW モードが ON になり、メーター内の表示灯が点灯します。

モードを解除する場合は、再度スイッチを押してください。SNOW モードが解除され、表示灯が消灯します。

## クルーズコントロール\*

高速道路のような加速 / 減速操作の少ない自動車道などで、定速運転をするときアクセルペダルを踏まなくても車速を一定に保つための装置です。

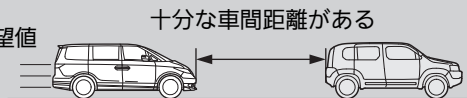
### こんなときに

■使用できるシフトポジション

D のとき

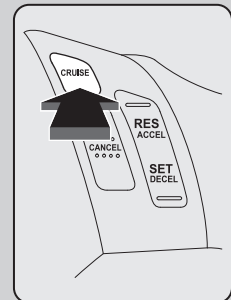
■使用できる車速

約 30 ~ 100km/h の範囲の希望値



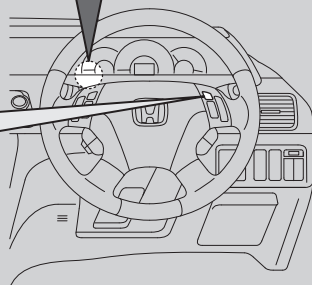
### 操作

■ハンドルの **CRUISE** スイッチを押す



CRUISE  
MAIN  
(点灯)

メーターの CRUISE  
MAIN が点灯  
クルーズコントロール  
が ON になります。



### クルーズコントロール



警告

下記のような道路で、クルーズコントロールを使用しない。

道路状況によっては、思わぬ事故につながります。

● **混んでいて、車間距離が十分にとれない道路**

道路状況に合った速度で走行できません。

● **急な下り坂のある道路**

エンジンブレーキが十分効かず、セットした速度を超えてしまうことがあります。

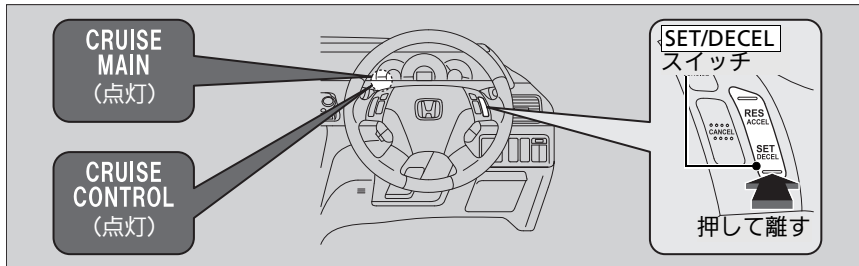
● **凍結や積雪などで滑りやすい道路**

タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。

エンジンスイッチを **1** または **0** にするとクルーズコントロールは自動的にOFFになります。

上り坂や下り坂では、条件により一定速度を保てない場合があります。

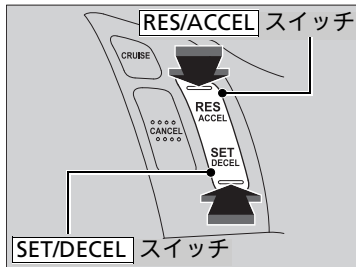
## 車速をセットするには



希望の車速になったらペダルから足を離し、**SET/DECEL** を押します。  
**SET/DECEL** を離すと、離れたときの車速にセットされ自動定速走行になります。同時に、**CRUISE CONTROL** 表示灯が点灯します。

## 車速を調節するには

手元の **RES/ACCEL** と **SET/DECEL** の操作で車速を上げ/下げすることができます。



### **RES/ACCEL** スイッチ

- 1回押すごとに約 1.5km/h ずつ車速が上がる
- 押し続けると車速が上がり、手を離れたときの車速に固定

### **SET/DECEL** スイッチ

- 1回押すごとに約 1.5km/h ずつ車速が下がる
- 押し続けると車速が下がり、手を離れたときの車速に固定

次ページに続く

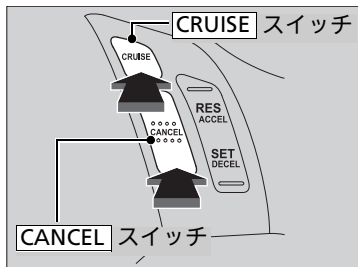
## ※車速をセットするには

### 自動定速走行をしないとき

安全のため **CRUISE** を押してOFFにしてください。

エンジンスイッチを **1** または **0** にすると、**CRUISE** は自動的にOFFになります。

## 解除するには



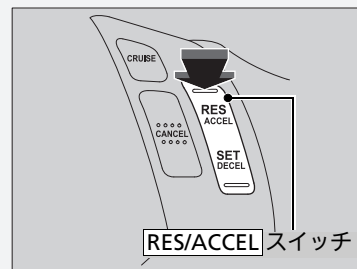
次の操作をすると、自動定速走行が解除されます。同時に、**CRUISE CONTROL** 表示灯が消灯します。

- **CANCEL** を押す
- **CRUISE** を押す
- ブレーキペダルを踏む
- セレクトレバーを **N** にする

## 解除するには

### 解除前の設定車速を復帰させる

自動定速走行を解除したあとでも、30km/h以上の車速で走行中に **RES/ACCEL** を押すことで、解除前の設定車速の自動定速走行に戻すことができます。



ただし、下記の場合は復帰できません。

- 解除後、車速が25km/h未満になったとき
- **CRUISE** でOFF操作をしたとき

車速が25km/h以下になると、自動的に自動定速走行が解除になります。

## VSA(ビークルスタビリティアシスト)\*

VSA とは、ABS 機能、TCS 機能および横滑り抑制機能を総合的に制御し、急激な車両の挙動変化を抑制しようとする装置です。

### ■ABS(アンチロックブレーキシステム)機能 ■ P.195

### ■TCS(トラクションコントロールシステム)機能

滑りやすい路面などでの駆動輪の無駄な空転を防止し、駆動力、操舵能力を確保しようとする機能です。

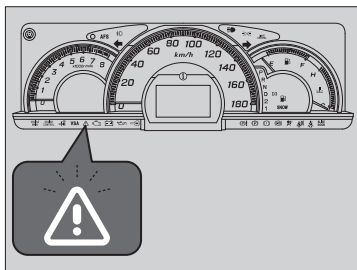
### ■横滑り抑制機能

急激なハンドル操作や滑りやすい路面などでの旋回時に、車輪の横滑りなどを抑制することで車両の安定性を確保しようとする機能です。

さらに、緊急制動時に運転者のブレーキ操作を補助する電子制御ブレーキアシストも装着しています。

### ■電子制御ブレーキアシスト\* P.196

## VSA の作動



TCS 機能または横滑り抑制機能作動中は、VSA 作動表示灯が点滅します。

### ※VSA(ビークルスタビリティアシスト)

VSAが作動した状態でも車両の安定性の確保には限界がありますので、無理な運転はしないでください。

- カーブ手前では十分に速度を落とす
- 雪道、凍結路を走行するときは、スノータイヤまたはタイヤチェーンを装着し控えめな速度で運転する

新雪やぬかるみから脱出したいときに、**VSA OFF** でVSAをOFFにするとエンジントルク抑制機能が停止し、駆動輪が回転しやすくなるので効果的な場合があります。

この際、TCS機能と横滑り抑制機能がOFFになるため、走行には十分に気をつけてください。

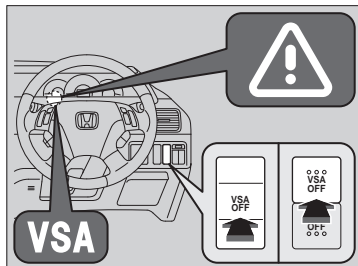
種類やサイズの異なるタイヤが混在していると、VSAが正常に機能しないことがあります。

タイヤは必ず、同一指定サイズ、同一種類のタイヤを指定空気圧で使用してください。

VSA警告灯が運転中に点灯するときは、システムの異常が考えられます。

通常の運転には支障はありませんが、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

## VSA の ON と OFF



VSAを停止(OFF)状態にするには、**VSA OFF** を押してください。

VSA が停止状態になり VSA 作動表示灯と VSA 警告灯が点灯します。

再度使用(ON)するには、**VSA OFF** を押します。

## ※VSA(ビークルスタビリティアシスト)

前回の走行時にOFFにした場合でも、再度エンジンを始動させると自動的にONになります。

エンジン始動直後や走行中、システムチェックのためエンジンルームからモーター音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

## ※4WD(四輪駆動機構)

**種類やサイズの異なるタイヤが混在している**と、4WDが正常に機能しないことがあります。

タイヤは必ず、同一指定サイズ、同一種類のタイヤを指定空気圧で使用してください。

4WDの状態で行走中に車輪の空転が続いてシステム内の油温が上がると、システム保護のため4WDから2WDに切り換わることがあります。

しばらくして油温が下がると、4WDに復帰します。

## 4WD(四輪駆動機構)\*

4WD(四輪駆動機構)は、積雪地、砂地、ぬかるみ、急坂路など滑りやすい路面において、2WD 車(二輪駆動車)に比べて走破性にすぐれていますが、万能ではありませんので以下の点に注意してください。

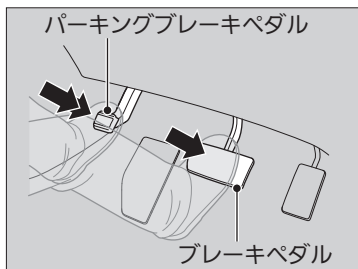
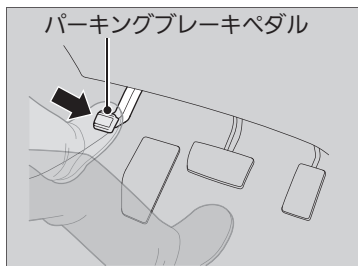
- アクセル、ハンドル、ブレーキ操作は一般の車と同じく慎重に行う
- 砂地、ぬかるみなど、前輪が空転しやすい場所での連続走行はしない
- 渡河などの水中走行はしない
- ブレーキ性能は2WD車と比べてほとんど差がないため、滑りやすい路面では十分に車間距離をとって走行する



## ブレーキシステム

### ■ パーキングブレーキ\*

主に停車中や駐車時に使用するブレーキです。パーキングブレーキペダルにより操作します。



### ■ パーキングブレーキをかける

左足でパーキングブレーキペダルをいっばいに踏み込む。

### ■ パーキングブレーキを解除する

1. 右足でブレーキペダルを踏む。
2. 左足でパーキングブレーキペダルを踏み、ゆっくりと戻す。

### ※ブレーキシステム

駐車するときは、車が動き出さないように必ずパーキングブレーキをかけてください。

寒冷時は、凍結を防ぐためパーキングブレーキをかけないでください。

セレクトレバーを **P** にして、石などで輪止めをしておきます。

### ※パーキングブレーキ

#### アドバイス

パーキングブレーキをかけたまま走行すると、リヤブレーキと車軸が損傷するおそれがあります。

パーキングブレーキは完全に解除した状態で、走行してください。

パーキングブレーキが完全に解除されていない状態で走行すると、「パーキングブレーキ戻し忘れ警告ブザー」が鳴ります。

完全に解除すると、ブザーは止まります。

停車したときも、ブザーは止まります。

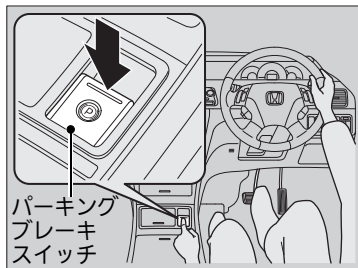
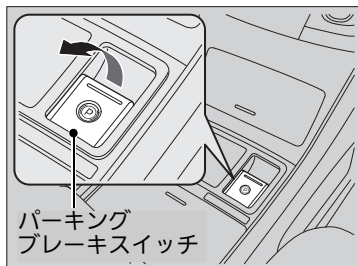
## ■電子制御パーキングブレーキ\*

主に停車中や駐車時に使用するブレーキです。自動での解除および手動での操作ができます。

### ■手動で操作するとき

パーキングブレーキスイッチの操作で、パーキングブレーキをかけたり解除したりできます。

急な下り坂の発進時などに、手動でパーキングブレーキを解除すると、スムーズな発進を行うことができます。



### ■手動でパーキングブレーキをかける

パーキングブレーキスイッチをゆっくりと確実に引き上げてください。

- ▶パーキングブレーキが作動すると、電子制御パーキングブレーキ作動警告灯が点灯します。

### ■手動でパーキングブレーキを解除する

1. エンジンスイッチが **II** のときに、右足でブレーキペダルをしっかりと踏む。
2. パーキングブレーキスイッチを押す。

- ▶パーキングブレーキが解除され、電子制御パーキングブレーキ作動警告灯が消灯します。

## ※電子制御パーキングブレーキ

パーキングブレーキをかけたり、解除したときに後輪からモーター音が聞こえます。これはブレーキシステムが作動している音で異常ではありません。

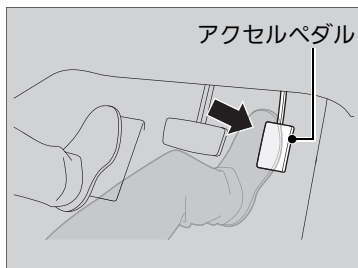
パーキングブレーキをかけたり、解除するとブレーキペダルが動くことがあります。これはブレーキシステムの作動によるもので異常ではありません。

バッテリーがあがっているときは、パーキングブレーキをかけたり、解除することはできません。

▶ **ジャンプスタート** P.261

## ■自動解除するとき

アクセルペダルの操作とパーキングブレーキの解除が連動します。  
渋滞や上り坂での発進に便利です。



アクセルペダルをゆっくりと踏んでください。

- ▶ パーキングブレーキが解除され、電子制御パーキングブレーキ作動警告灯が消灯します。

パーキングブレーキの自動解除は、次の条件が揃ったときに行えます。

- 運転席シートベルトを着用しているとき
- エンジンがかかっているとき
- セレクトレバーが **P**、**N** 以外のとき

## ▶▶ 電子制御パーキングブレーキ

**パーキングブレーキを自動で解除できないときは、手動で解除してください。**

次の警告灯が点灯しているときは、自動解除できません。

- 電子制御パーキングブレーキシステム警告灯
- VSA警告灯

次の警告灯が点灯しているときは、自動解除できないことがあります。

- PGM-FI警告灯
- トランスミッション警告灯
- ABS警告灯
- エアバッグシステム警告灯

## ■フットブレーキ

車の減速や停止をするためのメインのブレーキです。ブレーキペダルで操作します。緊急制動時により大きな制動力を発生させる電子制御ブレーキアシストが装備されています。

また、ブレーキのロックを防止する ABS(アンチロックブレーキシステム)で、安全性の向上を図っています。

▶ ABS(アンチロックブレーキシステム) P.195

## ※フットブレーキ

**水たまりを走行したときは、ブレーキの効き具合を確認してください。**

効きが悪いときは、効き具合が戻るまでブレーキペダルを何回か軽く踏んでください。

**ブレーキを踏んでいる間、絶えず金属的な摩擦音が聞こえる場合はブレーキパッドを交換する必要があります。**

Honda販売店で点検を受けてください。また、きしむような音がときどき聞こえるのは、異常ではありません。

**長い下り坂でブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱し、ブレーキの効きが悪くなり危険です。**

そのため、長い下り坂などではエンジンブレーキを使用します。

アクセルペダルから足を離し、ギヤを低速にシフトすると、エンジンの回転抵抗で速度が落ちます。

## ABS(アンチロックブレーキシステム)

### ■ ABS とは

ABS(アンチロックブレーキシステム)とは、急制動や滑りやすい路面で制動するとき、車輪のロックを防止することで車両の姿勢を安定させ、ハンドルの効きを確保しようとするための装置です。

### ■ABS の作動と警告灯

ブレーキペダルを踏んだとき、ブレーキペダルが小刻みに動くことがあります。これは ABS の正常な動作です。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。

なお、低速(車速約 10km/h 以下)では ABS は作動せず、通常のブレーキと同じ作動となります。



#### ABS 警告灯

エンジンスイッチを **II** にすると数秒間点灯し消灯するのが正常な状態。

### ※ABS(アンチロックブレーキシステム)

#### アドバイス

**種類やサイズの異なるタイヤが混在していると、ABSが正常に機能しないことがあります。**

タイヤは必ず、同一指定サイズ、同一種類のタイヤを指定空気圧で使用してください。

**ABS警告灯が運転中に点灯するときは、システムの異常が考えられます。**

通常のブレーキ操作には支障はありませんが、ABSが作動していない可能性があります。ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

**ABSは、制動距離を短くするためのものではありません。**

ABSを装備していない車両と同様に、路面が滑りやすいほど長い制動距離が必要になります。ABSが作動した状態でも車両の姿勢やハンドルの効きには限界がありますので、過信せず安全運転に心がけてください。また、次のような場合、ABSの装着されていない車両に比べ、制動距離が長くなることがあります。

- 砂利道、深い新雪、凸凹路などの悪路
- 舗装の継ぎ目やマンホールなどの段差
- タイヤチェーン装着時

エンジン始動直後や走行中、システムチェックのためエンジンルームからモーター音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

## 電子制御ブレーキアシスト\*

### ■ 電子制御ブレーキアシストとは

緊急制動時に、より大きな力を発生させ運転者のブレーキ操作を補助する装置です。

### ■ 電子制御ブレーキアシストの作動

ブレーキペダルを強く踏み込んだときに、ブレーキがより強く効くようになります。

ブレーキアシストが作動すると、ペダルが小刻みに動いたり、作動音が聞こえたりすることがあります。これはブレーキアシストが作動しているときの現象で異常ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。

➤ VSA(ビークルスタビリティアシスト)\* P.189

## 停車する

1. セレクトレバーは **D** のまま、ブレーキペダルをしっかりと踏む。  
▶ 停車時間が長い場合は **N** にします。
2. 上り坂などでは、必要に応じてパーキングブレーキをかける。

### ※駐停車操作

枯れ草や紙、油、木材など燃えやすい物があるところには駐停車しないでください。  
排気管や排気ガスの熱により、着火するおそれがあります。

植え込みなどの近くに駐停車するときは、排気ガスが植え込みに当たらないように車の向きを決めてください。

### ※停車する

## 注意

### 停車中の空ぶかしはしない。

万一、セレクトレバーが **P** **N** 以外に入っていた場合、思わぬ急発進のもとになります。

### アドバイス

アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏まないでください。また、上り坂で **P** **N** 以外に入れた状態で、アクセルを調節しながら車を停車させたりしないでください。  
トランスミッションが過熱し、故障の原因となります。

## 駐車する

1. セレクトレバーは **D** のまま、ブレーキペダルをしっかりと踏む。

### 電子制御パーキングブレーキ非装備車

2. ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかける。

### 電子制御パーキングブレーキ装備車

2. ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキスイッチをゆっくりと確実に引き上げる。

### 共通操作

3. セレクトレバーを **P** に入れる。

4. エンジンを停止する。

▶ 車から離れるときは必ず施錠してください。

### ※駐車する

## ⚠ 注意

### 駐車時はエンジンを停止する。

万一、セレクトレバーが **P** **N** 以外に入っていた場合、クリーブ現象により車が動き出したり、乗り込む際に誤ってアクセルペダルを踏み、急発進するおそれがあります。

### アドバイス

車が完全に止まらないうちに **P** に入れないでください。

トランスミッション故障の原因となります。

仮眠するときは、エンジンを停止してください。

無意識にセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして思わぬ事故につながるおそれがあります。

車内の見えるところに貴重品などを置かないでください。

車内にライターや炭酸飲料缶を放置しないでください。

車内温度上昇によりライターなどの可燃物が自然発火したり、缶などは破裂したりするおそれがあります。

積雪時は、ワイパーアームを起こしてください。

雪の重みでアームの取り付け部が破損することがあります。



## 指定燃料について

### ■指定燃料

**G AERO, S** 無鉛レギュラーガソリン

**SG** 無鉛プレミアムガソリン

### ■タンク容量

70 リットル

### ☒指定燃料について

指定燃料以外の燃料(粗悪ガソリン、軽油、灯油等)を補給したり、不適切な燃料添加剤を使用しないでください。

以下のような状態になるおそれがあります。

- 触媒装置などの損傷
- エンジンや燃料系などの損傷
- エンジンなどへの悪影響

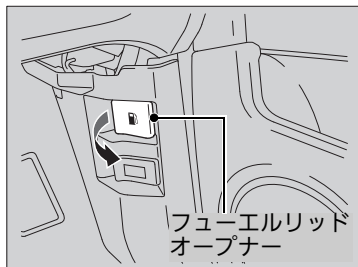
### **G AERO, S**

プレミアムガソリンをお使いになることもできますが、この場合、本来のエンジン性能が大きく変わることはありません。

### **SG**

プレミアムガソリンが入手できない場合には、一時的にレギュラーガソリンをお使いになることもできますが、この場合エンジン性能を十分に発揮できません。またエンジン始動時やアクセルペダルを踏み込んだ時に、異音聞こえることがあります。無鉛レギュラーガソリンの長期使用はエンジン破損に結びつく場合があります。

## 給油のしかた



1. 助手席側にガソリンスタンドの給油機がくるように車を停める。
2. エンジンを停止させる。
3. 運転席足元にあるフューエルリッドオープナーを引いてリッドを開ける。

### ■給油のしかた

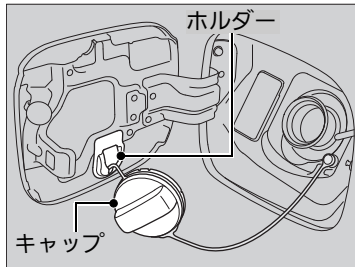
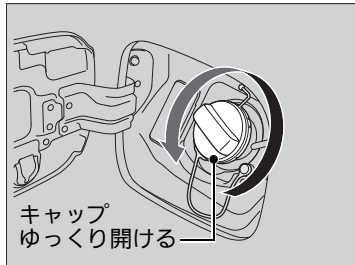
#### ⚠警告

##### 燃料補給時は火気厳禁。

燃料や燃料蒸気は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。燃料を扱っているときは下記の項目を厳守してください。

- エンジンは常に停止させる
- 炎、火花を近づけない
- たばこを吸わない
- 燃料の取り扱い屋外で行う
- こぼれた燃料はすみやかに拭き取る

ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。



4. ツマミをゆっくり回し、フューエルキャップを開ける。

5. キャップはホルダーにかける。  
6. 給油ノズルを奥まで差し込み、給油する。

▶満タンになると、給油ノズルの自動停止がはたらき、給油が停止します。

#### 給油のしかた

### 警告

**燃料補給作業は、フューエルキャップを開ける前に車体などの金属に触れて身体の静電気を除去してから行う。**

静電気の放電による火花により気化したガソリンに引火し、やけどを負うおそれがあります。

### 注意

**キャップはゆっくり開ける。**

急激に開けると燃料補給口より吹き返しが発生し、火災になるおそれがあります。

**燃料補給は、静電気を放電した人のみで行ってください。**

燃料補給中に車内に戻ると、再び帯電することがあります。再度、静電気を放電してください。

「シュー」という音がする場合は、その音が止まってからゆっくり開けてください。

**燃料蒸気を吸わないでください。**

燃料成分には有害物質を含んでいる場合があります。

7. 給油後、「カチッ」という音が2回以上するまでキャップを締め付ける。  
▶ フューエルリッドは、手で押さえ付けて閉めます。

☒ 給油のしかた



**注意**

**給油ノズルの自動停止後は、追加補給しない。**

気温などの変化により燃料があふれ、火災になるおそれがあります。

**キャップが確実に閉まっていることを確認する。**

閉まっていないと燃料がもれ、火災になるおそれがあります。

Honda純正以外のキャップを使わないください。

純正品を使用しないと、火災などを起こすおそれがあります。

気温などの変化により燃料があふれないように、タンク容量に達すると燃料タンクに空間を残して給油ノズルの自動停止がはたらくようになっています。

自動停止後に追加補給をすると、燃料が満タン容量以上に入ることがあります。

## アクセサリー

アクセサリーを取り付ける場合は、下記の項目を確認してください。

- アクセサリーをフロントガラスに取り付けていないか？
  - ▶アクセサリーの揺れる動きが車外の状況認識を遅らせることがあります。  
また、吸盤がレンズのはたらきをして、火災につながるおそれがあります。
- フロントガラス、ドアガラスやフロント、センター、リヤの各ピラーまわりにアクセサリーを取り付けていないか？
  - ▶サイドカーテンエアバッグの作動の妨げになるので、上記の場所にはアクセサリーを取り付けしないでください。

## 車の改造

Honda 純正部品以外の、車の性能や機能に適さない部品を使用しないでください。

- 適正な性能や機能を発揮しなかったり、思わぬ事故のもとになったりします。
- Honda が国土交通省に届け出をした部品以外のものを装着すると、違反になることがあります。
- 車の改造はしないでください。不正改造は、法律に触れることはもちろん、思わぬ事故を起こす場合があります。

無線装置などの取り付けの際には、必ず Honda 販売店にご相談ください。  
装置や取り付け方法が適切でない場合、電子機器部品に悪影響をおよぼすことがあります。

### 車の改造

車の性能、品質を維持するために、Honda車に最も適したHonda純正部品をお使いください。

純正部品には下記のマークが付いています。



**HONDA**  
GENUINE PARTS

お求め、装着に際しては、Honda販売店にご相談ください。

# メンテナンス

この章では、基本的なメンテナンスについて記載しています。



## メンテナンスの前に

点検整備について .....	205
メンテナンスを安全に行うために .....	206
メンテナンスに関する注意事項 .....	206

## ボンネット内のメンテナンス

ボンネット内のメンテナンス項目 .....	207
ボンネットを開ける .....	210
推奨エンジンオイル .....	212
ウィンドウォッシャー液の補給 .....	212

## 電球の交換 .....

ワイパーブレードラバーの点検と整備 ..	228
----------------------	-----

## タイヤの点検と整備

タイヤの点検 .....	231
タイヤのローテーション .....	233
冬期のタイヤ .....	234

## キーレスエントリー/Hondaスマートキー

キーレスエントリー/Hondaスマート キーの取り扱いと電池交換 .....	235
---	-----

## エアコンのお手入れ

エアークリーンフィルター .....	238
--------------------	-----

## 清掃

日常のお手入れ .....	240
車内の清掃 .....	240
車外の清掃 .....	242

## 点検整備について

道路運送車両法により、法定点検と日常点検が義務づけられています。正しい点検整備で、車を安全・快適にお使いください。

普段と違う点(音、におい、ブレーキフルードの不足、地面に油のあとが残っているなど)に気づいたら、Honda 販売店で点検を受けてください。

点検整備の詳細については、別冊のメンテナンスノートも併せてご覧ください。

### 点検整備の種類

#### ■日常点検

長距離走行前や洗車・給油時などに、お客様自身の判断で行う点検です。

#### ■定期点検

12 か月および 24 か月ごとに実施する点検です。法律で定められているものと、Honda が指定するものがあります。

#### ■その他

新車時の無料点検や定期交換、厳しい使われかたをしたときの点検整備があります。

### 点検整備について

作業に不慣れな場合や難しい場合は、Honda 販売店にご相談ください。

## メンテナンスを安全に行うために

メンテナンスを行う際は、メンテナンスノートと下記の安全に関する注意事項をよくお読みのうえ、安全を確保して行ってください。

お客さま自身でメンテナンスを実施したときは、メンテナンス点検整備記録簿のメンテナンスレコードに記録してください。

### ■メンテナンスを行う場所や備品についての安全事項

- 火災や爆発防止のため、タバコの火、火花、炎を引火性の液体やガスから遠ざける。

### ■車についての安全事項

- エンジンの排気ガスに含まれる一酸化炭素の毒作用に注意する。
  - ▶ エンジンを始動するときは必ず十分な換気を行ってください。
- エンジンルーム内を点検するときは、冷却ファンが止まってから行ってください。
  - ▶ エンジンの温度が高い状態でエンジンを停止したとき、冷却ファンが自動的に作動することがあります。
- 熱くなった部品によるやけどに注意する。
  - ▶ 部品に触れる前に、エンジンと排気システムを十分に冷やしてください。
- 可動部品によるけがに注意する。
  - ▶ 指示されたとき以外は、エンジンを始動しないでください。

## メンテナンスに関する注意事項

### ■メンテナンスサービスで使用する部品やオイル

メンテナンスサービスを受けるときは、Honda 純正部品やオイル類を使用することをおすすめします。Honda 純正部品は、車で使われている部品と同じ高品質の基準に基づいて製造されているため、性能と耐久性の面で安心です。

### ⚠メンテナンスを安全に行うために



**警告**

**適切なメンテナンスを行い、走行前に故障がないようにする。**

走行時に故障がある状態や、適切なメンテナンスがなされていないと、重大な傷害や死亡に至る事故を引き起こす可能性があります。

必ず、この取扱説明書に記載されている点検とメンテナンスに関する注意事項や別冊のメンテナンスノートに記載の点検時期を守ってください。

**メンテナンスは、指示と注意事項を守って行う。**

メンテナンスの指示と注意事項を守らないと重大な傷害や死亡のおそれがあります。必ず、この取扱説明書に記載されている手順と注意事項を守ってください。



## ボンネット内のメンテナンス項目

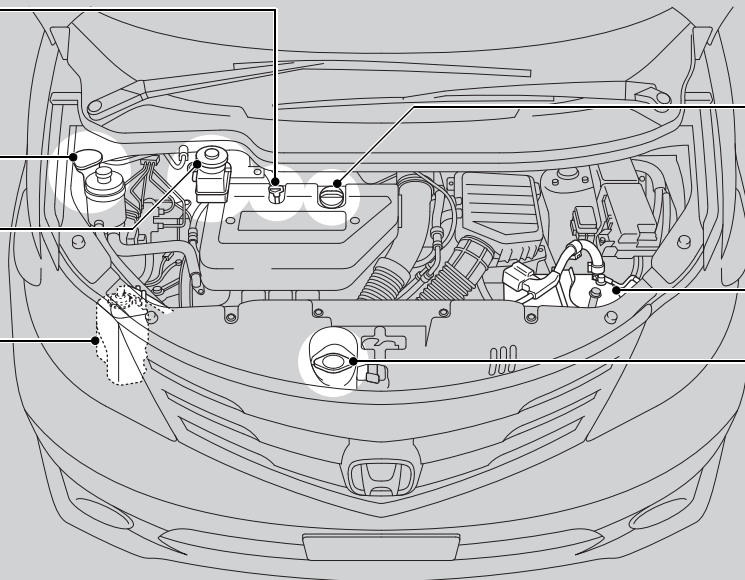
G AERO

エンジンオイル  
レベルゲージ※

ウィンド  
ウォッシャー液  
注入口

ブレーキフルード  
リザーブタンク※

冷却水  
リザーブタンク※

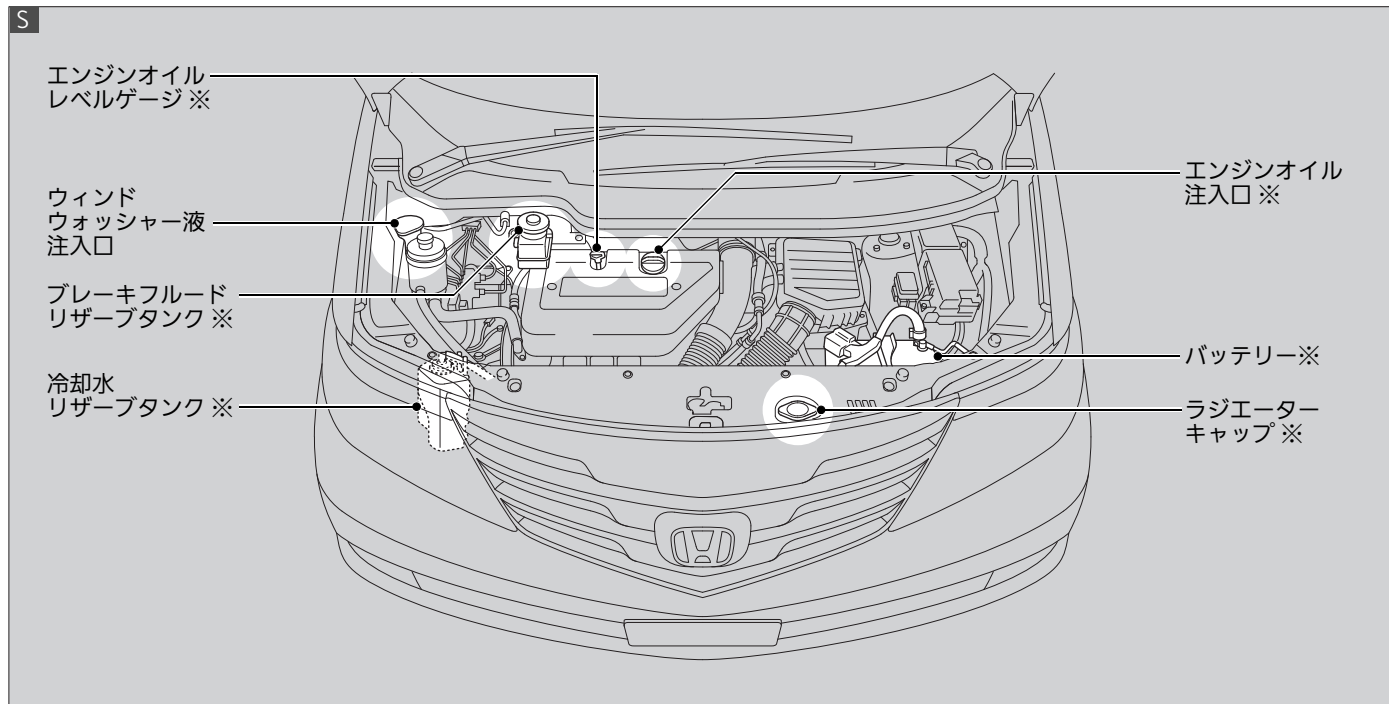


エンジンオイル  
注入口※

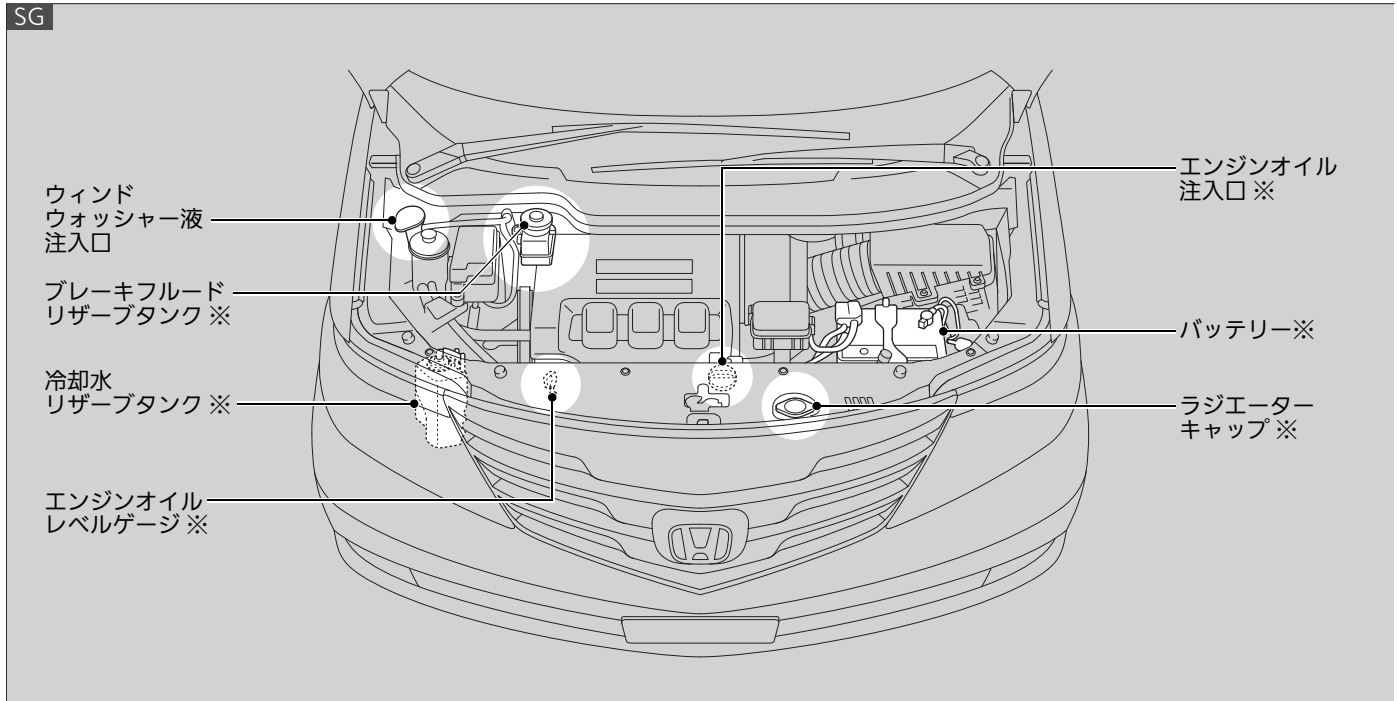
バッテリー※

ラジエーター  
キャップ※

※：点検整備については、別冊の「メンテナンスノート点検整備について」をご覧ください。

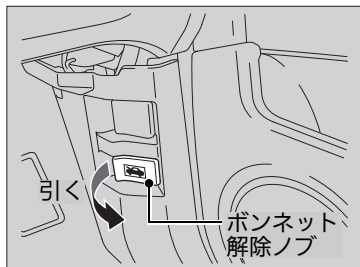


※：点検整備については、別冊の「メンテナンスノート点検整備について」をご覧ください。

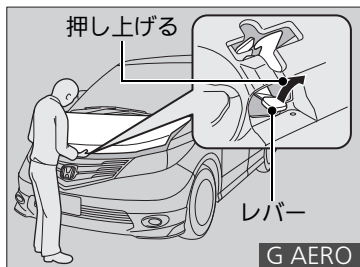


※：点検整備については、別冊の「メンテナンスノート点検整備について」をご覧ください。

## ボンネットを開ける



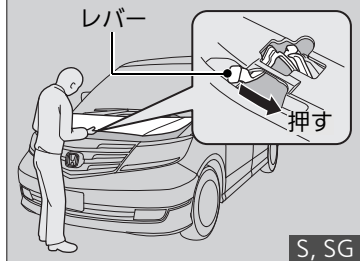
1. 車を止め、パーキングブレーキをかける。
2. 運転席足元にある、ボンネット解除ノブを引く。  
▶ ボンネットが少し浮き上がります。



### G AERO

3. ボンネット中央のレバーを押し上げてロック機構を解除し、ボンネットを開ける。

### S, SG



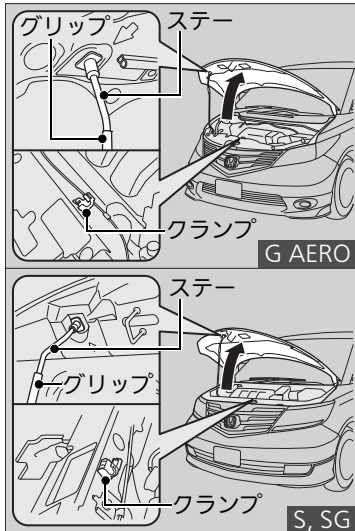
3. ボンネット中央のレバーを右に押し、ロック機構を解除し、ボンネットを開ける。

### ※ボンネットを開ける

#### アドバイス

ワイパーアームを起こした状態で、ボンネットを開けないでください。

ボンネットがワイパーに当たり、ボンネットやワイパーが損傷することがあります。



**共通操作**

4. グリップを持ってステアをクランプから取り外し、ステアをボンネットにかける。

閉めるときは、ステアを外しクランプに納めてからボンネットを静かに下げて、約30cmの高さから手を離します。

※ボンネットを開ける

**注意**

**ボンネットを閉めるときは、手などはさまないように注意する。**

ボンネットを閉めたときは、ボンネットが確実にロックされていることを確認してください。

## 推奨エンジンオイル

エンジンオイルは、量が少なかったり劣化したものを使用していると、エンジンの不調や破損につながる場合があります。



推奨エンジンオイル：

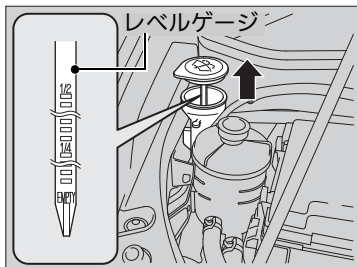
Honda純正エンジンオイル、

▶ Honda純正エンジンオイル P.280,282,284

API SM級以上かオイル缶にAPI CERTIFICATION(エーピーアイサーティフィケーション)マークの入ったエンジンオイル

## ウィンドウォッシャー液の補給

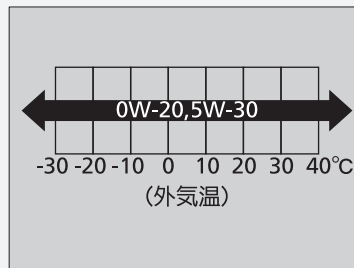
ウォッシャー液の量は、キャップに付いているウォッシャー液レベルゲージにより確認します。



減っていた場合は、ウォッシャー液キャップを外し、ウォッシャータンクに補給します。

### ▶▶ 推奨エンジンオイル

市販のエンジンオイルは、外気温に応じた粘度のものを下表にもとづきお使いください。



冬期はエンジンオイルの劣化が激しくなります。

冬期に主として短距離、市街地を運転する場合は、早めに交換してください。

### ▶▶ ウィンドウォッシャー液の補給

ウォッシャー液以外の液体を、タンクに入れないでください。

冬期はウォッシャー液の凍結を防ぐため、ウォッシャー液の濃度を上げてください。

## ヘッドライト電球

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

ロービームヘッドライト	: 12V-35W
ハイビームヘッドライト <b>G AERO</b>	: 12V-55W
ハイビームヘッドライト <b>S, SG</b>	: 12V-60W

## ロービームヘッドライト

電球の点検や交換は必ず Honda 販売店に依頼してください。

### ※ヘッドライト電球

ヘッドライト、制動灯などのランプは、雨天走行や洗車などによりレンズ内面が一時的に曇ることがありますが、機能上の問題はありません。

ただし、レンズ内面に大粒の水滴が付いていたり、水がたまっていたりしている場合は Honda 販売店で点検を受けてください。

### ※ロービームヘッドライト

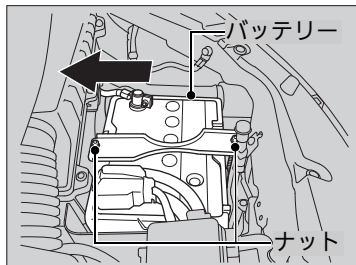


## 注意

**ディスチャージヘッドライトは高電圧を使用しています。**

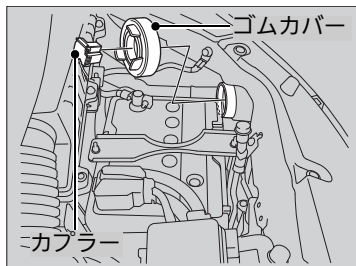
不適切な取り扱いや分解を行うと感電するおそれがあります。

## ■ ハイビームヘッドライト G AERO



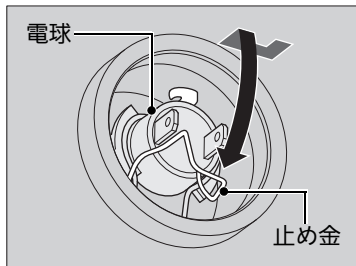
### 左側

1. バッテリー固定用のナットをゆるめ、バッテリーをずらす。



### 右側 / 左側

2. カプラーを外す。
3. ゴムカバーを取り外す。



4. 止め金を外し、古い電球を取り外す。

## ※ハイビームヘッドライト

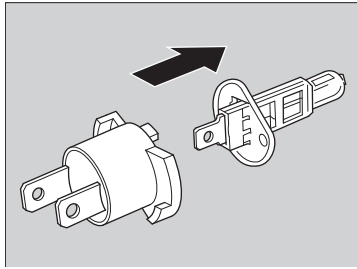
### アドバイス

ハロゲン球は非常に熱くなります。取り扱うときは、熱が冷めてから行ってください。また、ガラスに油、汗、傷がつくと、電球が過熱し割れるおそれがあります。

扱うときは口金の部分を持ち、ガラスが肌や固いものに触れないようにしてください。

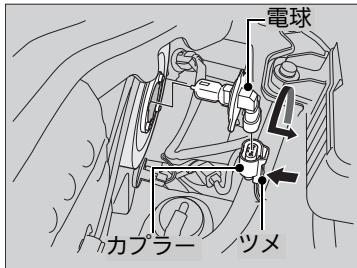
ガラスに汚れがついたときは、中性洗剤の薄い水溶液を含ませたきれいな布で拭いてください。





5. 古い電球本体を抜き取る。
6. 新しい電球本体を取り付ける。
7. 止め金を元に戻し、ゴムカバーを取り付ける。
8. カプラーを取り付ける。

## ハイビームヘッドライト S, SG



1. カプラーを外す  
▶カプラーはツメを押しながら外します。
2. 古い電球を左に回して抜き取る。
3. 新しい電球を右に回して固定する。
4. カプラーを押し込み、電球に取り付ける。

## ※ハイビームヘッドライト

### アドバイス

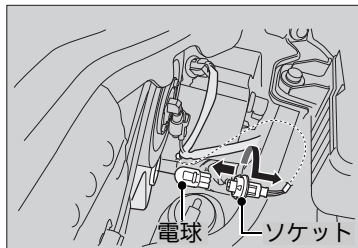
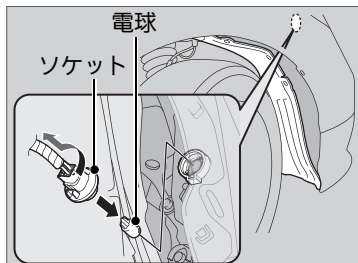
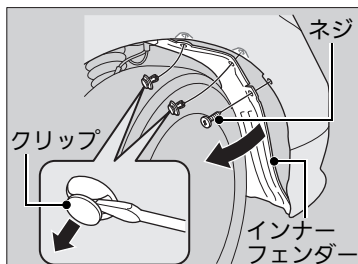
ハロゲン球は非常に熱くなります。取り扱いときは、熱が冷めてから行ってください。また、ガラスに油、汗、傷がつくと、電球が過熱し割れるおそれがあります。

扱うときは口金の部分を持ち、ガラスが肌や固いものに触れないようにしてください。ガラスに汚れがついたときは、中性洗剤の薄い水溶液を含ませたきれいな布で拭いてください。

## 前面方向指示器 / 前面非常点滅表示灯電球

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

前面方向指示器/前面非常点滅表示灯：12V-21W(橙色)



### G AERO

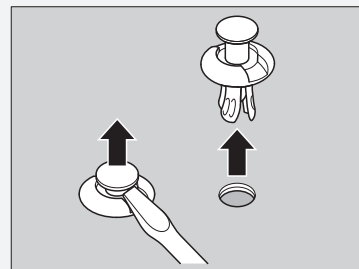
1. 交換する側と反対にハンドルをいっぱい切る。
2. クリップとネジを外し、インナーフェンダーをめくる。
3. ソケットを左に回して外し、古い電球を抜き取る。
4. 新しい電球を差し込む。

### S, SG

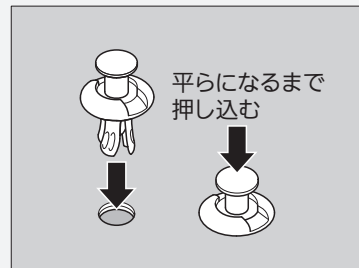
1. ソケットを左に回して外し、古い電球を抜き取る。
2. 新しい電球を差し込む。

### ▶▶ 前面方向指示器/前面非常点滅表示灯電球

クリップを外すときは、クリップの切り欠き部にマイナスドライバーを差し込んで、中央部のピンを起こして取り外します。



クリップを取り付けるときは、クリップ中央部のピンを起こしたまま差し込み、ピンを平らになるまで押してください。

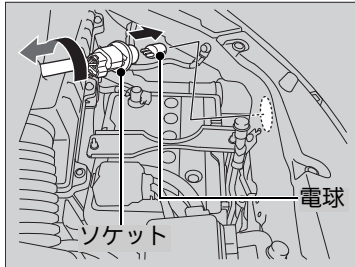


## 車幅灯電球

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

車幅灯：12V-5W

### G AERO



#### 左側

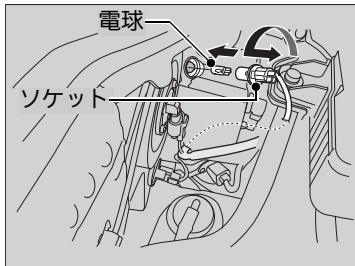
1. バッテリー固定用のナットをゆるめ、バッテリーをずらす。

▼ ハイビームヘッドライト P.214

#### 右側 / 左側

2. ソケットを左に回して外し、古い電球を抜き取る。
3. 新しい電球を差し込む。

### S, SG

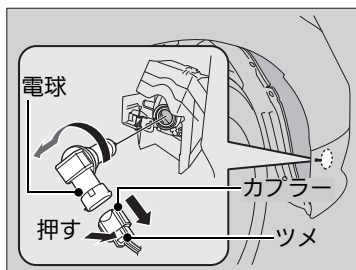
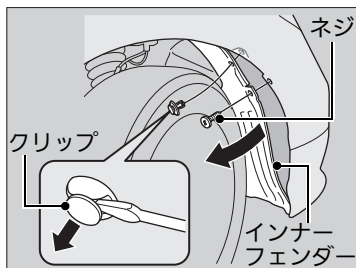


1. ソケットを左に回して外し、古い電球を抜き取る。
2. 新しい電球を差し込む。

## フォグライト電球

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

フォグライト：12V-55W



### G AERO

1. 交換する側と反対にハンドルをいっぱい切る。
2. クリップとネジを外し、インナーフェンダーをめくる。
3. カプラーを外す。  
▶カプラーはツメを押しながら外します。
4. 古い電球を左に回して抜き取る。
5. 新しい電球を右に回して固定する。
6. カプラーを押し込み、電球に取り付ける。

### ☒ フォグライト電球

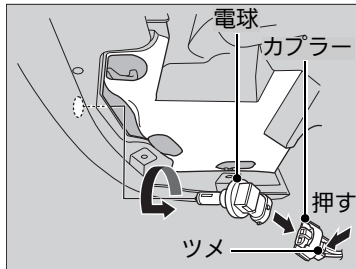
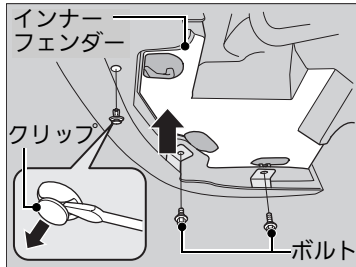
#### アドバイス

ハロゲン球は非常に熱くなります。取り扱うときは、熱が冷めてから行ってください。

また、ガラスに油、汗、傷がつくと、電球が過熱し割れるおそれがあります。

扱うときは口金の部分を持ち、ガラスが肌や固いものに触れないようにしてください。

ガラスに汚れがついたときは、中性洗剤の薄い水溶液を含ませたきれいな布で拭いてください。



**S, SG**

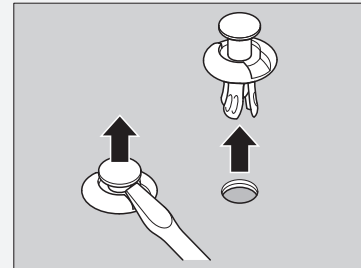
1. クリップとボルトを外し、インナーフェンダーを内側に押し上げる。
2. カプラーを外す。  
▶カプラーはツメを押しながら外します。
3. 古い電球を左に回して抜き取る。
4. 新しい電球を右に回して固定する。
5. カプラーを押し込み、電球に取り付ける。

## 側面方向指示器 / 側面非常点滅表示灯電球

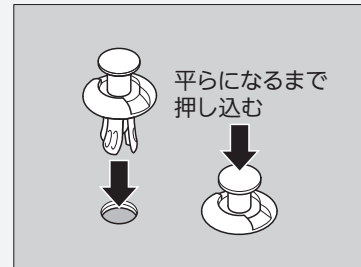
側面方向指示器 / 側面非常点滅表示灯は LED を使用しています。点検、交換は Honda 販売店に依頼してください。

**※フォグライト電球**

クリップを外すときは、クリップの切り欠き部にマイナスドライバーを差し込んで、中央部のピンを起こして取り外します。



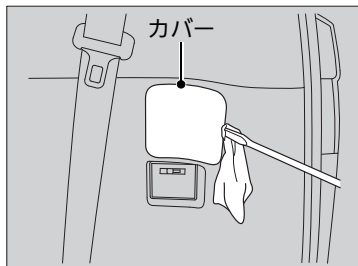
クリップを取り付けるときは、クリップ中央部のピンを起こしたまま差し込み、ピンを平らになるまで押し込んでください。



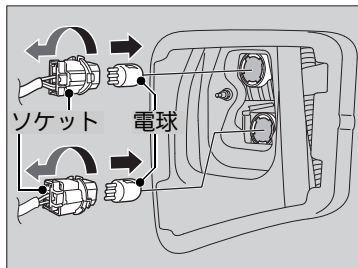
## 制動灯 / 尾灯、後面方向指示器 / 後面非常点滅表示灯 電球 **G AERO**

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

制動灯/尾灯	: 12V-21/5W
後面方向指示器/後面非常点滅表示灯	: 12V-21W(橙色)



1. カバーの切り欠き部にマイナスドライバーの先端を差し込み、カバーを取り外す。  
▶カバーが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。



2. ソケットを左に回して外し、古い電球を抜き取る。
3. 新しい電球を差し込む。

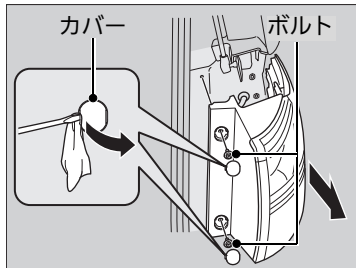
## 制動灯 / 尾灯電球 **S, SG**

制動灯 / 尾灯はLEDを使用しています。点検、交換はHonda販売店に依頼してください。

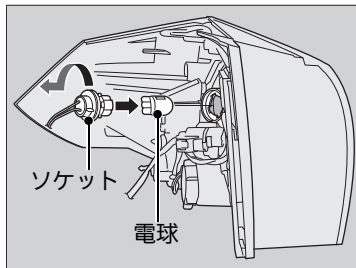
## 後面方向指示器 / 後面非常点滅表示灯電球 S, SG

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

後面方向指示器/後面非常点滅表示灯：12V-21W(橙色)



1. カバーの切り欠き部にマイナスドライバーの先端を差し込み、カバーを取り外す。  
▶カバーが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。
2. ボルトを外す。
3. ランプ本体を取り外す。

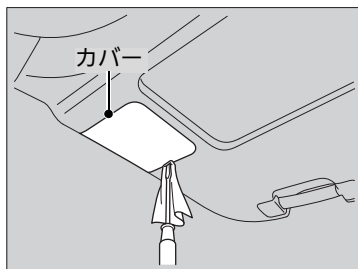


4. ソケットを左に回して外し、古い電球を抜き取る。
5. 新しい電球を差し込む。

## 尾灯、後退灯電球 **G AERO**

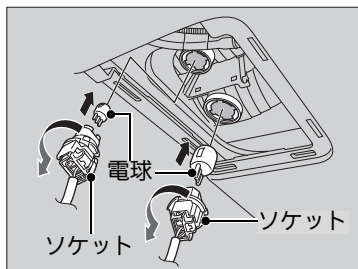
交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

尾灯	: 12V-5W
後退灯	: 12V-21W



1. カバーの切り欠き部にマイナスドライバーの先端を差し込み、カバーを取り外す。

▶カバーが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。



2. ソケットを左に回して外し、古い電球を抜き取る。
3. 新しい電球を差し込む。

## 尾灯電球 **S, SG**

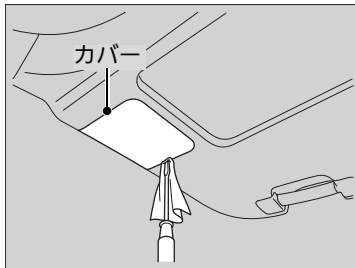
尾灯は LED を使用しています。点検、交換は Honda 販売店に依頼してください。



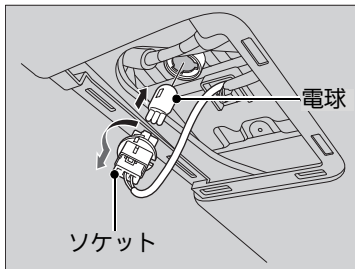
## 後退灯電球 S, SG

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

後退灯：12V-21W



1. カバーの切り欠き部にマイナスドライバーの先端を差し込み、カバーを取り外す。  
▶カバーが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。



2. ソケットを左に回して外し、古い電球を抜き取る。
3. 新しい電球を差し込む。

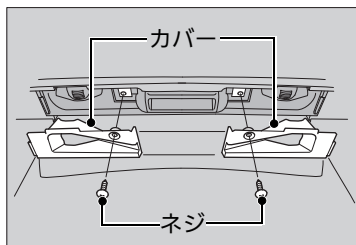
## ハイマウントストップランプ電球

ハイマウントストップランプはLEDを使用しています。点検、交換はHonda販売店に依頼してください。

## 番号灯電球

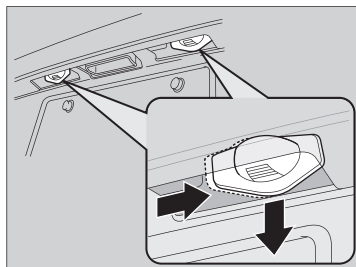
交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

番号灯：12V-5W



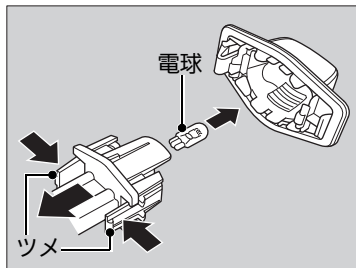
S, SG

1. ネジを外して、カバーを取り外す。



共通操作

2. レンズの側面を押してランプ本体を外す。



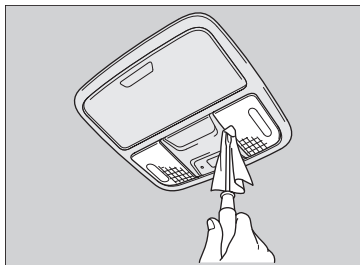
3. ツメを押してカバーを外す。
4. 古い電球を抜き取る。
5. 新しい電球を差し込む。

## その他の電球

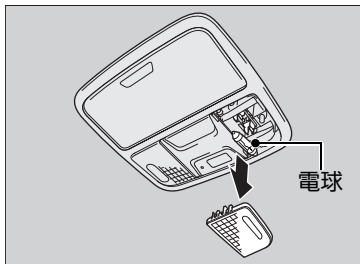
### ■ フロントシート室内灯電球\*

下記の電球をご使用ください。

フロントシート室内灯:12V-8W



1. ランプ本体にマイナスドライバーの先端を差し込み、押し開ける。  
▶ ランプが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。

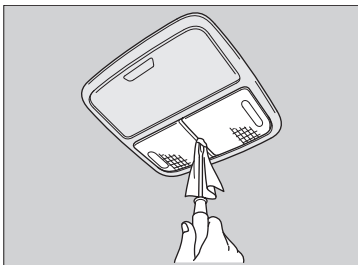


2. 古い電球を抜き取る。
3. 新しい電球を差し込む。

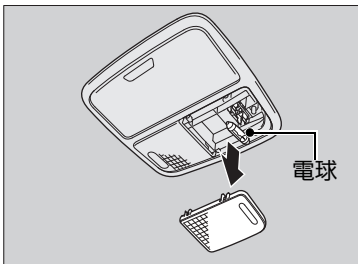
### ■ フロントシート室内灯電球\*

下記の電球をご使用ください。

フロントシート室内灯:12V-8W



1. ランプ本体にマイナスドライバーの先端を差し込み、押し開ける。  
▶ ランプが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。

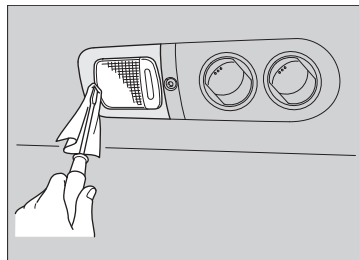


2. 古い電球を抜き取る。
3. 新しい電球を差し込む。

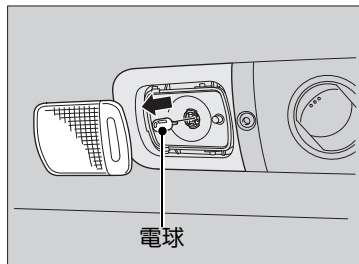
### ■ セカンド、サードシート室内灯電球

下記の電球をご使用ください。

セカンド、サードシート室内灯:12V-5W



1. ランプ本体にマイナスドライバーの先端を差し込み、押し開ける。  
▶ ランプが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。

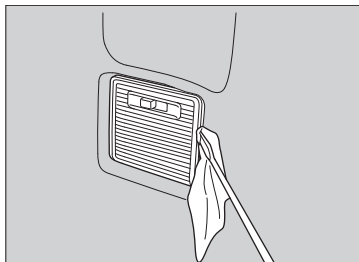


2. 古い電球を抜き取る。
3. 新しい電球を差し込む。

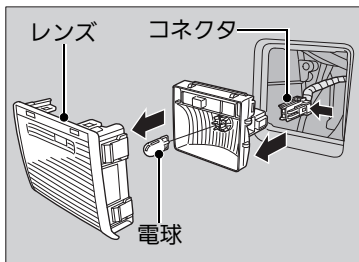
### ■ カーゴスペース照明灯電球

下記の電球をご使用ください。

カーゴスペース照明灯:12V-5W



1. ランプ本体にマイナスドライバーの先端を差し込み、押し開ける。  
▶ ランプが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。

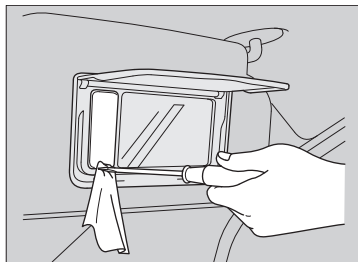


2. コネクタを外し、レンズを開けて古い電球を抜き取る。
3. 新しい電球を差し込む。

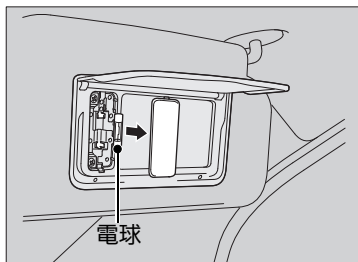
### ■ バニティミラー照明灯電球

下記の電球をご使用ください。

バニティミラー照明灯:12V-2W



1. ランプ本体にマイナスドライバーの先端を差し込み、押し開ける。  
▶ ランプが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。

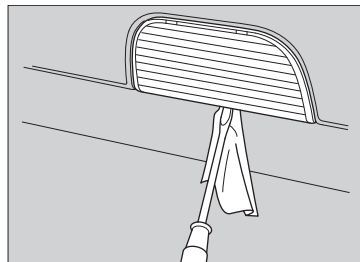


2. 古い電球を抜き取る。
3. 新しい電球を差し込む。

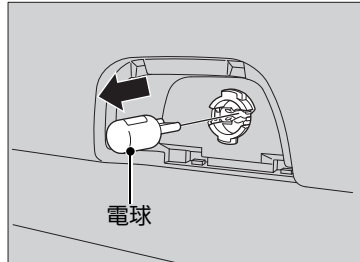
### ■ フロントドア開閉灯電球

下記の電球をご使用ください。

フロントドア開閉灯:12V-2CP(3.8W)



1. ランプ本体にマイナスドライバーの先端を差し込み、押し開ける。  
▶ ランプが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。

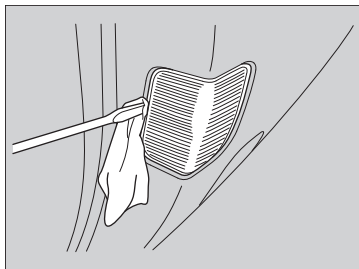


2. 古い電球を抜き取る。
3. 新しい電球を差し込む。

## ■ スライドドア開閉灯電球

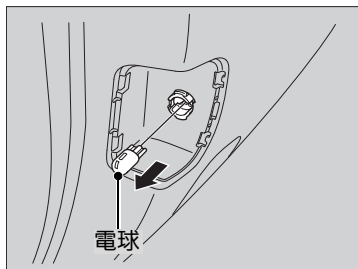
下記の電球をご使用ください。

スライドドア開閉灯:12V-2CP(3.8W)



1. ランプ本体にマイナスドライバーの先端を差し込み、押し開ける。

▶ ランプが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。



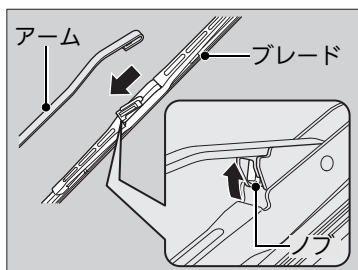
2. 古い電球を抜き取る。
3. 新しい電球を差し込む。

# ワイパーブレードラバーの点検と整備

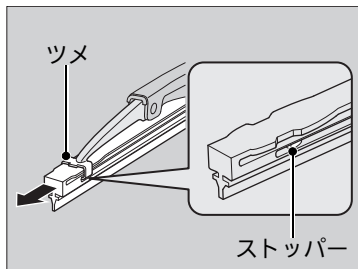
## ワイパーブレードラバーの点検

ワイパーブレードラバーが傷んでいると、拭きムラになったり、ウィンドーガラスを傷つけたりします。定期的にワイパーブレードの状態を点検し、傷んでいる場合は交換してください。

## フロントワイパーブレードラバーの交換



1. 運転席側、助手席側の順にワイパーアームを起こす。
2. ノブを押し上げながら、アームからブレードをスライドさせて外す。



3. ラバーのストッパーがブレードのツメから外れるまで引き、そのままラバーをブレードから引き抜く。

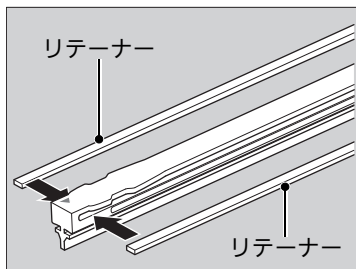
### ☒ フロントワイパーブレードラバーの交換

#### アドバイス

ワイパーアームを起こした状態でボンネットを開けたりワイパーを作動させたりすると、ボンネットとワイパーアームを損傷します。

#### アドバイス

ブレードを外した状態でワイパーアームが倒れると、ガラスが損傷するおそれがあります。

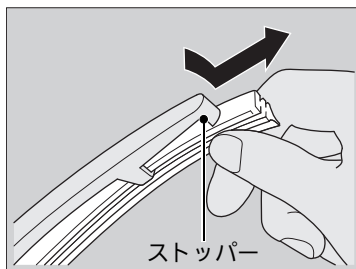


4. 引き抜いたラバーからリテーナーを外し、新しいラバーに取り付ける。
5. ラバーをブレードの端から差し込む。
  - ▶ 正しく固定されているか確認してください。その後、ブレードをワイパーアームに取り付けます。

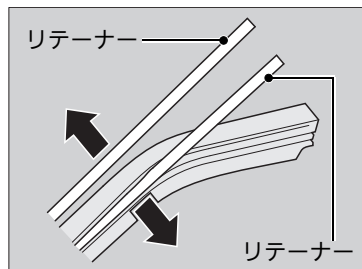
#### ※フロントワイパーブレードドラバーの交換

ワイパーアームを戻すときは、助手席側、運転席側の順に戻してください。

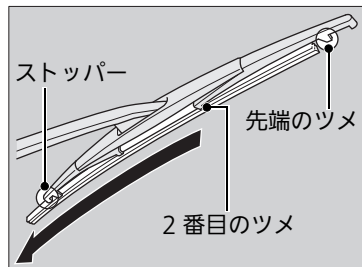
## リヤワイパーブレードドラバーの交換



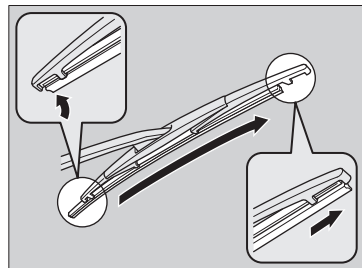
1. ラバーの先端部をブレードのストッパーから外れるまで引き、そのままラバーをブレードから引き抜く。



2. 引き抜いたラバーからリテーナーを外し、新しいラバーに取り付ける。



3. ラバーをブレードの 2 番目のツメからブレードに沿って差し込み、ラバーをブレードのストッパーから約 2cm 引き出す。



4. ブレードの先端のツメにラバーを通す。  
5. ブレードの先端のストッパーにラバーを戻して固定する。



## タイヤの点検

### ■タイヤの点検について

タイヤが摩耗・損傷していたり、適正な空気圧でないと、安全な走行ができな  
いばかりか乗り心地も損なわれます。

安全な走行のために求められるタイヤの条件は下記のとおりです。

- 種類とサイズが適正であること
- 接地面の状態が良好であること
- 空気圧が適正であること
- 摩耗、傷、亀裂、異物などがないこと

これらの条件を満たすために下記の点検を行い、常にタイヤを最適な状態に  
保ってください。

### ■日常的な点検

乗車前に必ず行う点検です。下記の項目を確認し、状況によってはメンテナ  
ンスをしてください。

- タイヤがつぶれているように見えないか？  
▶つぶれているように見えたら、すぐに空気圧をチェックしてください。
- 激しい摩耗、傷、亀裂、異物はないか？  
▶状況に応じて、タイヤを交換してください。

### ※タイヤの点検について



**警告**

**摩耗が激しいタイヤ、空気圧が適正でない  
タイヤを使用しない。**

不適切なタイヤを使用すると、重大な傷害  
や死亡に至る事故につながるおそれがあり  
ます。

**必ず、サイズと種類が適切なタイヤを使用  
する。**

不適切なタイヤを使用すると、重大な傷害  
や死亡に至る事故につながるおそれがあり  
ます。

## ■空気圧測定器による点検

すべてのタイヤの空気圧を測定してください。空気圧が下がっている場合は、パンクを入念に調べます。

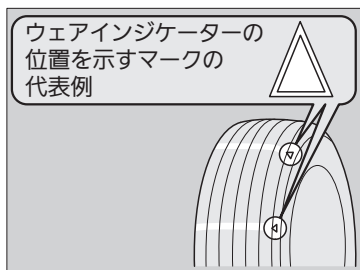
タイヤの指定空気圧は、巻末の資料を参照してください。

➤資料 P.280,282,284

## ■損傷、異物、摩耗の点検

下記の項目を点検してください。

- タイヤの接地面と側面の突起、膨らみが正常か？  
▶異常が見られた場合は、タイヤを交換する必要があります。
- タイヤ側面に、裂け目、亀裂がないか？  
▶裂け目や亀裂がある場合は、タイヤを交換する必要があります。
- 接地面とウェアインジケーターが同じ高さになっていないか？



### ウエアインジケーター(摩耗限界表示)

ウエアインジケーターはタイヤの接地面にあり、他の部分より溝が1.6mm浅くなっています。

接地面が摩耗して、ウエアインジケーターと同じ高さになったら、タイヤを交換してください。

## ☒タイヤの点検について

**タイヤの空気圧は、タイヤ温度が低いときに測定してください。**

必要な場合は、指定空気圧になるまで空気を注入または排出してください。

タイヤが高温のときに空気圧を測っても、低温のときより高めになるため正しく測定できません。

**指定空気圧は、運転席横の車体に貼ってあるラベルにも記載されています。**

この取扱説明書が手元がない場合は、車のラベルをご覧ください。

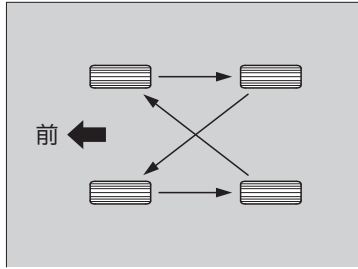
**タイヤは、四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。**

サイズ、種類、銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを使用すると、ABS、VSA、4WDなどが正常に機能しなくなったり、動力伝達装置に悪影響を与えたりします。

## タイヤのローテーション

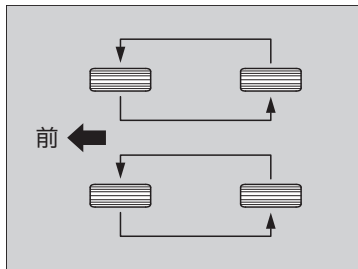
5,000km 走行したときタイヤローテーションをしてください。  
 タイヤローテーションを行うのは、特定のタイヤが摩耗するのを防ぐためです。

### ■回転指示マークがないタイヤの場合



左図のように、タイヤをローテーションさせます。

### ■回転指示マークがあるタイヤの場合

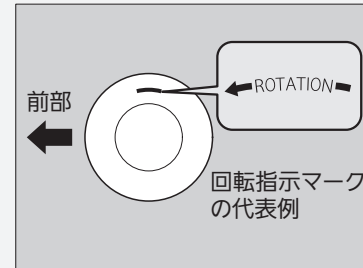


左図のように、タイヤをローテーションさせます。

### ※タイヤのローテーション

タイヤ回転方向が指定されているタイヤには、**タイヤ回転指示マーク**があります。

下図のように回転指示マークが前へ向くように取り付けてください。



## 冬期のタイヤ

雪道や凍結した道路を走行する場合は、スノータイヤやタイヤチェーンを装着し、速度を落として十分に車間距離をとって運転してください。

また、横滑りの原因となりますのでハンドルやブレーキの操作は、特に慎重に行ってください。

タイヤチェーンおよびスノータイヤは、走行条件や法令により装着が必要とされた場合に使用します。

装着する場合は、下記のポイントを参照してください。

### ■スノータイヤ

- 四輪とも同じ種類のタイヤを選ぶ
- 四輪すべてにスノータイヤを装着する

### ■タイヤチェーン

- Honda 純正スチールチェーンを、付属の取扱説明書にしたがって前輪に装着する
- タイヤサイズに適合したチェーンを装着する
- ブレーキラインやサスペンションと接触していないか確認する
- ゆっくり走行する

### ※冬期のタイヤ

#### アドバイス

**サイズが不適切なチェーンを装着したり、装着のしかたが不適切だと、車のブレーキライン、サスペンション、ボディー、ホイールを損傷するおそれがあります。**

チェーンが車のどこかに当たる場合、ただちに走行をやめてください。

タイヤチェーンは、2WD車、4WD車ともに前輪に装着します。

後輪には、タイヤチェーンを装着しないでください。

タイヤチェーンを装着したときは、30km/h以下の速度で走行してください。

なお、乾燥路面ではタイヤチェーンを装着したまま走行するのは避けてください。タイヤチェーンの摩耗を早めます。

### キーレスエントリー/Honda スマートキーの取り扱いと電池交換

#### 取り扱いについて

キーレスエントリー/Honda スマートキーの取扱いは、下記の点に注意してください。

- 発信器を落としたり投げたりしない
- 温度が極端に高い / 低い場所に置かない
- 液体にひたさない

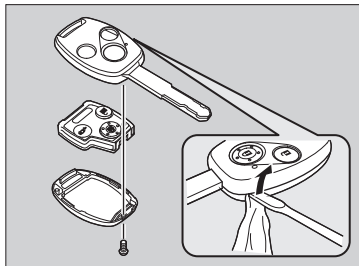
#### ❖取り扱いについて

キーレスエントリー/Hondaスマートキーをなくした場合は、Honda販売店へご連絡ください。

## ■電池交換のしかた

作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられます。ボタンを押したときにインジケーターが点灯しない場合は、電池切れです。

### ■キーレスエントリー一体キー\*



#### ボタン電池CR1616

1. 発信器下部のネジを外し、カバーを開く。

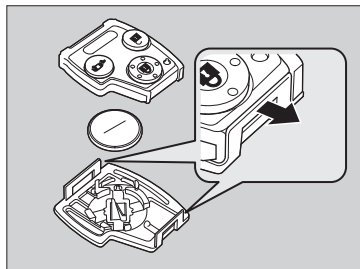
▶カバーに傷が付かないように、マイナスドライバーに布などを巻いてカバーを取り外します。

2. ケースを開ける。

▶ケースに傷が付かないように、コインに布などを巻いてケースを開けます。

3. ⊕ と ⊖ を間違えないよう、電池を交換する。

▶交換後、もとのように組み立てネジをしっかりと締めてください。



## ⊠電池交換のしかた

### ⚠注意

**電池および取り外した部品は、お子さまが飲み込まないように注意する。**

飲み込むと傷害を受けるおそれがあります。

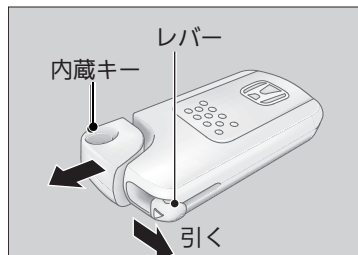
電池交換の際は、破損などのおそれがあるため、Honda販売店での交換をおすすめします。

電池交換の際は、カバーを確実に取り付けてください。

確実に取り付けられていないと、耐水性能の低下や故障の原因となります。

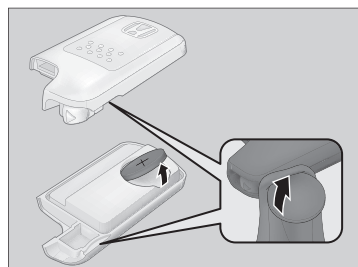
電池はHonda販売店または時計店、カメラ店などでお求めください。

## ■Honda スマートキー\*



### ボタン電池CR2032

1. レバーを引きながら、内蔵キーを取り出す。  
す。
2. カバーを外す。  
▶カバーに傷が付かないように、コインに布などを巻いてカバーを取り外します。
3. ⊕と⊖を間違えないよう、電池を交換する。

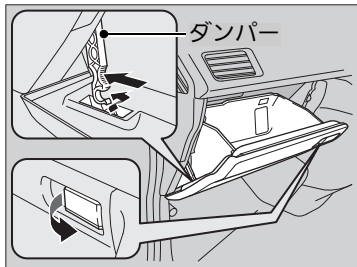


## エアークリーンフィルター

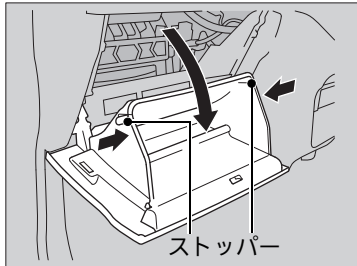
### ■エアークリーンフィルターの交換時期

エアークリーンフィルターは、通常 1 年または 15,000km ごとに交換してください。粉じんなどの多い場所で使用される場合は、早めの交換をおすすめします。

### ■エアークリーンフィルターの交換



1. グローブボックスを開け、ダンパーを外す。



2. グローブボックスの両側に付いているストッパーを内側に押し込み、グローブボックスを下ろす。

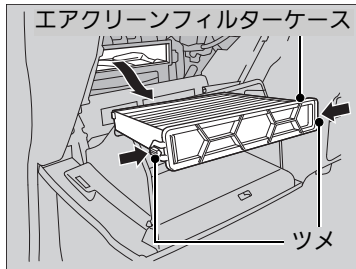
### ■エアークリーンフィルター

芳香剤を使用すると脱臭効果が弱くなり、脱臭寿命が短くなることがあります。

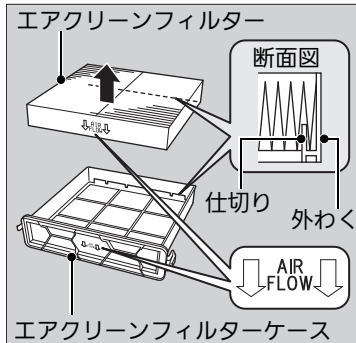
エアコンの風量が著しく減少したり、ガラスが曇りやすくなったときは、フィルターの目詰まりが考えられます。フィルターを交換してください。

アレルフリー高性能脱臭フィルターは、空気中の花粉・粉じんを集じんし、アレルゲンを処理、排気ガス臭も低減します。





3. 左右にあるツメを押しながら、エアクリーンフィルターケースを引き出す。



4. エアクリーンフィルターケースからエアクリーンフィルターを引き出す。

5. ケースの外わくと仕切り間に、フィルターの端を差し込むようにして交換する。

▶「AIR FLOW」マークの矢印が、同じ方向（下向き）になるように取り付けます。

## 日常のお手入れ

### 走行後のお手入れ

走行後は、塗装面に付着したほこりなどを毛はたきなどで払い落としてください。

飛び石などによる塗装面の傷は錆の原因になります。見つけたら早めに補修してください。

### 洗車について

月に一度は洗車をするようにしてください。

以下の場合、必ず洗車をしてください。

- 凍結防止剤を散布した道路を走行したとき
- 海岸地帯を走行したとき
- コールタール、ばい煙、鳥のふん、虫、樹液などが付いたとき

## 車内の清掃

内装の清掃は、ぬるま湯に中性洗剤を溶かしたものを柔らかい布に軽く含ませ、固く絞って汚れを落とします。その後、真水を含ませたきれいな布で、洗剤分をきれいに落としてください。

### 洗車について

凍結防止剤を散布した道路や、海岸地帯を走行したときの洗車は、フェンダーの内側を念入りに洗ってください。

### 車内の清掃

室内に水をかけないでください。

オーディオやスイッチなどの電装品に水がかかると故障の原因となります。

オーディオ、スイッチなどの電装品にシリコン系のスプレーを塗布しないでください。

故障や車両火災の原因となるおそれがあります。万一、電装品にシリコン系のスプレーを塗布したときは、Honda販売店にご相談ください。

ケミカル類、液体芳香剤は成分により、樹脂部品、布材の変色、しみ、ひび割れなどを起すことがあります。

ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤、酸、アルカリ性の溶剤は使用しないでください。

ケミカル類を使用したあとは、必ず乾いた布で軽く拭き取ってください。

使用した布をそのまま樹脂部品、布材の上に長時間放置しないでください。

液体芳香剤は、こぼさないよう確実に固定してください。

## ■ シートベルトの清掃

ぬるま湯に中性洗剤を溶かしたものをブラシにつけて清掃し、その後空気乾燥させます。

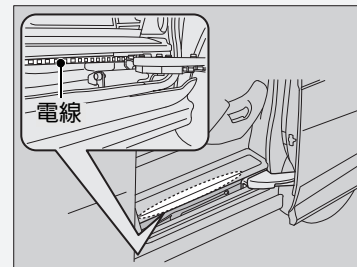
## ■ 本革\*のお手入れ

本革シートなどは、ウール用中性洗剤の 10% 水溶液を柔らかい布に軽く含ませ汚れを落とします。その後、真水を含ませた柔らかい布で洗剤分を拭き取り、風通しをよくして乾燥させます。汚れが付着したらすぐに拭き取ってください。

## ※車内の清掃

### アドバイス

パワースライドドアの内側にある内部の電線には、揮発性の溶剤(スプレー、グリース等)をつけないでください。  
故障の原因になります。



## ※本革のお手入れ

サイドエアバッグ装備車の助手席を湿った状態で使用すると、サイドエアバッグの乗員姿勢検知システムが正しく作動しないことがあります。よく乾かしてからお使いください。

## 車外の清掃

洗車は、十分に水をかけながら、下回り、足回りの汚れを落とします。塗装面は、屋根から順に下のほうへ水をかけながら、スポンジかセーム革のような柔らかいもので洗います。

汚れがひどい場合は、中性洗剤で洗い、水で完全に洗剤を落としてから水が乾かないうちに拭き取ります。

### ■自動洗車機を使うとき

- ドアミラーを格納する

### ■高圧洗浄機を使うとき

- 洗車ノズルと車体の距離を十分に離す
- ウィンドーまわりは、近づけすぎると室内に水が入ることがあるため、特に注意して行う
- エンジンルームには水をかけない

### ■ワックスをかけるとき

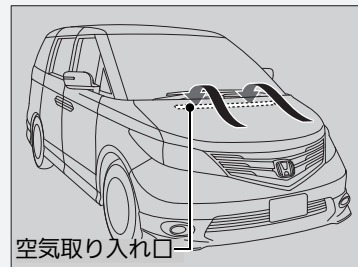
ワックスは、月に 1 回程度または水をはじかなくなったときにかけてください。洗車した後や、車体表面が体温以下に下がっているときにかけるようにしてください。

### ■バンパーなどの樹脂塗装部品のお手入れ

樹脂塗装部品に、ガソリン、オイル、ラジエーター液、バッテリー液などが付着するとしみや塗膜ががれの原因となります。付着した場合は、すぐに柔らかい布で拭き取ってください。

### ※車外の清掃

**故意に空気取り入れ口や、エンジンルームに水をかけないでください。**  
故障の原因になります。



### ※ワックスをかけるとき

#### アドバイス

**みがき粉(コンパウンド)入りのワックスは、使わないでください。** 塗装面に細かい傷が残ることがあります。

ワックスはHonda純正ケミカル用品をお使いください。

### ※バンパーなどの樹脂塗装部品のお手入れ

**樹脂塗装部品の補修をする場合は、Honda販売店にご相談ください。**

不適当な塗料を使うと塗膜を傷めます。

## ■ ガラスのお手入れ

ガラスクリーナーなどで拭いてください。

## ■ はっ水ガラス\* について

前席ウィンドー(ドアガラス)にはっ水膜がコーティングしてあり、水滴をはじきます。水洗いするか、柔らかい湿った布などで拭き取ってください。

ガラスクリーナーを使うと一時的に水はじきが悪くなるがありますが、水洗いをすれば元に戻ります。水はじきが悪くなったときは、Honda 販売店にご相談ください。

## ■ アルミホイールのお手入れ

アルミは塩分や汚れを嫌います。道路凍結防止剤や海水が付いたときは、スポンジに中性洗剤を含ませ汚れを早めに落としてください。

## ※ ガラスのお手入れ

リヤガラスやリヤクオーターガラスは、ガラスの内側に電熱線やアンテナ線が装着されています。

傷付けないよう、これに沿って柔らかい布で拭いてください。

水滴をはじく効果の持続時間には限りがあります。長持ちさせるために次のことをお守りください。

- 泥などの汚れがひどいときは、開閉をなるべく行わない
- みがき粉(コンパウンド)入りガラスクリーナーやワックス、洗剤等は使わない
- 金属製のもので霜取りなどを行わない
- 自動洗車機を使うときは、先に泥などの汚れを落とす

## ※ アルミホイールのお手入れ

この車専用のホイールをお使いください。専用以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。ホイール交換は、Honda販売店にご相談ください。

# 万一の場合には

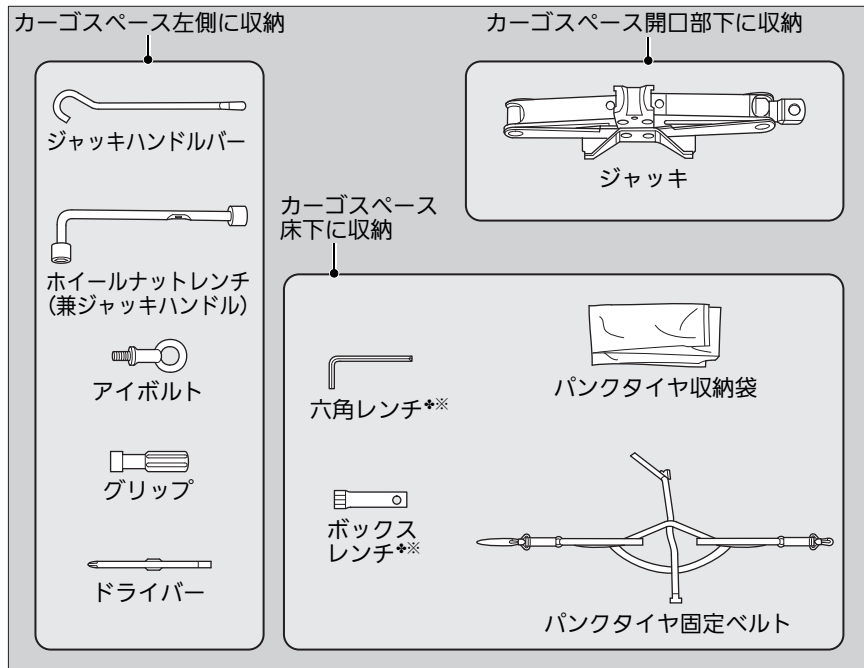
この章では、万一の場合の対応方法について記載しています。



工具、発炎筒.....	245
パンクしたとき.....	247
パンクしたタイヤの交換.....	247
エンジンが始動しない	
エンジンの状態の確認.....	259
内蔵キー*の差し込みかた.....	260
ジャンプスタート.....	261
セレクタレバーが動かない.....	264
オーバーヒート.....	265
警告灯の点灯/点滅.....	266

ヒューズ	
ヒューズの設置場所.....	269
ヒューズの点検と交換.....	273
けん引.....	274
テールゲートが開かないとき.....	277

## 工具の種類



※：Honda 販売店で電子制御パーキングブレーキの点検用に使用する工具です。

### 工具の種類

■ ジャッキのかけかた P.252

## 発炎筒

高速道路や踏切などの危険な場所で故障したときに使います。

発炎筒に記載されている次のことをよく読んであらかじめ確認しておいてください。

- 使いかた
- 使用上の注意
- 発炎時間
- 有効期限

### ⊠発炎筒

#### 警告

**ガソリンなどの燃えやすい物のそばで使わない。**

火災や爆発のおそれがあります。

#### 注意

**発炎筒を使うときは、以下のことに注意する。**

- お子さまにさわらせないでください。いたずらなどにより発炎筒が発火して思わぬ事故ややけどの原因になります。
- 顔や身体に向けないでください。思わぬ事故ややけどの原因になります。
- トンネル内では視界を悪くするので使用しないでください。トンネル内では非常点滅表示灯を使ってください。



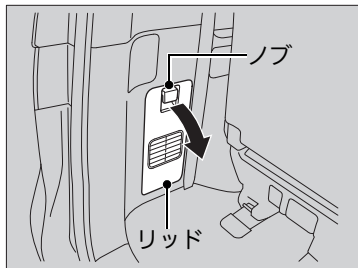
## パンクしたタイヤの交換

運転中にタイヤがパンクしたときは、ハンドルをしっかり握り徐々にブレーキをかけてスピードを落とし安全な場所に停車してください。その後、応急用スペアタイヤに交換します。パンクしたタイヤの点検や交換は、Honda 販売店に依頼してください。

### 走行中、パンクに気がついたときは

1. 地面が固く、滑らない、水平なところに車を停める。
2. セレクトレバーを **P** に入れる。
3. パーキングブレーキをかける。
4. 非常点滅表示灯を点滅させ、エンジンスイッチを **0** にする。

### タイヤ交換の準備



1. ノブを引ながらリッドを外し、ジャッキハンドルバー、ジャッキハンドル、ドライバーを取り出す。

### ▶パンクしたタイヤの交換

#### ⚠注意

**キャリアからタイヤを取り出すときや収納するときはエンジンを停止する。**

エンジンをかけたままにすると排気管でやけどを負うおそれがあります。

空気圧はときどき点検し、指定空気圧でお使いください。

指定空気圧：420kPa(4.2kgf/cm<sup>2</sup>)

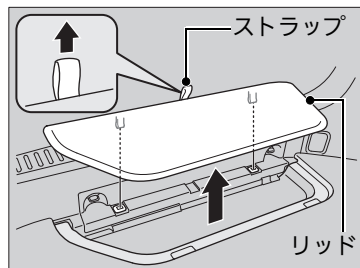
応急用スペアタイヤを装着したときは、100km/h以下で走行し、できるだけ早く標準タイヤに交換してください。

応急用スペアタイヤとホイールはこの車の専用用品です。

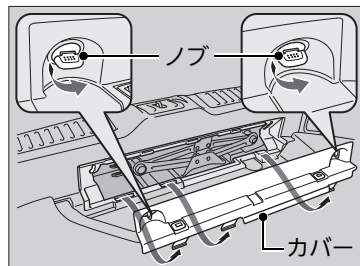
他のタイヤやホイールと組み合わせたり、他の車に使わないでください。

応急用スペアタイヤにはタイヤチェーンは装着できません。

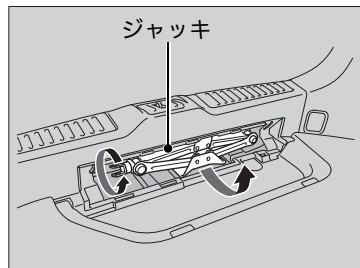
チェーン装着時に前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に装着し、外した後輪を前輪に取り付け、これにタイヤチェーンを装着してください。



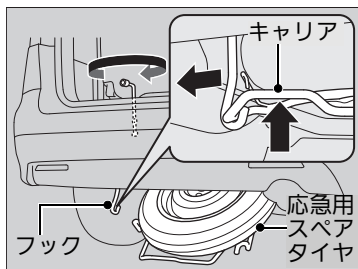
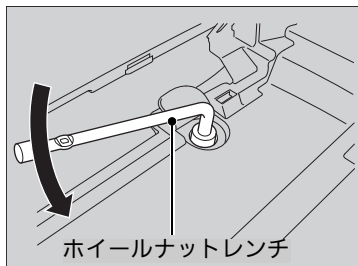
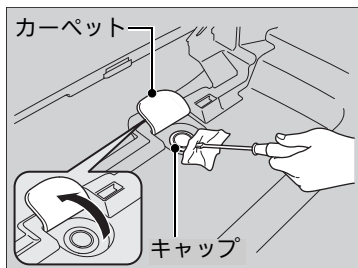
2. ストラップを引いて、リッドを開ける。



3. 左右のノブを矢印の方向へ回し、カバーを外す。



4. ジャッキをゆるめて外す。



5. カーペットをめくり、マイナスドライバーを差し込んでキャップを外す。

▶車体が傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。

6. ホイールナットレンチで固定ボルトをゆるめる。

▶固定ボルトをゆるめると、キャリアが下がります。

7. キャリアからフックを外し、応急用スペアタイヤを引き出す。

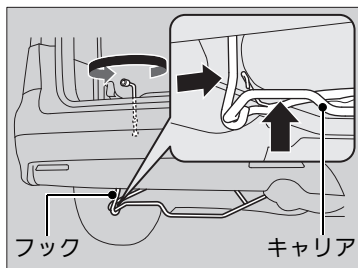
#### ▶▶パンクしたタイヤの交換

### ⚠ 注意

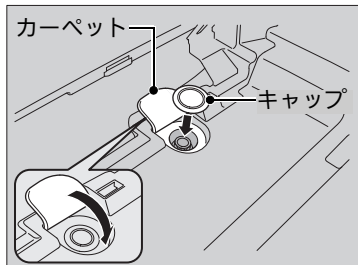
取り外しや収納するときに手などをはさまないように注意する。

**固定ボルトをゆるめすぎない。**

キャリアが落下して足などにけがをするおそれがあります。

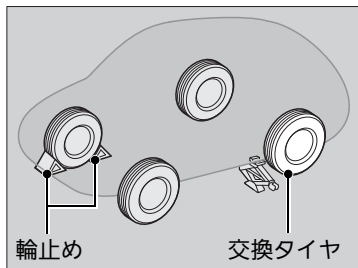


8. 応急用スペアタイヤを引き出した後、フックにキャリアをかけ、ゆるみやガタがないように固定ボルトを十分に締め付ける。



9. キャップを取り付けて、カーペットを戻す。

10. カバーとリッドを取り付ける。



11. 交換するタイヤの対角線上にあるタイヤの前後に、石などで輪止めをする。

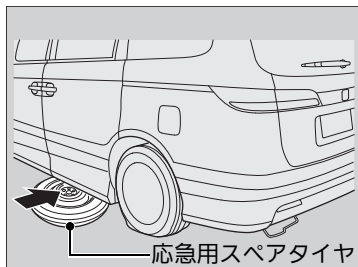
▶▶パンクしたタイヤの交換



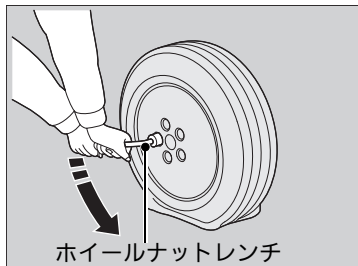
**注意**

**取り付け後は確実に固定されていることを確認する。**

ゆるみ等により取り付けが不安定な場合、走行中に外れて思わぬ事故の原因となります。

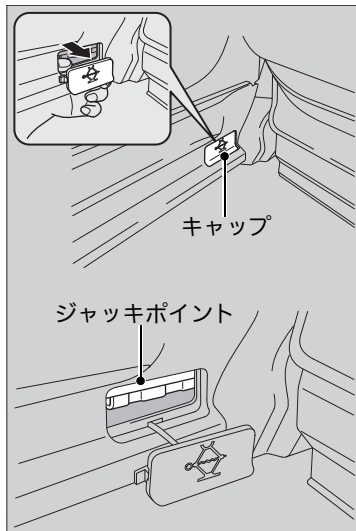


- 12.** 応急用スペアタイヤを交換するタイヤ近くの車体の下に、ホイール表面を上にして置く。



- 13.** ホイールナットをホイールナットレンチで約1回転ゆるめる。

## ■ ジャッキのかけかた



### 前輪

1. フロントドアを開け、サイドスカートのキャップを内側から押して外し、ジャッキポイントを確認する。

## ■ ジャッキのかけかた

### ⚠ 警告

**車がジャッキだけで支えられているときは、車の下に入らない。**

車がジャッキから外れて、車の下にいる人が重大な傷害を負うおそれがあります。

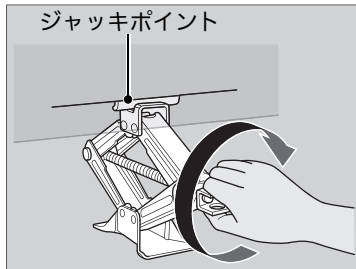
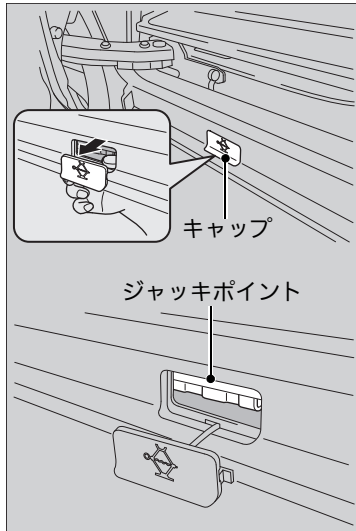
### ⚠ 注意

**ジャッキを使うときは安全のため、次のことを必ず守る。**

- エンジンかけたままにしない
- 地面が固い平らなところ以外では使用しない
- ジャッキポイント以外にかけない
- 人や荷物を乗せたままにしない
- ジャッキ使用中に車内に入らない
- ジャッキの上や下に物を入れたりしない

この車に搭載されているジャッキをお使いください。

他のジャッキでは支えられる重量(呼荷重)が不足したり、形状が合わないことがあります。

**後輪**

1. スライドドアを全開位置まで開け、サイドスカートのキャップを内側から押して外し、ジャッキポイントを確認する。

**共通操作**

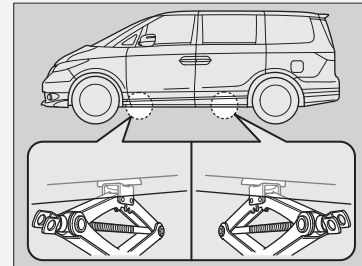
2. 交換するタイヤにもっとも近いジャッキポイントの下にジャッキを置く。
3. ジャッキの上部がジャッキポイントに接触するまで図の部分を実印の方向に回す。  
▶ ジャッキの溝にジャッキポイントがはまったことを確認します。

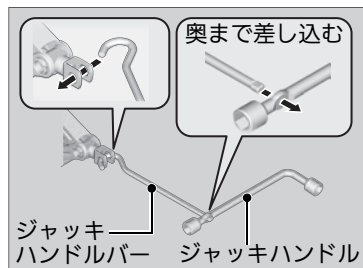
**▶▶ジャッキのかけかた****注意**

**後輪タイヤを交換するときは、パワースライドドアのメインスイッチを OFF にする。**

誤ってスイッチに触れたりしてドアが開き、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

ジャッキをかける位置は、下記の通りです。

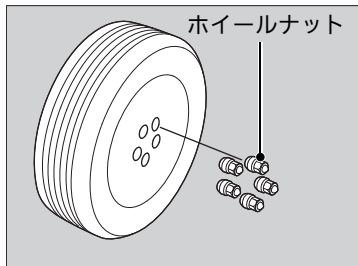




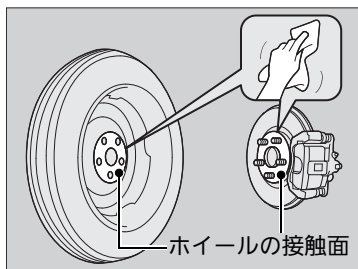
4. サイドスクートのキャップを取り付けて、フロントドア、スライドドアを閉めます。
5. ジャッキハンドルとジャッキハンドルバーを使って、タイヤが地面から離れるまで車体を上げる。



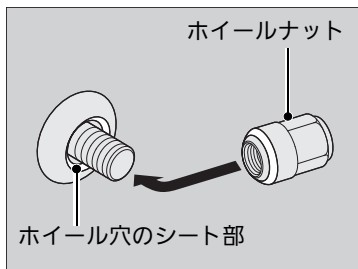
## ■タイヤの交換



1. ホイールナットを外し、タイヤを外す。

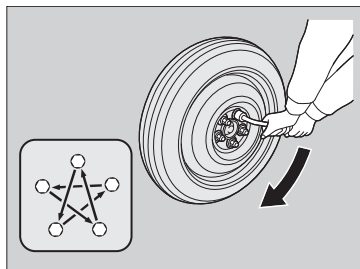


2. ホイールの接触面を拭き取る。



3. 応急用スペアタイヤを取り付ける。

4. ホイールナットがホイール穴のシート部に軽く当たり、ホイールがガタつかない程度までホイールナットを締める。



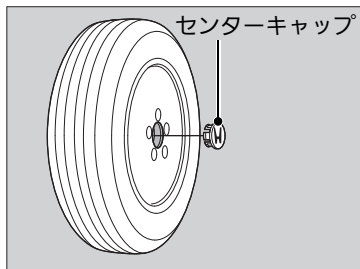
5. ジャッキをおろし、左図の順に2～3度にわたり、ホイールナットをしっかりと締め付ける。

締め付けトルク：98～118 N・m  
(10.0～12.0 kgf・m)

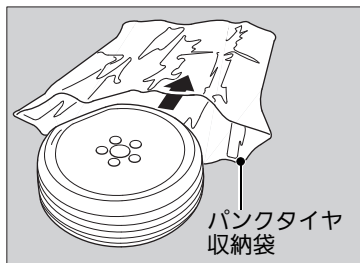
#### ▼タイヤの交換

レンチを足で踏んだり、パイプなどを使って必要以上に締め付けしないでください。

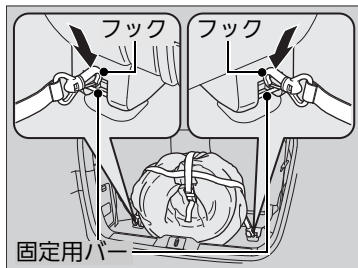
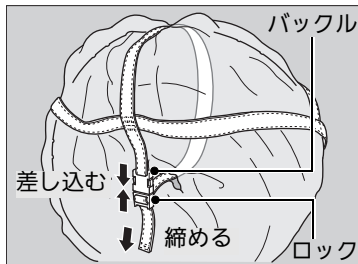
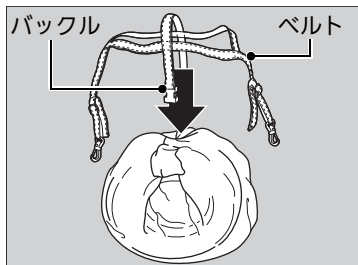
#### ■パンクしたタイヤの収納



1. パンクした標準タイヤのセンターキャップを外す。



2. パンクタイヤ収納袋にタイヤを入れ、収納袋の上端を縛る。



3. バックルを手前側にして、固定ベルトをかける。

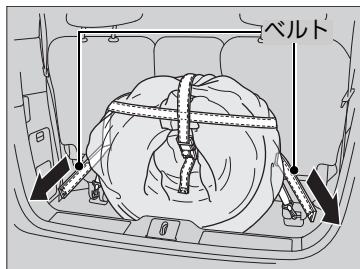
4. 袋に穴を開けてベルトをホイールのセンターキャップの穴に通す。

5. ロックをバックルに差し込みベルトを締める。

6. サードシートを両席とも後方いっばいに動かし、背もたれを固定できる一番前の位置まで起こす。

▼ サードシート P.133

7. タイヤをサードシートの背もたれに立てかけ、フックを固定用バーにかける。



8. ベルトをいっぱい引いて締め付ける。

#### ※パンクしたタイヤの収納

##### アドバイス

パンクした標準タイヤを固定した後にサードシートの調節を行わないでください。

- シートが後方いっぱいになっていないと、ベルトがゆるみパンクタイヤが不安定になるおそれがあります。
- 背もたれが後に倒れた状態になっていると、テールゲートを閉めたときにテールゲートがパンクした標準タイヤにあたり、破損や変形の原因となります。

# エンジンが始動しない

## エンジンの状態の確認

エンジンが始動しない場合、エンジンスイッチを **III** にして、スターターの状態を確認してください。

### ▶エンジンの状態の確認

すぐに車を動かす必要がある場合は、ブースターバッテリーを利用してジャンプスタートさせます。

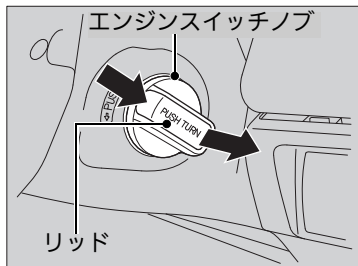
▶ジャンプスタートの方法 P.261

スターターの状態	確認項目
<b>スターターが全く回らない！ スターターの回転が非常に遅い！</b>  バッテリーがあがっていることなどが考えられます。右記の項目をチェックして適切な対応をしてください。	<b>室内灯などの明るさを確認する</b> 室内灯などを点灯し、明るさを確認します。 <ul style="list-style-type: none"><li>室内灯などが非常に暗い、または全く点灯しない場合</li><li>室内灯などの明るさに問題がない場合 ▶ヒューズの点検と交換 P.273</li></ul>
<b>スターターは正常に回るが…</b>  ヒューズに問題があることなどが考えられます。右記の項目をチェックして適切な対応をしてください。	<b>エンジン始動の手順を実行する</b> もう一度、正しいエンジン始動操作をしてみてください。 ▶エンジンの始動 P.177 <b>イモビライザーシステム表示灯を確認する</b> イモビライザーシステム表示灯が点滅しているときは、エンジンの始動ができません。 ▶イモビライザーシステム P.102 <b>燃料の量を点検する</b> 燃料が入っているか確認してください。 ▶燃料計 P.62 <b>ヒューズを点検する</b> 全てのヒューズを確認してください。 ▶ヒューズの点検と交換 P.273

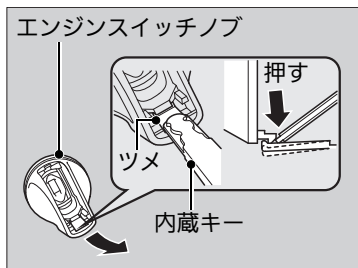
以上の確認をしてもエンジンが始動しない場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。

## 内蔵キー\*の差し込みかた

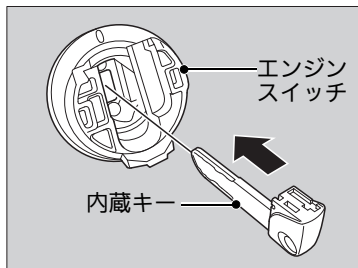
Honda スマートキーによるエンジンスイッチの操作や始動ができない場合、内蔵キーを使ってください。



1. エンジンスイッチノブのリッドを外す。  
▶リッド上端を押しながらリッドを外します。



2. エンジンスイッチノブを外す。  
▶内側のツメを、内蔵キーの先端で押して外します。



3. エンジンスイッチに内蔵キーを差し込む。

# ジャンプスタート

## ジャンプスタートの方法

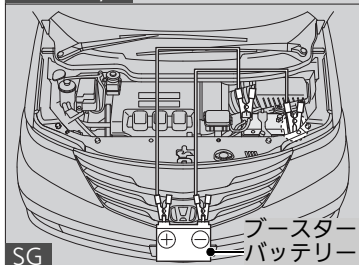
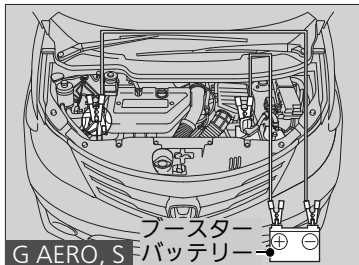
ジャンプスタートとは、他の車のバッテリーなどとブースターケーブルでつなぐことで電気を一時的に供給しエンジンをスタートさせる方法です。

### 処置のしかた

まず、ボンネットを開け、バッテリーの状態を確認します。バッテリー液が凍っている場合はバッテリー液が溶けるまでジャンプスタートはできません。

次に、オーディオやライトなどの電源を OFF にしてください。

ブースターケーブルのクリップは、エンジンの振動などで外れないように確実に固定してください。また、ケーブルの巻き込みに注意してください。



1. 自車と救援車のエンジンスイッチを **0** にする。
2. ブースターケーブルを、自車のバッテリーの ⊕ 端子に接続する。
3. ケーブルの反対側を、救援車のバッテリーの ⊕ 端子に接続する。  
▶ 救援車には、12V のバッテリーを装着している車を使用してください。

### ジャンプスタートの方法



**警告**

**ジャンプスタートは、正しい手順で慎重に行う。**

ジャンプスタートの操作を間違えると、バッテリーが爆発し、重大な傷害を受けるおそれがあります。

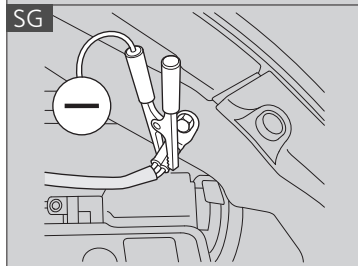
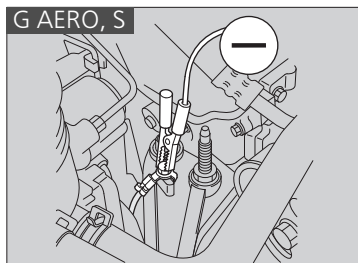
タバコの火、火花、炎をバッテリーから遠ざけ、正しい手順で行ってください。

**寒冷時は、バッテリーの性能が低下します。**

エンジン始動に支障をきたすことがありますので、液量、比重の確認をし、必要に応じて液の補給や補充電をしてください。

**金属どうしがきちんと接続されているか確認してください。**

ケーブルをエンジンのアース以外の端子に接続しないでください。



4. もう1本のブースターケーブルを、救援車のバッテリーの⊖端子に接続する。
5. ケーブルの反対側を、自車のエンジンのアース端子に接続する。
6. 救援車のエンジンを始動し、回転数を少し高めにする。
7. 自車のエンジンを始動する。

#### ※ジャンプスタートの方法

バッテリー液が不足しているときは、使用しないでください。

バッテリー内部の劣化が進むおそれがあります。

気温が極端に低い場所にバッテリーを長時間にわたって置くと、内部のバッテリー液が凍結するおそれがあります。

バッテリー液が凍結したバッテリーでジャンプスタートすると、バッテリーが壊れることがあります。



## エンジン始動後の作業

自車のエンジンが始動したら、下記の手順でブースターケーブルを取り外します。

1. 自車のエンジンのアース端子からケーブルを外す。
2. ケーブルの反対側を、救援車のバッテリーの⊖端子から外す。
3. 自車のバッテリーの⊕端子からケーブルを外す。
4. ケーブルの反対側を、救援車のバッテリーの⊕端子から外す。

Honda 販売店や最寄りのガソリンスタンドなどで点検を受けてください。

## ⚠️エンジン始動後の作業



**警告**

**バッテリーを扱うときは、火気を近づけない。**

バッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると、バッテリーが爆発し、重大な傷害を受けたり死亡したりするおそれがあります。

バッテリーを扱うときは、保護衣・保護面を着用するか、Honda 販売店でバッテリーのメンテナンスを受けてください。

**バッテリー液の取り扱いに注意する。**

バッテリー液は希硫酸です。目や皮ふに付くとその部分が侵されますので十分注意してください。

- 万一、付着したときはすぐに多量の水で少なくとも5分間以上洗浄する
- 飲み込んだときはすぐに多量の飲料水を飲む

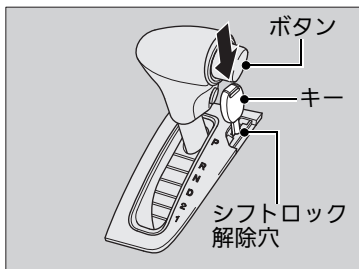
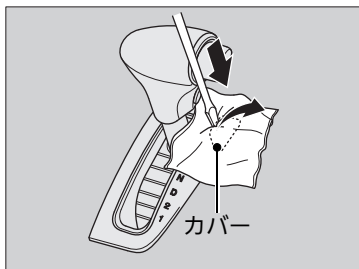
応急処置後は、専門医の診察を受けてください。

ブースターケーブルの端子どうしが接触しないよう注意してください。

# セレクトレバーが動かない

セレクトレバーが、**P**の位置でロックされて動かなくなったら、下記の方法で解除してください。

## ■ロックを解除する



1. パーキングブレーキをかける。
2. エンジンスイッチからキーを抜く。  
▶Hondaスマートキー装備車はエンジンスイッチを**0**(プッシュオフ)にします。
3. 細いマイナスドライバーの先端に布を巻き、シフトロック解除穴のカバーを外す。  
▶マイナスドライバーの先端を、図のように切り欠きに入れて外します。
4. シフトロック解除穴にキーを差し込む。  
▶Honda スマートキー装備車は内蔵キーを差し込みます。
5. キーを押しながらセレクトレバーのボタンを押し、セレクトレバーを**N**に入れる。  
▶ロックが解除されました。Honda 販売店で、早めに点検を受けてください。

## オーバーヒートしたときの対処方法

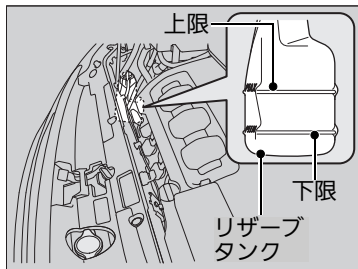
次のようなときは、オーバーヒートです。

- 水温計の針が **H** の目盛りに入ったり、エンジンの力が急に落ちる
- エンジンルームから蒸気が立ちのぼっている

### ■最初にする事

1. ただちに車を安全な場所に停める。  
▶セレクトレバーを **P** に入れ、パーキングブレーキをかけます。すべてのアクセサリーの電源を切り、非常点滅表示灯を点滅させます。
2. 蒸気が出ていない場合：エンジンをかけたままボンネットを開ける。  
蒸気が出ている場合：エンジンを停止し、蒸気が出なくなってからボンネットを開ける。

### ■次にすること



### ■最後にすること

- 十分にエンジンが冷えたら、エンジンを始動し水温計を確認する。  
水温計の針が下がった場合は、運転を再開します。下がらないときは、Honda 販売店に修理を依頼します。

### ※オーバーヒートしたときの対処方法



**オーバーヒートしたエンジンは、冷えるまでボンネットを開けない。**

ラジエーターから噴き出る蒸気や熱湯に触れると、重大な傷害を受けるおそれがあります。

**エンジンが熱いうちにラジエーターキャップを外さない。**

冷却水が噴き出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。必ずラジエーターが十分に冷えてからキャップを外してください。

### アドバイス

水温計の針が **H** の目盛りまで上がった状態で運転すると、エンジンを著しく損傷するおそれがあります。

冷却水がもれている場合は、Honda販売店に修理を依頼してください。

## 油圧警告灯が点灯した



### ■点灯の理由

エンジン内部を潤滑しているオイルの油圧が低下すると点灯します。

### ■点灯したらすぐにごと

1. ただちに車を安全な場所に停車する。
2. 非常点滅表示灯を点滅させる。

### ■車を停車してからごと

1. エンジンを停止し、1 分間ほど放置する。
2. ボンネットを開け、エンジンオイルの量を確認する。  
▶必要に応じて、エンジンオイルを補給してください。
3. エンジンを始動し、油圧警告灯を確認する。  
▶消灯した：運転を再開してください。  
▶10 秒以内に消灯しない：エンジンを停止して、ただちに Honda 販売店に修理を依頼してください。

## 油圧警告灯が点灯した

### アドバイス

油圧が低い状態でエンジンを回転させると、エンジンが破損するおそれがあります。

## 充電警告灯が点灯した



### ■点灯の理由

バッテリーが充電されていないと点灯します。

### ■点灯したらごと

電気の消費を減らすため、エアコン、リヤデフロスターなどを OFF にして、ただちに Honda 販売店に修理を依頼してください。

## 充電警告灯が点灯した

一時的に停車する場合は、エンジンを停止しないでください。  
エンジンを始動すると、バッテリーが急速に放電します。

## PGM-FI 警告灯が点灯 / 点滅した



### ■点灯 / 点滅の理由

エンジンの排気ガス制御システムが異常のとき点灯します。エンジン各気筒の失火状態を検知したときに点滅します。

### ■点灯したときは

高速走行を避けて、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

### ■点滅したときは

枯草などの可燃物のない安全な場所に停車し、10分以上エンジンを停止して冷えるまでお待ちください。

## ブレーキ警告灯が点灯した



### ■点灯の理由

- ブレーキフルードが減っているときに点灯します。
- ブレーキ配分機能が異常のときに点灯します。

### ■走行中に点灯したらすること

- ブレーキペダルを軽く踏んで、ペダルの圧力を確認する。
- ブレーキフルード量を確認する。

### ※ PGM-FI 警告灯が点灯 / 点滅した

#### アドバイス

PGM-FI 警告灯が点灯したまま運転すると、排気ガス制御システムとエンジンを損傷する場合があります。

エンジン再始動後、再び点滅するときは、50km/h以下の速度で最寄りのHonda販売店まで走行し点検を受けてください。

### ※ ブレーキ警告灯が点灯した

ただちに、Honda販売店に修理を依頼してください。

ブレーキフルードが減っている状態で運転することは危険です。

ブレーキペダルに抵抗がない場合は、ただちに安全な場所に車を停めてください。必要に応じて、ギヤを落とします。

ABS警告灯と同時に点灯した場合は、急ブレーキ時に車両が不安定になる可能性があります。高速走行や急ブレーキを避けてください。ただちに、Honda販売店に修理を依頼してください。

## 電子制御パーキングブレーキシステム警告灯\* が点灯した



### ■点灯の理由

電子制御パーキングブレーキが異常のときに点灯します。

### ■点灯したときは

パーキングブレーキを使用せずに、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

### ■電子制御パーキングブレーキ作動警告灯の点灯または、点滅と同時に点灯したときは

手動または自動でパーキングブレーキを解除してください。パーキングブレーキが解除しないときは、ただちに安全な場所に停車して、Honda 販売店へご連絡ください。

電子制御パーキングブレーキ作動警告灯だけが消灯したときは、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

パーキングブレーキを解除しても、電子制御パーキングブレーキ作動警告灯と一緒に点灯または、点滅し続けているときは、ただちに安全な場所に停車して、Honda 販売店へご連絡ください。

# ヒューズ

## ヒューズの設置場所

電気装置が作動しない場合、エンジンスイッチを **0** にして、ヒューズが切れていないか確認します。ヒューズは、3 つのヒューズボックスに入っています。

### ボンネット内のヒューズボックス

#### G AERO, S

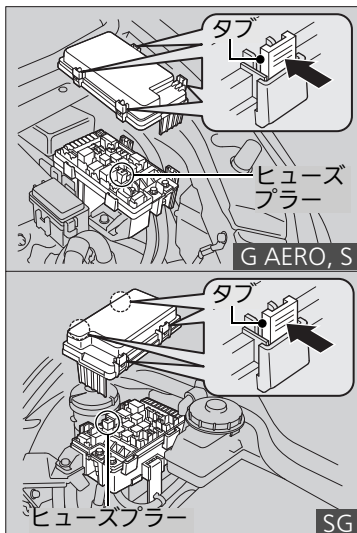
ボンネット内の助手席側に付いているエアクリーナーボックスの隣にあります。タブを押して開けてください。

#### SG

ボンネット内の運転席側に付いているブレーキフルードリザーブタンクの隣にあります。タブを押して開けてください。

ヒューズボックスのフタに、ヒューズの場所が表示してあります。

ヒューズ番号とフタの番号で、該当するヒューズの位置を確認してください。



## ■各ヒューズの装備と容量

	表示	装備	容量
1		左側ヘッドライト ロービーム	15A
2		リヤデフロスター	30A
3		左側ヘッドライト ハイビーム	10A
4		スモールライト	15A
5		右側ヘッドライト ハイビーム	10A
6		右側ヘッドライト ロービーム	15A
7		バックアップ	7.5A
8		IGP	15A
9		コンデンサーファン	30A <sup>*1</sup>
		クラッチリレー	7.5A <sup>*2</sup>
10		フォグライト	20A <sup>*1</sup>
11		ラジエターファン	30A <sup>*1</sup>
12		クラッチリレー	7.5A <sup>*1</sup>
		フォグライト	20A <sup>*2</sup>
13		ホーン / 制動灯	15A
14		リヤデフロスター	20A
15		バックアップ / アクセサリ	40A
16		非常点滅表示灯	15A
17		ABS モーター	30A <sup>*1</sup>
		VSA モーター	30A <sup>*2</sup>

万の場合には

次ページに続く

表示	装備	容量
18	ABS VSA	20A <sup>※1</sup> 40A <sup>※2</sup>
19	オプション	40A
20	オプション	40A
21	ヒーターモーター	40A
22	リヤヒーターモーター	40A
	バッテリー	120A
23	イグニッション	50A
	パワーウィンドー	50A

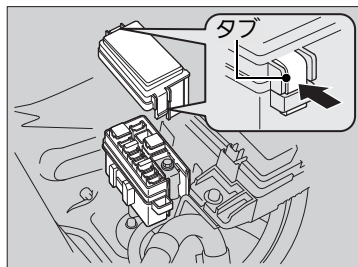
※1 : G AERO, S

※2 : SG

### ■ ボンネット内のサブヒューズボックス **G AERO, S**

ボンネット内の助手席側に付いているヒューズボックスの隣にあります。タブを押して開けてください。

ヒューズボックスのフタに、ヒューズの場所が表示してあります。ヒューズ番号とフタの番号で、該当するヒューズの位置を確認してください。



### ■ 各ヒューズの装備と容量

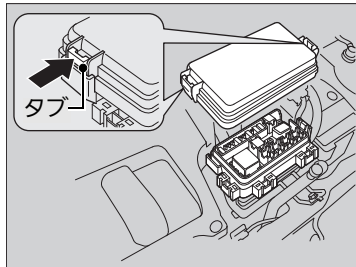
表示	装備	容量
1 —	—	—
2	運転席側 パワースライドドア	40A
3	助手席側 パワースライドドア	40A
4	—	—
5	—	—
6	シートヒーター	20A
7	—	—
8	—	—
9	フロントデフロスター	15A
10	—	—
11 —	—	—



## ■ ボンネット内のサブヒューズボックス SG

ボンネット内の助手席側に付いているバッテリーの隣にあります。タブを押して開けてください。

ヒューズボックスのフタに、ヒューズの場所が表示してあります。  
ヒューズ番号とフタの番号で、該当するヒューズの位置を確認してください。



## ■ 各ヒューズの装備と容量

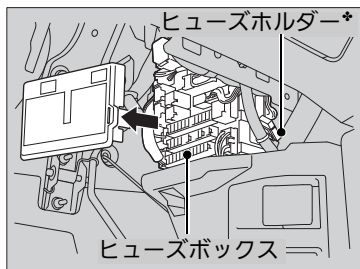
表示	装備	容量
1	—	—
2	電子制御パーキングブレーキ(左側)	30A
3	電子制御パーキングブレーキ(右側)	30A
4 —	—	—
5	ラジエーターファン	50A
6	運転席側 パワースライドドア	40A
7	助手席側 パワースライドドア	40A
8	バックアップ	10A
9	—	—
10 —	—	—

表示	装備	容量
11	シートヒーター	20A
12	—	—
13	—	—
14 —	—	—
15	—	—
16	パーキングブレーキ 作動スイッチ	7.5A
17 —	—	—
18	フロントデフロスター	15A

## ■室内のヒューズボックス

アクセルペダルの上にあります。矢印の方向に引いて開けてください。

ヒューズボックスのフタに、ヒューズの場が表示してあります。ヒューズ番号とフタの番号で、該当するヒューズの位置を確認してください。



## ■各ヒューズの装備と容量

表示	装備	容量
1	オーディオ / アンプ	15A
2	バックアップ	10A
3	ドアロック	20A
4	室内灯	10A
5	シガレットライター	20A
6	—	—

表示	装備	容量
7	SRS エアバッグシステム	10A
8	メーター	7.5A
9	オプション	7.5A
10	ウォッシャー	7.5A
11	フューエルポンプ	20A
12	アクセサリ	7.5A
13	運転席側イージー ドアクローザー	20A
14	運転席パワーシート 前後スライド / 高さ調節 (前側)	20A※1
15	運転席パワーシート リクライニング / 高さ調節 (後側)	20A※1
16	助手席側イージー ドアクローザー	20A
17	—	—
18	イルミネーション	7.5A
19	イグニッション	15A※3
20	発電機	15A
21	サイドエアバッグ 自動停止装置	7.5A
22	—	—
23	ワイパー	30A
24	後席サンルーフ	20A※2

表示	装備	容量
25	FR 前席サンルーフ	20A※2
26	DR 運転席 パワーウィンドー	20A
27	AS 助手席 パワーウィンドー	20A
28	RR-L 後席左側 パワーウィンドー	20A
29	RR-R 後席右側 パワーウィンドー	20A
30	運転席側イージー ドアクローザー	20A
31	ドライブパイワイヤ	15A※3
32	イグニッション コイル	15A
33	アクセサリ	7.5A
34	LAF	7.5A

※1：運転席パワーシート装備車

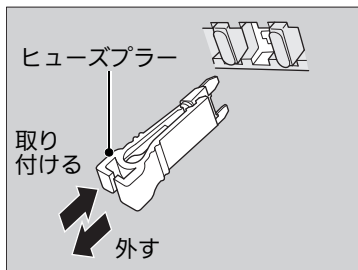
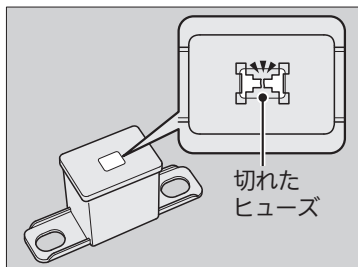
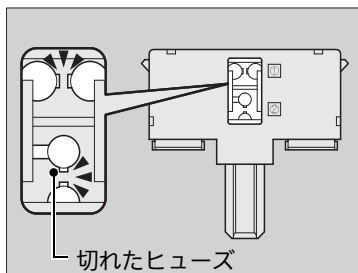
※2：サンルーフ装備車

※3：SG

## ■ヒューズホルダー\* 内ヒューズの 装備と容量

表示	装備	容量
	STS	7.5A※3

## ヒューズの点検と交換



1. エンジンスイッチを **0** にし、ヘッドライトとすべてのアクセサリを OFF にする。
2. ヒューズボックスのフタを取り外す。

3. エンジンルーム内の大きいヒューズを点検する。

▶切れているヒューズがあったら、プラスドライバーでネジを外し、新しいものと交換してください。

4. エンジンルーム内と、室内の小さいヒューズを点検する。

▶切れているヒューズがあったら、ヒューズプラーで引き抜き、新しいものと交換してください。

### ※ヒューズの点検と交換

#### アドバイス

**規定容量より大きいヒューズに交換すると、電気系統を損傷する危険性が高くなります。**

交換したあと、すぐにヒューズが切れるような場合は、Honda販売店で点検を受けてください。

ヒューズは同じ規定容量のヒューズと交換してください。

規定容量は P.269～ P.272の一覧で確認してください。

エンジンルーム内のヒューズボックスには、ヒューズプラーがついています。

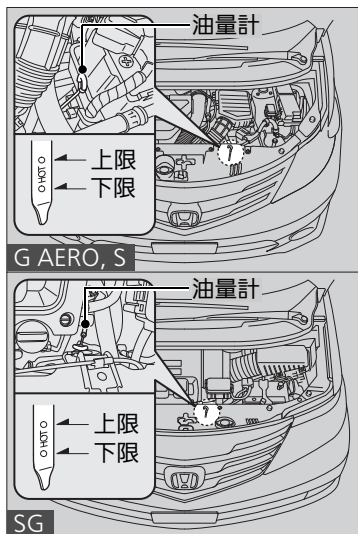
ヒューズプラーは、切れている小さいヒューズを引き抜くときに使います。

## 非常時のけん引

けん引は専門業者に依頼して2WD車は四輪または前輪、4WD車は四輪を持ち上げて行ってください。

### やむをえずけん引される場合

やむをえず四輪を接地させてロープでけん引を行う場合、次の方法で行ってください。



1. トランスミッションフルードの量が、油量計の目盛りの上限と下限の間にあることを確認する。

▶ 下限より下がっている場合は、四輪または前輪を接地させてのけん引は行わないでください。

### ※非常時のけん引

#### アドバイス

バンパーで車を持ち上げたり、けん引すると、バンパーがいちじるしく損傷します。

バンパーは車の重量を支えるようにはできていません。

車輪が動かないときなど動力伝達装置に異常があると思われるときは、2WD車は四輪または前輪、4WD車は四輪を持ち上げてけん引してください。

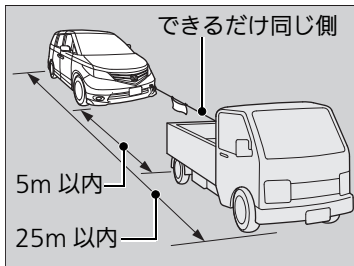
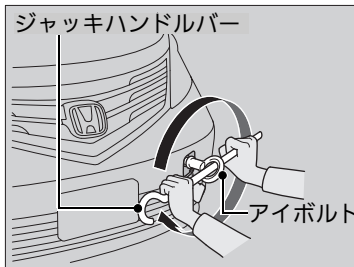
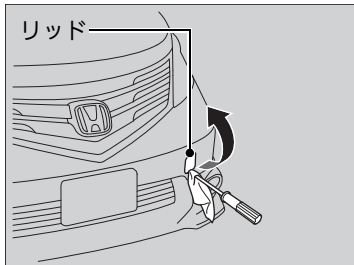
#### 電子制御パーキングブレーキ装備車

パーキングブレーキが解除されていることを電子制御パーキングブレーキ作動警告灯で確認してください。パーキングブレーキが解除できないときは、必ず四輪を持ち上げてけん引してください。

▶ 電子制御パーキングブレーキ\* P.192

ロープやチェーンなどを使ってけん引される場合は、車体に当たる部分に布を巻いてください。

そのままけん引されると、車体に傷が付くことがあります。



2. カーゴスペース左側のリッドを開け、ジャッキハンドルバー、ドライバー、アイボルトを取り出す。

3. マイナスドライバーの先でリッドを開ける。

▶バンパーが傷付かないよう、マイナスドライバーの先に布などを巻き付けてください。

4. アイボルトがガタつかない程度まで手で締め付けてから、ジャッキハンドルバーで確実に締め付ける。

5. ロープ中央部に白い布(0.3m 平方以上)を付ける。

6. エンジンを始動してセレクトレバーを **D** にし、約 5 秒間保持する。

▶エンジンが始動しないときは、エンジンスイッチを **I** または **II** にします。

7. セレクトレバーを **N** にする。

8. パーキングブレーキを解除する。

9. 速度 30km/h 以下、走行距離 80km 以内でけん引する。

▶けん引中は、前の車の制動灯に注意してロープをたるませないようにしてください。

### ※非常時のけん引

#### アドバイス

アイボルト以外のところにロープをかけないでください。

車体が破損、変形する場合があります。

#### アドバイス

エンジンが停止している状態でのけん引は、以下のことに注意してください。

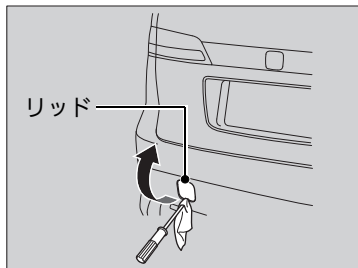
- ブレーキの倍力装置が作動しないため、ブレーキの効きが悪くなる
- パワーステアリングのパワー装置が作動しないためハンドル操作が重くなる

長い下り坂では、ブレーキの温度が上がりブレーキが効かなくなるおそれがありますので、レッカー車にけん引してもらってください。

次ページに続く

## ■ やむをえず他車をけん引する場合

やむをえず他車のけん引を行う場合、次の方法で行ってください。

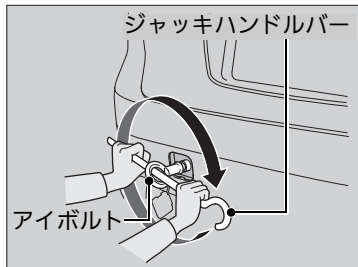


1. カーゴスペース左側のリッドを開け、ジャッキハンドルバー、ドライバー、アイボルトを取り出す。

2. マイナスドライバーの先でリッドを開ける。

▶ バンパーが傷付かないよう、マイナスドライバーの先に布などを巻き付けてください。

3. アイボルトがガタつかない程度まで手で締め付けてから、ジャッキハンドルバーで確実に締め付ける。



## ▣ やむをえず他車をけん引する場合

### アドバイス

アイボルト以外のところにローブをかけないでください。

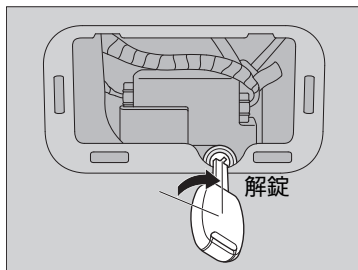
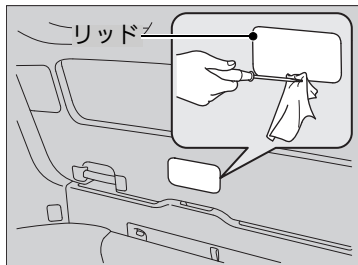
車体が破損、変形する場合があります。

自車より重い車のけん引は避けてください。

# テールゲートが開かないとき

## 開かないときの対処方法

万一、テールゲートを開けることができなくなったときは、応急処置として次の方法で開けてください。



1. テールゲートのリッドに、マイナスドライバーの先端を差し込み、押し開ける。  
▶リッドが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。

2. シリンダーにキーなどを差し込み右に動かして、テールゲートを解錠する。

3. テールゲートを開ける。

▼ テールゲートの開閉 P.91

## 開かないときの対処方法

応急処置後は、Honda販売店で点検を受けてください。

# 資料

この章には、仕様に関する情報が記載されています。

仕様：G AERO .....	279
仕様：S .....	281
仕様：SG .....	283





# 仕様：G AERO

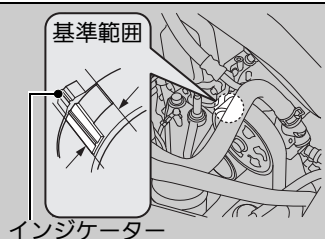
## ■仕様

名称	エリシオン
排気量	2,354 cm <sup>3</sup>
車体形状	4ドアステーションワゴン
乗車定員	8名 <sup>※1</sup> 、7名 <sup>※2</sup>

- ※1：セカンドベンチシート装備車  
 ※2：セカンドキャプテンシート装備車

## ■調節

ベルトの  
たわみ量



点火プラグ	NGK	IZFR6K11
	DENSO	SKJ20DR-M11

電極のすき間	基準値	1.0-1.1mm
--------	-----	-----------

点火プラグは、イリジウムプラグを使用しています。交換時期は「メンテナンスノート」をご覧ください。

## ■確認

ブレーキペダル	遊び	1-5mm
	床板とのすき間	100mm以上 {約196N(20kgf)の力}
	カーペットとのすき間(参考値)	80mm以上 {約196N(20kgf)の力}
パーキング ブレーキ	踏みしろ	5~6ノッチ <sup>※3</sup> {約294N(30kgf)の力}
		6~7ノッチ <sup>※4</sup> {約294N(30kgf)の力}

- ※3：2WD車  
 ※4：4WD車

## ■燃料

燃料種類	無鉛レギュラーガソリン
燃料タンク容量	70ℓ

## ■パワーステアリングフルード

指定液	Honda純正 ウルトラパワーステアリングフルードII
-----	--------------------------------

## ■エアクリナーエレメント

タイプ	湿式
-----	----

## ■バッテリー

容量/タイプ	36AH(5)/55B24L <sup>※5</sup>
	36AH(5)/46B24L <sup>※6</sup>

- ※5：ナビゲーションシステム装備車  
 ※6：ナビゲーションシステム非装備車

## ■ウォッシャー液

タンク容量	2.5ℓ
-------	------

## ■電球

ヘッドライト(ロービーム)	12V-35W <sup>※7</sup>
ヘッドライト(ハイビーム)	12V-55W <sup>※8</sup>
前面方向指示器/ 前面非常点滅表示灯	12V-21W(橙色)
車幅灯	12V-5W
フォグライト	12V-55W <sup>※8</sup>
側面方向指示器/ 側面非常点滅表示灯	LED
制動灯/尾灯	12V-21/5W
尾灯	12V-5W
後面方向指示器/ 後面非常点滅表示灯	12V-21W(橙色)
後退灯	12V-21W
ハイマウントストップランプ	LED
番号灯	12V-5W
フロントシート室内灯/ マップランプ	12V-8W
セカンド、サードシート 室内灯/マップランプ	12V-5W
カーゴスペース照明灯	12V-5W
パニティミラー照明灯	12V-2W
フロント、スライドドア 開閉灯	12V-2CP(3.8W) <sup>※9</sup>

- ※7：ディスチャージヘッドライト  
 ※8：ハロゲンバルブ  
 ※9：CP…キャンドルパワー(光度の単位)

## ■デファレンシャルオイル 4WD車のみ

指定液	Honda純正ウルトラDPSFI
規定量	1.5ℓ(交換時)

## ■ブレーキフルード

指定液	Honda純正ウルトラブレーキフルード DOT3/DOT4
-----	----------------------------------

## ■トランスミッションフルード

指定液	Honda純正	2.9ℓ(交換時) <sup>※3</sup>
	ウルトラATF-Z1	3.1ℓ(交換時) <sup>※4</sup>

# 仕様： G AERO

## ■推奨エンジンオイル

Honda純正 エンジンオイル	ウルトラLEO SM	API SM/GF4級 SAE 0W-20※10
	ウルトラLTD SM	API SM/GF4級 SAE 5W-30
規定量	オイル交換時	4.0ℓ
	オイル、オイルフィ ルター同時交換時	4.2ℓ

※10：最も省燃費性に優れたオイルです。

## ■冷却水

指定液	Honda純正ウルトラeクーラント
規定濃度	50%
規定量	5.4ℓ (交換時：リザーブタンク0.75ℓ含む)

## ■タイヤ

標準 タイヤ	サイズ	215/60R17 96H
	空気圧	240 (2.4)
	kPa (kgf/cm <sup>2</sup> )	
	リムサイズ	17×6 1/2J
スベア タイヤ	サイズ	T145/90D16 106M
	空気圧	420 (4.2)
	kPa (kgf/cm <sup>2</sup> )	
	リムサイズ	16×4T

# 仕様：S

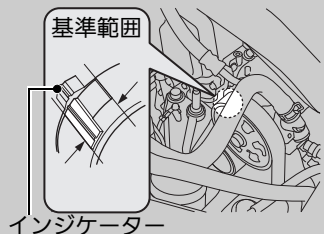
## ■仕様

名称	エリシオン プレステージ
排気量	2,354 cm <sup>3</sup>
車体形状	4ドアステーションワゴン
乗車定員	8名 <sup>※1</sup> 、7名 <sup>※2</sup>

- ※1：セカンドベンチシート装備車  
 ※2：セカンドキャプテンシート装備車

## ■調節

ベルトの  
たわみ量



点火プラグ	NGK	IZFR6K11
	DENSO	SKJ20DR-M11

電極のすき間	基準値	1.0-1.1mm
--------	-----	-----------

点火プラグは、イリジウムプラグを使用しています。交換時期は「メンテナンスノート」をご覧ください。

## ■確認

ブレーキペダル	遊び	1-5mm
	床板とのすき間	100mm以上 {約196N(20kgf)の力}
	カーペットとのすき間(参考値)	80mm以上 {約196N(20kgf)の力}
パーキング ブレーキ	踏みしろ	5~6ノッチ <sup>※3</sup> {約294N(30kgf)の力}
		6~7ノッチ <sup>※4</sup> {約294N(30kgf)の力}

- ※3：2WD車  
 ※4：4WD車

## ■燃料

燃料種類	無鉛レギュラーガソリン
燃料タンク容量	70ℓ

## ■パワーステアリングフルード

指定液	Honda純正 ウルトラパワーステアリングフルードII
-----	--------------------------------

## ■エアクリナーエレメント

タイプ	湿式
-----	----

## ■バッテリー

容量/タイプ	36AH(5)/55B24L <sup>※5</sup>
	36AH(5)/46B24L <sup>※6</sup>

- ※5：ナビゲーションシステム装備車  
 ※6：ナビゲーションシステム非装備車

## ■ウォッシュャー液

タンク容量	2.5ℓ
-------	------

## ■電球

ヘッドライト(ロービーム)	12V-35W <sup>※7</sup>
ヘッドライト(ハイビーム)	12V-60W <sup>※8</sup>
前面方向指示器/ 前面非常点滅表示灯	12V-21W(橙色)
車幅灯	12V-5W
フォグライト	12V-55W <sup>※8</sup>
側面方向指示器/ 側面非常点滅表示灯	LED
制動灯/尾灯	LED
尾灯	LED
後面方向指示器/ 後面非常点滅表示灯	12V-21W(橙色)
後退灯	12V-21W
ハイマウントストップランプ	LED
番号灯	12V-5W
フロントシート室内灯/ マップランプ	12V-8W
セカンド、サードシート 室内灯/マップランプ	12V-5W
カーゴスペース照明灯	12V-5W
パニティミラー照明灯	12V-2W
フロント、スライドドア 開閉灯	12V-2CP(3.8W) <sup>※9</sup>

- ※7：ディスチャージヘッドライト  
 ※8：ハロゲンバルブ  
 ※9：CP…キャンドルパワー(光度の単位)

## ■デファレンシャルオイル 4WD車のみ

指定液	Honda純正ウルトラDPSFI
規定量	1.5ℓ(交換時)

## ■ブレーキフルード

指定液	Honda純正ウルトラブレーキフルード DOT3/DOT4
-----	----------------------------------

## ■トランスミッションフルード

指定液	Honda純正	2.9ℓ(交換時) <sup>※3</sup>
	ウルトラATFZ1	3.1ℓ(交換時) <sup>※4</sup>

# 仕様：S

## ■推奨エンジンオイル

Honda純正 エンジンオイル	ウルトラLEO SM	API SM/GF4級 SAE 0W-20※10
	ウルトラLTD SM	API SM/GF4級 SAE 5W-30
規定量	オイル交換時	4.0ℓ
	オイル、オイルフィルター同時交換時	4.2ℓ

※10：最も省燃費性に優れたオイルです。

## ■冷却水

指定液	Honda純正ウルトラeクーラント
規定濃度	50%
規定量	5.4ℓ (交換時：リザーブタンク0.75ℓ含む)

## ■タイヤ

標準 タイヤ	サイズ	215/60R17 96H
	空気圧	240 (2.4)
	kPa (kgf/cm <sup>2</sup> )	
	リムサイズ	17×6 1/2J
スベア タイヤ	サイズ	T145/90D16 106M
	空気圧	420 (4.2)
	kPa (kgf/cm <sup>2</sup> )	
	リムサイズ	16×4T

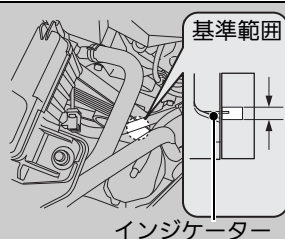
# 仕様：SG

## ■仕様

名称	エリシオン プレステージ
排気量	3,471 cm <sup>3</sup>
車体形状	4ドアステーションワゴン
乗車定員	7名

## ■調節

ベルトの  
たわみ量



点火プラグ	NGK	IZFR6K11
	DENSO	SKJ20DR-M11

電極のすき間 基準値 1.0-1.1mm  
点火プラグは、イリジウムプラグを使用しています。交換時期は「メンテナンスノート」をご覧ください。

## ■確認

ブレーキペダル 遊び	1-5mm
床板とのすき間	100mm以上 {約196N (20kgf) の力}
カーペットとのすき間(参考値)	80mm以上 {約196N (20kgf) の力}

## ■燃料

燃料種類	無鉛プレミアムガソリン
燃料タンク容量	70ℓ

## ■パワーステアリングフルード

指定液	Honda純正 ウルトラパワーステアリングフルードII
-----	--------------------------------

## ■エアクリナーエレメント

タイプ	湿式
-----	----

## ■バッテリー

容量/タイプ	52AH(5)/70D23L
--------	----------------

## ■ウォッシャー液

タンク容量	2.5ℓ
-------	------

## ■電球

ヘッドライト(ロービーム)	12V-35W <sup>※1</sup>
ヘッドライト(ハイビーム)	12V-60W <sup>※2</sup>
前面方向指示器/ 前面非常点滅表示灯	12V-21W(橙色)
車幅灯	12V-5W
フォグライト	12V-55W <sup>※2</sup>
側面方向指示器/ 側面非常点滅表示灯	LED
制動灯/尾灯	LED
尾灯	LED
後面方向指示器/ 後面非常点滅表示灯	12V-21W(橙色)
後退灯	12V-21W
ハイマウントストップランプ	LED
番号灯	12V-5W
フロントシート室内灯/ マップランプ	12V-8W
セカンド、サードシート 室内灯/マップランプ	12V-5W
カーゴスペース照明灯	12V-5W
パニティミラー照明灯	12V-2W
フロント、スライドドア 開閉灯	12V-2CP(3.8W) <sup>※3</sup>

※1：ディスチャージヘッドライト

※2：ハロゲンバルブ

※3：CP…キャンドルパワー(光度の単位)

## ■デファレンシャルオイル 4WD車のみ

指定液	Honda純正ウルトラDPSF-II
規定量	1.5ℓ(交換時)

## ■トランスファーオイル 4WD車のみ

指定液	Honda純正ウルトラHG0-II [ハイポイドギヤオイル (API GL4またはGL5相当、SAE90)]
規定量	0.43ℓ(交換時)

# 仕様：SG

## ■ブレーキフルード

指定液	Honda純正ウルトラブレーキフルード* DOT3/DOT4	
-----	-----------------------------------	--

## ■トランスミッションフルード

指定液	Honda純正 ウルトラATF-Z1	2.9ℓ (交換時)
-----	-----------------------	------------

## ■推奨エンジンオイル

Honda純正 エンジンオイル	ウルトラLEO SM	API SM/GF4級 SAE 0W-20 <sup>※4</sup>
	ウルトラLTD SM	API SM/GF4級 SAE 5W-30
規定量	オイル交換時	4.0ℓ
	オイル、オイルフィルター同時交換時	4.3ℓ

※4：最も省燃費性に優れたオイルです。

## ■冷却水

指定液	Honda純正ウルトラエクーラント	
規定濃度	50%	
規定量	5.8ℓ (交換時：リザーブタンク0.75ℓ含む)	

## ■タイヤ

標準 タイヤ	サイズ	225/50R18 95V
	空気圧 kPa (kgf/cm <sup>2</sup> )	240 (2.4)
	リムサイズ	18×7J
	サイズ	T145/90D16 106M
スペア タイヤ	空気圧 kPa (kgf/cm <sup>2</sup> )	420 (4.2)
	リムサイズ	16×4T

## 数字

4WD(四輪駆動機構)..... 190

## A

A/C(エアコン)..... 158

ABS(アンチロックブレーキシステム)..... 195

ABS警告灯..... 55, 195

AFS(アダプティブフロントライティングシステム)..... 116

AFS警告灯..... 56, 117

AFS警告灯..... 56, 117

AT(オートマチックトランスミッション)..... 182

AV入力端子..... 154

## C

CRUISE CONTROL

(クルーズコントロール)..... 186

## E

ETC車載器..... 別冊

## H

Hondaスマートキー..... 82, 83

Hondaスマートキーシステム警告灯..... 54

Hondaスマートキー電池消耗警告..... 114

Hondaスマートキー持ち去り警告..... 113

エンジンスイッチ..... 112

電池交換のしかた..... 237

## I

ISOFIX..... 43

## M

MIST..... 118

## P

PGM-FI警告灯..... 52, 267

## S

SEL/RESETスイッチ..... 67

SNOW(スノー)モード..... 185

SRSエアバッグ..... 28

エアバッグシステム警告灯..... 36, 55

## V

VSA(ビークルスタビリティアシスト)..... 189

VSA警告灯..... 55, 189

VSA作動表示灯..... 58, 189

## W

W(ワット)数..... 279, 281, 283

## ア

アクアクリーンミラー..... 124

アクセサリー..... 203

アクセサリーソケット..... 153

アダプティブフロントライティングシステム  
(AFS)..... 116

AFS警告灯..... 56, 117

安全に関する表示..... 17

安全のための確認事項..... 21

アンダーボックス..... 146

アンチロックブレーキシステム(ABS)..... 195

ABS警告灯..... 55, 195

## イ

イージードアクローザー..... 101

一酸化炭素の危険性..... 50

イモビライザーシステム..... 102

イモビライザーシステム表示灯..... 58

イルミネーションコントロール..... 120

インフォメーションスイッチ..... 67

インフォメーションディスプレイ..... 64

インフォメーション表示灯..... 59

## ウ

ウィンドーの開閉..... 104

ウィンドウォッシャー

ウィンドウォッシャー液の補給..... 212

ウィンドウォッシャースイッチ	118
ウェアインジケータ	232
ウェルカムメーター照明	63
<b>運転</b>	
エンジンの始動	177
クルーズコントロール	186
シフト操作	183
ブレーキ操作	191

## エ

<b>エアコン</b>	158
エアクリンフィルター	238
エアコンの使いかた	159
後席用オートエアコン	162
後席用クーラー	164
窓の曇りや霜の取りかた	161
モード切り換えスイッチ	159
<b>エアバッグ</b>	28
SRSエアバッグ	28
エアバッグシステム警告灯/表示灯	36
エアバッグシステム故障診断記録装置	17
エアバッグのお手入れ	38
サイドエアバッグ	31
サイドエアバッグ自動停止システム	33
サイドカーテンエアバッグ	34
<b>エンジンオイル</b>	212
推奨エンジンオイル	280, 282, 284
油圧警告灯	52, 266

<b>エンジンスイッチ</b>	111, 112
エンジンスイッチ警告ブザー	113
<b>エンジンの始動</b>	177
エンジンが始動しない	259
ジャンプスタート	261
<b>エンジン冷却水</b>	280, 282, 284

## オ

<b>オーディオ装置</b>	168
<b>オーディオリモートコントロール</b>	
スイッチ	169
<b>オートドアロック/オートドアアンロック</b>	90
<b>オートライトコントロール</b>	115
警告灯	55
<b>オーバーヒート</b>	265
<b>追越合図(パッシング)</b>	115
<b>応急用スペアタイヤ</b>	249
<b>オドメーター</b>	65, 68
<b>温度センサー</b>	65, 68

## カ

<b>カーゴスペース照明灯</b>	141
電球の交換	226
<b>外気温表示</b>	65, 68
<b>鍵(かぎ)</b>	81
<b>カスタマイズ機能</b>	70
<b>ガソリン</b>	199, 279, 281, 283
<b>カップホルダー</b>	148

## キ

### キー

Hondaスマートキー	82, 83
キーが0から1に回らない	14
キーが1から0に回らない	14
キー閉じ込み防止装置	87
キーナンバータグ	82
キーによるカスタマイズのしかた	78
キーの種類と機能	81
キーレスエントリー	81, 82, 84
キーレスエントリー一体キー	81
キーレスエントリーでドアが開かない	15
後席ドアが開かない	14
電池交換のしかた	236
内蔵キー	82, 260
<b>キー閉じ込み防止装置</b>	87
<b>キーナンバータグ</b>	82
<b>キーレスエントリー</b>	81, 82, 84
電池交換のしかた	236
<b>キックダウン</b>	182
<b>給油</b>	199
給油のしかた	200
指定燃料	199, 279, 281, 283
燃料計	62
燃料残量警告灯	55

## ク

<b>空気圧</b>	280, 282, 284
------------	---------------



グラブレール	4
クリーブ現象	182
グリップ	245
クルーズコントロール	186
クルーズコントロール表示灯	59
クルーズメイン表示灯	59
車の改造	203
グローブボックス	142

## ケ

計器	51
警告灯	52
ABS警告灯	55, 195
AFS警告灯	56, 117
Hondaスマートキーシステム 警告灯	54
PGM-FI警告灯	52, 267
VSA警告灯	55, 189
エアバッグシステム警告灯	36, 55
オートライトコントロール警告灯	55
シートベルト非着用警告灯	54
充電警告灯	54, 266
電子制御パーキングブレーキ 作動警告灯	53
電子制御パーキングブレーキ システム警告灯	53, 268
ドア/テールゲート 開閉警告灯	21, 56
トランスミッション警告灯	54
燃料残量警告灯	55

パワースライドドア警告灯	56, 101
ブレーキ警告灯	52, 267
油圧警告灯	52, 266
携帯電話接続端子	155
けん引	274

## コ

コインポケット	表紙ウラ
交換	
カーゴスペース照明灯電球	226
後退灯電球	222, 223
後面方向指示器/ 後面非常点滅表示灯電球	220, 221
室内灯電球	225
車幅灯電球	217
スライドドア開閉灯電球	227
制動灯/尾灯電球	220
前面方向指示器/ 前面非常点滅表示灯電球	216
側面方向指示器/ 側面非常点滅表示灯電球	219
ハイマウントストップランプ電球	223
パニティミラー照明灯電球	226
番号灯電球	224
尾灯電球	222
フォグライト電球	218
フロントドア開閉灯電球	226
ヘッドライト電球	213
ワイパーブレードラバー	228

工具	245
後席用オートエアコン	162
後席用クーラー	164
コンソールアッパーポケット	146
コンソールボックス	145
コンソールロアボックス	147

## サ

サービス診断記録装置	17
データの開示について	18
サイドエアバッグ	31
サイドエアバッグ自動停止システム	33
サイドエアバッグ自動停止表示灯	37, 57
サイドカーテンエアバッグ	34
サングラスボックス	156
サンバイザー	4
サンルーフ	109

## シ

シートの調節	126
アームレスト	137
サードシート	133
セカンドシート	129
フロントシート	126
ヘッドレスト	136
シートヒーター	157
シートベルト	22
シートベルトの着用	24

シートベルトの点検	27	<b>スイッチ操作</b>		セレクトレバーが動かない	264
シートベルト非着用警告灯	54	イルミネーションコントロール	120	セレクトレバーの操作	184
シートベルトプリテンショナー	23	エンジンスイッチ	111, 112	<b>センターテーブル</b>	144
シートベルトリマインダー	22	フォグライトスイッチ	117	<b>センターポケット</b>	143
妊娠中のかたのシートベルト着用の しかた	27	フロントガラス熱線スイッチ	121	<b>センターロアポケット</b>	143
<b>シガレットライター</b>	152	方向指示器(ウィンカースイッチ)	114		
<b>時刻の設定</b>	80	ライトスイッチ	115		
<b>室内装備品</b>	142	リヤデフロスタースイッチ	121	<b>ソ</b>	
<b>室内灯</b>	139	ワイパー/ウォッシャー	118	<b>側面方向指示器/ 側面非常点滅表示灯電球</b>	219
<b>シフト操作</b>	183	<b>ステアリング</b>	122		
<b>車外の清掃</b>	242	<b>スノー(SNOW)モード</b>	185		
ジャッキ	245, 253	<b>スノータイヤ</b>	234	<b>タ</b>	
ジャッキハンドルバー	245, 254	<b>スパークプラグ</b>	279, 281, 283	<b>タイヤ</b>	231
ジャッキハンドル (ホイールナットレンチ)	245, 254	<b>スピードメーター</b>	62	ウェアインジケーター	232
<b>車内の清掃</b>	240	<b>スライドドア開閉灯</b>	227	応急用スペアタイヤ	249
<b>車幅灯</b>	217	<b>スライドドアの開閉</b>	93, 94	指定空気圧	280, 282, 284
<b>車両限定型ISOFIXチャイルドシート</b>	43	ドア/テールゲート開閉警告灯	21, 56	タイヤの点検	231
<b>ジャンプスタート</b>	261			タイヤのローテーション	233
<b>充電警告灯</b>	54, 266	<b>セ</b>		冬期のタイヤ	234
<b>瞬間燃費表示</b>	66, 69	<b>清掃</b>	240	パンク	247
<b>仕様</b>	279, 281, 283	<b>制動灯</b>	220	<b>タイヤチェーン</b>	234
<b>衝撃感知ドアロック解除システム</b>	90	<b>セキュリティシステム</b>	102	<b>タコメーター</b>	63
<b>ショルダーアンカー</b>	25	イモビライザーシステム	102		
		セキュリティアラームシステム	102	<b>チ</b>	
<b>ス</b>		<b>セレクト/リセットノブ</b>	64, 120	<b>チェーン</b>	234
<b>水温計</b>	62	<b>セレクトポジション</b>	183	<b>チャイルドシート</b>	39
		セレクトポジション表示灯	184	ジュニアシート	48
		<b>セレクトレバー</b>		乳児のチャイルドシート	40

幼児のチャイルドシート	41
チャイルドブルーフ	89
駐停車操作	197

## テ

テールゲートの開閉	91
テールゲートが開かないとき	277
ドア/テールゲート開閉警告灯	21, 56
デフロスター	161
リヤデフロスタースイッチ	121
点火プラグ	279, 281, 283
電子制御パーキングブレーキ	192
電子制御パーキングブレーキ	
作動警告灯	53
電子制御パーキングブレーキ	
システム警告灯	53, 268
電子制御ブレーキアシスト	196
電池交換	236

## ト

ドアの施錠と解錠	81
Hondaスマートキー	81, 82
キー閉じ込み防止装置	87
キーナンバータグ	82
キーの種類と機能	81
キーレスエントリー	81, 82, 84
キーレスエントリー一体キー	81
キーレスエントリーでドアが開かない	15

後席ドアが開かない	14
車外でのドアの施錠/解錠	84
車内での施錠/解錠	88
チャイルドブルーフ	89
ドア/テールゲート開閉警告灯	21, 56

ドアミラー	123
冬期のタイヤ	234
スノータイヤ	234
タイヤチェーン	234

時計	80
トップテザーアンカレッジ	46
トップテザーストラップ	46
ドライバー	245

トラブルシューティング	
アクセルペダルを踏んでもパーキングブレーキが自動で解除できない	15
運転席ドアを開けるとブザーが鳴る	15
エンジンが始動しない	259
オーバーヒートした	265
キーが0から1に回らない	14
キーが1から0に回らない	14
キーレスエントリーでドアが開かない	15
警告灯の点灯/点滅した	266
けん引してもらいたい	274
後席ドアが開かない	14
ジャンプスタートしたい	261
セレクトレバーが動かない	264
走行するとブザーが鳴る	15

パーキングブレーキスイッチを押してもパーキングブレーキが解除できない	15
ハイオクガソリンは使える?	16
パンクした	247
ヒューズが切れた	269
ブレーキを踏むと音がする	15
ブレーキを踏むと振動する	14
レギュラーガソリンは使える?	16
トランスミッション警告灯	54
トランスミッションフルード	279, 281, 284
トリップメーター	65, 68

## ナ

内蔵キー	81, 82, 260
ナビゲーションシステム	別冊

## ネ

燃料	199, 279, 281, 283
燃料計	62
燃料残量警告灯	55

## ハ

パーキングブレーキ	191
排気ガスの危険性	50
灰皿	151
ハイビーム	115
電球の交換	214, 215

ハイビーム表示灯.....	57
ハイマウントストップランプ.....	223
ハザードスイッチ.....	表紙ウラ
発炎筒.....	246
パッシング.....	115
バッテリー	
ジャンプスタート.....	261
充電警告灯.....	54, 266
容量.....	279, 281, 283
発話スイッチ.....	1
パニティミラー.....	4
パワーウィンドーの開閉.....	104
パワースライドドアの開閉.....	93, 95
ドア/テールゲート開閉警告灯.....	21, 56
パワースライドドア警告灯.....	56, 101
バンク.....	247
ハンドル.....	122
ハンドル位置調節レバー.....	122
ハンドルロック.....	111, 112
<b>ヒ</b>	
ヒータードアミラー.....	124
非常点滅表示灯スイッチ.....	表紙ウラ
尾灯.....	222
ヒューズ.....	269
ヒューズの設置場所.....	269, 270, 271, 272
ヒューズの点検と交換.....	273
表示灯.....	57

SNOW(スノー)モード表示灯.....	59, 185
VSA作動表示灯.....	58, 189
イモビライザーシステム表示灯.....	58
インフォメーション表示灯.....	59
クルーズコントロール表示灯.....	59
クルーズメイン表示灯.....	59
サイドエアバッグ自動停止表示灯.....	57
セキュリティアラームシステム	
作動表示灯.....	59
セレクトポジション表示灯.....	184
ハイビーム表示灯.....	57
フォグライト点灯表示灯.....	57
方向指示器表示灯.....	57
ライト点灯表示灯.....	57

## フ

ブースターケーブル.....	261
フォグライト	
電球の交換.....	218
フォグライトスイッチ.....	117
フォグライト点灯表示灯.....	57

## ブザー

運転席ドアを開けるとブザーが鳴る.....	15
走行するとブザーが鳴る.....	15
フューエルリッドの開けかた.....	200
プリズムアンダーミラー.....	125
ブレーキシステム.....	191
ABS(アンチロックブレーキシステム) ...	195

アクセルペダルを踏んでもパーキングブレーキが自動で解除できない.....	15
電子制御パーキングブレーキ.....	192
電子制御パーキングブレーキ	
作動警告灯.....	53
電子制御パーキングブレーキ	
システム警告灯.....	53
電子制御ブレーキアシスト.....	196
パーキングブレーキ.....	191
パーキングブレーキスイッチを押してもパーキングブレーキが解除できない.....	15
フットブレーキ.....	194
ブレーキ警告灯.....	52, 267
ブレーキを踏むと音がする.....	15
ブレーキを踏むと振動する.....	14
ブレーキフルード.....	279, 281, 284
ブレーキ警告灯.....	52, 267
フロントアッパーポケット.....	142
フロントガラス熱線スイッチ.....	121
フロントシート.....	126
フロントシートアームレスト.....	137
フロントシート	
ヘッドレスト.....	126, 127, 136

## へ

平均燃費表示.....	66, 69
ヘッドライト.....	115
追越合図(パッシング).....	115
電球の交換(ハイビーム).....	214, 215

電球の交換(ロービーム) .....	213
ハイビーム .....	115
ハイビーム表示灯 .....	57
ライト点灯表示灯 .....	57
ロービーム .....	115

## ヘッドレスト

サードシート .....	133, 136
セカンドシート .....	129, 130, 136
フロントシート .....	126, 127, 136

## ホ

ホーンスイッチ .....	1
ホイールサイズ .....	280, 282, 284
ホイールナットレンチ (ジャッキハンドル) .....	245, 254
方向指示器(ウinkerスイッチ) .....	114
方向指示器表示灯 .....	57
ボンネット内のメンテナンス .....	207
ウインドウォッシャー液の補給 .....	212
推奨エンジンオイル .....	280, 282, 284
ボンネット内のメンテナンス項目 .....	207
ボンネットを開ける .....	210
冷却水の点検と補給 .....	265

## マ

マスタードアロックスイッチ .....	89
マップランプ .....	140
マルチインフォメーションディスプレイ .....	67

## ミ

ミラー .....	123
ドアミラー .....	123
バニティミラー .....	4
ルームミラー .....	123

## メ

メーター .....	62
インフォメーションディスプレイ .....	64
水温計 .....	62
スピードメーター .....	62
タコメーター .....	63
燃料計 .....	62
マルチインフォメーション ディスプレイ .....	67
メンテナンス	
エアコンのお手入れ .....	238
キーレスエントリー/ Hondaスマートキー .....	235
清掃 .....	240
タイヤの点検と整備 .....	231
ボンネット内のメンテナンス .....	207
メンテナンスに関する注意事項 .....	206
メンテナンスを安全に行うために .....	206
ライト類の点検と整備 .....	213
ワイパーブレードラバーの点検と整備 ...	228

## モ

モード切り換え(エアコン) .....	159
---------------------	-----

## ユ

油圧警告灯 .....	52, 266
-------------	---------

## ヨ

四輪駆動機構(4WD) .....	190
-------------------	-----

## ラ

ライトスイッチ .....	115
追越合図(パッシング) .....	115
ハイビーム .....	115
ハイビーム表示灯 .....	57
ライト点灯表示灯 .....	57
ロービーム .....	115
ライト類の点検と整備 .....	213
カーゴスペース照明灯電球 .....	226
後退灯電球 .....	222, 223
後面方向指示器/ 後面非常点滅表示灯電球 .....	220, 221
室内灯電球 .....	225
車幅灯電球 .....	217
スライドドア開閉灯電球 .....	227
制動灯/尾灯電球 .....	220
前面方向指示器/ 前面非常点滅表示灯電球 .....	216

側面方向指示器/ 側面非常点滅表示灯電球.....	219
ハイマウントストップランプ電球.....	223
パニティミラー照明灯電球.....	226
番号灯電球.....	224
尾灯電球.....	222
フォグライト電球.....	218
フロントドア開閉灯電球.....	226
ヘッドライト電球.....	213
ラジエーター.....	265

## リ

リザーブタンク.....	265
リモコン受信部.....	表紙ウラ
リモコンホルダー.....	2, 4
リヤカメラシステム.....	170
リヤデフロスタースイッチ.....	121

## ル

ルームミラー.....	123
-------------	-----

## レ

冷却水.....	265
オーバーヒート.....	265
水温計.....	62
補給.....	265

## ロ

ロービーム.....	115
電球の交換.....	213
ロアアンカレッジ.....	46, 47

## ワ

ワイパー/ウォッシャー.....	118
ワイパーブレードラバー.....	228

お車についてのお問い合わせ、ご相談は、まず Honda 販売店にお気軽にご相談ください。  
下記アドレスより最新の Honda 販売店を検索することが可能です。

Honda ホームページ <http://www.honda.co.jp/>

(Honda ホームページにある検索ボックスに『販売店』と入力してください)

携帯電話からは、携帯電話用 Honda ホームページをご覧ください。

<http://dream.honda.co.jp/dealerlocator/>

※：QRコード読み取り機能付きの携帯電話をお持ちの場合は、右のQRコードをご利用ください。  
ご利用にあたっては、お持ちの携帯電話取扱説明書をご確認ください。  
QRコードは(株)デンソーウェアの登録商標です。



お問い合わせ、ご相談は、全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センターでもお受け致します。

本田技研工業株式会社 お客様相談センター

フリーダイヤル 0120-112010

受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00

〒351-0188 埼玉県和光市本町8-1

所在地、電話番号などが変更になることがありますのでご了承ください。

お車に関してお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、迅速に対応させていただくために、あらかじめ、お手元にお車の車検証をご準備いただき、下記の事項をご確認のうえ、ご相談ください。

- ① 車検証記載事項：車両型式、車台番号、エンジン型式、登録番号、登録年月日
- ② 車種名、タイプ名、走行距離
- ③ ご購入年月日
- ④ 販売店名



# HONDA

The Power of Dreams

万一、異常や故障などの不具合が生じた場合は、Honda 販売店で点検整備を受けてください。

最新の Honda 販売店情報は、携帯電話からも検索できます。

(検索方法は巻末をご覧ください)

Honda ホームページにある検索ボックスに入力してください。

取説

検索

<http://www.honda.co.jp/manual/>

クルマ、およびインターナビシステム取扱説明書の最新情報をお伝えしています。